

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	DB09-9 r. 4. 1
提出年月日	令和4年12月1日

## 泊発電所3号炉

### 設置許可基準規則等への適合状況について (設計基準対象施設等) 比較表

#### 第9条 溢水による損傷の防止

令和4年12月  
北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

## 比較結果等を取りまとめた資料

### 1. 先行審査実績等を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降)

#### 1-1) 設計方針・運用・体制などを変更し、まとめ資料を修正した箇所と理由

- a. 大飯3 / 4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし
- b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし
- c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの : なし
- d. 当社が自主的に変更したもの: 下記3件。
  - ・屋外における溢水評価見直し
  - ・循環水ポンプ建屋の溢水評価見直し
  - ・タービン建屋からの溢水影響評価見直し

#### 1-2) 設計方針・運用・体制を変更するものではないが、まとめ資料の記載の充実を行った事項

- a. 大飯3 / 4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし
- b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : まとめ資料全般に対して、女川2号炉審査実績の反映を行った。
- c. 他社審査会合の指摘事項を確認した結果、変更したもの : なし
- d. 当社が自主的に変更したもの: 下記1件。
  - ・溢水評価条件の最新化 (区画面積、溢水量等)

#### 1-3) バックフィット関連事項

- あり。
- ・内部溢水による管理区域外への漏えいの防止 (別添1本文)

#### 1-4) その他

女川2号炉まとめ資料に合わせて記載ぶりを修正し、結果として差異がなくなった箇所があるが、本比較表にはその該当箇所の識別はしていない。

### 2. 女川2号炉まとめ資料との比較結果の概要

- ・女川2号炉と泊3号炉の設計方針の相違点について、次頁以降に取り纏めた。
- ・評価方針等の相違点はあるが、原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド (以下、「評価ガイド」という。) に従い評価を実施し、基準適合性を確認していることに相違は無く、内部溢水に対する基本設計方針は女川2号炉と泊3号炉で相違は無い。

## 女川2号炉まとめ資料との比較結果（設計方針の相違）（1/4）

- 「女川」及び「泊」の欄にはまとめ資料（比較表）の記載を転記し、相違箇所を赤字で示している。
- No.16及び17については、女川審査実績の反映のため、現在まとめ資料の記載見直しを行っていることから、「女川」及び「泊」の欄には具体的な記載内容は転記せず、考え方を記載した。

No.	大項目	小項目	記載箇所	女川	泊	差異説明
1	①溢水源の想定	考慮すべき溢水事象 (母炉間で共用する 建屋)	【本文】 1.7.2 考慮すべき溢水事象 (9-12)	号炉間で共用する建屋及び一体構造の建屋に設置される機器にあっては、共用、非共用機器に係わらず、その建屋内で単一の溢水源を想定し、建屋全体の溢水経路を考慮する。	(該当記載なし)	・泊3には泊1/2号と共用する建屋は存在しない。 ・泊3では、想定破損又は消火水放水による溢水評価における溢水源の想定に当たっては、連結する建屋内で単一の溢水源を想定するが、溢水防護区画内の水位が最も高くなるよう、連結された建屋全体の溢水経路だけでなく、単独建屋内の溢水経路も考慮している。
2	②溢水量の算出	消火放水の溢水量	【本文】 1.7.3.2 消火水の放水による溢水 (9-15) 1.7.9 手順等 (9-43) 【別添1本文】 6.2 消火水の放水による没水影響評価	消火設備等のうち、消火栓からの放水量については、3時間の放水により想定される溢水量を設定する。	消火設備等のうち、消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量若しくは、火災源が小さい場合においては、その可燃性物質の量及び等価火災時間を考慮した消火活動に伴う放水により想定される溢水量を設定する。	・消火栓からの放水量について、女川は一律3時間の放水を想定し、溢水量を定めている。 ・泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を用いて放水量を算定し、溢水量を設定しており、放水量の算定に用いた各区画の火災荷重を上回る量の可燃物が持ち込まれないよう現場管理している。
3	②溢水量の算出	地震時の隔離操作	【本文】 1.7.3.3 地震起因による溢水 (9-17) 【別添1本文】 7.2.2 地震起因による没水影響評価	また、漏えい検知による漏えい停止を期待する場合は、漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。  なお、地震による機器の破損が複数箇所でも同時に発生する可能性を考慮し、漏えい検知による自動隔離機能を有する場合を除き、隔離による漏えい停止は期待しない。	運転員による手動操作により漏えい停止を行う溢水源に対して、異常の検知、事象の判断、漏えい箇所の特定、漏えい箇所の隔離等により漏えい停止するまでの時間(運転員の状況確認及び隔離操作を含む。)に保守性を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。	泊では地震加速度大による原子炉トリップ時、漏えい箇所の特定後に隔離操作を行うのではなく、予め隔離対象機器を運転手順に定め、漏えいの有無に関わらず隔離操作を実施する運用としている。
4	②溢水量の算出	想定破損の溢水量	【本文】 1.7.5.1 没水の影響に対する設計方針 (9-24) 【別添1本文】 3.4.1 没水の影響に対する設計方針 5.1 想定破損による溢水源	想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。	想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外又は想定溢水量を低減することにより溢水による影響が発生しない設計とする。	泊3では評価ガイドに従い、補助蒸気系統および蒸気発生器ブローダウン系統(主蒸気管室以外)に対して応力評価を実施し、破損形態をクラック想定とすることで想定溢水量を低減している。
5	②溢水量の算出	使用済燃料ピットの スロッシング (初期水位)	【本文】 1.7.5.5 使用済燃料ピットのスロッシング後の機能維持に関する設計方針 (9-36)	使用済燃料プールの初期水位は、スキマサージタンクへのオーバーフロー水位として評価する。	使用済燃料ピットの初期水位は、使用済燃料ピットの高水位レベルとして評価する。	ブラント設計の相違により、三次元流動解析に用いる初期水位が異なる。なお、泊では初期条件として、使用済燃料ピットと接続されている燃料検査ピット、燃料取替キャナル及びキャスクピットの全てが水張りされた状態として評価する。



女川2号炉まとめ資料との比較結果（設計方針の相違）(2/4)

No.	大項目	小項目	記載箇所	女川	泊	差異説明
6	③溢水経路の設定	溢水評価で考慮する設備 (床ドレンライン)	【本文】 1.基本方針 (9-5) 【別添1本文】 1.1 溢水防護に関する基本方針 (9-9) 【別添1本文】 4.3 溢水経路の設定	溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、床ドレンライン、防護カバー、ブローアウトパネル等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。	溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、保護カバー、ブローアウトパネル等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。	・女川は、溢水評価で考慮する設備として床ドレンラインに期待している。 ・泊は、同一区画内に床ドレンラインが複数ある場合でも、評価の保守性を大きくとる観点から目皿による溢水の流出は考慮していない。 ・また、放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝、床ドレンからの排水に期待していない。
7	③溢水経路の設定	溢水経路の考え方 (機器ハッチ)	【本文】 1.7.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針 (9-21) 1.7.9 手順等 (9-43) 【別添1本文】 4.3 溢水経路の設定 【添付・補足】 補足説明資料 32 ハッチ開放時における溢水影響について	プラント停止中のスロッシングの発生やハッチ開放時における溢水影響について評価を行い、ハッチ開放時の堰の設置により、溢水影響が他に及ばない運用を行う。	プラント停止中のスロッシングの発生やハッチ開放時における溢水影響によって、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。	女川は溢水影響評価で溢水経路として想定していないハッチについて、定期検査時等にハッチが開放されることを考慮し、ハッチ開放時には堰を設置する等の運用を定めている。 一方泊は溢水影響評価でハッチの止水には期待していないことから、定期検査時等であってもハッチの開閉状態は評価に影響しない。
8	④影響評価	没水評価方針 (区画面積、床勾配)	【本文】1.7.5.1 没水の影響に対する設計方針 (9-23)	区画の床勾配については、設計上の最大水上高さ 55mm を機能喪失高さに考慮して裕度を確保する設計とする。区画面積については、躯体寸法から算出した床面積に対して、機器占有率に応じた係数を乗じることで裕度を確保する。	区画の床勾配については、設計上の最大水上高さ50mm を機能喪失高さに考慮して裕度を確保する設計とする。区画面積については、躯体寸法から算出した床面積に対して、現場測定により算出した欠損面積を差引くことで算定する。	・プラント設計の相違により最大水上高さが異なる。床勾配を考慮して裕度を確保する設計等していることに相違は無い。・泊3では、区画面積は躯体寸法から算出した床面積に対して、溢水防護区画内の設置物の寸法を現場測定により算出した欠損面積を差引くことで算定している。欠損面積の現場測定結果は一律25%割り増しすることで裕度を確保している。
9	④影響評価	蒸気影響評価	【本文】 1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針 (9-27) 【別添1本文】 5.4 想定破損による蒸気影響評価	溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。	熟流体解析コード (GOTHICコード) を用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施し、溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。	・泊では蒸気伝播を解析し、全ての防護対象設備が機能喪失しないよう対策を施している。
10	④影響評価	蒸気影響評価	【本文】 1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針 (9-29) 【別添1本文】 3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針	また、自動検知・遠隔隔離システムだけでは溢水防護対象設備の健全性が確保されない場合には、破損想定箇所に防護カバーを設置することで漏えい蒸気量を抑制して、溢水防護区画内雰囲気温度への影響を軽減する設計とする。 さらに、信頼性向上の観点から、防護カバー近傍には小規模漏えい検知を目的とした特定配置温度検出器を設置し、蒸気の漏えいを早期検知する設計とする。	(該当記載なし)	泊3ではターミナルエンドが少ないため、蒸気影響緩和を目的とした「防護カバー」は設置せず、評価ガイドの要求に従って全周破断を想定した蒸気影響評価を実施し影響がないことを確認していることから、「防護カバー」の記載がない。



女川2号炉まとめ資料との比較結果（設計方針の相違）（3/4）

No.	大項目	小項目	記載箇所	女川	泊	差異説明
11	④影響評価	使用済燃料ピットの スロッシング	<p>【本文】</p> <p>1.7.9 手順等（9-44）</p> <p>【別添1本文】</p> <p>8 使用済燃料ピット等のスロッシング後の機能維持評価</p> <p>【添付・補足】</p> <p>補足説明資料 10 スロッシング後の使用済燃料プール冷却機能維持のための現場操作</p>	<p>(12) 燃料プール冷却浄化系、燃料プール補給水系が機能喪失した場合における、残留熱除去系による使用済燃料プールの冷却及び給水手順を定める。</p>	<p>(該当記載なし)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済燃料プールのスロッシング後に、一時的にプール冷却に必要な水位（オーバーフロー水位）を下回ることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水手順を定め、現場操作性について説明している。</li> <li>・泊はスロッシングにより使用済燃料ピットの冷却に必要な水位を下回らないことを確認する方針としていることから、使用済燃料ピットの冷却・給水のための現場操作は必要ない。</li> </ul>
12	⑤評価の判定	溢水によって発生する 原子炉外乱に対する 評価方針	<p>【本文】</p> <p>1. 基本方針（9-4、9-8）</p> <p>1.7.5.1 設水の影響に対する設計方針（9-23）</p> <p>1.7.5.2 被水影響に対する設計方針（9-26）</p> <p>1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針（9-28）</p> <p>1.7.8 溢水によって発生する外乱に対する評価方針（9-39）</p> <p>【別添1本文】</p> <p>1.1 溢水防護に関する基本方針(9-8)</p> <p>【添付・補足】</p> <p>補足説明資料 25 内部溢水により想定される事象の確認及び解析確認結果</p>	<p>溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。</p>	<p>溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下「安全評価指針」という。）に基づき必要な機器の単一故障を考慮しても、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生により、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部溢水により原子炉に外乱が及ぶ場合について、女川はその溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行っている。</li> <li>・一方泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行わない。</li> <li>・例外として、3台ある充てんポンプについては、各ポンプ室内の想定破損時に1台のポンプが機能喪失（没水）する評価結果となるが、他の2台は健全であることを確認している。</li> </ul>
13	⑤評価の判定	評価の判定の考え方 (多重性または多様性の考慮)	<p>【本文】</p> <p>1.7.5.2 被水影響に対する設計方針（9-26）</p> <p>1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針（9-30）</p> <p>【別添1本文】</p> <p>5.3 想定破損による被水影響評価</p> <p>5.4 想定破損による蒸気影響評価</p> <p>【添付・補足】</p> <p>補足説明資料 14 内部溢水影響評価における判定表</p>	<p>溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p>	<p>(該当記載なし)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は、防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、同時に機能喪失しなければ、安全機能が損なわれないとしている。したがって、防護対象設備が機能喪失した場合でも、他の系統設備によって必要な安全機能が維持されるかどうかを判定基準としている。</li> <li>・泊は被水影響評価・蒸気影響評価では多重性や多様性を考慮せず、全ての溢水防護対象設備が機能喪失しないよう対策を施しており、没水評価においても、全ての溢水防護対象設備を防護することを原則としている。</li> <li>・したがって、泊では女川のように防護対象設備の機能喪失を前提とした評価判定は行っていない。</li> </ul>

女川2号炉まとめ資料との比較結果（設計方針の相違）（4/4）

No.	大項目	小項目	記載箇所	女川	泊	差異説明
14	⑥建屋外からの流入防止評価	海水ポンプエリアの溢水評価	【本文】（女川） 1.7.5.6 海水ポンプ室補機ポンプエリアの溢水評価に関する設計方針（9-36）	海水ポンプ室補機ポンプエリアの溢水評価に関する設計方針	（該当記載なし）	女川の海水ポンプ室は屋外にあるため海水ポンプ室の設計方針について記載しているが、泊の海水ポンプ室は建屋内であるため、これまでの設計方針の中に包絡される。
15	⑥建屋外からの流入防止評価	地下水の流入防止	【本文】 1.7.6 溢水防護区画を内包する建屋外からの流入防止に関する設計方針（9-38） 【別添1本文】 13. 地下水による影響評価	地下水に対しては、揚水ポンプの停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定し、建屋外周部における壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。なお、地下水位低下設備については、基準地震動 Ss による地震力に対して耐震性を確保する設計とする。	地下水に対しては、建屋外周部における壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する。また、原子炉補助建屋最下層の床面下にある湧水ビット天板からの地下水の流入を防止するため、湧水ビットポンプによる地下水の排水によって、湧水ビット水位を一定の範囲に保持する。以上により、地下水の流入によって、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。 湧水ビットポンプ、湧水ビットポンプ電源及び吐出ラインは、基準地震動 Ss による地震力に対して耐震性を確保するとともに、湧水ビットポンプ電源は非常用母線に接続することにより、その機能を損なうことのない設計とする。	・泊3の湧水ビットは多数の溢水防護対象設備を内包する原子炉補助建屋の最下層に設置されていることから、湧水ビットの水位が上昇し湧水ビット天板に設置された湧水ビットポンプグラウンドの撓動部等を介して原子炉補助建屋内へ地下水が流入しないよう、湧水ビットポンプによる排水によって湧水ビット水位を一定の範囲に保持する機能に期待している。 ・原子炉補助建屋への地下水の流入を防止するため、湧水ビットポンプの機能に期待することから、溢水防護の観点で排水機能に求められる信頼性について記載している
16	⑥建屋外からの流入防止評価	タービン建屋	【別添1本文】 9. タービン建屋からの溢水影響評価	・津波が来襲する前に復水器水室出入口弁を全閉することにより、津波はタービン建屋内に侵入しない。	・地震により循環水管伸縮継手が破損し、タービン建屋内で溢水が発生した後、循環水ポンプ停止から津波来襲までの期間、サイフォン効果による海水の流入を想定考慮している。 ・津波来襲により、循環水管伸縮継手の破損部からの津波流入を考慮している。	タービン建屋内における溢水事象の考え方は異なるが、タービン建屋からの溢水について、防護対象設備が設置されている建屋に対する溢水経路を特定し、壁、扉、堰等又はそれらの組合せにより溢水が流入しない設計とする方針は女川と泊で同じである。 ※まとめ資料の記載見直し中
17	⑥建屋外からの流入防止評価	屋外タンク	【別添1本文】 12. 屋外タンクからの溢水影響評価	屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている建屋に及ぼす影響を確認している。	屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている建屋に及ぼす影響を確認している。 また、補機放水路が地震により崩落した場合、原子炉補機冷却海水系統からの排水が屋外に溢水する可能性がある。	屋外で発生する溢水が防護対象設備の設置されている建屋に流入しない設計とする方針は女川と泊で同じである。 泊の原子炉補機冷却海水系統からの排水を溢水源として想定するか否かについては、現在検討中である。 ※まとめ資料の記載見直し中
18	⑦その他	手順等	【本文】 11.7.8 手順等（9-41～9-44）	（記載省略）	（記載省略）	女川とのプラント設計の相違点及び最新 PWR プラントである大飯の審査実績を踏まえて運用手順を定めていることから、女川の手順と内容が異なる。

3. 差異の識別の省略

以下の相違箇所については、差異理由として抽出しないこととする。

- ・プラント名称の相違（記載の有無を含む）
- ・設備名称の相違（使用済燃料プールと使用済燃料ピット 等）
- ・章項番号及び資料番号の相違
- ・テニオハの相違
- ・意味を持たない相違（番号の前に「第」、送り仮名の相違、漢字ひらがなの相違）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第9条：溢水による損傷の防止等</p> <p>&lt;目次&gt;</p> <p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(2) 安全設計方針</p> <p>(3) 適合性説明</p> <p>1.3 気象等</p> <p>1.4 設備等</p> <p>2. 溢水による損傷の防止等</p> <p>(別添資料1) 内部溢水の影響評価について</p>	<p>第9条：溢水による損傷の防止等</p> <p>&lt;目次&gt;</p> <p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(2) 安全設計方針</p> <p>(3) 適合性の説明</p> <p>1.3 気象等</p> <p>1.4 設備等</p> <p>2. 溢水による損傷の防止等</p> <p>別添資料</p> <p>別添資料1 女川原子力発電所2号炉 内部溢水の影響評価について</p> <p>別添資料2 女川原子力発電所2号炉 運用、手順説明資料 溢水による損傷の防止等</p> <p>別添資料3 女川原子力発電所2号炉 内部溢水影響評価における確認プロセスについて</p>	<p>第9条：溢水による損傷の防止等</p> <p>&lt;目次&gt;</p> <p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(2) 安全設計方針</p> <p>(3) 適合性説明</p> <p>1.3 気象等</p> <p>1.4 設備等</p> <p>2. 溢水による損傷の防止等</p> <p>別添資料</p> <p>別添資料1 泊発電所3号炉 内部溢水の影響評価について</p> <p>別添資料2 泊発電所3号炉 運用、手順説明資料 溢水による損傷の防止等</p> <p>別添資料3 泊発電所3号炉 内部溢水影響評価における確認プロセスについて</p>	<p>条文全体の記載の見直しを実施したため修正箇所を示す黄色マーキングは実施しない</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">＜概要＞</p> <p>1. において、設計基準事故対処設備の設置許可基準規則、技術基準規則の追加要求事項を明確化するとともに、それら要求に対する大飯原子力発電所3号炉及び4号炉における適合性を示す。</p> <p>2. において、設計基準事故対処設備について、追加要求事項に適合するために必要となる機能を達成するための設備又は運用等について説明する。</p>	<p style="text-align: center;">＜概要＞</p> <p>1. において、設計基準対象施設の設置許可基準規則、技術基準規則の追加要求事項を明確化するとともに、それら要求事項に対する女川原子力発電所2号炉における適合性を示す。</p> <p>2. において、設計基準対象施設について、追加要求事項に適合するために必要となる機能を達成するための設備又は運用等について説明する。</p>	<p style="text-align: center;">＜概要＞</p> <p>1. において、設計基準対象施設の設置許可基準規則、技術基準規則の追加要求事項を明確化するとともに、それら要求事項に対する泊発電所3号炉における適合性を示す。</p> <p>2. において、設計基準対象施設について、追加要求事項に適合するために必要となる機能を達成するための設備又は運用等について説明する。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>溢水による損傷の防止等について、設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条において、追加要求事項を明確化する（表1）。</p>	<p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条を表1.1-1に示す。また、表1.1-1において、新規基準に伴う追加要求事項を明確化する。</p>	<p>1. 基本方針</p> <p>1.1 要求事項の整理</p> <p>設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条を表1.1-1に示す。また、表1.1-1において、新規基準に伴う追加要求事項を明確化する。</p>	
<p>表1 設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条 要求事項</p>	<p>表1.1-1 設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条要求事項</p>	<p>表1.1-1 設置許可基準規則第9条及び技術基準規則第12条 要求事項</p>	
<p>設置許可基準規則 第9条 安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水による損傷の防止等においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p>	<p>設置許可基準規則第9条 (溢水による損傷の防止等)</p>	<p>設置許可基準規則第9条 (溢水による損傷の防止等)</p>	
<p>技術基準規則 第12条(発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止) 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における溢水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p>	<p>技術基準規則第12条 (発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止)</p>	<p>技術基準規則第12条 (発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止)</p>	
<p>備考 追加要求事項 変更なし</p>	<p>備考 追加要求事項</p>	<p>備考 追加要求事項</p>	



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>ロ. 原子炉施設の一般構造</p> <p>(3) その他の主要な構造</p> <p>(i) 本原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針の基に安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設</p> <p>(d) 溢水による損傷の防止</p> <p>安全施設は、原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>そのために、原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。溢水の影響を受けて運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故が発生した場合に、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても異常状態を取束できる設計とする。さらに、使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。</p> <p>なお、原子炉施設内における溢水として、原子炉施設内に設置された機器、配管の破損（地震起因を含む。）、消火水系（スプリンクラーを含む。）等の動作又は使用済燃料ピットのスロッシングにより発生した溢水を考慮する。</p>	<p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>(3) その他の主要な構造</p> <p>(i) 本発電用原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針のもとに安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設</p> <p>(d) 溢水による損傷の防止等</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに、使用済燃料プールにおいては、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備（以下「溢水防護対象設備」という。）について、これら設備が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。</p> <p>また、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を取束できる設計とする。</p>	<p>1.2 追加要求事項に対する適合性</p> <p>(1) 位置、構造及び設備</p> <p>ロ. 発電用原子炉施設の一般構造</p> <p>(3) その他の主要な構造</p> <p>(i) 本発電用原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針のもとに安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設</p> <p>(d) 溢水による損傷の防止</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに、使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備（以下「溢水防護対象設備」という。）について、これら設備が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。</p> <p>また、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」に基づき必要な機器の単一故障を考慮しても、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生により、炉心損傷に至ることなく当該事象を取束できる設計とする。</p>	<p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><b>【大飯】</b>  <a href="#">記載方針の相違</a>          ・女川審査実績の反映</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a>          ・内部溢水により原子炉に外乱が及ぶ場合について、女川はその溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行っている。          ・一方泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行わない。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>溢水の影響では、溢水源として発生要因別に分類した以下の溢水を想定する。</p> <p>また、溢水評価に当たっては、溢水防護区画を設定し、溢水評価が保守的になるように溢水経路を設定する。</p> <p>現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</li> <li>・発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</li> <li>・地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</li> </ul> <p>発生を想定するこれらの溢水に対し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、溢水評価に当たっては、防護対象設備の機能喪失高さ（溢水の影響を受けて、防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ）、溢水防護区画を構成する壁、扉、堰等については、現場の設備等の設置状況を踏まえ、評価条件を設定する。</p> <p>溢水評価において、溢水影響を軽減することを期待する壁、扉、堰等の浸水防護設備、保護カバー、防護カバー、立坑、排水トンネル等の設備については、保守管理、水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>なお、設計基準対象施設は、原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損によって当該容器又は配管から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-4)】</p>	<p>溢水評価では、溢水源として発生要因別に分類した以下の溢水を主として想定する。</p> <p>また、溢水評価に当たっては、溢水防護区画を設定し、溢水評価が保守的になるように溢水経路を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</li> <li>・発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</li> <li>・地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料プール等のスロッシングにより発生する溢水を含む。）</li> </ul> <p>溢水評価に当たっては、溢水防護対象設備の機能喪失高さ（溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ）及び溢水防護区画を構成する壁、扉、堰、設備等の設置状況を踏まえ、評価条件を設定する。</p> <p>溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、床ドレンライン、防護カバー、ブローアウトパネル等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p>	<p>溢水評価では、溢水源として発生要因別に分類した以下の溢水を主として想定する。</p> <p>また、溢水評価に当たっては、溢水防護区画を設定し、溢水評価が保守的になるように溢水経路を設定する。</p> <p>現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</li> <li>・発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</li> <li>・地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料ピット等のスロッシングにより発生する溢水を含む。）</li> </ul> <p>溢水評価に当たっては、溢水防護対象設備の機能喪失高さ（溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ）及び溢水防護区画を構成する壁、扉、堰、設備等の設置状況を踏まえ、評価条件を設定する。</p> <p>溢水評価において、溢水影響を軽減するための壁、扉、堰等の浸水防護設備、保護カバー、ブローアウトパネル等の設備については、必要により保守点検や水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は、現場操作が必要な設備に対するアクセス性についても記載する方針としている。（大飯の審査実績を反映）</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溢水評価で考慮する設備として女川は床ドレンラインに期待しているが、泊では床ドレンラインが複数ある場合でも排水に期待せず評価を実施している。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ヌ、その他原子炉の付属施設の構造及び設備</p> <p>(3) その他の主要な事項</p> <p>(ii) 浸水防護設備</p> <p>b. 内部溢水に対する防護設備</p> <p>安全施設は、原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのない設計とする。そのために、原子炉施設内に設置された機器、配管の破損（地震起因を含む。）、消火水系（スプリンクラーを含む。）等の動作又は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水が発生した場合においても、原子炉施設内における壁、扉、堰等により、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。また、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-4)】</p> <p>原子炉周辺建屋堰 個 数 7</p> <p>原子炉周辺建屋水密扉 個 数 17</p> <p>制御建屋水密扉 個 数 4</p>	<p>(3) その他の主要な事項</p> <p>「(ii) 浸水防護設備」を以下のとおり追加する。</p> <p>(ii) 浸水防護設備</p> <p>b. 内部溢水に対する防護設備</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。そのために、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火系統等の作動、使用済燃料プール等のスロッシングその他の事象による溢水が発生した場合においても、発電用原子炉施設内における壁、扉、堰等により、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。また、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。</p>	<p>ヌ、その他発電用原子炉の附属施設の構造及び設備</p> <p>(3) その他の主要な事項</p> <p>(ii) 浸水防護設備</p> <p>b. 内部溢水に対する防護設備</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。そのために、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火水系等の作動、使用済燃料ピット等のスロッシングその他の事象による溢水が発生した場合においても、発電用原子炉施設内における壁、扉、堰等により、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。また、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</p>	<p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているが、女川及び泊には設置されていない。</li> <li>・以下、スプリンクラーに関する記載については同様であるため、差異の説明は省略する。</li> </ul> <p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul>



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 安全設計方針</p> <p>1.8 溢水防護に関する基本方針</p> <p>1.8.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>「<b>实用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則</b>（以下「<b>設置許可基準規則</b>」という。）<b>第九条（溢水による損傷の防止等）</b>」の要求事項を踏まえ、安全施設は、原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>そのために、原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。<b>溢水の影響を受けて運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故が発生した場合に、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても異常状態を収束できる設計とする。</b></p> <p>さらに、使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</p> <p>ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「<b>防護対象設備</b>」という。設置許可基準規則<b>第九条及び第十二条並びに「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド（平成26年8月6日原規技発第1408064号原子力規制委員会決定）」</b>（以下「<b>溢水ガイド</b>」という。）の<b>要求事項を踏まえ、以下の設備を防護対象設備とする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備</li> <li>・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備</li> </ul> <p><b>原子炉施設内における溢水として、原子炉施設内に設置された機器、配管の破損（地震起因を含む）、消火水系（スプリンクラーを含む）等の動作又は使用済燃料ピットのスロッシングにより発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なうことのない設計（多重性又は多様性を有</b></p>	<p>(2) 安全設計方針</p> <p>1.7 溢水防護に関する基本方針</p> <p>設置許可基準規則の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。</p> <p>さらに、<b>使用済燃料プール</b>においては、<b>使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。</b></p> <p>これらの機能を維持するために必要な設備（以下1.7では「<b>溢水防護対象設備</b>」という。）について、設置許可基準規則<b>第9条及び第12条の要求事項を踏まえ「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド（平成26年8月6日原規技発第1408064号原子力規制委員会決定）」</b>（以下「<b>溢水評価ガイド</b>」という。）も参照し、以下のとおり選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備</li> <li>・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備</li> </ul> <p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む）、消火系統等の作動及び<b>使用済燃料プール</b>等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮し、<b>溢水防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。さら</b></p>	<p>(2) 安全設計方針</p> <p>1.7 溢水防護に関する基本方針</p> <p>設置許可基準規則の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。</p> <p>さらに、<b>使用済燃料ピット</b>においては、<b>使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</b></p> <p>これらの機能を維持するために必要な設備（以下1.7では「<b>溢水防護対象設備</b>」という。）について、設置許可基準規則<b>第9条及び第12条の要求事項を踏まえ「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド（平成26年8月6日原規技発第1408064号原子力規制委員会決定）」</b>（以下「<b>溢水評価ガイド</b>」という。）も参照し、以下のとおり選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備</li> <li>・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備</li> </ul> <p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む）、消火水系等の作動及び<b>使用済燃料ピット</b>等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮し、<b>溢水防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なうことのない設計）とす</b></p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>              ・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>する設備が同時にその安全機能を損なうことのない設計」とする。</p> <p>評価に当たっては、安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故が発生した場合、それらに対処するために必要な機器の単一故障を考慮しても異常状態を収束できる設計とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、地滑り等の自然現象による波及的影響により発生する溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置も踏まえて、最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。具体的には、屋外にあるすべてのタンクについて地震起因によるタンクに付属する配管の破損、竜巻による飛来物の衝突及び地滑りによる屋外タンクの破損を考慮しても、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>地下水による溢水に関しては、建屋基礎下に設置している集水管により、建屋最下層にある湧水サンプルに集水する設計とする。また、周囲の地下水水位を考慮しても、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管が破損することにより、当該容器又は配管から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p>具体的な溢水評価に関する設計方針を、「1.8.2 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」及び「1.8.3 使用済燃料ピットの溢水評価に関する設計方針」にて説明する。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-4)(2-9-別1補-4, 520～541, 573～587)】</p> <p>また、溢水防護のために実施する対策について「1.8.4 溢水防護に関する設計方針」にて説明する。</p>	<p>に、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下「安全評価指針」という。）に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により発生する溢水に関しては、溢水防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置も踏まえて、最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p>	<p>る。さらに、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下「安全評価指針」という。）に基づき必要な機器の単一故障を考慮しても、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生により、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により発生する溢水に関しては、溢水防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置も踏まえて、最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p>	<p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内部溢水により原子炉に外乱が及ぶ場合について、女川はその溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行っている。</li> <li>一方泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行っていない。</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川審査実績の反映</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川審査実績の反映</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.2.2 防護対象設備の設定</p> <p>防護対象設備は、原子炉施設内で発生した溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を損なうことのない設計（原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計。）とするために必要な設備とする。</p> <p>具体的には、原子炉の停止、高温停止、低温停止及びその維持に必要な系統設備として、以下を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①原子炉停止：原子炉停止系</li> <li>②ほう酸添加：原子炉停止系（化学体積制御系のほう酸注入機能等）</li> <li>③崩壊熱除去：補助給水系、主蒸気系、余熱除去系</li> <li>④1次系減圧：1次冷却系統の減圧機能</li> <li>⑤上記系統の関連系（原子炉補機冷却系、制御用空気系、換気空調系、非常用電源系、冷水系、電気盤）</li> <li>⑥その他</li> </ul> <p>以上の系統設備に加え、原子炉施設の安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故を対象として、溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱に対処する設備を抽出する。抽出に当たっては溢水事象となり得る運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故も評価対象とする。</p> <p>原子炉外乱としては、以下の溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱を考</p>	<p>1.7.1 設計上対処すべき施設を抽出するための方針</p> <p>溢水によってその安全機能が損なわれないことを確認する必要がある施設を、「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」（以下「重要度分類審査指針」という。）における分類のクラス1、クラス2及びクラス3に属する構築物、系統及び機器とする。</p> <p>この中から、溢水防護上必要な機能を有する構築物、系統及び機器を選定する。具体的には、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要な設備、また、停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するため並びに使用済燃料プールの冷却機能及び給水機能を維持するために必要となる、重要度分類審査指針における分類のクラス1、2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>以上を踏まえ、溢水防護対象設備として、重要度の特に高い安全機能を有する構築物、系統及び機器並びに使用済燃料プールの冷却機能及び給水機能を維持するために必要な構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>なお、上記に含まれない構築物、系統及び機器は、溢水により損傷した場合であっても、代替手段があること等により安全機能は損なわれない。</p>	<p>1.7.1 設計上対処すべき施設を抽出するための方針</p> <p>溢水によってその安全機能が損なわれないことを確認する必要がある施設を、「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」（以下「重要度分類審査指針」という。）における分類のクラス1、クラス2及びクラス3に属する構築物、系統及び機器とする。</p> <p>この中から、溢水防護上必要な機能を有する構築物、系統及び機器を選定する。具体的には、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要な設備、また、停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するため並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を維持するために必要となる、重要度分類審査指針における分類のクラス1、2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>以上を踏まえ、溢水防護対象設備として、重要度の特に高い安全機能を有する構築物、系統及び機器並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を維持するために必要な構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>なお、上記に含まれない構築物、系統及び機器は、溢水により損傷した場合であっても、代替手段があること等により安全機能は損なわれない。</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>慮する。地震に対しては溢水だけでなく、地震に起因する原子炉外乱（主給水流量喪失、外部電源喪失等）も考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定破損による溢水（単一機器の破損を想定）</li> <li>・消火水の放水による溢水（単一の溢水源を想定）</li> <li>・地震起因による溢水（耐震B、Cクラスの機器の破損を想定）</li> </ul> <p>溢水評価上想定する起因事象として抽出する運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故を第1.8.2表及び第1.8.3表に示す。また、溢水評価上想定する事象とその対処系統を第1.8.4表に示す。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-8、9、97～125）（2-9-別1補-4～31、508～519）】</p> <p>なお、抽出された防護対象設備のうち、以下の設備は溢水影響を受けても、必要とされる安全機能を損なうことはない。</p> <p>(1) フェイルポジションで安全機能に影響しない設備  「フェイル アズ イズ」でも安全機能に影響しない電動弁、「フェイル ポジション」でも安全機能に影響しない空気作動弁等、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備。</p> <p>(2) 原子炉格納容器内の設備  原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（圧力、温度及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様を有する設備又は溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でない設備。</p> <p>(3) 溢水の影響を受けない設備  溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失しない容器、熱交換器、フィルタ、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器。</p>	<p>以上の考えに基づき選定された溢水から防護すべき系統設備を第1.7-1表に示す。</p> <p>なお、抽出された溢水防護対象設備のうち、以下の設備は溢水影響を受けても、必要とされる安全機能を損なわないことから、溢水による影響評価の対象として抽出しない。</p> <p>(1) 溢水の影響を受けない静的機器  構造が単純で外部から動力の供給を必要としないことから、溢水の影響を受けて安全機能を損なわない容器、熱交換器、フィルタ、安全弁、逆止弁、手動弁、配管及び没水に対する耐性を有するケーブル。</p> <p>(2) 原子炉格納容器内に設置されている機器  原子炉格納容器内で想定される溢水である原子炉冷却材喪失時の原子炉格納容器内の状態を考慮しても、没水、被水及び蒸気の影響を受けないことを試験も含めて確認している機器。</p> <p>(3) 動作機能の喪失により安全機能に影響しない機器  機能要求のない電動弁及び状態が変わらず安全機能に影響しない電動弁。  フェイル・セーフ設計となっている機器であり、溢水の影響により動作機能を損なった場合においても、安全機能に影響がない機器。</p>	<p>以上の考えに基づき選定された溢水から防護すべき系統設備を第1.7.1表に示す。</p> <p>なお、抽出された溢水防護対象設備のうち、以下の設備は溢水影響を受けても、必要とされる安全機能を損なわないことから、溢水による影響評価の対象として抽出しない。</p> <p>(1) 溢水の影響を受けない静的機器  構造が単純で外部から動力の供給を必要としないことから、溢水の影響を受けて安全機能を損なわない容器、熱交換器、フィルタ、安全弁、逆止弁、手動弁、配管及び没水に対する耐性を有するケーブル。</p> <p>(2) 原子炉格納容器内に設置されている機器  原子炉格納容器内で想定される溢水である原子炉冷却材喪失時の原子炉格納容器内の状態を考慮しても、没水、被水及び蒸気の影響を受けないことを試験も含めて確認している機器。</p> <p>(3) 動作機能の喪失により安全機能に影響しない機器  機能要求のない電動弁及び状態が変わらず安全機能に影響しない電動弁。  フェイル・セーフ設計となっている機器であり、溢水の影響により動作機能を損なった場合においても、安全機能に影響がない機器。</p>	<p>【大飯】  記載方針の相違  ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】  記載方針の相違  ・女川審査実績の反映  ・大飯と泊では溢水防護対象設備から除外する設備の記載順が異なる（(1)と(3)が逆）が、防護対象設備から除外する考え方に相違は無い。</p>



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) <b>その他設備で代替できる設備</b>                      補助給水隔離弁の隔離機能は、補助給水流量調節弁の隔離機能により代替。</p> <p>以上の考えに基づき選定された溢水から防護すべき系統設備を第1.8.5表に示す。                      【別添資料1（2-9-別1-9～12）                      （2-9-別1 補-11～13, 32～53）】</p> <p>1.8.2 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針                      1.8.2.1 溢水源及び溢水量の想定                      溢水源及び溢水量としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定して評価する。</p> <p>①溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。）                      ②発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。）                      ③地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（以下「地震起因による溢水」という。）</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋内において、流体を内包する容器及び配管を溢水源となり得る機器として抽出する。ここで抽出された機器のうち、上記①又は③の評価において破損を想定するものは、それぞれの評価での溢水源として考慮する。</p>	<p>(4) <b>他の機器で代替できる機器</b>                      他の機器により要求機能が代替できる機器。ただし、代替する他の機器が同時に機能喪失しない場合に限る。</p> <p>(第1.7-1表 溢水から防護すべき系統)</p> <p>1.7.2 考慮すべき溢水事象</p> <p>溢水源及び溢水量としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定して評価することとし、評価条件については溢水評価ガイドを参照する。</p> <p>a. 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。）                      b. 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。）                      c. 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料プール等のスロッシングにより発生する溢水を含む。）（以下「地震起因による溢水」という。）                      d. その他の要因（地下水の流入、地震以外の自然現象、機器の誤作動等）により生じる溢水（以下「その他の溢水」という。）</p> <p>溢水源となり得る機器は、流体を内包する容器及び配管とし、a.又はc.の評価において破損を想定するものは、それぞれの評価での溢水源として設定する。</p> <p>a.又はb.の溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損又は単一箇所での異常状態の発生とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定する。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定す</p>	<p>(4) <b>他の機器で代替できる機器</b>                      他の機器により要求機能が代替できる機器。ただし、代替する他の機器が同時に機能喪失しない場合に限る。</p> <p>1.7.2 考慮すべき溢水事象</p> <p>溢水源及び溢水量としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定して評価することとし、評価条件については溢水評価ガイドを参照する。</p> <p>a. 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。）                      b. 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。）                      c. 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料ピット等のスロッシングにより発生する溢水を含む。）（以下「地震起因による溢水」という。）                      d. その他の要因（地下水の流入、地震以外の自然現象、機器の誤作動等）により生じる溢水（以下「その他の溢水」という。）</p> <p>溢水源となり得る機器は、流体を内包する容器及び配管とし、a.又はc.の評価において破損を想定するものはそれぞれの評価での溢水源として設定する。</p> <p>a.又はb.の溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損又は単一箇所での異常状態の発生とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定する。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p> <p><a href="#">記載箇所の相違</a>                      女川は1.7.1項の最後に第1.7-1表があるが、泊は資料の最終段に掲載しているため、比較表後段の9-47頁に記載している。</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>なお、海水ポンプエリア及び防護対象設備が設置されている建屋外の溢水源については、地震、津波、竜巻、地滑り等を考慮する。具体的には、「1.8.2.5 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針」及び「1.8.2.6 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針」にて説明する。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-6～7）】</p> <p>(1) 想定破損による溢水</p> <p>以下で定義する高エネルギー配管及び低エネルギー配管に分類して破損を想定し浸水、被水及び蒸気による影響を評価する。</p> <p>※1 「高エネルギー配管」は、呼び径 25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gage]を超える配管。ただし、被水、蒸気については配管径に関係なく影響を評価する。</p> <p>※2 「低エネルギー配管」は、呼び径 25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ、運転圧力が1.9MPa[gage]以下の配管。(ただし、静水頭圧の配管は除く。)</p> <p>※3 高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-16～18）                  (2-9-別1 補-170～171)</p>	<p>る。号炉間で共用する建屋及び一体構造の建屋に設置される機器にあっては、共用、非共用機器に係わらず、その建屋内で単一の溢水源を想定し、建屋全体の溢水経路を考慮する。</p> <p>1.7.3 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>1.7.3.1 想定破損による溢水</p> <p>(1) 想定破損における溢水源の想定</p> <p>想定破損による溢水については、単一の配管の破損による溢水を想定して、配管の破損箇所を溢水源として設定する。</p> <p>また、破損を想定する配管は、内包する流体のエネルギーに応じて、以下で定義する高エネルギー配管又は低エネルギー配管に分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「高エネルギー配管」とは、呼び径 25A(1B)を超える配管であって、プラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gage]を超える配管。ただし、被水及び蒸気の影響については配管径に関係なく評価する。</li> <li>「低エネルギー配管」とは、呼び径 25A(1B)を超える配管であって、プラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ運転圧力が1.9MPa[gage]以下の配管。ただし、被水の影響については配管径に関係なく評価する。なお、運転圧力が静水頭圧の配管は除く。</li> <li>高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。</li> </ul>	<p>合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定する。</p> <p>1.7.3 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>1.7.3.1 想定破損による溢水</p> <p>(1) 想定破損における溢水源の想定</p> <p>想定破損による溢水については、単一の配管の破損による溢水を想定して、配管の破損箇所を溢水源として設定する。</p> <p>また、破損を想定する配管は、内包する流体のエネルギーに応じて、以下で定義する高エネルギー配管又は低エネルギー配管に分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「高エネルギー配管」とは、呼び径 25A(1B)を超える配管であって、プラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gage]を超える配管。ただし、被水及び蒸気の影響については配管径に関係なく評価する。</li> <li>「低エネルギー配管」とは、呼び径 25A(1B)を超える配管であって、プラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ運転圧力が1.9MPa[gage]以下の配管。ただし、被水の影響については配管径に関係なく評価する。なお、運転圧力が静水頭圧の配管は除く。</li> <li>高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。</li> </ul>	<p><u>設備の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊3には泊1/2号と共用する建屋は存在しない。</li> <li>泊3では、a.又はb.の溢水源の想定に当たっては、連結する建屋内で単一の溢水源を想定するが、溢水防護区画内の水位が最も高くなるよう、連結された建屋全体の溢水経路だけでなく、単独建屋内の溢水経路も考慮している。</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川審査実績の反映。</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川審査実績の反映。</li> </ul>



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>破損を想定する位置は、安全機能への影響が最も大きくなる位置とする。</p> <p>配管の破損形状の想定に当たっては、「<a href="#">溢水ガイド附属書A</a>」にしたがい、高エネルギー配管は、原則「完全全周破断」、低エネルギー配管は、原則「貫通クラック」を想定する。ただし、<a href="#">溢水ガイド</a>では、以下のとおり、応力評価の結果により、破損形状を想定できることが定められている。</p> <p><a href="#">溢水ガイド</a>では、配管の一次+二次応力 <math>S_n</math> が許容応力 <math>S_a</math> に対し以下の条件を満足すれば、それに応じた破損形状の想定が可能であることを規定している。</p> <p><b>【高エネルギー配管（ターミナルエンドを除く。）】</b>  <math>S_n \leq 0.4S_a</math> 破損想定不要  <math>0.4S_a &lt; S_n \leq 0.8S_a</math> 貫通クラック</p> <p>なお、高エネルギー配管のターミナルエンドは、応力評価の結果にかかわらず「完全全周破断」を想定する。</p>	<p>配管の破損形状の想定に当たっては、高エネルギー配管は、原則「完全全周破断」、低エネルギー配管は、原則「配管内径の1/2の長さで配管肉厚の1/2の幅を有する貫通クラック」（以下「貫通クラック」という。）を想定する。ただし、応力評価を実施する配管については、発生応力 <math>S_n</math> と許容応力 <math>S_a</math> の比により、以下で示した応力評価の結果に基づく破損形状を想定する。また、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。</p> <p><b>【高エネルギー配管（ターミナルエンド部を除く。）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリの配管             <ul style="list-style-type: none"> <li>(a)クラス1配管  <math>S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*1}</math>, 疲れ累積係数 <math>\leq 0.1</math>                      ⇒破損想定不要</li> <li>(b)クラス2配管  <math>S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*1}</math> ⇒破損想定不要</li> </ul> </li> <li>※1 クラス1配管は <math>2.4S_m</math> 以下, クラス2配管は <math>0.8S_a</math> 以下</li> <li>原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管             <ul style="list-style-type: none"> <li>(a)クラス1配管  <math>S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*2}</math>, 疲れ累積係数 <math>\leq 0.1</math>                      ⇒破損想定不要</li> <li><math>0.4 \times \text{許容応力}^{*2} &lt; S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*3}</math>, 疲れ累積係数 <math>\leq 0.1</math> ⇒貫通クラック</li> <li>(b)クラス2, 3又は非安全系配管  <math>S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*2}</math> ⇒破損想定不要</li> <li><math>0.4 \times \text{許容応力}^{*2} &lt; S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*3}</math>                      ⇒貫通クラック</li> </ul> </li> <li>※2 クラス1配管は <math>1.2S_m</math> 以下, クラス2, 3又は非安全系配管は <math>0.4S_a</math> 以下</li> <li>※3 クラス1配管は <math>2.4S_m</math> 以下, クラス2, 3又は非安全系配管は <math>0.8S_a</math> 以下</li> </ul>	<p>配管の破損形状の想定に当たっては、高エネルギー配管は、原則「完全全周破断」、低エネルギー配管は、原則「配管内径の1/2の長さで配管肉厚の1/2の幅を有する貫通クラック」（以下「貫通クラック」という。）を想定する。ただし、応力評価を実施する配管については、発生応力 <math>S_n</math> と許容応力 <math>S_a</math> の比により、以下で示した応力評価の結果に基づく破損形状を想定する。また、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。</p> <p><b>【高エネルギー配管（ターミナルエンド部を除く。）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリの配管             <ul style="list-style-type: none"> <li>(a)クラス1配管  <math>S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*1}</math>, 疲れ累積係数 <math>\leq 0.1</math>                      ⇒破損想定不要</li> <li>(b)クラス2配管  <math>S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*1}</math> ⇒破損想定不要</li> </ul> </li> <li>※1 クラス1配管は <math>2.4S_m</math> 以下, クラス2配管は <math>0.8S_a</math> 以下</li> <li>原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管             <ul style="list-style-type: none"> <li>(a)クラス1配管  <math>S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*2}</math>, 疲れ累積係数 <math>\leq 0.1</math>                      ⇒破損想定不要</li> <li><math>0.4 \times \text{許容応力}^{*2} &lt; S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*3}</math>, 疲れ累積係数 <math>\leq 0.1</math> ⇒貫通クラック</li> <li>(b)クラス2, 3又は非安全系配管  <math>S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*2}</math> ⇒破損想定不要</li> <li><math>0.4 \times \text{許容応力}^{*2} &lt; S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*3}</math>                      ⇒貫通クラック</li> </ul> </li> <li>※2 クラス1配管は <math>1.2S_m</math> 以下, クラス2, 3又は非安全系配管は <math>0.4S_a</math> 以下</li> <li>※3 クラス1配管は <math>2.4S_m</math> 以下, クラス2, 3又は非安全系配管は <math>0.8S_a</math> 以下</li> </ul>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【低エネルギー配管】</p> <p><math>S_n \leq 0.4S_a</math> 破損想定不要</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-19, 20, 21)(2-9-別1補-172~194)】</p> <p>高エネルギー配管の溢水評価では、応力評価の結果により想定した破損形状による溢水を想定し、異常の検知、事象の判断、漏えい箇所の特定、漏えい箇所の隔離等により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作を含む。）に保守性を考慮して設定し、溢水量を算出する。</p> <p>また、隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を考慮する。想定する破損箇所は防護対象設備への溢水影響が最も大きくなる位置とする。</p> <p>低エネルギー配管の溢水評価では、貫通クラックによる溢水を想定し、隔離による漏えい停止に必要な時間から溢水量を算出する。また、隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を考慮する。想定する破損箇所は防護対象設備への溢水影響が最も大きくなる位置とする。ただし、応力評価結果により、一次+二次応力 <math>S_n</math> が許容応力 <math>S_a</math> に対して、判定条件 (<math>S_n \leq 0.4S_a</math>) を満足する配管については破損を想定しない。</p> <p>応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1補-76~169, 195, 498~507)】</p>	<p>【低エネルギー配管】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリの配管  <math>S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow</math> 破損想定不要</li> <li>原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管  <math>S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*4} \Rightarrow</math> 破損想定不要</li> </ul> <p>※4 クラス1配管は1.2Sm以下、クラス2, 3又は非安全系配管は0.4Sa以下</p> <p>ここで <math>S_n</math>, <math>S_m</math> 及び <math>S_a</math> は日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005)」による。</p> <p>(2) 想定破損における溢水量の設定</p> <p>想定する破損箇所は溢水防護対象設備への溢水影響が最も大きくなる位置とし、溢水量は、異常の検知、事象の判断及び漏えい箇所の特定並びに現場又は中央制御室からの隔離により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作含む。）を適切に考慮し、想定する破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。なお、手動による漏えい停止の手順は、保安規定又はその下位規定に定める。</p> <p>ここで、漏水量は、配管の破損形状を考慮した流出流量に漏水箇所の隔離までに必要な時間（以下「隔離時間」という。）を乗じて設定する。</p>	<p>【低エネルギー配管】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリの配管  <math>S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow</math> 破損想定不要</li> <li>原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管  <math>S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*4} \Rightarrow</math> 破損想定不要</li> </ul> <p>※4 クラス1配管は1.2Sm以下、クラス2, 3又は非安全系配管は0.4Sa以下</p> <p>ここで <math>S_n</math>, <math>S_m</math> 及び <math>S_a</math> は日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005)」による。</p> <p>(2) 想定破損における溢水量の設定</p> <p>想定する破損箇所は溢水防護対象設備への溢水影響が最も大きくなる位置とし、溢水量は、異常の検知、事象の判断及び漏えい箇所の特定並びに現場又は中央制御室からの隔離により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作含む。）を適切に考慮し、想定する破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。なお、手動による漏えい停止の手順は、保安規定又はその下位規定に定める。</p> <p>ここで、漏水量は、配管の破損形状を考慮した流出流量に漏水箇所の隔離までに必要な時間（以下「隔離時間」という。）を乗じて設定する。</p>	<p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川審査実績の反映</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川審査実績の反映</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 消火水の放水による溢水</p> <p>消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量若しくは、火災源が小さい場合においては、その可燃性物質の量及び等価火災時間を考慮した消火活動に伴う放水により想定される溢水量を設定する。</p> <p>スプリンクラーからの放水については、「1.7 火災防護に関する基本方針」で示されている放水量を用い、放水停止に要する時間については、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、現場到着までの時間、状況確認及びスプリンクラーの放水停止までの時間に保守性を考慮して設定し、溢水量を算出する。スプリンクラーには自動起動及び手動起動があるが、溢水評価においては両者を区別せずに溢水量を算出する。なお、高エネルギー配管破断時の環境温度よりも高い動作温度のスプリンクラーヘッドを適用することで高エネルギー配管の破損によってもスプリンクラーが誤って動作しないため、高エネルギー配管破断とスプリンクラーからの放水による溢水をあわせて想定しない。</p>	<p>1.7.3.2 消火水の放水による溢水</p> <p>(1) 消火水の放水による溢水源の想定</p> <p>消火水の放水による溢水については、発電用原子炉施設内に設置される消火設備等からの放水を溢水源として設定する。</p> <p>消火栓以外の設備としては、スプリンクラーや格納容器スプレー冷却系があるが、溢水防護対象設備が設置されている建屋には、スプリンクラーは設置しない設計とし、</p> <p>溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とすることから溢水源として想定しない。</p> <p>また、原子炉格納容器内の溢水防護対象設備については、格納容器スプレー冷却系の作動によって発生する溢水により安全機能を損なわない設計とする。なお、格納容器スプレー冷却系は、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから誤作動による溢水は想定しない。</p> <p>(2) 消火水の放水による溢水量の想定</p> <p>消火設備等からの単位時間当たりの放水量と放水時間から溢水量を設定する。</p> <p>消火設備等のうち、消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量を設定する。</p>	<p>1.7.3.2 消火水の放水による溢水</p> <p>(1) 消火水の放水による溢水源の想定</p> <p>消火水の放水による溢水については、発電用原子炉施設内に設置される消火設備等からの放水を溢水源として設定する。</p> <p>消火栓以外の設備としては、スプリンクラーや格納容器スプレー系統があるが、溢水防護対象設備が設置されている建屋には、スプリンクラーは設置しない設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とすることから溢水源として想定しない。</p> <p>また、原子炉格納容器内の溢水防護対象設備については、格納容器スプレー系統の作動により発生する溢水により安全機能を損なわない設計とする。なお、格納容器スプレー系統の作動回路は、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから誤作動による溢水は想定しない。</p> <p>(2) 消火水の放水による溢水量の想定</p> <p>消火設備等からの単位時間当たりの放水量と放水時間から溢水量を設定する。</p> <p>消火設備等のうち、消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量若しくは、火災源が小さい場合においては、その可燃性物質の量及び等価火災時間を考慮した消火活動に伴う放水により想定される溢水量を設定する。</p>	<p>相違理由</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を用いて放水量を算定し、溢水量を設定しており、放水量の算定に用いた各区画の火災荷重を上回る量の可燃物が持ち込まれないよう現場管理している。</p> <p>(記載は大飯の審査実績を反映)</p> <p><u>【大飯】</u></p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>・大飯は防護対象設備が設置される建屋内にスプリンクラーが設置されているため、スプリンクラーからの溢水量の算定方針について記載している。女川及び泊にはスプリンクラーは設置されていない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>スプリンクラー設備は消防法施行規則に定める設置及び維持に関する技術上の基準を満足した設計とする。したがって、スプリンクラーヘッド、感知器、予作動弁は消防認定品とする。さらに、感知器から予作動弁に信号を送るケーブルは消防法施行規則第12条及び消防庁告示第11号により認められた耐熱電線を使用することで、耐熱仕様による保護がされているため、予作動弁の開動作に影響を及ぼさず、火災によりケーブルが損傷し、直ちに信号が遮断されることはない設計とする。</p> <p>スプリンクラーからの放水によって、同時に2系統の防護対象設備が機能喪失するおそれがあるエリアにはハロン消火設備又は二酸化炭素消火設備を設置することで、防護対象設備の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>ハロン消火設備又は二酸化炭素消火設備を設置したエリアでは溢水量を考慮しないが、隣接するエリアでの消火栓からの放水及びスプリンクラーからの放水による溢水の伝播を考慮する。</p> <p>なお、高エネルギー配管の破損によるスプリンクラーの誤動作については防止対策を図る設計とする。</p> <p>発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火栓からの放水、スプリンクラーからの放水及び格納容器スプレイ系からの放水があるが、格納容器スプレイ系については原子炉格納容器内でのみ生じ、防護対象設備は耐環境性があることから格納容器スプレイ系の動作により発生する溢水により原子炉格納容器内の防護対象設備が安全機能を損なうことはない。なお、格納容器スプレイ系の作動回路は、チャンネルの単一故障を想定してもその機能を失うことがなく、かつ、誤信号発生による誤作動を防止する設計とする。</p> <p>具体的には、原子炉格納容器圧力異常高の「2 out of 4」信号による自動作動又は中央制御盤上の操作スイッチ2個を同時に操作することによる手動作動としていることを確認する方針とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-43～46，289～310） （2-9-別1補-316～348）】</p>			



第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 地震起因による溢水</p> <p>溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動による地震力により破損が生じる機器を溢水源として想定する。</p> <p>耐震Sクラスの機器については、基準地震動による地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるもの（水位制限によるものを含む。）又は耐震対策工事により、耐震性を確保するものについては溢水源として想定しない。</p> <p>耐震B、Cクラスの機器が、耐震性を確保する耐震B、Cクラスの機器に対して、波及的影響を及ぼさないことを確認する方針とする。耐震強度評価又は耐震対策工事により耐震性が確保される機器を第1.8.1表に示す。</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価する。溢水源となる容器については全保有水量を考慮し、溢水源となる配管については完全全周破断による溢水量を考慮する。また、運転員による手動操作により漏えい停止を行う溢水源に対して、異常の検知、事象の判断、漏えい箇所の特定、漏えい箇所の隔離等により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作を含む。）に保守性を考慮して設定し、溢水量を算出するとともに、隔離後の隔離範囲内の系統の保有水量を溢水量に考慮する。</p>	<p>1.7.3.3 地震起因による溢水</p> <p>(1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水</p> <p>①地震起因による溢水源の想定</p> <p>地震起因による溢水については、溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動Ssによる地震力により破損が生じる機器を溢水源として設定する。</p> <p>耐震Sクラス機器については、基準地震動Ssによる地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。また、耐震B及びCクラス機器のうち耐震対策工事の実施又は設計上の裕度の考慮により、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性が確保されているものについては溢水源として想定しない。</p> <p>②地震起因による溢水量の設定</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価する。溢水源となる配管については破断形状を完全全周破断とし、溢水源となる容器については全保有水量を考慮した上で、溢水量を算出する。</p> <p>また、漏えい検知による漏えい停止を期待する場合は、漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。</p> <p>ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。なお、地震による機器の破損が複数箇所と同時に発生する可能性を考慮し、漏えい検知による自動隔離機能を有する場合を除き、隔離による漏えい停止は期待しない。</p>	<p>1.7.3.3 地震起因による溢水</p> <p>(1) 発電所内に設置された機器の破損による漏水</p> <p>① 地震起因による溢水源の想定</p> <p>地震起因による溢水については、溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動Ssによる地震力により破損が生じる機器を溢水源として設定する。</p> <p>耐震Sクラス機器については、基準地震動Ssによる地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。また、耐震B、Cクラスの機器のうち耐震対策工事の実施又は設計上の裕度の考慮により、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性が確保されているものについては溢水源として想定しない。</p> <p>② 地震起因による溢水量の設定</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価する。溢水源となる配管については破断形状を完全全周破断とし、溢水源となる容器については全保有水量を考慮した上で、溢水量を算出する。</p> <p>また、運転員による手動操作により漏えい停止を行う溢水源に対して、異常の検知、事象の判断、漏えい箇所の特定、漏えい箇所の隔離等により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作を含む。）に保守性を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。</p> <p>ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a>                  ・泊では地震加速度大による原子炉トリップ時、漏えい箇所の特定後に隔離操作を行うのではなく、予め隔離対象機器を運転手順に定め、漏えいの有無に関わらず隔離操作を実施する運用としている。                  （記載は大阪の審査実績を反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量の算出に当たっては、基準地震動による地震力によって生じるスロッシング現象を3次元流動解析により評価し、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を考慮する。</p> <p>また、使用済燃料ピットの初期水位等の評価条件は保守的となるように設定する。</p> <p>水密化区画内には防護対象設備が設置されておらず、かつ、地震起因により水密化区画内で発生が想定される溢水は、区画外へ漏えいしない設計とすることから、防護対象設備への溢水の影響はなく、水密化区画内で発生する溢水は溢水源として想定しない。</p>	<p>基準地震動 Ss による地震力に対して、耐震性が確保されない循環水配管については、伸縮継手の全円周状の破損を想定し、循環水ポンプを停止するまでの間に生じる溢水量を設定する。</p> <p>(2) 使用済燃料プールのスロッシングによる溢水                  ①使用済燃料プールのスロッシングによる溢水源の想定                  使用済燃料プールのスロッシングによる溢水については、基準地震動 Ss による地震力により生じる使用済燃料プールのスロッシングによる漏えい水を溢水源として設定する。</p> <p>②使用済燃料プールのスロッシングによる溢水量の設定                  使用済燃料プールのスロッシングによる溢水量の算出に当たっては、基準地震動 Ss による地震力により生じるスロッシング現象を3次元流動解析により評価し、使用済燃料プール外へ漏えいする水量を考慮する。</p> <p>また、施設定期検査中の使用済燃料プール、原子炉ウェル及び蒸気乾燥機・気水分離器ピットのスロッシングについても評価を実施する。</p>	<p>基準地震動 Ss による地震力に対して、耐震性が確保されない循環水管については、伸縮継手の全円周状の破損を想定し、循環水ポンプを停止するまでの間に生じる溢水量を設定する。</p> <p>(2) 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水                  ① 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水源の想定                  使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水については、基準地震動 Ss による地震力により生じる使用済燃料ピットのスロッシングによる漏えい水を溢水源として設定する。</p> <p>② 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量の設定                  使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量の算出に当たっては、基準地震動 Ss による地震力により生じるスロッシング現象を3次元流動解析により評価し、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を考慮する。</p> <p>また、スロッシングによる溢水量の算出では、施設定期検査中の使用済燃料ピット等の水張り状態も考慮する。</p> <p>水密化区画内には防護対象設備が設置されておらず、かつ地震起因により水密化区画内で発生が想定される溢水は、区画外へ漏えいしない設計とすることから、防護対象設備への溢水の影響はなく、水密化区画内で発生する溢水は溢水源として想定しない。</p>	<p>相違理由</p> <p><u>記載方針の相違</u>                  PWR は原子炉ウェル及び蒸気乾燥機・気水分離器ピットが無い場合、使用済燃料ピットに接続される燃料検査ピット等も含めた施設検査中の水張り状態を考慮して溢水量を算出していることを記載している。</p> <p>【大飯】  <u>記載方針の相違</u>                  ・女川審査実績の反映</p> <p><u>記載方針の相違</u>                  泊は閉鎖区画内に設置されたタンク類が多数あるため、溢水源としてどのように扱うか明記している。(大飯と同じ)                  溢水経路の設定の考え方については女川と泊で相違は無い。                  (記載は大飯の審査実績を反映)</p>



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>耐震強度評価の具体的な考え方を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強度評価に係る応答解析は、基準地震動を用いた動的解析によることとし、機器の応答性状を適切に表現できるモデルを設定する。</li> <li>その上で、当該機器の据付床の水平方向及び鉛直方向それぞれの床応答を用いて応答解析を行い、それぞれの応答解析結果を適切に組み合わせる。</li> <li>応答解析に用いる減衰定数は、安全上適切と認められる規格、基準、既往の振動実験、地震観測の調査結果等を考慮して適切な値を定める。</li> <li>応力評価に当たり、簡易的な手法を用いる場合は評価結果が厳しい箇所については詳細評価を実施することで健全性を確保する。</li> </ul> <p>・基準地震動による発生応力に対する評価基準値は、安全上適切と認められる規格及び基準で規定されている値又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。</p> <p>・バウンダリ機能確保の観点から、設備の実力を反映する場合には規格基準以外の評価基準値の適用も検討する。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-47～49, 335～367, 71～72, 396～414）（2-9-別1 補-349～407）】</p> <p>(4)その他の溢水</p> <p>その他の溢水については、地下水の流入、竜巻による飛来物の衝突による屋外タンクの破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤動作、弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-4, 54, 383～395）】</p>	<p>耐震評価の具体的な考え方を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造強度評価に係る応答解析は、基準地震動 <math>S_s</math> を用いた動的解析によることとし、機器の応答性状を適切に表現できるモデルを設定する。</li> <li>その上で、当該機器の据付床の水平方向及び鉛直方向それぞれの床応答を用いて応答解析を行い、それぞれの応答解析結果を適切に組み合わせる。</li> <li>応答解析に用いる減衰定数は、安全上適切と認められる規格及び基準、既往の振動実験、地震観測の調査結果等を考慮して適切な値を定める。</li> <li>応力評価に当たり、簡易的な手法を用いる場合は詳細な評価手法に対して保守性を有するよう留意し、簡易的な手法での評価結果が厳しい箇所については詳細評価を実施することで健全性を確保する。</li> <li>基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対する発生応力の評価基準値は、安全上適切と認められる規格及び基準で規定されている値又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。</li> <li>バウンダリ機能確保の観点から、設備の実力を反映する場合には規格基準以外の評価基準値の適用も検討する。</li> </ul> <p>1.7.3.4 その他の溢水</p> <p>その他の溢水については、地下水の流入、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤動作、弁グランド部及び配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p>	<p>耐震評価の具体的な考え方を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造強度評価に係る応答解析は、基準地震動 <math>S_s</math> を用いた動的解析によることとし、機器の応答性状を適切に表現できるモデルを設定する。</li> <li>その上で、当該機器の据付床の水平方向及び鉛直方向それぞれの床応答を用いて応答解析を行い、それぞれの応答解析結果を適切に組み合わせる。</li> <li>応答解析に用いる減衰定数は、安全上適切と認められる規格及び基準、既往の振動実験、地震観測の調査結果等を考慮して適切な値を定める。</li> <li>応力評価に当たり、簡易的な手法を用いる場合は詳細な評価手法に対して保守性を有するよう留意し、簡易的な手法での評価結果が厳しい箇所については詳細評価を実施することで健全性を確保する。</li> <li>基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対する発生応力の評価基準値は、安全上適切と認められる規格及び基準で規定されている値又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。</li> <li>バウンダリ機能確保の観点から、設備の実力を反映する場合には規格基準以外の評価基準値の適用も検討する。</li> </ul> <p>1.7.3.4 その他の溢水</p> <p>その他の溢水については、地下水の流入、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤動作、弁グランド部及び配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p>	

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>溢水防護に対する溢水防護区画は、防護対象設備が設置されているすべての区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定する。溢水防護区画は壁、扉、堰等又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離される区画として設定し、溢水防護区画の水位が最も高くなるように保守的に溢水経路を設定する。</p> <p>現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から他区画への流出は想定しない条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。ただし、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から流出することを定量的に確認できる場合は他区画への流出を期待する。</p> <p>溢水防護区画外で発生する溢水に対しては、床ドレン、天井面開口部及び貫通部、壁貫通部、扉から溢水防護区画内への流入を想定した条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を設定する。ただし、床ドレン、天井面開口部及び貫通部、壁貫通部、扉に流入防止対策が施されている場合は溢水防護区画外からの流入を考慮しない。</p> <p>上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。</p>	<p>1.7.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針</p> <p>(1) 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する評価対象区画を溢水防護区画とし、溢水防護対象設備が設置されている全ての区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定する。溢水防護区画は壁、扉、堰、床段差等、又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離される区画として設定し、溢水防護区画を構成する壁、扉、堰、床段差等については、現場の設備等の設置状況を踏まえ、溢水の伝播に対する評価条件を設定する。</p> <p>(2) 溢水経路の設定</p> <p>溢水影響評価において考慮する溢水経路は、溢水防護区画とその他の区画との間における伝播経路となる扉、壁貫通部、天井貫通部、床面貫通部、床ドレン等の接続状況及びこれらに対する溢水防護措置を踏まえ、溢水防護区画内の水位が最も高くなるよう保守的に設定する。</p> <p>具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、貫通部及び扉から他区画への流出は想定しない（床ファンネル、機器ハッチ、開口扉等、定量的に他区画への流出を確認できる場合は除く。）保守的な条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p> <p>溢水防護区画外で発生する溢水に対しては、床ドレン、開口部、貫通部及び扉を通じた溢水防護区画内への流入が最も多くなるよう（流入防止対策が施されている場合は除く。）保守的な条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p> <p>なお、上層階から下層階への伝播に関しては、全量が伝播するものとする。</p>	<p>1.7.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針</p> <p>(1) 溢水防護区画の設定</p> <p>溢水防護に対する評価対象区画を溢水防護区画とし、溢水防護対象設備が設置されている全ての区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定する。溢水防護区画は壁、扉、堰、床段差等、又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離される区画として設定し、溢水防護区画を構成する壁、扉、堰、床段差等については、現場の設備等の設置状況を踏まえ、溢水の伝播に対する評価条件を設定する。</p> <p>(2) 溢水経路の設定</p> <p>溢水影響評価において考慮する溢水経路は、溢水防護区画とその他の区画との間における伝播経路となる扉、壁貫通部、天井貫通部、床面貫通部、床ドレン等の接続状況及びこれらに対する溢水防護措置を踏まえ、溢水防護区画内の水位が最も高くなるよう保守的に設定する。</p> <p>具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、開口部、貫通部及び扉から他区画への流出は想定しない（定量的に他区画への流出を確認できる場合は除く。）保守的な条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p> <p>溢水防護区画外で発生する溢水に対しては、床ドレン、開口部、貫通部及び扉を通じた溢水防護区画内への流入が最も多くなるよう（流入防止対策が施されている場合は除く。）保守的な条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p> <p>なお、上層階から下層階への伝播に関しては、全量が伝播するものとする。</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載箇所の相違</a>                  ・泊及び女川は、「1.7.5 溢水防護対象設備を防護するための設計方針」に当該内容を記載している。</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>                  ・泊は床ドレン及び機器ハッチから他区画への流出は考慮しておらず、一部の溢水防護区画内の開口部からの流出のみを考慮していることから、記載内容が異なる。                  ・女川も泊も、定量的に他区画への流出を確認出来る場合のみ、溢水防護区画内で生じる溢水が、他区画に流出する評価条件を記載していることに相違は無い。</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>溢水経路を構成する壁、扉、堰等は、基準地震動による地震力に対し健全性を確認できる場合は溢水の伝播防止を期待する。溢水が長期間滞留する水密区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し溢水評価に影響を与えないことを確認する方針とする。</p> <p>貫通部に実施した流出及び流入防止対策は、基準地震動による地震力に対し健全性を確認できる場合は溢水の伝播防止を期待する。</p> <p>消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮する。</p> <p>なお、溢水の影響を受けて防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ（以下「機能喪失高さ」という。）、溢水防護区画を構成する壁、扉、堰等については、現場の設備等の設置状況を踏まえ、評価条件を設定する。</p> <p>防護対象設備の機能喪失高さの考え方を第1.8.6表に示す。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-13～15、126～155）】</p>	<p>溢水経路を構成する壁、扉、堰、床段差等は、基準地震動Ssによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理及び水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。なお、溢水が長期間滞留する区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し、溢水評価に影響を与えないことを確認する。</p> <p>また、貫通部に実施した流出及び流入防止対策も同様に、基準地震動Ssによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。</p> <p>なお、火災により貫通部の止水機能が損なわれる場合には、当該貫通部からの消火水の流入を考慮する。</p> <p>消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮する。</p> <p>また、施設定期検査作業に伴う溢水防護対象設備の待機除外や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合も想定する。</p> <p>具体的には、プラント停止中のスロッシングの発生やハッチ開放時における溢水影響について評価を行い、ハッチ開放時の堰の設置により、溢水影響が他に及ばない運用を行う。</p>	<p>溢水経路を構成する壁、扉、堰、床段差等は、基準地震動Ssによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理及び水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。なお、溢水が長期間滞留する区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し、溢水評価に影響を与えないことを確認する。</p> <p>また、貫通部に実施した流出及び流入防止対策も同様に、基準地震動Ssによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。</p> <p>なお、火災により貫通部の止水機能が損なわれる場合には、当該貫通部からの消火水の流入を考慮する。</p> <p>消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮する。</p> <p>また、施設定期検査作業に伴う溢水防護対象設備の待機除外や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合も想定する。</p> <p>具体的には、プラント停止中のスロッシングの発生やハッチ開放時における溢水影響によって、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a>                  女川は溢水影響評価で溢水経路として想定していないハッチについて、定期検査時等にハッチが開放されることを考慮し、ハッチ開放時には堰を設置する等の運用を定めている。                  一方泊は溢水影響評価でハッチの止水には期待していないことから、定期検査時等であってもハッチの開閉状態は評価に影響しない。</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.2.4 防護対象設備設置建屋内における溢水評価に関する設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水に対して、防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、発生した溢水については、溢水の流入状態、溢水源からの距離、運転員のアクセス等により一時的な水位変動が生じることが考えられることから、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>具体的には、防護対象設備に対して溢水防護区画ごとに算出される溢水水位にゆらぎの影響を踏まえた裕度 100mm を確保する。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1 (2-9-別1-4) (2-9-別1 補-4, 547~554)】</p> <p>1.8.2.4.1 想定破損による溢水影響に対する設計方針                  想定される配管の破損形状に基づいた没水、被水及び蒸気の影響により防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(1) 没水による影響に対する設計方針                  高エネルギー配管の没水評価では、完全全周破断による溢水を想定し溢水量を算出する。                  低エネルギー配管の没水評価では、貫通クラックによる溢水を想定し溢水量を算出する。ただし、応力評価結果より一次+二次応力 <math>S_n</math> が許容応力 <math>S_a</math> に対して判定条件 (<math>S_n \leq 0.4S_a</math>) を満足する配管については破損を想定しない。</p>	<p>1.7.5 溢水防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水及びその他の溢水に対して、溢水防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とするとともに、使用済燃料プールのスロッシングにおける水位低下を考慮しても、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能等が維持できる設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて区画の溢水水位、環境の温度及び放射線量を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>1.7.5.1 没水の影響に対する設計方針                  (1) 没水の影響に対する評価方針                  「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源から発生する溢水量と「1.7.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針」にて設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれがないことを評価する。                  具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p>	<p>1.7.5 溢水防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水及びその他の溢水に対して、溢水防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とするとともに、使用済燃料ピットのスロッシングにおける水位低下を考慮しても、使用済燃料ピットへの給水機能等が維持できる設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて区画の溢水水位、環境の温度及び放射線量を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>1.7.5.1 没水の影響に対する設計方針                  (1) 没水の影響に対する評価方針                  「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源から発生する溢水量と「1.7.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針」にて設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれがないことを評価する。                  具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載箇所の相違</a>                  ・泊及び女川は、「1.7.5.1 没水の影響に対する設計方針」に当該内容を記載している。</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>算出された溢水量、設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>具体的には、以下に示す設計方針のいずれかを満足することで、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。また、いずれの設計方針も満足しない場合は、壁、扉、堰等による没水対策を実施する。</p> <p>a. 溢水水位が防護対象設備の機能喪失高さを上回らないこと。</p> <p>b. 防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>c. 溢水が到達する前に、各々の系統で閉止を期待する弁が自動閉止するために、当該系統の隔離状態が維持されること。</p> <p>d. 当該系統の想定破損発生時に没水する防護対象設備に機能要求がないこと。</p> <p>なお、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-22～32、158～210）                      （2-9-別1 補-76～169）】</p>	<p>a. 発生した溢水による水位が、溢水の影響を受けて溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ（以下「機能喪失高さ」という。）を上回らないこと。このとき、溢水による水位の算出に当たっては、区画の床勾配、区画面積、系統保有水量、流入状態、溢水源からの距離、人員のアクセス等による一時的な水位変動を考慮し、保有水量や伝播経路の設定において十分な保守性を確保するとともに、人員のアクセスルートにおいて発生した溢水による水位に対して100mm以上の裕度が確保されていることとする。なお、区画の床勾配については、設計上の最大水上高さ55mmを機能喪失高さに考慮して裕度を確保する設計とする。区画面積については、躯体寸法から算出した床面積に対して、機器占有率に応じた係数を乗じることで裕度を確保する。系統保有水量については、公称値による算出結果に10%を加味することで裕度を確保する。さらに、溢水防護区画への資機材の持ち込み等による床面積への影響を考慮することとする。</p> <p>機能喪失高さについては、溢水防護対象設備の各付属品の設置状況も踏まえ、没水によって安全機能を損なうおそれのある最低の高さを設定する。</p> <p>溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定における考え方の例を第1.7-2表に示す。</p> <p>b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>その際、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。</p>	<p>a. 発生した溢水による水位が、溢水の影響を受けて溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ（以下「機能喪失高さ」という。）を上回らないこと。このとき、溢水による水位の算出に当たっては、区画の床勾配、区画面積、系統保有水量、流入状態、溢水源からの距離、人員のアクセス等による一時的な水位変動を考慮し、保有水量や伝播経路の設定において十分な保守性を確保するとともに、人員のアクセスルートにおいて発生した溢水による水位に対して100mm以上の裕度が確保されていることとする。なお、区画の床勾配については、設計上の最大水上高さ50mmを機能喪失高さに考慮して裕度を確保する設計とする。区画面積については、躯体寸法から算出した床面積に対して、現場測定により算出した欠損面積を差引くことで算定する。系統保有水量については、公称値による算出結果に10%を加味することで裕度を確保する。さらに、溢水防護区画への資機材の持ち込み等による床面積への影響を考慮することとする。</p> <p>機能喪失高さについては、溢水防護対象設備の各付属品の設置状況も踏まえ、没水によって安全機能を損なうおそれのある最低の高さを設定する。</p> <p>溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定における考え方の例を第1.7.2表に示す。</p> <p>b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>その際、溢水を起因とする運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故に対処するために必要な機器の単一故障を考慮すること。</p>	<p>【大阪】                      記載方針の相違                      ・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違                      ・プラント設計の相違により最大水上高さが異なる。床勾配を考慮して裕度を確保する設計等していることに相違は無い。                      ・泊3では、区画面積は躯体寸法から算出した床面積に対して、溢水防護区画内の設置物の寸法を現場測定により算出した欠損面積を差引くことで算定している。欠損面積の現場測定結果は一律25%割り増しすることで裕度を確保している。</p> <p>設計方針の相違                      ・内部溢水により原子炉に外乱が及ぶ場合について、女川はその溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行っている。                      ・一方泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行わない。</p>

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 没水の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 漏えい検知システム等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室からの遠隔操作（自動又は手動）又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。</p> <p>b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、<b>溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</b></p> <p>d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、<b>溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</b></p> <p>e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システムや<b>床ドレンファンネル</b>からの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>(2) 没水の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 漏えい検知システム等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室からの遠隔操作（自動又は手動）又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。</p> <p>b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、<b>溢水源から除外又は想定溢水量を低減することにより溢水による影響が発生しない設計とする。</b></p> <p>d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、<b>溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</b></p> <p>e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システムや<b>床ドレン排水管</b>からの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p>	<p><b>設計方針の相違</b></p> <p>泊3では評価ガイドに従い、補助蒸気系統および蒸気発生器ブローダウン系統（主蒸気管室以外）に対して応力評価を実施し、破損形態をクラック想定とすることで<b>想定溢水量を低減している。</b></p>



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 被水による影響に対する設計方針</p> <p>溢水源となる機器からの直線軌道及び放物線軌道の飛散による被水又は天井面開口部若しくは貫通部からの被水による影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。ここで、<a href="#">溢水防護区画内</a>において、被水による影響を評価するための区画を評価対象区画という。</p> <p>a. 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。</p> <p>b. 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないこと。</p> <p>c. 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていること。</p> <p>d. 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合であって</p>	<p>② 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 溢水防護対象設備の設置高さを嵩上げし、評価の各段階における保守性と併せて考慮した上で、溢水防護対象設備の機能喪失高さが、発生した溢水による水位を十分な裕度を持って上回る設計とする。</p> <p>b. 溢水防護対象設備周囲に<a href="#">浸水防止堰</a>を設置し、溢水防護対象設備が没水しない設計とする。設置する<a href="#">浸水防止堰</a>については、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>1.7.5.2 被水影響に対する設計方針</p> <p>(1) 被水の影響に対する評価方針</p> <p>「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源からの直線軌道及び放物線軌道の飛散による被水並びに天井面の開口部又は貫通部からの被水の影響を受ける範囲内にある溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。</p> <p>具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p> <p>a. 溢水防護対象設備があらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を生じないよう、以下に示すいずれかの保護構造を有していること。</p> <p>(a) 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有すること。</p> <p>(b) 実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置がなされていること。</p>	<p>② 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 溢水防護対象設備の設置高さを嵩上げし、評価の各段階における保守性と併せて考慮した上で、溢水防護対象設備の機能喪失高さが、発生した溢水による水位を十分な裕度を持って上回る設計とする。</p> <p>b. 溢水防護対象設備周囲に<a href="#">浸水防護堰</a>を設置し、溢水防護対象設備が没水しない設計とする。設置する<a href="#">浸水防護堰</a>については、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>1.7.5.2 被水影響に対する設計方針</p> <p>(1) 被水の影響に対する評価方針</p> <p>「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源からの直線軌道及び放物線軌道の飛散による被水並びに天井面の開口部又は貫通部からの被水の影響を受ける範囲内にある溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。</p> <p>具体的には、以下に示す要求を満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p> <p>a. 溢水防護対象設備があらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を生じないよう、以下に示すいずれかの保護構造を有していること。</p> <p>(a) 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有すること。</p> <p>(b) 実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置がなされていること。</p>	<p>相違理由</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>・泊では被水影響に対する要求事項として1項目のみしか記載していないため、女川と記載表現が異なる。</p> <p><a href="#">【大飯】</a></p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。</p> <p>e. 上記 a.～d.を満足しない場合は、防護対象設備が防滴仕様であること。</p> <p>f. 上記 a.～e.を満足しない場合は、被水防護対策を実施する。</p> <p>ただし、多重性又は多様性を有し各々を別区画に設置している防護対象設備で、同時にその機能を失わない場合は、機能が維持されるものとする。</p> <p>なお、被水評価において、保護カバーやパッキンにより安全機能を損なうことのない設計としている設備については、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なうことのないことを被水試験により確認する方針とする。</p> <p>保護カバー等の概要を第 1.8.1 図に示す。</p> <p>【別添資料 1 (2-9-別 1-33～38, 211～232)                  (2-9-別 1 補-459～481)】</p>	<p>b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないよう別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>その際、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。</p> <p>(2) 被水の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 Ss による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p>	<p>(2) 被水の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 Ss による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p>	<p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は被水評価では多重性や多様性を考慮せず、全ての溢水防護対象設備が機能喪失しないよう対策を施している。</li> <li>・泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行わない。</li> </ul>



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 蒸気による影響に対する設計方針</p> <p>溢水源となる配管のうち高エネルギー配管に対して、一般部については応力評価に応じて貫通クラック又は完全全周破断、ターミナルエンドについては完全全周破断を想定し、蒸気の影響を受けて防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>a. 蒸気拡散影響に対する設計方針</p> <p>防護対象設備に対する、漏えい蒸気の拡散による影響を確認するために、熱流体解析コード（GOTHICコード）を用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施する。</p>	<p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画において固定式消火設備等の水消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限にとどめるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。</p> <p>②溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有する機器への取替を行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置を行う。</p> <p>1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する設計方針</p> <p>(1) 蒸気放出の影響に対する評価方針</p> <p>「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源からの漏えい蒸気の直接噴出及び拡散による影響を受ける範囲内にある溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。</p>	<p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画においてハロンガス消火設備等の水消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限にとどめるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。</p> <p>② 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有する機器への取替を行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置を行う。</p> <p>1.7.5.3 蒸気放出の影響に対する評価及び防護設計方針</p> <p>(1) 蒸気放出の影響に対する評価方針</p> <p>「1.7.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源からの漏えい蒸気の直接噴出及び拡散による影響を確認するために、熱流体解析コード（GOTHICコード）を用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施し、溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では蒸気伝播を解析し、全ての防護対象設備が機能喪失しないよう対策を施している。</li> </ul> <p>（記載は大飯の審査実績を反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>想定破損発生区画内での漏えい蒸気による防護対象設備への影響及び区画間を拡散する漏えい蒸気による防護対象設備への影響が、蒸気曝露試験及び机上評価によって防護対象設備の健全性が確認されている条件(圧力、温度及び湿度)を超えることがなく、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>蒸気影響を緩和するための対策として、蒸気の漏えいを自動検知し、隔離（直ちに環境温度が上昇し健全性が確認されている条件を超えるおそれがある場合は自動隔離、それ以外は中央制御室からの遠隔手動隔離）を行うために蒸気漏えい検知システムを設置する。システムを構成するものとして、温度センサー、蒸気止め弁、漏えい検知監視盤及び漏えい検知制御盤を設置する。</p> <p>さらに、自動検知、遠隔隔離対策だけでは防護対象設備の健全性が確保されない破損想定箇所については、防護カバーを設置し、配管と防護カバーのすき間を流出面積と設定することで漏えい蒸気量を抑制して、環境への温度影響を軽減する設計とする。</p> <p>また、信頼性向上の観点から、防護カバー近傍には小規模漏えい検知を目的とした特定配置温度センサを設置し、蒸気の漏えいを早期自動検知する設計とする。</p> <p>防護カバーの概要を第1.8.2図に示す。</p> <p>b. 蒸気の直接噴出影響に対する設計方針</p> <p>破損想定箇所の近傍に防護対象設備が設置されている場合は、漏えい蒸気の直接噴出による防護対象設備への影響を考慮する。破損想定箇所と防護対象設備との位置関係を踏まえ、漏えい蒸気の直接噴出による影響が、蒸気曝露試験及び机上評価によって防護対象設備の健全性が確認されている条件(圧力、温度及び湿度)を超えることがなく、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>蒸気の直接噴出による影響により、防護対象設備が安全機能を損なうおそれがある場合には、蒸気の影響を緩和する対策、防護対象設備の配置を見直す</p>	<p>具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p> <p>a. 溢水防護対象設備が溢水源からの漏えい蒸気を考慮した耐蒸気仕様を有すること。</p> <p>b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>その際、溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。</p> <p>(2) 蒸気放出の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 Ss による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>具体的には、以下に示す要求を満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。</p> <p>a. 溢水防護対象設備が溢水源からの漏えい蒸気を考慮した耐蒸気仕様を有すること。</p> <p>(2) 蒸気放出の影響に対する防護設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>① 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 Ss による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p><u>記載表現の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では蒸気影響に対する要求事項として1項目のみしか記載していないため、女川と記載表現が異なる。</li> </ul> <p><b>【大飯】</b></p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は被水評価では多重性や多様性を考慮せず、全ての溢水防護対象設備が機能喪失しないよう対策を施している。</li> <li>・泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水(地震・想定破損・消火放水)によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行っていない。</li> </ul> <p><b>【大飯】</b></p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul>



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>対策等を実施することで、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>なお、各系統の蒸気の影響評価における想定破損評価条件を第1.8.7表に示す。  <b>【別添資料1（2-9-別1-39～42, 233～288）                  (2-9-別1 補-196～315)】</b></p> <p>1.8.2.4.2 消火水の放水による溢水影響に対する設計方針</p> <p>火災時の消火水系（スプリンクラーを含む。）等からの放水による没水及び被水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>なお、スプリンクラーからの放水については、「1.7 火災防護に関する基本方針」で示されている放水量を用い、放水停止に要する時間については、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、現場到着までの時間、状況確認及びスプリンクラーの放水停止までの時間に保守性を考慮して設定し、溢水量を算出する。スプリンクラーには自動起動及び手動起動があるが、溢水評価においては両者を区別せずに溢水量を算出する。</p>	<p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、破損形状を特定することにより蒸気放出による影響を軽減する設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより蒸気放出による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 蒸気の漏えいを検知し、中央制御室からの遠隔隔離（自動又は手動）を行うための自動検知・遠隔隔離システムを設置し、漏えい蒸気を早期隔離することで蒸気影響を緩和する設計とする。</p> <p>また、自動検知・遠隔隔離システムだけでは溢水防護対象設備の健全性が確保されない場合には、破損想定箇所に防護カバーを設置することで漏えい蒸気量を抑制して、溢水防護区画内雰囲気温度への影響を軽減する設計とする。</p> <p>さらに、信頼性向上の観点から、防護カバー近傍には小規模漏えい検知を目的とした特定配置温度検出器を設置し、蒸気の漏えいを早期検知する設計とする。</p> <p>e. 主蒸気管破断事故時等には、建屋内外の差圧による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放により、溢水防護区画内において蒸気影響を軽減する設計とする。</p> <p>②溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 蒸気放出の影響に対して耐性を有しない溢水防護対象設備については、蒸気曝露試験又は机上評価によって蒸気放出の影響に対して耐性を有することが確認された機器への取替えを行う。</p>	<p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、破損形状を特定することにより蒸気放出による影響を軽減する設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 <math>S_s</math> による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより蒸気放出による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 蒸気の漏えいを検知し、中央制御室からの遠隔隔離（自動又は手動）を行うための配管漏えい検知システムを設置し、漏えい蒸気を早期隔離することで蒸気影響を緩和する設計とする。</p> <p>e. 主蒸気管破断事故時等には、建屋内外の差圧による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放により、溢水防護区画内において蒸気影響を軽減する設計とする。</p> <p>② 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 蒸気放出の影響に対して耐性を有しない溢水防護対象設備については、蒸気曝露試験又は机上評価によって蒸気放出の影響に対して耐性を有することが確認された機器への取替えを行う。</p>	<p>設計方針の相違</p> <p>泊3ではターミナルエンドが少ないため、蒸気影響緩和を目的とした「防護カバー」は設置せず、評価ガイドの要求に従って全周破断を想定した蒸気影響評価を実施し影響がないことを確認していることから、「防護カバー」の記載がない。</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 没水による影響に対する設計方針</p> <p>消火活動に伴う放水により想定される溢水量を算出する。算出された溢水量、設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。なお、消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮して溢水水位を算出する。</p> <p>具体的には、以下に示す設計方針のいずれかを満足することで、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。また、いずれの設計方針も満足しない場合は、壁、扉、堰等による没水対策を実施する。</p> <p>a. 溢水水位が防護対象設備の機能喪失高さを上回らないこと。</p> <p>b. 防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>なお、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>また、消火水放水時の溢水量が評価条件を満足するように、消火活動における注意事項に関する教育及び消火活動後の設備点検を行うことにより防護対象設備が安全機能を損なうことのない運用を行う設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別 1-43～46, 289～334）（2-9-別 1 補-316～348）】</p> <p>(2) 被水による影響に対する設計方針</p> <p>消火栓による被水影響に対しては、防護対象設備が設置されている建屋内の防護対象設備に対して、消火水による不用意な放水を行わないことで防護対象設備が、被水の影響を受けて安全機能を損なうことのない運用を行う設計とする。</p> <p>スプリンクラーによる被水影響に対しては、「1.8.2.4.1 想定破損による溢水影響に対する設計方針」のうち「(2) 被水による影響に対する設計方針」と同じ設計とする。</p> <p>なお、スプリンクラーからの放水によって、同時に2系統の防護対象設備が機能喪失するおそれがあるエリアにはハロン消火設備又は二酸化炭素消火設備を設</p>	<p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での蒸気条件を考慮しても安全機能を損なわないことを蒸気曝露試験等により確認した保護カバーやパッキン等による蒸気防護措置を行う。</p>	<p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での蒸気条件を考慮しても安全機能を損なわないことを蒸気曝露試験等により確認した保護カバーやパッキン等による蒸気防護措置を行う。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>置することで、防護対象設備の安全機能を損なうことのない設計とする。ハロン消火設備又は二酸化炭素消火設備を設置したエリアでは溢水量を考慮しないが、隣接するエリアでの消火栓からの放水及びスプリンクラーからの放水による溢水の伝播を考慮する。</p> <p>また、火災により貫通部の流出及び流入防止対策の止水機能を損なうおそれがある場合には、当該貫通部からの消火水の伝播による溢水影響を考慮する。溢水評価の結果、防護対象設備が安全機能を損なうおそれがある場合には、壁、扉、堰等による溢水伝播を制限する対策等を実施する。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-43～46, 289～334）（2-9-別1補-316～348, 459～481）】</p> <p>1.8.2.4.3 地震起因による溢水影響に対する設計方針（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）</p> <p>溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動による地震力によって破損が生じる機器を溢水源として溢水を想定し、没水、被水及び蒸気影響により防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>耐震Sクラスの機器については、基準地震動による地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。</p> <p>また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるもの（水位制限によるものを含む。）又は耐震対策工事により耐震性を確保するものについては溢水源として想定しない。</p> <p>耐震B、Cクラスの機器が、耐震性を確保する耐震B、Cクラスの機器に対して、波及的影響を及ぼさないことを確認する方針とする。</p> <p>耐震強度評価又は耐震対策工事により耐震性が確保される機器を第1.8.1表に示す。</p> <p>(1) 没水による影響に対する設計方針</p> <p>流体を内包する耐震B、Cクラスの機器のうち、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないものについては、系統や容器内の保有水量に基づき溢</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>水量を算出する。また、基準地震動による地震力によって生じるスロッシングにより、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を溢水量として算出する。</p> <p>算出された溢水量、設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>具体的には、以下に示す設計方針のいずれかを満足することで、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。また、いずれの設計方針も満足しない場合は、壁、扉、堰等による没水対策を実施する。</p> <p>a. 溢水水位が防護対象設備の機能喪失高さを上回らないこと。</p> <p>b. 防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。</p> <p>なお、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-47～51, 335～401） （2-9-別1補-349～407）】</p> <p>(2) 被水による影響に対する設計方針</p> <p>地震による被水影響に対しては、「1.8.2.4.1 想定破損による溢水影響に対する設計方針」のうち「(2) 被水による影響に対する設計方針」と同じ設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-33～38, 211～232） （2-9-別1補-459～481）】</p> <p>(3) 蒸気による影響に対する設計方針</p> <p>流体を内包する耐震B、Cクラスの機器のうち、基準地震動による地震力によって耐震性が確保されないものについては、破損する機器から発生する蒸気の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>a. 蒸気拡散影響に対する設計方針</p> <p>防護対象設備に対する、漏えい蒸気の拡散による影響を確認するために、熱流体解析コード（GOTHICコード）を用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施する。</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>想定破損発生区画内での漏えい蒸気による防護対象設備への影響及び区画間を拡散する漏えい蒸気による防護対象設備への影響が、蒸気曝露試験及び机上評価によって防護対象設備の健全性が確認されている条件(圧力、温度及び湿度)を超えることがなく、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>蒸気影響を緩和するための対策として、蒸気の漏えいを自動検知し、隔離（直ちに環境温度が上昇し健全性が確認されている条件を超えるおそれがある場合は自動隔離、それ以外は中央制御室からの遠隔手動隔離）を行うために蒸気漏えい検知システムを設置する。システムを構成するものとして、温度センサー、蒸気止め弁、漏えい検知監視盤及び漏えい検知制御盤を設置する。さらに、自動検知、遠隔隔離対策だけでは防護対象設備の健全性が確保されない破損想定箇所については、防護カバーを設置し、配管と防護カバーのすき間を流出面積と設定することで漏えい蒸気量を抑制して、環境への温度影響を軽減する設計とする。</p> <p>また、信頼性向上の観点から、防護カバー近傍には小規模漏えい検知を目的とした特定配置温度センサを設置し、蒸気の漏えいを早期自動検知する設計とする。</p> <p>防護カバーの概要を第1.8.2図に示す。</p> <p>b. 蒸気の直接噴出影響に対する設計方針</p> <p>破損想定箇所の近傍に防護対象設備が設置されている場合は、漏えい蒸気の直接噴出による防護対象設備への影響を考慮する。破損想定箇所と防護対象設備との位置関係を踏まえ、漏えい蒸気の直接噴出による影響が、蒸気曝露試験及び机上評価によって防護対象設備の健全性が確認されている条件（圧力、温度及び湿度）を超えることがなく、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>蒸気の直接噴出による影響により、防護対象設備が安全機能を損なうおそれがある場合には、蒸気影響を緩和する対策、防護対象設備の配置を見直す対策等を実施することで、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【別添資料1 (2-9-別1-39~42, 233~288) (2-9-別1 補-196~315)】</p> <p>1.8.3 使用済燃料ピットの溢水評価に関する設計方針</p> <p>1.8.3.1 溢水源及び溢水量の想定</p> <p>溢水源及び溢水量は、「1.8.2.1 溢水源及び溢水量の想定」の溢水源及び溢水量と同じ想定とする。</p> <p>【別添資料1 (2-9-別1-55)】</p> <p>1.8.3.2 防護対象設備の設定</p> <p>防護対象設備は、使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な設備とする。</p> <p>使用済燃料ピットを定められた水温（65℃以下）に維持する必要があるため、使用済燃料ピットの冷却機能の維持に必要な設備を抽出する。</p> <p>また、使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率<math>\leq 0.02\text{mSv/h}</math>）の維持に必要な水位が確保されるように、使用済燃料ピットへの給水機能の維持に必要な設備を抽出する。</p> <p>具体的には、燃料取替用水系の設備及び燃料ピット冷却浄化系の設備を抽出する。</p> <p>【別添資料1 (2-9-別1-57)】</p> <p>1.8.3.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>溢水防護区画及び溢水経路は、「1.8.2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定」と同じ方法で設定する。【別添資料1 (2-9-別1-57~60)】</p>	<p>1.7.5.4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>地下水の流入、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えいに対して、漏えい検知システムや床ドレンファンネルからの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>1.7.5.4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>地下水の流入、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えいに対して、漏えい検知システムや床ドレン排水管からの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.3.4 使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な設備の溢水影響に関する設計方針</p> <p>使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な設備が、想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水に対して、以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、発生した溢水については、溢水の流入状態、溢水源からの距離、運転員のアクセス等により一時的な水位変動が生じることが考えられることから、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>具体的には、防護対象設備に対して溢水防護区画ごとに算出される溢水水位にゆらぎの影響を踏まえた裕度100mmを確保する。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-4、55）（2-9-別1補-547～554）】</p> <p>1.8.3.4.1 想定破損による溢水影響に対する設計方針                  想定破損による防護対象設備への溢水影響は、                  1.8.2.4.1 想定破損による溢水影響に対する設計方針」と同様の設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-61～67）】</p> <p>1.8.3.4.2 消火水の放水による溢水影響に対する設計方針                  消火水の放水による防護対象設備への溢水影響は、                  1.8.2.4.2 消火水の放水による溢水影響に対する設計方針」と同様の設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-67）】</p> <p>1.8.3.4.3 地震起因による溢水影響に対する設計方針                  （使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）                  a. 地震起因による防護対象設備への溢水影響地震起因による防護対象設備への溢水影響は、                  「1.8.2.4.3 地震起因による溢水影響に対する設計方針（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）」と同様の設計とする。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 使用済燃料ピットのスロッシング後の機能維持に関する設計方針</p> <p>使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量の算出に当たっては、基準地震動による地震力によって生じるスロッシング現象を3次元流動解析により評価し、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を考慮する。また、使用済燃料ピットの初期水位等の評価条件は保守的となるように設定する。算出した溢水量からスロッシング後の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料ピットの冷却機能（水温 65℃以下）及び使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率 <math>\leq 0.02\text{mSv/h}</math>）の維持に必要な水位が確保される設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-68～75、396～414）】</p>	<p>1.7.5.5 使用済燃料プールのスロッシング後の機能維持に関する設計方針</p> <p>基準地震動 <math>S_s</math> による地震力によって生じるスロッシング現象を三次元流動解析により評価し、使用済燃料プール外へ漏えいする水量を考慮する。その際、使用済燃料プールの初期水位は、スキマサージタンクへのオーバーフロー水位として評価する。算出した溢水量からスロッシング後の使用済燃料プールの水位低下を考慮しても、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能が確保されるため、それらを用いることにより適切な水温（水温 65℃以下）及び遮蔽水位を維持できる設計とする。</p>	<p>1.7.5.5 使用済燃料ピットのスロッシング後の機能維持に関する設計方針</p> <p>基準地震動 <math>S_s</math> による地震力によって生じるスロッシング現象を三次元流動解析により評価し、使用済燃料ピット外へ漏えいする水量を考慮する。その際、使用済燃料ピットの初期水位は、使用済燃料ピットの高水位レベルとして評価する。算出した溢水量からスロッシング後の使用済燃料ピットの水位低下を考慮しても、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能が確保されるため、それらを用いることにより適切な水温（水温 65℃以下）及び遮蔽機能（水面の設計基準線量率 <math>\leq 0.01\text{mSv/h}</math>）の維持に必要な水位を維持できる設計とする。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違により、三次元流動解析に用いる初期水位が異なる。なお、泊では初期条件として、使用済燃料ピットと接続されている燃料検査ピット、燃料取替キャナル及びキャスクピットの全てが水張りされた状態として評価する。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊では遮蔽水位について、使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率）を明記している。</p> <p>（記載は大飯の審査実績を反映）</p>
<p>1.8.2.5 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針</p> <p>海水ポンプエリア内にある防護対象設備が海水ポンプエリア内及びエリア外で発生する溢水の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>具体的には、海水ポンプエリア外で発生する溢水が、海水ポンプエリアに伝播しないことを確認する方針とする。</p> <p>海水ポンプエリア内で発生する想定破損による低エネルギー配管の貫通クラックによる溢水、消火水の放水による溢水及び降水による溢水を海水ポンプエリアから海水ポンプエリア浸水防止蓋によって排出できる設計とし、海水ポンプエリア内の防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。なお、溢水ガイドに基づき、海水ポンプエリア浸水防止蓋のうち排出量が最も大きい1箇所からの流出は期待しないものとして排出量を算出する。</p> <p>また、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-80～81、450～454）】</p>	<p>1.7.5.6 海水ポンプ室補機ポンプエリアの溢水評価に関する設計方針</p> <p>海水ポンプ室補機ポンプエリア（以下1.7.5.6では「海水ポンプ室」という。）内にある溢水防護対象設備が海水ポンプ室内及び室外で発生する溢水の影響を受けて、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>具体的には、波及的影響防止及び津波の浸水を防止する目的での低耐震設備の耐震補強対策に加え、海水ポンプ室外で発生する地震に起因する屋外タンク破損による溢水が、海水ポンプ室へ流入しないようにするために、壁、扉、堰等による溢水伝播防止対策を図る設計とする。</p> <p>海水ポンプ室内で発生する想定破損による溢水、消火水の放水による溢水及び降水による溢水についても、壁、扉、堰等による溢水伝播防止対策を図る設計とする。さらに、海水ポンプ室内の多重性を有する溢水防護対象設備を別区画に設置することにより、没水により同時に機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、溢水防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p>		<p>設計方針の相違</p> <p>女川及び大飯の海水ポンプ室は屋外にあるため海水ポンプ室の設計方針について記載しているが、泊の海水ポンプ室は建屋内であるため、これまでの設計方針の中に包絡される。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.8.2.6 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋に隣接する廃棄物処理建屋及びタービン建屋からの溢水並びに屋外タンク及び地下水からの溢水について、防護対象設備が設置されている建屋に対する溢水経路を特定し、壁、扉、堰等又はそれらの組合せにより溢水が流入しない設計とする。</p> <p>(1) 廃棄物処理建屋からの溢水影響に対する設計方針</p> <p>廃棄物処理建屋で発生する溢水が、原子炉周辺建屋へ流入しない設計とするために、以下の対策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理建屋から防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋への流入経路に原子炉周辺建屋堰及び原子炉周辺建屋水密扉を設置する。</li> </ul> <p>【別添資料1 (2-9-別1-76~79, 415~449) (2-9-別1補-482~496)】</p> <p>(2) タービン建屋からの溢水影響に関する設計方針</p> <p>タービン建屋で発生する溢水が、防護対象設備が設置されている制御建屋へ流入しない設計とする。</p> <p>タービン建屋における溢水評価では、想定破損及び地震起因による影響を考慮し、循環水管の伸縮継手部の全円周状の破損及び2次系機器の破損を想定した溢水量を評価する。循環水ポンプを停止するまでの間に生じる溢水量、2次系機器の保有水による溢水量及び屋外タンクからの溢水量を合算した溢水量が、タービン建屋空間部に滞留するものとして溢水水位を算出する。上記に加え、循環水管の損傷箇所からの津波による海水の流入については、別途実施する「1.6 耐津波設計」の津波浸水量を考慮する。なお、取水側又は放水側からタービン建屋への流入を想定しても、津波到達前のタービン建屋内の溢水による水頭圧により、津波の流入がないことを確認する方針とする。</p>	<p>1.7.6 溢水防護区画を内包するエリア外及び建屋外からの流入防止に関する設計方針</p> <p>溢水防護区画を内包するエリア外及び建屋外で発生を想定する溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、地下水に対しては、揚水ポンプの停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定し、建屋外周部における壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。なお、地下水位低下設備については、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保する設計とする。</p>	<p>1.7.6 溢水防護区画を内包する建屋外からの流入防止に関する設計方針</p> <p>溢水防護区画を内包する建屋外で発生を想定する溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、地下水に対しては、建屋外周部における壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包する建屋内への流入を防止する。また、原子炉補助建屋最下層の床面下にある湧水ビット天板からの地下水の流入を防止するため、湧水ビットポンプによる地下水の排水によって、湧水ビット水位を一定の範囲に保持する。以上により、地下水の流入によって、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>湧水ビットポンプ、湧水ビットポンプ電源及び吐出ラインは、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保するとともに、湧水ビットポンプ電源は非常用母線に接続することにより、その機能を損なうことのない設計とする。</p>	<p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川では海水ポンプ室が建屋外にあるのに対し、泊では海水ポンプ室は建屋内にあるため「エリア外」の記載は不要である。</p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3の湧水ビットは多数の溢水防護対象設備を内包する原子炉補助建屋の最下層に設置されていることから、湧水ビットの水位が上昇し湧水ビット天板に設置された湧水ビットポンプグランドの摺動部等を介して原子炉補助建屋内へ地下水が流入しないよう、湧水ビットポンプによる排水によって湧水ビット水位を一定の範囲に保持する機能に期待している。</li> <li>・原子炉補助建屋への地下水の流入を防止するため、湧水ビットポンプの機能に期待することから、溢水防護の観点で排水機能に求められる信頼性について記載している。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>タービン建屋で発生する溢水が、防護対象設備が設置されている制御建屋へ流入しないことを確認する方針とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-82～85、455～465）】</p> <p>(3) 屋外タンクからの溢水影響に対する設計方針                  自然現象による屋外タンクからの溢水影響については、地震、設計竜巻、地滑り及び降水による溢水を考慮する。                  地震については、基準地震動による地震力に対して耐震性を有していない屋外タンクからの溢水が、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋へ流入しない設計とする。                  地滑りについては、「1.2.7.1「実用発電用原子炉及びその附属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成25年6月19日制定）」に対する適合 第六条 外部からの衝撃による損傷の防止 第1項 (8) 地滑り」に示す地滑り地形に対して、地滑りにより溢水が発生しない設計とする。                  設計竜巻については、「1.9 竜巻防護に関する基本方針」において設定した設計竜巻による飛来物により、屋外タンクが破損した場合に発生する溢水が、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋に流入しない設計とする。                  降水については、「1.2.7.1「実用発電用原子炉及びその附属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成25年6月19日制定）」に対する適合 第六条外部からの衝撃による損傷の防止 第1項 (5) 降水」において設定した降水による溢水が、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋に流入しない設計とする。                  自然現象による屋外タンクからの溢水の影響については、竜巻による飛来物、地滑り及び降水による溢水を除き、地震時の評価に含まれるが、防護対象設備が設置されている原子炉周辺建屋及び制御建屋へ流入しないようにするために、以下の対策を実施する。</p>	<p>1.7.7 放射性物質を含んだ液体の管理区域外への漏えいを防止するための設計方針                  管理区域内で発生した溢水の管理区域外への伝播経路となる箇所については、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行うことにより、機器の破損等により生じた放射性物質を内包する液体が管理区域外に漏えいすることを防止する設計とする。</p> <p>1.7.8 溢水によって発生する外乱に対する評価方針                  溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とし、これらの機能を維持するために必要な設備（溢水防護対象設備）が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。</p>	<p>1.7.7 放射性物質を含んだ液体の管理区域外への漏えいを防止するための設計方針                  管理区域内で発生した溢水の管理区域外への伝播経路となる箇所については、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行うことにより、機器の破損等により生じた放射性物質を内包する液体が管理区域外に漏えいすることを防止する設計とする。</p> <p>1.7.8 溢水によって発生する外乱に対する評価方針                  溢水の影響により発電用原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮しても、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生により、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。</p>	<p>【大飯】  <u>記載方針の相違</u>                  ・女川審査実績の反映</p> <p><u>設計方針の相違</u>                  ・泊では運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、必要に応じて溢水防護対策を施すこととしている。                  そのため、溢水の影響を考慮、即ち溢水影響により一部の安全機能を喪失することを前提とした安全解析は行わない。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・淡水タンク、2次系純水タンク等の水位を制限する。</p> <p>・屋外タンクから防護対象設備が設置されている建屋への流入経路には、原子炉周辺建屋水密扉及び制御建屋水密扉を設置する。</p> <p>・鯨谷タンクエリアに立坑及び排水トンネルを設置し、溢水を構外へ排水する。</p> <p>また、地表面以下にある燃料油貯蔵タンク及び建屋との貫通部は、屋外タンクからの溢水の影響を受けても安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-86～91, 466～535）（2-9-別1 補-520～546）】</p> <p>(4) 地下水による溢水影響に対する設計方針</p> <p>地下水は、建屋基礎下に設置している集水管により、建屋最下層にある湧水サンプに集水する設計とする。また、周囲の地下水水位を考慮しても防護対象設備が設置されている建屋へ地下水が流入しない設計とする。</p> <p>湧水サンプポンプ、湧水サンプポンプ電源及び吐出ラインは、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保するとともに、湧水サンプポンプ電源は非常用母線に接続することにより、その機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-92, 538～540）】</p> <p>1.8.4 溢水防護に関する設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水及び地震起因による溢水が発生した場合においても、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、壁、扉、堰等により浸水を防止するための対策を実施する。</p> <p>(1)原子炉周辺建屋堰</p> <p>廃棄物処理建屋で発生する溢水が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋堰を</p>			<p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉周辺建屋に設置する。堰の配置図を第1.8.3図に示す。</p> <p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉                      廃棄物処理建屋，燃料取替用水ピット及び復水ピットで発生する溢水，屋外タンクからの溢水等が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し，防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため，原子炉周辺建屋水密扉を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>(3) 制御建屋水密扉                      屋外タンクからの溢水等が制御建屋へ伝播することを防止し，防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため，制御建屋水密扉を制御建屋に設置する。                      水密扉の配置図を第1.8.4図に示す。</p>			<p>【大飯】                      記載方針の相違                      ・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>10.6.2.6 手順等</p> <p>溢水評価において、期待する壁、扉、堰等の浸水防護設備、保護カバー、防護カバー、立坑、排水トンネル等の設備については、継続的な保守管理、水密扉閉止等の運用を適切に実施するためにその手順を明確にする。</p> <p>また、溢水評価において、溢水量を制限するために漏えい停止操作に期待する場合は、その手順を明確にする。さらに、それらの手順を確実に実施するために、継続的な教育訓練を実施する。</p> <p>(1) 配管の想定破損による溢水、スプリンクラーからの放水による溢水及び地震による溢水が発生する場合においては、的確に操作を行うために手順等を整備する。</p> <p>(2) 溢水防護区画において、各種対策設備の追加、資機材の持込み等により評価条件としている可燃性物質の量及び滞留面積に見直しがある場合は、溢水評価への影響確認を行う。                      【別添資料1（2-9-別1 補-588～592）】</p> <p>(3) 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、中央制御室における閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作を的確に行うために手順を整備する。また、水密扉の閉止状態を的確に管理するために社内ルール等の運用を適切に実施する。</p> <p>(4) 運転実績（高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さい。）により、低エネルギー配管としている設備の運転時間実績管理を行う。</p> <p>(5) 機能喪失高さが低い防護対象設備が消火水の放水による溢水により機能喪失することのないよう、消火水放水時の注意事項を現場に表示する。                      【別添資料1（2-9-別1 補-328）】</p>	<p>1.7.9 手順等</p> <p>溢水評価に関して、以下の内容を含む手順を定め、適切な管理を行う。</p> <p>(1) 配管の想定破損評価において、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを継続的な肉厚管理で確認する。</p> <p>(2) 配管の想定破損による溢水が発生する場合及び基準地震動 Ss による地震力により耐震 B、C クラスの機器が破損し溢水が発生する場合においては、<b>隔離手順</b>を定める。</p> <p>(3) 運転実績（高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さい。）により低エネルギー配管としている設備については、運転時間管理を行う。</p>	<p>1.7.9 手順等</p> <p>溢水評価に関して、以下の内容を含む手順を定め、適切な管理を行う。</p> <p>(1) 配管の想定破損評価において、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを継続的な肉厚管理で確認する。</p> <p>(2) 配管の想定破損による溢水、消火栓からの放水による溢水及び基準地震動 Ss による地震力により耐震 B、C クラスの機器が破損し溢水が発生する場合においては、<b>的確に操作を行うために手順等を整備する</b>。</p> <p>(3) 運転実績（高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さい。）により低エネルギー配管としている設備については、運転時間管理を行う。</p> <p>(4) <b>機能喪失高さが低い防護対象設備が消火水の放水による溢水により機能喪失することのないよう、消火水放水時の注意事項を現場に表示する。</b></p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>                      泊は想定破損、地震起因に加えて消火水の放水に係る手順を整備することを記載している。（大阪の審査実績反映）</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載箇所の相違</a>                      ・女川は（6）、泊は（11）に記載している。</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載箇所の相違</a>                      ・女川は（9）、泊は（13）に記載している。</p> <p><a href="#">運用の相違</a>                      泊は消火水放水に係る運用手順について、（4）～（6）の通り具体的な内容を定めている。（大阪の審査実績反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(6) 火災時に消火水を放水した場合は、消火水による防護対象設備の安全機能への影響の有無を確認するために、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(7) 消火活動の結果を踏まえ、放水後の放水量の内部溢水評価に係る妥当性について検証を行う。</p> <p>(8) 配管の想定破損により、防護対象設備が蒸気環境に曝された場合は、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(9) 海水ポンプエリア内及びエリア外の溢水を受けて、海水ポンプエリア内の防護対象設備が機能喪失しないように海水ポンプエリア浸水防止蓋の適切な保守管理を実施する。</p> <p>(10) 配管の想定破損評価において、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。</p> <p>(11) 浸水防護設備及び「1.8 溢水防護に関する基本方針」で示す防護対象設備の機能維持に必要な設備に対して、要求される機能を維持するため、適切な保守管理を実施する。また、故障時においては補修を実施する。</p>	<p>(4) 内部溢水評価で用いる屋外タンクの水量を管理する。</p> <p>(5) 地震起因による溢水において、溢水源となる機器のうち運用によって溢水を考慮しない機器について、プラント運転中及び停止中において系統運用を停止し、隔離（水抜き）する。</p>	<p>(5) 火災時に消火水を放水した場合は、消火水による防護対象設備の安全機能への影響の有無を確認するために、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(6) 消火活動の結果を踏まえ、放水後の放水量の内部溢水評価に係る妥当性について検証を行う。</p> <p>(7) 配管の想定破損により、防護対象設備が蒸気環境に曝された場合は、防護対象設備の安全機能が損なわれていないことを保守管理で確認する。</p> <p>(8) 配管の想定破損評価において、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。</p> <p>(9) 浸水防護設備及び防護対象設備の機能維持に必要な設備に対して、要求される機能を維持するため、適切な保守管理を実施する。また、故障時においては補修を実施する。</p> <p>(10) 内部溢水評価で用いる屋外タンクの水量を管理する。</p>	<p><u>運用の相違</u>                  泊は防護対象設備が蒸気環境に曝された場合に保守管理を行うことを手順として定めている。（大飯の審査実績反映）</p> <p><b>【大飯】</b>  <u>運用の相違</u>                  泊には該当する設備が無い。</p> <p><u>運用の相違</u>                  泊は想定破損の応力評価結果に影響しないよう、継続的に減肉管理を実施することを手順として定めている。（大飯の審査実績反映）</p> <p><u>運用の相違</u>                  泊は浸水防護設備及び防護対象設備の機能維持に必要な設備に対する保守管理について手順として定めている。（大飯の審査実績反映）</p> <p><u>運用の相違</u>                  泊は地震起因による溢水において、運用によって溢水源から除外している機器はない。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(12) 内部溢水全般（評価内容並びに溢水経路、防護対象設備、水密扉、堰等の設置の考え方等）について教育を定期的実施する。</p> <p>(13) 火災が発生した場合の初期消火活動及び自衛消防隊による消火活動時の放水に関する注意事項について、教育を定期的実施する。</p> <p>(14) 運転員が内部溢水発生時に的確な判断、操作等が実施できるよう、内部溢水発生時の対処に係る訓練を定期的実施する。</p>	<p>(6) 溢水防護区画において、各種対策設備の追加、資機材の持込み等により評価条件としている床面積に見直しがある場合は、あらかじめ定めた手順により溢水評価への影響確認を行う。</p> <p>(7) 排水を期待する箇所からの排水を阻害する要因に対し、それを防止するための運用を実施する。</p> <p>(8) 施設定期検査作業に伴う溢水防護対象設備の不待機や扉の開放等、影響評価上設定したプラント状態の一時的な変更時においても、その状態を踏まえた必要な安全機能が損なわれない運用とする。</p> <p>(9) 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を定める。</p> <p>(10) 溢水発生後の滞留区画等での排水作業手順を定める。</p> <p>(11) 溢水防護対象設備に対する消火水の影響を最小限に止めるため、消火活動における運用及び留意事項と、それらに関する教育について「火災防護計画」に定める。</p>	<p>(11) 溢水防護区画において、各種対策設備の追加、資機材の持込み等により評価条件としている可燃性物質の量及び床面積に見直しがある場合は、あらかじめ定めた手順により溢水評価への影響確認を行う。</p> <p>(12) 排水を期待する箇所からの排水を阻害する要因に対し、それを防止するための運用を実施する。</p> <p>(13) 水密扉については、開放後の確実な閉止操作、閉止状態の確認及び閉止されていない状態が確認された場合の閉止操作の手順等を定める。</p> <p>(14) 溢水発生後の滞留区画等での排水作業手順を定める。</p> <p>(15) 溢水防護対象設備に対する消火水の影響を最小限に止めるため、消火活動における運用及び留意事項と、それらに関する教育について「火災防護計画」に定める。</p> <p>(16) 内部溢水全般（評価内容並びに溢水経路、防護対象設備、水密扉、堰等の設置の考え方等）について教育を定期的実施する。</p> <p>(17) 火災が発生した場合の初期消火活動及び自衛消防隊による消火活動時の放水に関する注意事項について、教育を定期的実施する。</p> <p>(18) 運転員が内部溢水発生時に的確な判断、操作等が実施できるよう、内部溢水発生時の対処に係る訓練を定期的実施する。</p>	<p><u>設計方針の相違</u>                      泊では、火災荷重及び等価火災時間に基づき消火水の放水量を算定しており、放水量の算定に用いた各区画の火災荷重を上回る量の可燃物が持ち込まれないよう現場管理している。</p> <p><u>設計方針の相違</u>                      女川は溢水影響評価で溢水経路として想定していないハッチについて、定期検査時等にハッチが開放されることを考慮し、ハッチ開放時には堰を設置する等の運用を定めているが、泊は溢水影響評価でハッチの止水には期待しておらず、定期検査時等であってもプラント状態の一時的な変更は評価に影響しない。</p> <p><u>運用の相違</u>                      泊は、(16)～(18)の通り内部溢水に係る教育及び訓練の実施について運用手順を定めている。（大飯の審査実績反映）</p>





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<p style="text-align: center;">第 1.8.2 表 溢水評価上想定する起回事象 (運転時の異常な過渡変化)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">原子炉外乱の事象</th> <th style="width: 5%;">考慮要否</th> <th style="width: 75%;">スクリーンアウトする理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒の落下及び不整合</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の部分喪失</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材系の停止ループの誤起動</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>誤起動の場合、停止ループの低温の冷却材が炉心に注入され、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は低下し整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要</td> </tr> <tr> <td>外部電源喪失</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>外部電源喪失により常用電源が喪失するが、常用電源喪失は「主給水流量喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」に包絡</td> </tr> <tr> <td>主給水流量喪失</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気負荷の異常な増加</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>蒸気負荷が増加した場合、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は抑制され整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要</td> </tr> <tr> <td>2次冷却系の異常な減圧</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器への過剰給水</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力運転中の非常用炉心冷却系の誤起動</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	原子炉外乱の事象	考慮要否	スクリーンアウトする理由	原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○		出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○		制御棒の落下及び不整合	○		原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	○		原子炉冷却材流量の部分喪失	○		原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	-	誤起動の場合、停止ループの低温の冷却材が炉心に注入され、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は低下し整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要	外部電源喪失	○	外部電源喪失により常用電源が喪失するが、常用電源喪失は「主給水流量喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」に包絡	主給水流量喪失	○		蒸気負荷の異常な増加	-	蒸気負荷が増加した場合、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は抑制され整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要	2次冷却系の異常な減圧	○		蒸気発生器への過剰給水	○		負荷の喪失	○		原子炉冷却材系の異常な減圧	○		出力運転中の非常用炉心冷却系の誤起動	○				<p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul>
原子炉外乱の事象	考慮要否	スクリーンアウトする理由																																														
原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○																																															
出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○																																															
制御棒の落下及び不整合	○																																															
原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	○																																															
原子炉冷却材流量の部分喪失	○																																															
原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	-	誤起動の場合、停止ループの低温の冷却材が炉心に注入され、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は低下し整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要																																														
外部電源喪失	○	外部電源喪失により常用電源が喪失するが、常用電源喪失は「主給水流量喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」に包絡																																														
主給水流量喪失	○																																															
蒸気負荷の異常な増加	-	蒸気負荷が増加した場合、炉心に正の反応度が添加された後の反応度フィードバック効果により原子炉出力は抑制され整定する。このように、本事象では対処設備は不要であるため、溢水評価上考慮不要																																														
2次冷却系の異常な減圧	○																																															
蒸気発生器への過剰給水	○																																															
負荷の喪失	○																																															
原子炉冷却材系の異常な減圧	○																																															
出力運転中の非常用炉心冷却系の誤起動	○																																															
<p style="text-align: center;">第 1.8.3 表 溢水評価上想定する起回事象 (設計基準事故)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">原子炉外乱の事象</th> <th style="width: 5%;">考慮要否</th> <th style="width: 75%;">スクリーンアウトする理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材喪失 (LOCA)</td> <td style="text-align: center;">○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の喪失</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材ポンプの軸固着</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>溢水の発生によって原子炉冷却材ポンプの回転軸は固着しない。</td> </tr> <tr> <td>主給水管破断</td> <td style="text-align: center;">○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気管破断</td> <td style="text-align: center;">○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒飛び出し</td> <td style="text-align: center;">○*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器伝熱管破損</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>溢水の発生によって蒸気発生器の伝熱管は破損しない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※溢水事象であるため対象として考慮する。</p>	原子炉外乱の事象	考慮要否	スクリーンアウトする理由	原子炉冷却材喪失 (LOCA)	○*		原子炉冷却材流量の喪失	○		原子炉冷却材ポンプの軸固着	-	溢水の発生によって原子炉冷却材ポンプの回転軸は固着しない。	主給水管破断	○*		主蒸気管破断	○*		制御棒飛び出し	○*		蒸気発生器伝熱管破損	-	溢水の発生によって蒸気発生器の伝熱管は破損しない。			<p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul>																					
原子炉外乱の事象	考慮要否	スクリーンアウトする理由																																														
原子炉冷却材喪失 (LOCA)	○*																																															
原子炉冷却材流量の喪失	○																																															
原子炉冷却材ポンプの軸固着	-	溢水の発生によって原子炉冷却材ポンプの回転軸は固着しない。																																														
主給水管破断	○*																																															
主蒸気管破断	○*																																															
制御棒飛び出し	○*																																															
蒸気発生器伝熱管破損	-	溢水の発生によって蒸気発生器の伝熱管は破損しない。																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>第1.8.4表 溢水評価上想定する事象とその対処系統</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>溢水評価上想定する事象</th> <th>左記事象に 対する対処機能</th> <th>対処系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」「制御棒の落下及び不整合」</td> <td>・原子炉トリップ ・補助給水</td> <td>・安全保護系 ・原子炉停止系 ・補助給水系</td> </tr> <tr> <td>②「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」（ほう素濃度制御系異常）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③「原子炉冷却材流量の部分喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」（1次冷却材ポンプ停止）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④蒸気発生器への過剰給水（主給水制御弁開他<sup>※1</sup>）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤主給水流量喪失（主給水ポンプ停止他<sup>※2</sup>）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥負荷の喪失（主蒸気隔離弁開他<sup>※3</sup>）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦出力運転中の非常用炉心冷却系の再起動</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧主給水管破断</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨外部電源喪失</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩2次冷却系の異常な減圧（タービンバイパス弁開他<sup>※4</sup>）</td> <td>上記機能に加え、 ・高圧注入</td> <td>上記系統に加え、 ・高圧注入系</td> </tr> <tr> <td>⑪原子炉冷却材系の異常な減圧（加圧器遮断がし弁開他<sup>※5</sup>）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫主蒸気管破断</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑬「原子炉冷却材喪失（LOCA）」及び「制御棒飛び出し」</td> <td>上記機能に加え、 ・低圧注入 ・格納容器スプレー ・格納容器隔離</td> <td>上記系統に加え、 ・低圧注入系 ・格納容器スプレー系 ・アンユラス循環系 ・原子炉格納容器隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 主給水バイパス制御弁開                  ※2 復水ポンプ停止、主給水制御弁・隔離弁開                  ※3 タービントリップ                  ※4 主蒸気遮断がし弁開、タービン蒸気加減弁開                  ※5 加圧器スプレー弁開、加圧器補助スプレー弁開</p>	溢水評価上想定する事象	左記事象に 対する対処機能	対処系統	①「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」「制御棒の落下及び不整合」	・原子炉トリップ ・補助給水	・安全保護系 ・原子炉停止系 ・補助給水系	②「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」（ほう素濃度制御系異常）			③「原子炉冷却材流量の部分喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」（1次冷却材ポンプ停止）			④蒸気発生器への過剰給水（主給水制御弁開他 <sup>※1</sup> ）			⑤主給水流量喪失（主給水ポンプ停止他 <sup>※2</sup> ）			⑥負荷の喪失（主蒸気隔離弁開他 <sup>※3</sup> ）			⑦出力運転中の非常用炉心冷却系の再起動			⑧主給水管破断			⑨外部電源喪失			⑩2次冷却系の異常な減圧（タービンバイパス弁開他 <sup>※4</sup> ）	上記機能に加え、 ・高圧注入	上記系統に加え、 ・高圧注入系	⑪原子炉冷却材系の異常な減圧（加圧器遮断がし弁開他 <sup>※5</sup> ）			⑫主蒸気管破断			⑬「原子炉冷却材喪失（LOCA）」及び「制御棒飛び出し」	上記機能に加え、 ・低圧注入 ・格納容器スプレー ・格納容器隔離	上記系統に加え、 ・低圧注入系 ・格納容器スプレー系 ・アンユラス循環系 ・原子炉格納容器隔離弁			<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p>
溢水評価上想定する事象	左記事象に 対する対処機能	対処系統																																											
①「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」「制御棒の落下及び不整合」	・原子炉トリップ ・補助給水	・安全保護系 ・原子炉停止系 ・補助給水系																																											
②「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」（ほう素濃度制御系異常）																																													
③「原子炉冷却材流量の部分喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」（1次冷却材ポンプ停止）																																													
④蒸気発生器への過剰給水（主給水制御弁開他 <sup>※1</sup> ）																																													
⑤主給水流量喪失（主給水ポンプ停止他 <sup>※2</sup> ）																																													
⑥負荷の喪失（主蒸気隔離弁開他 <sup>※3</sup> ）																																													
⑦出力運転中の非常用炉心冷却系の再起動																																													
⑧主給水管破断																																													
⑨外部電源喪失																																													
⑩2次冷却系の異常な減圧（タービンバイパス弁開他 <sup>※4</sup> ）	上記機能に加え、 ・高圧注入	上記系統に加え、 ・高圧注入系																																											
⑪原子炉冷却材系の異常な減圧（加圧器遮断がし弁開他 <sup>※5</sup> ）																																													
⑫主蒸気管破断																																													
⑬「原子炉冷却材喪失（LOCA）」及び「制御棒飛び出し」	上記機能に加え、 ・低圧注入 ・格納容器スプレー ・格納容器隔離	上記系統に加え、 ・低圧注入系 ・格納容器スプレー系 ・アンユラス循環系 ・原子炉格納容器隔離弁																																											



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																								
<p>第1.8.5表 溢水から防護すべき系統設備</p> <table border="1"> <tr><td>補助給水系</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td></tr> <tr><td>安全注入系</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td></tr> <tr><td>余熱除去系</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却系</td></tr> <tr><td>制御用空気系</td></tr> <tr><td>換気空調系</td></tr> <tr><td>非常用電源系（ディーゼル発電機を含む。）</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイ系</td></tr> <tr><td>冷水系</td></tr> <tr><td>電気盤</td></tr> <tr><td>燃料ビット冷却浄化系</td></tr> <tr><td>燃料取替用水系</td></tr> </table>	補助給水系	化学体積制御系	安全注入系	主蒸気系	余熱除去系	原子炉補機冷却系	制御用空気系	換気空調系	非常用電源系（ディーゼル発電機を含む。）	格納容器スプレイ系	冷水系	電気盤	燃料ビット冷却浄化系	燃料取替用水系	<p>第1.7-1表 溢水から防護すべき系統</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>未臨界維持機能</td> <td>ほう酸水注入系</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能</td> <td>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）</td> <td rowspan="4">MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系（サブレーションプール冷却モード）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td rowspan="4">MS-1</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）（低圧注水モード）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を動作させる機能</td> <td>残留熱除去系（低圧注水モード）</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td>自動減圧系</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1		制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	残留熱除去系（サブレーションプール冷却モード）	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系	MS-1	高圧炉心スプレイ系	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系	MS-1	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）	低圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）（低圧注水モード）	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	低圧炉心スプレイ系	MS-1	高圧炉心スプレイ系	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を動作させる機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1	自動減圧系	<p>第1.7.1表 溢水から防護すべき系統</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>過剰反応度の印加防止機能</td> <td>制御棒駆動装置圧力ヘウジング</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心支持構造物、燃料集合体</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>未臨界維持機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>1次冷却系統（加圧器安全弁）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止後における除熱のための</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去機能</td> <td>余熱除去設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系からの除熱機能</td> <td>主蒸気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系への補給水機能</td> <td>補助給水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>格納容器隔離弁 換気空調設備（アモニウム空気浄化設備） 原子炉格納容器スプレイ設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用高電圧側から非常用電源側に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（交流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（直流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>ディーゼル発電機</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系	PS-1	過剰反応度の印加防止機能	制御棒駆動装置圧力ヘウジング	PS-1	炉心形状の維持機能	炉心支持構造物、燃料集合体	PS-1	原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系）	MS-1	未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	1次冷却系統（加圧器安全弁）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための			残留熱除去機能	余熱除去設備	MS-1	二次系からの除熱機能	主蒸気設備	MS-1	二次系への補給水機能	補助給水設備	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための			原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1	原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	格納容器隔離弁 換気空調設備（アモニウム空気浄化設備） 原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1	格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能			非常用高電圧側から非常用電源側に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1	非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1	非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>          ・女川審査実績の反映</p>
補助給水系																																																																																																																											
化学体積制御系																																																																																																																											
安全注入系																																																																																																																											
主蒸気系																																																																																																																											
余熱除去系																																																																																																																											
原子炉補機冷却系																																																																																																																											
制御用空気系																																																																																																																											
換気空調系																																																																																																																											
非常用電源系（ディーゼル発電機を含む。）																																																																																																																											
格納容器スプレイ系																																																																																																																											
冷水系																																																																																																																											
電気盤																																																																																																																											
燃料ビット冷却浄化系																																																																																																																											
燃料取替用水系																																																																																																																											
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																									
原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																																									
未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1																																																																																																																									
	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																																									
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1																																																																																																																									
原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1																																																																																																																									
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																										
	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）																																																																																																																										
	残留熱除去系（サブレーションプール冷却モード）																																																																																																																										
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系	MS-1																																																																																																																									
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																										
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	MS-1																																																																																																																									
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																										
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系	MS-1																																																																																																																									
	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）																																																																																																																										
	低圧炉心スプレイ系																																																																																																																										
	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）（低圧注水モード）																																																																																																																										
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	低圧炉心スプレイ系	MS-1																																																																																																																									
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																										
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を動作させる機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1																																																																																																																									
	自動減圧系																																																																																																																										
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																									
原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系	PS-1																																																																																																																									
過剰反応度の印加防止機能	制御棒駆動装置圧力ヘウジング	PS-1																																																																																																																									
炉心形状の維持機能	炉心支持構造物、燃料集合体	PS-1																																																																																																																									
原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系）	MS-1																																																																																																																									
未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び制御棒駆動系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）	MS-1																																																																																																																									
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	1次冷却系統（加圧器安全弁）	MS-1																																																																																																																									
原子炉停止後における除熱のための																																																																																																																											
残留熱除去機能	余熱除去設備	MS-1																																																																																																																									
二次系からの除熱機能	主蒸気設備	MS-1																																																																																																																									
二次系への補給水機能	補助給水設備	MS-1																																																																																																																									
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための																																																																																																																											
原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1																																																																																																																									
原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1																																																																																																																									
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	格納容器隔離弁 換気空調設備（アモニウム空気浄化設備） 原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1																																																																																																																									
格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1																																																																																																																									
格納容器内の可燃性ガス制御機能																																																																																																																											
非常用高電圧側から非常用電源側に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1																																																																																																																									
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1																																																																																																																									
非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1																																																																																																																									
非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

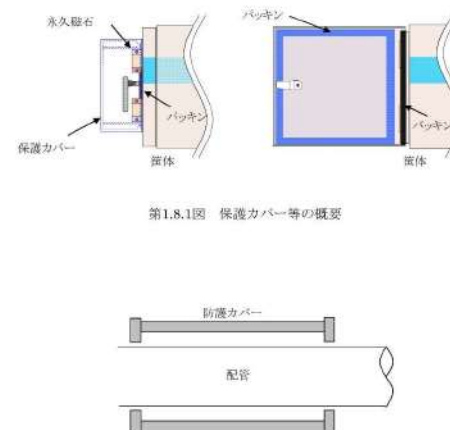
第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>非常用ガス処理系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td>可燃性ガス濃度制御系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>非常用ディーゼル発電機 (高圧炉心スプレイズディーゼル発電機を含む。)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>蓄電池 (非常用)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室換気空調系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>主蒸気過熱し安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号 (常用品として作動させるものを除く) の発生機能</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 主蒸気隔離の安全保護回路 原子炉格納容器隔離の安全保護回路 非常用ガス処理系作動の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>起動領域モニタ* 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1	格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1	非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1	非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機 (高圧炉心スプレイズディーゼル発電機を含む。)	MS-1	非常用の直流電源機能	蓄電池 (非常用)	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1	圧縮空気供給機能	主蒸気過熱し安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号 (常用品として作動させるものを除く) の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 主蒸気隔離の安全保護回路 原子炉格納容器隔離の安全保護回路 非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	起動領域モニタ* 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置	MS-2	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>換気空調設備 (中央制御室空調装置)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>制御用圧縮空気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>1次冷却系統 (原子炉冷却材圧力バウンダリ)</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号 (常用品として作動させるものを除く) の発生機能</td> <td>安全保護系 (原子炉保護設備)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>安全保護系 (工学的安全施設作動設備)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>直接関連系</td> <td>交換用冷水設備 換気空調設備 電気盤 等</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>原子炉トリップ感測器の状態 ほう湯濃度 (サンプリング分析) *</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>1次冷却材圧力* 1次冷却材高置側/低置側液面 (広域) *</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>格納容器圧力* 格納容器高レンジ/低レンジ* (低レンジ/高レンジ) *</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すための要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	換気空調設備 (中央制御室空調装置)	MS-1	圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	1次冷却系統 (原子炉冷却材圧力バウンダリ)	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号 (常用品として作動させるものを除く) の発生機能	安全保護系 (原子炉保護設備)	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系 (工学的安全施設作動設備)	MS-1	直接関連系	交換用冷水設備 換気空調設備 電気盤 等	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ感測器の状態 ほう湯濃度 (サンプリング分析) *	MS-2	事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力* 1次冷却材高置側/低置側液面 (広域) *	MS-2	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力* 格納容器高レンジ/低レンジ* (低レンジ/高レンジ) *	MS-2	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																	
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1																																																																																																	
格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1																																																																																																	
格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1																																																																																																	
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1																																																																																																	
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1																																																																																																	
非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機 (高圧炉心スプレイズディーゼル発電機を含む。)	MS-1																																																																																																	
非常用の直流電源機能	蓄電池 (非常用)	MS-1																																																																																																	
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																	
補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系	MS-1																																																																																																	
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系	MS-1																																																																																																	
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1																																																																																																	
圧縮空気供給機能	主蒸気過熱し安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1																																																																																																	
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1																																																																																																	
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																	
原子炉停止系に対する作動信号 (常用品として作動させるものを除く) の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1																																																																																																	
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 主蒸気隔離の安全保護回路 原子炉格納容器隔離の安全保護回路 非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1																																																																																																	
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	起動領域モニタ* 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置	MS-2																																																																																																	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																	
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																	
補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1																																																																																																	
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1																																																																																																	
原子炉制御室非常用換気空調機能	換気空調設備 (中央制御室空調装置)	MS-1																																																																																																	
圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1																																																																																																	
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	1次冷却系統 (原子炉冷却材圧力バウンダリ)	PS-1																																																																																																	
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																	
原子炉停止系に対する作動信号 (常用品として作動させるものを除く) の発生機能	安全保護系 (原子炉保護設備)	MS-1																																																																																																	
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系 (工学的安全施設作動設備)	MS-1																																																																																																	
直接関連系	交換用冷水設備 換気空調設備 電気盤 等	MS-1																																																																																																	
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ感測器の状態 ほう湯濃度 (サンプリング分析) *	MS-2																																																																																																	
事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力* 1次冷却材高置側/低置側液面 (広域) *	MS-2																																																																																																	
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力* 格納容器高レンジ/低レンジ* (低レンジ/高レンジ) *	MS-2																																																																																																	
	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>原子炉水位 (広帯域) * 原子炉水位 (燃料域) *</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>原子炉圧力* ドライウエル圧力* 圧力抑制室圧力* シプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気放射線モニタ*</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>原子炉水位 (広帯域) * 原子炉水位 (燃料域) * 原子炉圧力* ドライウエル圧力* 圧力抑制室圧力* シプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気水素濃度* 格納容器内雰囲気酸素濃度* 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタ*</td> <td>MS-2 MS-3</td> </tr> <tr> <td>直接関連系</td> <td>計測制御用電源換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>プール冷却機能</td> <td>燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度*</td> <td>PS-3</td> </tr> <tr> <td>プールへの給水機能</td> <td>燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位*</td> <td>MS-2 MS-3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すための要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位 (広帯域) * 原子炉水位 (燃料域) *	MS-2	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	原子炉圧力* ドライウエル圧力* 圧力抑制室圧力* シプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気放射線モニタ*	MS-2	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位 (広帯域) * 原子炉水位 (燃料域) * 原子炉圧力* ドライウエル圧力* 圧力抑制室圧力* シプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気水素濃度* 格納容器内雰囲気酸素濃度* 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタ*	MS-2 MS-3	直接関連系	計測制御用電源換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水系	MS-1	プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度*	PS-3	プールへの給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位*	MS-2 MS-3	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>ほう湯タンク水位* 蒸気発生器水位 (広域、狭域) * 主蒸気ライン圧力* 補助給水ライン液面* 補助給水ピット水位* 燃料取扱用ピット水位* 格納容器再循環サンプ水位 (広域、狭域) *</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>異常状態の検知機能</td> <td>加圧器過剰弁弁 (手動閉鎖機能)</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>制御室外からの安全停止機能</td> <td>中央制御室外原子炉停止盤</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>ピット冷却機能</td> <td>使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット液面*</td> <td>PS-2 PS-3</td> </tr> <tr> <td>ピット給水機能</td> <td>燃料取扱用ピット 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位*</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すための要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう湯タンク水位* 蒸気発生器水位 (広域、狭域) * 主蒸気ライン圧力* 補助給水ライン液面* 補助給水ピット水位* 燃料取扱用ピット水位* 格納容器再循環サンプ水位 (広域、狭域) *	MS-2	異常状態の検知機能	加圧器過剰弁弁 (手動閉鎖機能)	MS-2	制御室外からの安全停止機能	中央制御室外原子炉停止盤	MS-2	ピット冷却機能	使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット液面*	PS-2 PS-3	ピット給水機能	燃料取扱用ピット 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位*	MS-2																																																										
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																	
事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位 (広帯域) * 原子炉水位 (燃料域) *	MS-2																																																																																																	
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	原子炉圧力* ドライウエル圧力* 圧力抑制室圧力* シプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気放射線モニタ*	MS-2																																																																																																	
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位 (広帯域) * 原子炉水位 (燃料域) * 原子炉圧力* ドライウエル圧力* 圧力抑制室圧力* シプレッションプール水温度* 格納容器内雰囲気水素濃度* 格納容器内雰囲気酸素濃度* 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタ*	MS-2 MS-3																																																																																																	
直接関連系	計測制御用電源換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水系	MS-1																																																																																																	
プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度*	PS-3																																																																																																	
プールへの給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位*	MS-2 MS-3																																																																																																	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																	
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう湯タンク水位* 蒸気発生器水位 (広域、狭域) * 主蒸気ライン圧力* 補助給水ライン液面* 補助給水ピット水位* 燃料取扱用ピット水位* 格納容器再循環サンプ水位 (広域、狭域) *	MS-2																																																																																																	
異常状態の検知機能	加圧器過剰弁弁 (手動閉鎖機能)	MS-2																																																																																																	
制御室外からの安全停止機能	中央制御室外原子炉停止盤	MS-2																																																																																																	
ピット冷却機能	使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット液面*	PS-2 PS-3																																																																																																	
ピット給水機能	燃料取扱用ピット 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位*	MS-2																																																																																																	



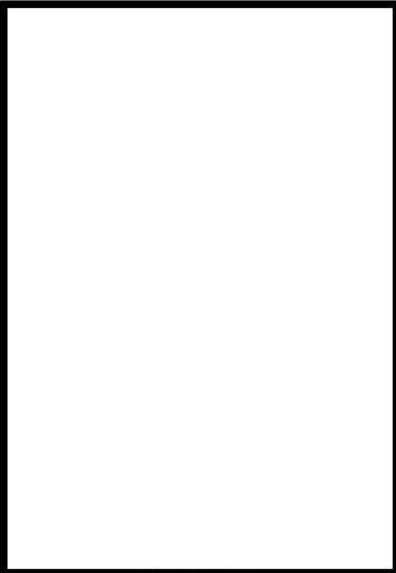
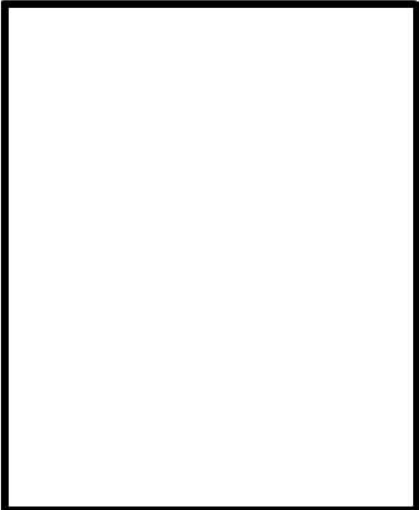
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p>第1.8.6表 機器と機能喪失高さの考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 器</th> <th>機 能 喪 失 高 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ (操作盤含む)</td> <td>①ポンプ又はモータでいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い部位</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い部位</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の計器類の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体又は伝送器の下端部</td> </tr> </tbody> </table>	機 器	機 能 喪 失 高 さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータでいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い部位	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い部位	盤	盤内の計器類の最下部	計器	計器本体又は伝送器の下端部	<p>第1.7-2表 溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定の考え方（例示）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 器</th> <th>機 能 喪 失 高 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>電気盤類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル</td> </tr> </tbody> </table>	機 器	機 能 喪 失 高 さ	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電気盤類	対象機器の設置レベル	計器関係	計器下端レベル	<p>第1.7.3表 溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定における考え方（例示）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 器</th> <th>機 能 喪 失 高 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：取付け配管センター位置又は電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁 各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>①ポンプあるいは電動機がいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③電動機は下端部</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>電動機の下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤 (操作盤含む)</td> <td>盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機 器	機 能 喪 失 高 さ	弁	①電動弁：取付け配管センター位置又は電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁 各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち最低高さの付属品の下端部	ポンプ	①ポンプあるいは電動機がいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③電動機は下端部	ファン	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方	盤 (操作盤含む)	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部	計器	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p>
機 器	機 能 喪 失 高 さ																																										
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																										
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																										
ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータでいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い部位																																										
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い部位																																										
盤	盤内の計器類の最下部																																										
計器	計器本体又は伝送器の下端部																																										
機 器	機 能 喪 失 高 さ																																										
弁類	弁が設置される配管の中心レベル																																										
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ																																										
ファン類	コンクリート基礎の高さ																																										
電気盤類	対象機器の設置レベル																																										
計器関係	計器下端レベル																																										
機 器	機 能 喪 失 高 さ																																										
弁	①電動弁：取付け配管センター位置又は電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁 各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部																																										
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち最低高さの付属品の下端部																																										
ポンプ	①ポンプあるいは電動機がいずれか低い箇所 ②ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③電動機は下端部																																										
ファン	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方																																										
盤 (操作盤含む)	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、しゃ断器等）の最下部																																										
計器	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方																																										
<p>第1.8.7表 蒸気影響評価における配管の想定破損評価条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系 統</th> <th>破損想定</th> <th>隔離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">補助蒸気系</td> <td>一般部（25Aを超える。）</td> <td rowspan="2">異通クラック</td> <td rowspan="2">自動/ 手動</td> </tr> <tr> <td>ターミナルエンド部</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（抽出）</td> <td rowspan="2">完全全周破断</td> <td rowspan="2">手動</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウンサンプル系</td> </tr> </tbody> </table>	系 統	破損想定	隔離	補助蒸気系	一般部（25Aを超える。）	異通クラック	自動/ 手動	ターミナルエンド部	化学体積制御系（抽出）	完全全周破断	手動	蒸気発生器ブローダウンサンプル系																															
系 統	破損想定	隔離																																									
補助蒸気系	一般部（25Aを超える。）	異通クラック	自動/ 手動																																								
	ターミナルエンド部																																										
化学体積制御系（抽出）	完全全周破断	手動																																									
蒸気発生器ブローダウンサンプル系																																											
 <p>第1.8.1図 保護カバー等の概要</p> <p>第1.8.2図 防護カバーの概要</p>																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid cyan; padding: 10px;">  <p style="text-align: center;">第1.8.3図 機配置図</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>    <p style="text-align: center;">第1.8.4図 水密扉配置図</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川審査実績の反映</li> </ul>



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 適合性説明</p> <p>第九条 溢水による損傷の防止等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1 安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損によって当該容器又は配管から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものでなければならない。</p> </div> <p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について</p> <p>安全施設は、<u>原子炉施設内</u>における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>そのために、<u>原子炉施設内</u>における溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。</p> <p>また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</p> <p>なお、<u>原子炉施設内</u>における溢水として、<u>原子炉施設内</u>に設置された機器、配管の破損（地震起因を含む。）、消火水系（<u>スプリンクラーを含む。</u>）等の動作又は使用済燃料ピットのスロッシングにより発生した溢水を考慮する。</p> <p style="text-align: right;">【別添資料1（2-9-別1-4）】</p>	<p>(3) 適合性説明</p> <p>1.10 発電用原子炉設置変更許可申請に係る安全設計の方針</p> <p>1.10.3 発電用原子炉設置変更許可申請（平成25年12月27日申請）に係る実用発電用原子炉及びその附属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則への適合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(溢水による損傷の防止等)</p> <p>第九条 安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものでなければならない。</p> </div> <p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料プールにおいては、<u>使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。</u></p> <p>なお、発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火系統等の作動、<u>使用済燃料プール</u>等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮する。</p>	<p>(3) 適合性説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(溢水による損傷の防止等)</p> <p>第九条 安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものでなければならない。</p> </div> <p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、発電用原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料ピットにおいては、<u>使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。</u></p> <p>なお、発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火系統等の作動、<u>使用済燃料ピット</u>等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮する。</p>	<p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第2項について</p> <p>設計基準対象施設は、原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損によって当該容器又は配管から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1 補-573~587)】</p>	<p>第2項について</p> <p>設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p>	<p>第2項について</p> <p>設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしない設計とする。</p>	



第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.3 気象等 該当なし</p> <p>1.4 設備等</p> <p>10.6.2 内部溢水に対する防護設備</p> <p>10.6.2.1 概要</p> <p>原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、原子炉施設内に設ける壁、扉、堰等により、防護対象設備がその安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>溢水評価に当たっては、溢水防護区画を設定し溢水防護区画の水位が最も高くなるように保守的に溢水経路を設定する。発生を想定する溢水に対し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>【別添資料1(2-9-別1-4)】</p> <p>10.6.2.2 設計方針</p>	<p>1.3 気象等 該当なし。</p> <p>1.4 設備等</p> <p>10. その他発電用原子炉の附属施設</p> <p>10.6.2 内部溢水に対する防護設備</p> <p>10.6.2.1 概要</p> <p>発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、施設内に設ける壁、扉、堰等の浸水防護設備により、溢水防護対象設備が、その安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>10.6.2.2 設計方針</p> <p>浸水防護設備は、以下の方針で設計する。</p> <p>(1) 浸水防止堰は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。また、浸水防止堰の高さは、溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>(2) 水密扉は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(3) 止水壁は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(4) (1)～(3)以外の浸水防護設備についても、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢</p>	<p>1.3 気象等 該当なし</p> <p>1.4 設備等</p> <p>10. その他発電用原子炉の附属施設</p> <p>10.6.2 内部溢水に対する防護設備</p> <p>10.6.2.1 概要</p> <p>発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、施設内に設ける壁、扉、堰等の浸水防護設備により、溢水防護対象設備が、その安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>10.6.2.2 設計方針</p> <p>浸水防護設備は、以下の方針で設計する。</p> <p>(1) 浸水防止堰は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。また、浸水防止堰の高さは、溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。</p> <p>(2) 水密扉は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(3) 防護壁は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(4) (1)～(3)以外の浸水防護設備についても、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 <math>S_s</math> による地震力等の溢</p>	<p>設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉施設内で溢水が発生した場合において、原子炉施設内に設ける壁、扉、堰等の浸水防護設備により、防護対象設備がその安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。さらに、海水ポンプエリア及び防護対象設備が設置されている建屋外の溢水源については、地震、津波、竜巻、地滑り等を考慮する。具体的には、「10.6.2.2.3 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針」及び「10.6.2.2.4 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針」にて説明する。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管が破損することにより、当該容器又は配管から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1（2-9-別1-4） （2-9-別1 補-4、520～541、573～587）】</p> <p>10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針                      (1) 溢水源及び溢水量の想定                      溢水源及び溢水量としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定して評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。）</li> <li>b. 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。）</li> <li>c. 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（以下「地震起因による溢水」という。）</li> <li>d. その他要因（地下水の流入、地震以外の自然現象、機器の誤動作等）により生じる溢水</li> </ul> <p>防護対象設備が設置されている建屋内において、流体を内包する容器及び配管を溢水源となり得る機器</p>	<p>水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>として抽出する。ここで抽出された機器のうち、上記 a. 又は c. の評価において破損を想定するものは、それぞれの評価での溢水源として考慮する。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1 (2-9-別 1-6, 7)】</p> <p>(2) 防護対象設備の設定</p> <p>防護対象設備は、原子炉施設内で発生した溢水に対して、重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を損なうことのない設計（原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計。）とするために必要な設備とする。</p> <p>さらに、原子炉施設の安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故を対象として、溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱に対処する設備を抽出する。抽出に当たっては溢水事象となり得る運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故も評価対象とする。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1 (2-9-別 1-8～12, 97～125) (2-9-別 1 補-4～53, 508～519)】</p> <p>(3) 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>溢水防護に対する溢水防護区画は、防護対象設備が設置されているすべての区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定する。溢水防護区画は壁、扉、堰等又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離される区画として設定し、溢水防護区画の水位が最も高くなるように保守的に溢水経路を設定する。</p> <p style="text-align: center;">【別添資料1 (2-9-別 1-13～15, 126～155)】</p> <p>(4) 防護対象設備設置建屋内における溢水評価に関する設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水に対して、防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女川審査実績の反映</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>しては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>a. 想定破損による溢水影響に対する設計方針                  想定される配管の破損形状に基づいた溢水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>b. 消火水の放水による溢水影響に対する設計方針                  火災時の消火水系（スプリンクラーを含む。）等からの放水による溢水を想定し、溢水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>また、格納容器スプレイ系については原子炉格納容器内でのみ生じ、防護対象設備は耐環境性があることから格納容器スプレイ系の動作により発生する溢水により原子炉格納容器内の防護対象設備が安全機能を損なうことはない。</p> <p>c. 地震起因による溢水影響に対する設計方針（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）                  溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動による地震力によって破損が生じる機器を溢水源として想定し、溢水の影響を受けて、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>d. その他の溢水影響に対する設計方針                  その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システム等により早期に検知し、防護対象設備の安全機能が損なわれない程度の溢水に抑える設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-22～54，156～414）                  （2-9-別1補-76～171，196～407，459～481）】</p> <p>10.6.2.2.2 使用済燃料ピットの溢水評価に関する設計方針</p> <p>(1) 溢水源及び溢水量の想定                  溢水源及び溢水量は、「10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」と同じ想定とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-55）】</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 防護対象設備の設定                      防護対象設備は、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能の維持に必要な設備とする。                      【別添資料1 (2-9-別1-57)】</p> <p>(3) 溢水防護区画及び溢水経路の設定                      溢水防護区画及び溢水経路は、「10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」と同じ設定とする。                      【別添資料1 (2-9-別1-57～60)】</p> <p>(4) 溢水評価に関する設計方針                      溢水評価に対する設計方針は、「10.6.2.2.1 原子炉施設の溢水評価に関する設計方針」と同様とする。                      なお、基準地震動での使用済燃料ピットのスロッシングにより、使用済燃料ピット外へ漏えいする溢水量を考慮しても、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能の維持に必要な水位が確保される設計とする。                      【別添資料1 (2-9-別1-4, 55, 60～75, 396～414) (2-9-別1 補-547～554)】</p> <p>10.6.2.2.3 海水ポンプエリアにおける溢水評価に関する設計方針                      海水ポンプエリア内にある防護対象設備が、海水ポンプエリア内及びエリア外で発生する溢水の影響を受けて、安全機能を損なうことのない設計とする。また、防護対象設備の機能喪失高さは、発生した溢水水位に対して裕度を確保する設計とする。                      【別添資料1 (2-9-別1-80～81, 450～454)】</p> <p>10.6.2.2.4 防護対象設備設置建屋外からの溢水評価に関する設計方針                      防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、廃棄物処理建屋からの溢水、タービン建屋からの溢水及び屋外タンクからの溢水は、防護対象設備が設置される建屋へ流入しない設計とする。                      鯨谷タンクエリアで発生する溢水は、立坑及び排水</p>			<p>【大飯】                      記載方針の相違                      ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>トンネルを設置し、構外へ排水する設計とする。</p> <p>地下水は建屋基礎下に設置している集水管により、建屋最下層にある湧水サンプに集水する設計とする。また、地下水水位を考慮しても防護対象設備が設置されている建屋へ地下水が流入しない設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-76～79, 82～92, 415～449, 450～540）（2-9-別1 補-520～546）】</p> <p>10.6.2.3 主要設備</p> <p>(1) 原子炉周辺建屋堰</p> <p>廃棄物処理建屋で発生する溢水が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋堰を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>原子炉周辺建屋堰の設計においては、基準地震動による地震力に対して溢水の伝播を防止する機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p>堰の配置図を第1.8.3図に示す。</p> <p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉</p> <p>廃棄物処理建屋、燃料取替用水ビット及び復水ビットで発生する溢水、屋外タンクからの溢水等が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋水密扉を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>原子炉周辺建屋水密扉の設計においては、基準地震動による地震力に対して浸水を防止する機能が十分に保持できる設計とする。また、溢水により発生する水圧に対して水密性を有する設計とする。</p> <p>(3) 制御建屋水密扉</p> <p>屋外タンクからの溢水等が制御建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、制御建屋水密扉を制御建屋に設置する。</p> <p>制御建屋水密扉の設計においては、基準地震動による地震力に対して浸水を防止する機能が十分に保持できる設計とする。また、溢水により発生する水圧に対して水密性を有する設計とする。</p>			<p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>水密扉の配置図を第1.8.4図に示す。</p> <p>10.6.2.4 主要仕様                      主要設備の仕様を第10.6.2.1表に示す。</p> <p>10.6.2.5 試験検査                      浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p> <p>第10.6.2.1表 浸水防護設備の設備仕様</p> <p>(1) 原子炉周辺建屋堰                      種類 堰                      材料 炭素鋼又は鉄筋コンクリート                      個数 7</p> <p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉                      種類 片開扉                      材料 炭素鋼又はステンレス鋼                      個数 17</p> <p>(3) 制御建屋水密扉                      種類 片開扉                      材料 炭素鋼又はステンレス鋼                      個数 4</p>	<p>10.6.2.3 試験検査                      浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p>	<p>10.6.2.3 試験検査                      浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">大阪3号炉及び4号炉 内部溢水の影響評価について</p>	<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 内部溢水の影響評価について</p>	<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 内部溢水の影響評価について</p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
目次	目次	目次	
1 原子炉施設の安全確保  1.1 溢水源の想定  1.2 防護対象設備の設定	1 評価の概要 1.1 溢水防護に関する基本方針 1.2 溢水影響評価フロー  2 溢水源の想定  3 防護対象設備の設定 3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出 3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出 3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定	1 評価の概要 1.1 溢水防護に関する基本方針 1.2 溢水影響評価フロー  2 溢水源の想定  3 防護対象設備の設定 3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出 3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出 3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定	今回のご説明範囲
1.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定 1.4 評価に用いる各項目の溢水影響評価 1.4.1 想定破損による溢水 1.4.1.1 想定破損による溢水源 1.4.1.2 想定破損による溢水影響評価 1.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価 1.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価 1.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 1.4.2 放水による溢水 1.4.2.1 放水による溢水源 1.4.2.2 放水による溢水影響評価 1.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価 1.4.3 地震による溢水 1.4.3.1 地震による溢水源 1.4.3.2 地震による溢水影響評価 1.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価 1.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価 1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 1.4.4 その他の溢水	3.4 防護対象設備を防護するための設計方針 3.4.1 没水の影響に対する設計方針 3.4.2 被水の影響に対する設計方針 3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針 3.4.4 その他の溢水に対する設計方針  4 溢水防護区画及び溢水経路の設定 4.1 溢水防護区画の設定 4.2 滞留面積の算出 4.3 溢水経路  5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 5.1 想定破損による溢水源 5.2 想定破損による没水影響評価 5.3 想定破損による被水影響評価 5.4 想定破損による蒸気影響評価  6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 6.1 消火水の放水による溢水源 6.2 消火水の放水による没水影響評価 6.3 消火水の放水による被水影響評価	3.4 防護対象設備を防護するための設計方針 3.4.1 没水の影響に対する設計方針 3.4.2 被水の影響に対する設計方針 3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針 3.4.4 その他の溢水に対する設計方針  4 溢水防護区画及び溢水経路の設定 4.1 溢水防護区画の設定 4.2 滞留面積の算出 4.3 溢水経路  5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 5.1 想定破損による溢水源 5.2 想定破損による没水影響評価 5.3 想定破損による被水影響評価 5.4 想定破損による蒸気影響評価  6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 6.1 消火水の放水による溢水源 6.2 消火水の放水による没水影響評価 6.3 消火水の放水による被水影響評価	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
2 使用済燃料ピットの安全確保 2.1 溢水源の想定 2.2 防護対象設備の設定 2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定 2.4 評価に用いる各項目の溢水影響評価 2.4.1 想定破損による溢水 2.4.1.1 想定破損による溢水源 2.4.1.2 想定破損による溢水影響評価 2.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価 2.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 2.4.2 放水による溢水 2.4.2.1 放水による溢水源 2.4.2.2 放水による溢水影響評価 2.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.3 地震による溢水 2.4.3.1 地震による溢水源 2.4.3.2 地震による溢水影響評価 2.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価 2.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 2.4.4 使用済燃料ピットのスロッシングによる水位低下の評価 2.4.5 使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能及び給水機能の維持の確認 3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価 4 海水ポンプエリアの溢水影響評価 5 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価 6 経年劣化事象の検討 7 溢水影響評価の判定	7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 7.1 地震起因による溢水源 7.2 地震起因による没水影響評価 7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件 7.2.2 地震起因による没水影響評価 7.3 地震起因による被水影響評価 7.4 地震起因による蒸気影響評価 8 使用済燃料プール等のスロッシング後の機能維持評価 8.1 解析評価 8.2 スロッシングによる溢水量(解析結果) 8.3 使用済燃料プール等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認 9 タービン建屋からの溢水影響評価 9.1 評価条件 9.2 評価に用いる各項目の算出 9.2.1 タービン建屋における溢水源 9.2.2 タービン建屋における溢水量 9.2.3 タービン建屋における溢水経路 9.3 評価結果 9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果 9.3.2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容 10 原子炉建屋付属棟(廃棄物処理エリア(管理区域))からの溢水影響評価 11 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価 12 1号炉制御建屋からの溢水影響評価 13 屋外タンクからの溢水影響評価 14 地下水による影響評価 15 放射性物質を含む液体の漏えいの防止	7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 7.1 地震起因による溢水源 7.2 地震起因による没水影響評価 7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件 7.2.2 地震起因による没水影響評価 7.3 地震起因による被水影響評価 7.4 地震起因による蒸気影響評価 8 使用済燃料ピット等のスロッシング後の機能維持評価 8.1 解析評価 8.2 スロッシングによる溢水量(解析結果) 8.3 使用済燃料ピット等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認 9 タービン建屋からの溢水影響評価 9.1 評価条件 9.2 評価に用いる各項目の算出 9.2.1 タービン建屋における溢水源 9.2.2 タービン建屋における溢水量 9.2.3 タービン建屋における溢水経路 9.3 評価結果 9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果 9.3.2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容 10 電気建屋からの溢水影響評価 11 出入管理建屋からの溢水影響評価 12 屋外タンクからの溢水影響評価 13 地下水による影響評価 14 放射性物質を含む液体の漏えいの防止	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.1 溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋） 1.2-1 重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統	添付資料1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源 添付資料2 溢水源となりうる機器のリスト 添付資料3 想定する溢水量一覧	添付資料1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源 添付資料2 溢水源となりうる機器のリスト 添付資料3 想定する溢水量一覧	
1.2-2 防護対象設備と機能喪失高さ一覧	添付資料4 防護対象設備一覧	添付資料4 防護対象設備一覧	今回のご説明範囲
(補足説明資料) 2-1 防護対象設備の抽出の考え方 4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について 4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について	添付資料5 機能喪失高さの考え方 添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について	添付資料5 機能喪失高さの考え方 添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について	今回のご説明範囲
1.3-1 溢水防護区画の設定 1.3-2 溢水経路と溢水経路概念図 1.3-3 溢水影響評価で止水を期待できる設備 1.4.1-1 想定破損による溢水源 1.4.1-2 想定破損による溢水影響評価(没水影響評価) 1.4.1-3 想定破損による溢水影響評価(被水影響評価) 1.4.1-4 想定破損による溢水影響評価(蒸気影響評価) 1.4.2-1 消火活動に係る時間設定の考え方 1.4.2-2 消火活動に係る放水による溢水影響評価 1.4.2-3 消火活動に係る放水による溢水経路図（代表） 1.4.3-1 地震時の溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋） 1.4.3-2 耐震B、Cクラスの機器の耐震強度評価方法及び評価結果 1.4.3-3 地震に起因する溢水影響評価結果及び溢水経路図 1.4.4 その他の溢水に対する確認について 2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価 3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価 4 海水ポンプエリアの溢水影響評価 5.1 タービン建屋からの溢水影響評価 5.2 屋外タンクからの溢水影響評価 5.3 湧水サンプからの溢水影響評価 6 経年劣化事象の検討 参考 原子力発電所の内部溢水影響評	添付資料7 溢水防護区画図 添付資料8 滞留面積の算出について 添付資料9 溢水影響評価において止水を期待できる設備 添付資料10 溢水伝播経路図(平面図) 添付資料11 溢水伝播フロー図 添付資料12 開口部等からの流出流量の評価 添付資料13 溢水源となる対象系統について 添付資料14 高エネルギー配管の想定破損除外について 添付資料15 低エネルギー配管の想定破損除外について 添付資料16 減肉等による破損評価について 添付資料17 系統別溢水量算出結果 添付資料18 想定破損による没水影響評価結果 添付資料19 想定破損による没水影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料20 想定破損による被水影響評価結果 添付資料21 想定破損による被水影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料22 想定破損による蒸気影響評価結果 添付資料23 想定破損による蒸気影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料24 消火水の放水による溢水影響評価対象区画 添付資料25 消火水の放水における放水量について 添付資料26 消火水の放水による溢水影響評価結果 添付資料27 地震に起因する溢水源リスト 添付資料28 地震起因による没水影響評価結果	添付資料7 溢水防護区画図 添付資料8 滞留面積の算出について 添付資料9 溢水影響評価において止水を期待できる設備 添付資料10 溢水伝播経路図(平面図) 添付資料11 開口部等からの流出流量の評価 添付資料12 溢水源となる対象系統について 添付資料13 高エネルギー配管の想定破損除外について 添付資料14 低エネルギー配管の想定破損除外について 添付資料15 減肉等による破損評価について 添付資料16 系統別溢水量算出結果 添付資料17 想定破損による没水影響評価結果 添付資料18 想定破損による没水影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料19 想定破損による被水影響評価結果 添付資料20 想定破損による被水影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料21 想定破損による蒸気影響評価結果 添付資料22 想定破損による蒸気影響評価結果から必要となる設備対策について 添付資料23 消火水の放水による溢水影響評価対象区画 添付資料24 消火水の放水における放水量について 添付資料25 消火水の放水による溢水影響評価結果 添付資料26 地震に起因する溢水源リスト 添付資料27 地震起因による没水影響評価結果	記載方針の相違 ・女川の添付資料11、補足説明資料10、13、14、25、32及び37については、設計方針等の相違により泊は作成していない。 ・各資料の記載内容に係る差異理由については、各資料の比較表の中で説明する。

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	添付資料 29 耐震B, Cクラス機器の耐震評価 添付資料 30 タービン建屋における溢水経路図 添付資料 31 原子炉建屋付属棟(廃棄物処理エリア(管理区域)) における溢水経路図 添付資料 32 補助ボイラー建屋における溢水経路図 添付資料 33 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止 水を期待する設備の設置場所 添付資料 34 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への 適合状況  補足説明資料 1 防護区画内の溢水源となりうる系統 補足説明資料 2 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について	添付資料 28 耐震B, Cクラス機器の耐震評価 添付資料 29 タービン建屋における溢水経路図 添付資料 30 電気建屋における溢水経路図  添付資料 31 出入管理建屋における溢水経路区 添付資料 32 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止 水を期待する設備の設置場所 添付資料 33 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への 適合状況  補足説明資料 1 防護区画内の溢水源となりうる系統 補足説明資料 2 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について	
(補足説明資料) 4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について	補足説明資料 3 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足	補足説明資料 3 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足	今回のご説明範囲
	補足説明資料 4 原子炉建屋原子炉棟(三次格納施設)内防護対象 設備の蒸気影響について 補足説明資料 5 耐蒸気仕様の確認について 補足説明資料 6 防滴仕様の被水評価における妥当性について 補足説明資料 7 保有水量・系統別溢水量算出要領 補足説明資料 8 想定破損評価における隔離時間の妥当性につい て 補足説明資料 9 運転員のアクセス性 補足説明資料 10 スロッシング後の使用済燃料プール冷却機能 維持のための現場操作 補足説明資料 11 タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢 水量について 補足説明資料 12 循環水系及びタービン補機冷却海水系におけ るインターロックの追加について 補足説明資料 13 溢水伝播フロー図について 補足説明資料 14 内部溢水影響評価における判定表 補足説明資料 15 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が 小さい場合のゆらぎ影響評価 補足説明資料 16 止水を期待する設備の止水性能等について 補足説明資料 17 溢水防護対策の主要な施工対象範囲 補足説明資料 18 配管の耐震評価の考え方 補足説明資料 19 定ピッチスパン法に基づく配管の耐震評価	補足説明資料 4 原子炉建屋原子炉棟(三次格納施設)内防護対象 設備の蒸気影響について 補足説明資料 5 耐蒸気仕様の確認について 補足説明資料 6 防滴仕様の被水評価における妥当性について 補足説明資料 7 保有水量・系統別溢水量算出要領 補足説明資料 8 想定破損評価における隔離時間の妥当性につい て 補足説明資料 9 運転員のアクセス性 補足説明資料 10 タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢 水量について 補足説明資料 11 循環水系及びタービン補機冷却海水系におけ るインターロックの追加について 補足説明資料 12 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が 小さい場合のゆらぎ影響評価 補足説明資料 13 止水を期待する設備の止水性能等について 補足説明資料 14 溢水防護対策の主要な施工対象範囲 補足説明資料 15 配管の耐震評価の考え方 補足説明資料 16 定ピッチスパン法に基づく配管の耐震評価	



泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	補足説明資料 20 耐震B, Cクラス機器の補強工事の実施内容について	補足説明資料 17 耐震B, Cクラス機器の補強工事の実施内容について	
	補足説明資料 21 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要	補足説明資料 18 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要	
	補足説明資料 22 溢水影響評価における耐震B, Cクラス機器の抽出方法について	補足説明資料 19 溢水影響評価における耐震B, Cクラス機器の抽出方法について	
	補足説明資料 23 使用済燃料プール等のスロッシング評価における保守性について	補足説明資料 20 使用済燃料プール等のスロッシング評価における保守性について	
	補足説明資料 24 内部溢水評価における耐震壁等の確認について	補足説明資料 21 内部溢水評価における耐震壁等の確認について	
	補足説明資料 25 内部溢水により想定される事象の確認及び解析確認結果		
	補足説明資料 26 内部溢水影響評価における確認内容について	補足説明資料 22 内部溢水影響評価における確認内容について	
	補足説明資料 27 内部溢水影響評価における評価の保守性について	補足説明資料 23 内部溢水影響評価における評価の保守性について	
	補足説明資料 28 別のハザードからの溢水影響について	補足説明資料 24 別のハザードからの溢水影響について	
	補足説明資料 29 過去の不具合事例への対応について	補足説明資料 25 過去の不具合事例への対応について	
	補足説明資料 30 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について	補足説明資料 26 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について	
	補足説明資料 31 屋外タンクからの溢水影響評価について	補足説明資料 27 屋外タンクからの溢水影響評価について	
	補足説明資料 32 ハッチ開放時における溢水影響について		
	補足説明資料 33 その他の漏えい事象に対する確認について	補足説明資料 28 その他の漏えい事象に対する確認について	
	補足説明資料 34 貫通クラック等微小漏えい時の影響について	補足説明資料 29 貫通クラック等微小漏えい時の影響について	
	補足説明資料 35 溢水発生後の復旧について	補足説明資料 30 溢水発生後の復旧について	
	補足説明資料 36 漏えい検知性について	補足説明資料 31 漏えい検知性について	
	補足説明資料 37 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタの内部溢水に対する防護について		
	補足説明資料 38 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について	補足説明資料 32 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について	
	主な系統及び略語 (省略)		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>「大阪3号炉及び4号炉の内部溢水影響評価」の概要</p> <p>大阪3号炉及び4号炉については、溢水影響を考慮した設計を実施している。具体的には系統の独立した区画への分散配置、区画の入口堰、機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプへの集積及び排水が可能な設計としている。</p> <p>今回、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下、「溢水ガイド」という。）にしたがい、発電用原子炉施設（以下、「原子炉施設」という。）内に設置された機器及び配管の想定破損、火災時の消火水の放水、地震による機器の破損（使用済燃料ピットのスロッシング含む。）により発生する溢水により設計基準対象施設が安全機能を損なうことのないよう防護措置その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>1 評価の概要</p> <p>女川原子力発電所2号炉については、発電所建設の設計段階において溢水影響を考慮した機器配置、配管設計を実施している。具体的には、独立した区画への分散配置、区画の入口堰及び機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプに集積し排水が可能な設計としている。</p> <p>本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という。）第九条（溢水による損傷の防止等）」の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのないよう防護措置、その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>1 評価の概要</p> <p>泊3号炉については、発電所建設の設計段階において溢水影響を考慮した機器配置、配管設計を実施している。具体的には、独立した区画への分散配置、区画の入口堰及び機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプに集積し排水が可能な設計としている。</p> <p>本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という。）第九条（溢水による損傷の防止等）」の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのないよう防護措置、その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p>
<p>溢水防護に関する基本方針</p> <p>原子炉施設内における溢水による損傷を防止するために、以下のような措置を講じる設計とする。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(3) 地震による機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(4) その他の溢水については、地下水の流入、竜巻による飛来物の衝突による屋外タンクの破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p>	<p>1.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とするために、溢水が発生した場合でも、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料プールにおいては、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。設置許可基準規則第九条及び第十二条並びに「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「溢水ガイド」という。）の要求事項を踏まえ、以下の設備を防護対象設備とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備</li> <li>・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備</li> </ul>	<p>1.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とするために、溢水が発生した場合でも、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。設置許可基準規則第九条及び第十二条並びに「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「溢水ガイド」という。）の要求事項を踏まえ、以下の設備を防護対象設備とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備</li> <li>・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備</li> </ul>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損(地震起因を含む。)、消火系統等の作動又は使用済燃料プール等のスロッシング、その他の事象により発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計(多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計)とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により生じる溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置を踏まえて最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p>溢水防護を考慮した設計にあたり、基本設計方針を以下のとおりとする。</p> <p>(1) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止し、引き続き低温停止、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要となる設備、原子炉が停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するために必要となる設備、使用済燃料プールの冷却及び給水機能を維持するための設備について、以下の設計上の配慮を行う。</p> <p>a. 内部溢水の発生を防止するため、発電用原子炉施設内の系統及び機器は、その内部流体の種類や温度、圧力等に従い、適切な構造、強度を有するよう設計する。</p>	<p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損(地震起因を含む。)、消火系統等の作動又は使用済燃料ピット等のスロッシング、その他の事象により発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計(多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計)とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により生じる溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置を踏まえて最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p>溢水防護を考慮した設計にあたり、基本設計方針を以下のとおりとする。</p> <p>(1) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止し、引き続き低温停止、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要となる設備、原子炉が停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するために必要となる設備、使用済燃料ピットの冷却及び給水機能を維持するための設備について、以下の設計上の配慮を行う。</p> <p>a. 内部溢水の発生を防止するため、発電用原子炉施設内の系統及び機器は、その内部流体の種類や温度、圧力等に従い、適切な構造、強度を有するよう設計する。</p>	

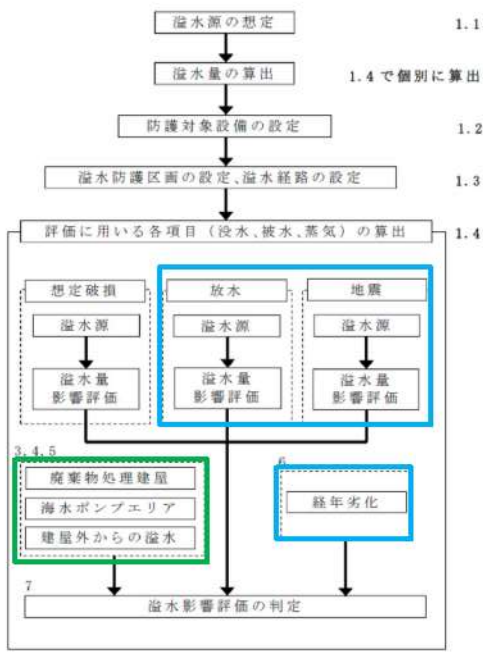
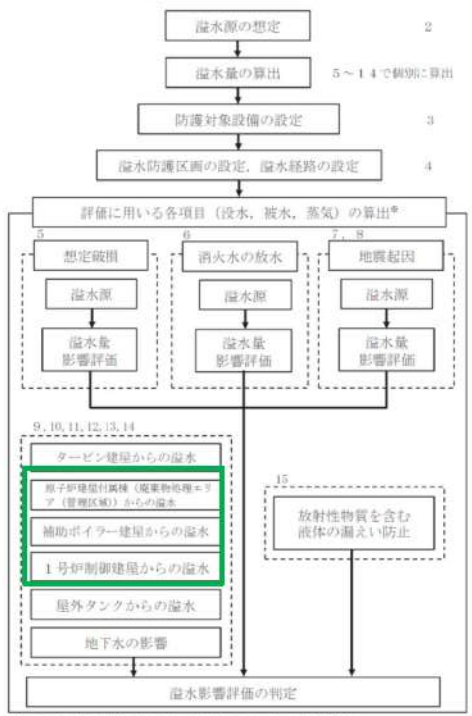
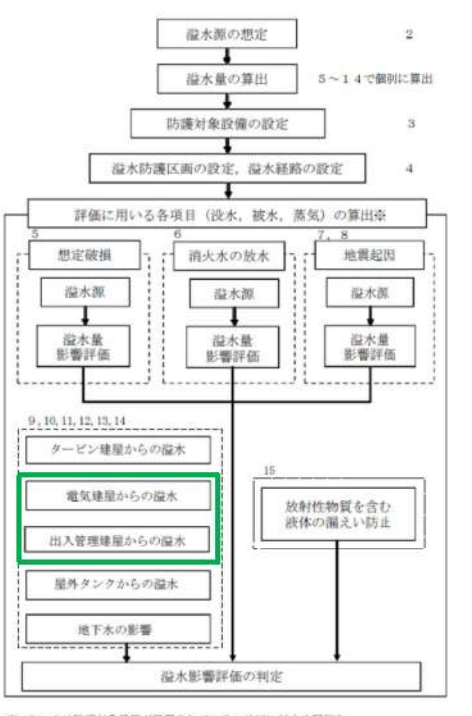
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 発電用原子炉施設内での溢水事象(地震に起因するものを含む。)を想定し、発電用原子炉施設内での溢水の伝播経路及び滞留を考慮して、機器の多重性、多様性、各系統相互の離隔距離の確保、障壁等の設置により、同時に複数区分の安全機能が損なわれない設計とする。さらに、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下、「安全評価指針」という。）に基づき発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心が損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。なお、安全解析にあたっては、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故を収束させるために必要な設備の単一故障を考慮する。</p> <p>(2) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合において、放射性物質によって汚染された液体が管理されない状態で管理区域外へ漏えいしないよう、以下のような設計とする。</p> <p>a. 放射性物質を含む液体を扱う大容量ポンプの設置区域や、廃液処理設備の設置区域に対して、放射性液体の管理区域外への流出、拡大を防止する設計とする。</p> <p>b. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、伝播経路となる箇所について、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行う設計とする。</p> <p>c. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝を設置し、漏えいした放射性液体を床ドレンに確実に導く設計とする。</p>	<p>b. 発電用原子炉施設内での溢水事象(地震に起因するものを含む。)を想定し、発電用原子炉施設内での溢水の伝播経路及び滞留を考慮して、防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p> <p>さらに、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下、「安全評価指針」という。）に基づき必要な機器の単一故障を考慮しても、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生により、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。</p> <p>(2) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合において、放射性物質によって汚染された液体が管理されない状態で管理区域外へ漏えいしないよう、以下のような設計とする。</p> <p>a. 放射性物質を含む液体を扱う大容量ポンプの設置区域や、放射性廃棄物の処理施設及び貯蔵施設の設置区域に対して、放射性液体の管理区域外への流出、拡大を防止する設計とする。</p> <p>b. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、伝播経路となる箇所について、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行う設計とする。</p>	<p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部溢水により原子炉に外乱が及ぶ場合について、女川はその溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行っている。</li> <li>・一方泊では、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の発生時でも、全ての溢水防護対象設備が溢水（地震・想定破損・消火放水）によって安全機能を損なうことのないよう、溢水防護対策を施すこととしている。そのため、溢水影響により一部の安全機能が喪失することを前提とした安全解析は行わない。</li> </ul> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝、床ドレンからの排水に期待していない。</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1 原子炉施設の安全確保</p> <p>溢水ガイドにしたがい、以下のフローにて溢水影響評価を行った。</p>  <p>1.1 溢水源の想定</p> <p>1.4で個別に算出</p> <p>1.2 防護対象設備の設定</p> <p>1.3 溢水防護区画の設定、溢水経路の設定</p> <p>1.4 評価に用いる各項目（浸水、被水、蒸気）の算出</p> <p>想定破損、放水、地震</p> <p>廃棄物処理建屋、海水ポンプエリア、建屋外からの溢水</p> <p>経年劣化</p> <p>7 溢水影響評価の判定</p>	<p>1.2 溢水影響評価フロー</p> <p>以下のフローにて溢水影響評価を行う。</p>  <p>2 溢水源の想定</p> <p>5~14で個別に算出</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>4 溢水防護区画の設定、溢水経路の設定</p> <p>5 想定破損</p> <p>6 消火水の放水</p> <p>7, 8 地震起因</p> <p>9, 10, 11, 12, 13, 14 タービン建屋からの溢水、原子炉建屋自備種（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水、補助ボイラー建屋からの溢水、1号制御建屋からの溢水、屋外タンクからの溢水、地下水の影響</p> <p>15 放射性物質を含む液体の漏えい防止</p> <p>溢水影響評価の判定</p> <p>※ 5~8は防護対象設備が設置されているエリアに対する評価を、9~14は防護対象設備が設置されているエリア外及び建屋外からの評価をそれぞれ示す。</p>	<p>1.2 溢水影響評価フロー</p> <p>以下のフローにて溢水影響評価を行う。</p>  <p>2 溢水源の想定</p> <p>5~14で個別に算出</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>4 溢水防護区画の設定、溢水経路の設定</p> <p>5 想定破損</p> <p>6 消火水の放水</p> <p>7, 8 地震起因</p> <p>9, 10, 11, 12, 13, 14 タービン建屋からの溢水、電気建屋からの溢水、出入管理建屋からの溢水、屋外タンクからの溢水、地下水の影響</p> <p>15 放射性物質を含む液体の漏えい防止</p> <p>溢水影響評価の判定</p> <p>※ 5~8は防護対象設備が設置されているエリアに対する評価を、9~14は防護対象設備が設置されているエリア外及び建屋外からの評価をそれぞれ示す。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>              ・女川審査実績の反映</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">建屋名称の相違</a></p>
<p>図1-1 溢水影響評価の全体（原子炉施設の安全確保）</p>	<p>図1-1 溢水影響評価フロー</p>	<p>図1-1 溢水影響評価フロー</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

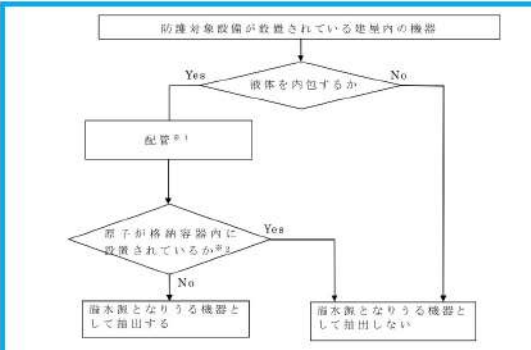
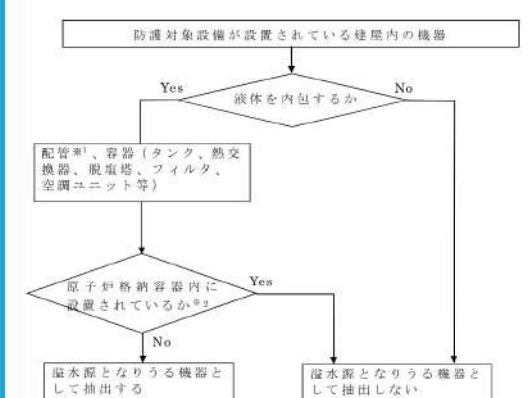
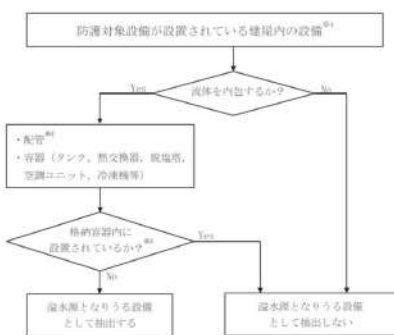
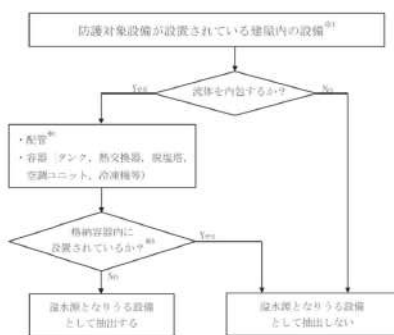
第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.1 溢水源の想定</p> <p>溢水ガイドに記載のとおり、溢水の発生要因別に以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>溢水源となりうる機器の抽出フローを図1.1-1, 2に示す。なお、放水による溢水は、消火栓、スプリンクラーからの放水とする。</p>	<p>2 溢水源の想定</p> <p>溢水源としては、発生要因別に分類した以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水(以下「想定破損による溢水」という。)</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態(火災含む)の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水(以下「消火水の放水による溢水」という。)</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水(以下「地震起因による溢水」という。)</p> <p>(4) その他の要因(地下水、地震以外の自然現象、機器の誤作動等)により生じる溢水(以下「その他の溢水」という。)</p> <p>防護対象設備の設置建屋内において流体を内包する配管及び容器を、溢水源となりうる設備として配管計装線図(P&amp;ID)より抽出した。ここで抽出された設備が想定破損時及び地震時の評価において破損する場合、それぞれの評価での溢水源となる。想定破損による溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定した。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定した。地震時の評価においては、使用済燃料プール等のスロッシングについても溢水源として想定した。</p> <p>火災時における溢水源としては、自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、消火栓からの放水を考慮する。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから(インターロック等の誤作動や運転員の人的過誤がそれぞれ単独で発生しても誤動作しない)、溢水源として考慮しない。</p> <p>その他の溢水については、地下水、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p> <p>溢水源となりうる設備の抽出フローを図2-1に、溢水源の全体像を図2-2に、発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源を添付資料1に、溢水源となりうる機器のリストを添付資料2に、想定する溢水量一覧を添付資料3に示す。</p>	<p>2 溢水源の想定</p> <p>溢水源としては、発生要因別に分類した以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水(以下「想定破損による溢水」という。)</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態(火災含む)の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水(以下「消火水の放水による溢水」という。)</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水(以下「地震起因による溢水」という。)</p> <p>(4) その他の要因(地下水、地震以外の自然現象、機器の誤作動等)により生じる溢水(以下「その他の溢水」という。)</p> <p>防護対象設備の設置建屋内において流体を内包する配管及び容器を、溢水源となりうる設備として系統図より抽出した。ここで抽出された設備が想定破損時及び地震時の評価において破損する場合、それぞれの評価での溢水源となる。想定破損による溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定した。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定した。地震時の評価においては、使用済燃料ピット等のスロッシングについても溢水源として想定した。</p> <p>火災時における溢水源としては、自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、消火栓からの放水を考慮する。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから(インターロック等の誤作動や運転員の人的過誤がそれぞれ単独で発生しても誤動作しない)、溢水源として考慮しない。</p> <p>その他の溢水については、地下水、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p> <p>溢水源となりうる設備の抽出フローを図2-1に、溢水源の全体像を図2-2に、発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源を添付資料1に、溢水源となりうる機器のリストを添付資料2に、想定する溢水量一覧を添付資料3に示す。</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p>



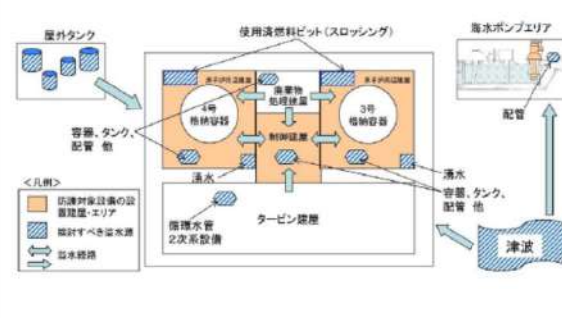
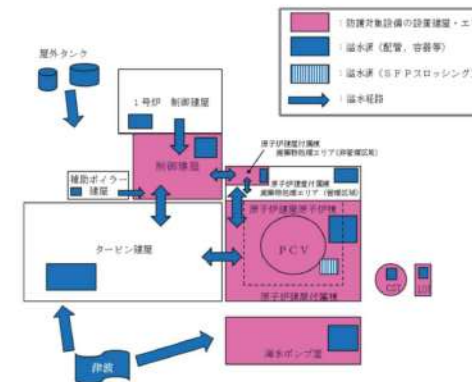
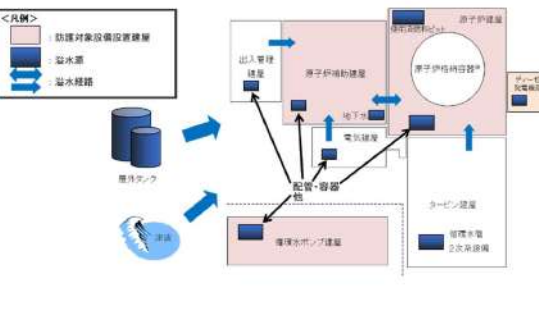
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図 1.1-1 想定破損による溢水源となりうる機器の抽出のフロー</p>  <p>図 1.1-2 地震起因による溢水源となりうる機器の抽出のフロー</p>	 <p>図2-1 溢水源となりうる設備の抽出フロー</p>	 <p>図 2-1 溢水源となりうる設備の抽出フロー</p>	<p>【大阪】                  記載方針の相違                  ・女川審査実績の反映</p>
<p>溢水源の候補は原子炉周辺建屋、制御建屋、海水ポンプエリア、廃棄物処理建屋、タービン建屋及び屋外にある。                  このうち、廃棄物処理建屋から原子炉周辺建屋への流入経路は止水されていることを確認し、「3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価」に検討内容と結果を記載した。                  海水ポンプエリアについては「4 海水ポンプエリアの溢水影響評価」に記載した。                  また、タービン建屋（循環水管、津波）、屋外タンク、湧水</p>	<p>溢水源は原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）、1号及び2号炉制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンク（CST）エリア、軽油タンク（LOT）エリア、タービン建屋、補助ボイラー建屋及び屋外にある。</p>	<p>溢水源は原子炉建屋、原子炉補助建屋、循環水ポンプ建屋、タービン建屋、出入管理建屋、電気建屋及び屋外にある。</p>	<p>記載表現の相違                  建屋名称の相違</p> <p>【大阪】                  記載方針の相違                  ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(原子炉周辺建屋) については「5 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価」に記載した。</p>  <p>図1.1-2 溢水源の全体像</p> <p>(添付資料1.1) 溢水源 (原子炉周辺建屋、制御建屋)</p> <p>1.2 防護対象設備の設定</p> <p>溢水ガイドは、(1)重要度の特に高い安全機能を有するシステムがその安全機能を適切に維持するために必要な設備並びに(2)使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を適切に維持するために必要な設備を防護対象設備とすることを求めている。また、防護対象設備は重要度の特に高い安全機能を有する設備が内部溢水により原子炉に外乱が生じ、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合に、それを達成するために必要な設備についても抽出する。</p> <p>以下に、それぞれに対応する防護対象設備の選定方法を示す。</p> <p>なお、検討する防護対象設備が設置されている建屋及びエリアは原子炉周辺建屋、制御建屋及び海水ポンプエリアである。</p>	 <p>図2-2 溢水源の全体像</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>設置許可基準規則第九条において、「発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない」と規定されている。</p> <p>上記の「安全機能を損なわないもの」とは、同規則の解釈において、「発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること」と解されている。</p> <p>また、溢水ガイドにおいては、「重要度の特に高い安全機能を有するシステムが、その安全機能を適切に維持するために必要な設備」及び「「プール冷却」及び「プールへの給水」の機能を適切に維持するために必要な設備」を防護対象設備として選定している。さらに設置許可基準規則第十二条では、安全施設が安全機能を果たすための要求が記載されている。</p> <p>上記の要求事項を踏まえ、以下の手順により防護対象設備を選定する。</p>	 <p>図2-2 溢水源の全体像</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>設置許可基準規則第九条において、「発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない」と規定されている。</p> <p>上記の「安全機能を損なわないもの」とは、同規則の解釈において、「発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること」と解されている。</p> <p>また、溢水ガイドにおいては、「重要度の特に高い安全機能を有するシステムが、その安全機能を適切に維持するために必要な設備」及び「「プール冷却」及び「プールへの給水」の機能を適切に維持するために必要な設備」を防護対象設備として選定している。さらに設置許可基準規則第十二条では、安全施設が安全機能を果たすための要求が記載されている。</p> <p>上記の要求事項を踏まえ、以下の手順により防護対象設備を選定する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>              ・女川審査実績の反映</p>
<p>9-別添 1-13</p>			



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 重要度の特に高い安全機能を有する系統</p> <p>原子炉停止、高温停止、低温停止及びその維持に必要な以下の機能、系統を抽出し、これらの機能を達成するために必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>①原子炉停止：原子炉停止系</p> <p>②ほう酸添加：原子炉停止系（化学体積制御系のほう酸注入機能等）</p> <p>③崩壊熱除去：補助給水系、主蒸気系、余熱除去系</p> <p>④1次系減圧：1次冷却系の減圧機能</p> <p>⑤上記系統の関連系：原子炉補機冷却系、制御用空気系、換気空調系、非常用電源系、給水系、電気盤</p> <p>⑥その他</p> <p>上記系統に加え、原子炉施設の安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過度変化又は設計基準事故を対象として、溢水により発生し得る原子炉の外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱に対処する設備を抽出する。抽出に当たっては溢水事象となり得る運転時の異常な過度変化及び設計基準事故も評価対象とする。</p> <p>原子炉外乱としては、以下の溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱を考慮する。地震に対しては溢水だけでなく、地震に起因する原子炉外乱（主給水流量喪失、外部電源喪失等）も考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定破損による溢水（単一機器の破損を想定）</li> <li>・消火水の放水による溢水（単一の溢水源を想定）</li> <li>・地震起因による溢水（耐震B、Cクラスの機器の破損を想定）</li> </ul> <p>なお、原子炉格納容器内に設置される重要度の特に高い安全機能を有する設備は、原子炉冷却材喪失（以下、「LOCA」という。）を考慮した耐環境仕様としているため、これ以降の検討から除外した。</p>	<p>3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全施設のうち、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するため、並びに使用済燃料プールにおいてはプール冷却機能及びプールへの給水機能を維持するために必要となる、発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針（以下「重要度分類審査指針」という。）における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>その上で、「重要度の特に高い安全機能を有する系統」として、重要度分類審査指針及び設置許可基準規則第十二条より、表3-1のとおり抽出する。</p>	<p>3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全施設のうち、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するため、並びに使用済燃料ビットにおいてはビット冷却機能及びビットへの給水機能を維持するために必要となる、発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針（以下「重要度分類審査指針」という。）における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>その上で、「重要度の特に高い安全機能を有する系統」として、重要度分類審査指針及び設置許可基準規則第十二条より、表3-1のとおり抽出する。</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統</p> <p>使用済燃料ピットを保安規定で定められた水温（6.5℃以下）に維持する必要があるため、使用済燃料ピットの冷却機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>また、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能の維持に必要な水位が確保されるように、使用済燃料ピットの給水機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p>	<p>また使用済燃料プールについて、「プール冷却」及び「プールへの給水」機能を有する系統を表3-2のとおり抽出する。</p> <p>なお、安全施設の全体像は、重要度分類審査指針における分類でクラス1, 2, 3に該当する構築物、系統及び機器であり、これら安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性について表3-3に示す。また、クラス1, 2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に該当する安全施設であって、重要度の特に高い安全機能を有する系統に該当しないものについては、溢水防護上必要な機能を有する系統として考慮するものの、溢水により損傷した場合であっても代替手段があること等により安全機能が損なわれないことが確認できることから後段の影響評価の対象から除外することとし、各構築物・系統又は機器について溢水影響評価上の扱いを整理した結果についても表3-3にて示す。</p>	<p>また使用済燃料ピットについて、「ピット冷却」及び「ピットへの給水」機能を有する系統を表3-2のとおり抽出する。</p> <p>なお、安全施設の全体像は、重要度分類審査指針における分類でクラス1, 2, 3に該当する構築物、系統及び機器であり、これら安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性について表3-3に示す。また、クラス1, 2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に該当する安全施設であって、重要度の特に高い安全機能を有する系統に該当しないものについては、溢水防護上必要な機能を有する系統として考慮するものの、溢水により損傷した場合であっても代替手段があること等により安全機能が損なわれないことが確認できることから後段の影響評価の対象から除外することとし、各構築物・系統又は機器について溢水影響評価上の扱いを整理した結果についても表3-3にて示す。</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p>
<p>(3) 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定について</p> <p>防護対象設備として選定した設備のうち、溢水影響評価を行う設備のスクリーニングの考え方について、図1.2-1に溢水影響評価対象の選定フローを、表1.2-1に溢水影響評価の対象外とする理由についてまとめた。</p> <p>防護対象設備としては、LOCAのような溢水事象そのものによって安全解析上の事故や異常な過渡変化が発生した場合に、プラントを安全停止させるために必要な設備は、防護対象設備として抽出し、溢水の影響を受けても必要な安全機能を損なわないものを除き評価対象とした。</p> <p>なお、防護対象設備リストにはプラント停止の対処設備を明確にするために該当する系統の容器（タンク）、熱交換器、フィルタ等の主要な静的機器についても記載したが、これらの設備は溢水影響を受けないため、機能喪失高さは「一」と記載した。</p>	<p>3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3.1で抽出した各系統について、系統図等に基づき、当該系統の機能を維持する上で必要な設備を抽出する。以上により抽出された設備を防護対象設備とする。</p> <p>3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3.2で抽出した防護対象設備について、溢水による設備機能への影響の有無（設備の種類別、耐環境仕様等）を考慮したスクリーニングを行い、溢水影響評価上の防護対象設備として選定した。評価対象選定フロー及びスクリーニング理由を、それぞれ図3-1及び表3-4に示す。なお、以下ではこの“溢水影響評価上の防護対象設備”を単に“防護対象設備”と読み替えることとする。抽出した防護対象設備を添付資料4に、防護対象設備の機能喪失高さ（溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ）の考え方について添付資料5に、溢水影響評価対象外とした設備を添付資料6にそれぞれ示す。</p>	<p>3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3.1で抽出した各系統について、系統図等に基づき、当該系統の機能を維持する上で必要な設備を抽出する。以上により抽出された設備を防護対象設備とする。</p> <p>3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3.2で抽出した防護対象設備について、溢水による設備機能への影響の有無（設備の種類別、耐環境仕様等）を考慮したスクリーニングを行い、溢水影響評価上の防護対象設備として選定した。評価対象選定フロー及びスクリーニング理由を、それぞれ図3-1及び表3-4に示す。なお、以下ではこの“溢水影響評価上の防護対象設備”を単に“防護対象設備”と読み替えることとする。抽出した防護対象設備を添付資料4に、防護対象設備の機能喪失高さ（溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ）の考え方について添付資料5に、溢水影響評価対象外とした設備を添付資料6にそれぞれ示す。</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p>



泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
	<p>表3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果（1/3）</p> <table border="1" data-bbox="707 255 1263 1040"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界維持機能</td> <td>ほう酸水注入系</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能</td> <td>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）</td> <td rowspan="6">MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td rowspan="4">MS-1</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>残留熱除去系（低圧注水モード）</td> <td rowspan="3">MS-1</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能</td> <td>残留熱除去系</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td>自動減圧系</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）	原子炉隔離時冷却系	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系	MS-1	高圧炉心スプレイ系		原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	MS-1	高圧炉心スプレイ系		事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系	MS-1	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）	低圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1	低圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能	残留熱除去系	MS-1	自動減圧系	<p>表3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="1290 255 1854 1066"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界維持機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>加圧器安全弁（開機能）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止後における除熱のための</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去機能</td> <td>余熱除去設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系からの除熱機能</td> <td>主蒸気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系への補給水機能</td> <td>補助給水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 アニュラス空気浄化設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（交流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（直流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>ディーゼル発電機</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却海水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室空調装置</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>制御用圧縮空気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）	MS-1	未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）	MS-1		原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	加圧器安全弁（開機能）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための			残留熱除去機能	余熱除去設備	MS-1	二次系からの除熱機能	主蒸気設備	MS-1	二次系への補給水機能	補助給水設備	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための			原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1	原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	原子炉格納容器スプレイ設備 アニュラス空気浄化設備	MS-1	格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能			非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1	非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1	非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調装置	MS-1	圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																						
原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																																						
未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1																																																																																																																						
	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																																						
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1																																																																																																																						
原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1																																																																																																																						
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																							
	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）																																																																																																																							
	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）																																																																																																																							
	原子炉隔離時冷却系																																																																																																																							
	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）																																																																																																																							
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系	MS-1																																																																																																																						
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																							
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	MS-1																																																																																																																						
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																							
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系	MS-1																																																																																																																						
	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）																																																																																																																							
	低圧炉心スプレイ系																																																																																																																							
	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）																																																																																																																							
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1																																																																																																																						
	低圧炉心スプレイ系																																																																																																																							
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																																							
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能	残留熱除去系	MS-1																																																																																																																						
	自動減圧系																																																																																																																							
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																						
原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）	MS-1																																																																																																																						
未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）（化学体積制御設備のほう酸注入機能）	MS-1																																																																																																																						
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	加圧器安全弁（開機能）	MS-1																																																																																																																						
原子炉停止後における除熱のための																																																																																																																								
残留熱除去機能	余熱除去設備	MS-1																																																																																																																						
二次系からの除熱機能	主蒸気設備	MS-1																																																																																																																						
二次系への補給水機能	補助給水設備	MS-1																																																																																																																						
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための																																																																																																																								
原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1																																																																																																																						
原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1																																																																																																																						
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	原子炉格納容器スプレイ設備 アニュラス空気浄化設備	MS-1																																																																																																																						
格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1																																																																																																																						
格納容器内の可燃性ガス制御機能																																																																																																																								
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1																																																																																																																						
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1																																																																																																																						
非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1																																																																																																																						
非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1																																																																																																																						
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																																						
補機冷却機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1																																																																																																																						
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1																																																																																																																						
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調装置	MS-1																																																																																																																						
圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																							
	<p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(2/3)</p> <table border="1" data-bbox="745 244 1240 916"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>非常用ガス処理系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td>可燃性ガス濃度制御系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>非常用ディーゼル発電機(高圧が心スプレイ系ディーゼル発電機を含む)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>蓄電池(非常用)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室換気空調系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>起動加速モニター<sup>※1</sup> 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="745 1042 1240 1410"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>原子炉水位(広帯域)<sup>※1</sup></td> <td rowspan="3">MS-2</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(燃料域)<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>ドライウェル圧力<sup>※1</sup></td> <td rowspan="4">MS-2</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線モニター<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>原子炉水位(広帯域)<sup>※1</sup></td> <td rowspan="7">MS-2</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(燃料域)<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気水温度<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気気酸濃度<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直接関連系</td> <td>気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニター<sup>※1,2</sup></td> <td>MS-3</td> </tr> <tr> <td>計測制御電源室換気空調系 原子炉補機換気空調系 換気空調室非常用冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装グループ全体を示すため要素名を記載          ※2 「緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能」に属する設備であるが、設計基準事故の放射性気体廃棄物処理施設の稼働時において期待していることから、「事故時のプラント操作のための情報の把握機能」に分類。詳細な評価を補足説明資料 37 にて実施した。</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1	格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1	非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1	非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機(高圧が心スプレイ系ディーゼル発電機を含む)	MS-1	非常用の直流電源機能	蓄電池(非常用)	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系	MS-1	冷却海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1	圧縮空気供給機能	主蒸気逃がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	起動加速モニター <sup>※1</sup> 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置	MS-2	機能	対象系統・機器	重要度分類	事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位(広帯域) <sup>※1</sup>	MS-2	原子炉水位(燃料域) <sup>※1</sup>	原子炉圧力 <sup>※1</sup>	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	ドライウェル圧力 <sup>※1</sup>	MS-2	圧力抑制室圧力 <sup>※1</sup>	サブプレッションプール水温度 <sup>※1</sup>	格納容器内雰囲気放射線モニター <sup>※1</sup>	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位(広帯域) <sup>※1</sup>	MS-2	原子炉水位(燃料域) <sup>※1</sup>	原子炉圧力 <sup>※1</sup>	ドライウェル圧力 <sup>※1</sup>	圧力抑制室圧力 <sup>※1</sup>	サブプレッションプール水温度 <sup>※1</sup>	格納容器内雰囲気水温度 <sup>※1</sup>	格納容器内雰囲気気酸濃度 <sup>※1</sup>	直接関連系	気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニター <sup>※1,2</sup>	MS-3	計測制御電源室換気空調系 原子炉補機換気空調系 換気空調室非常用冷却水系	MS-1	<p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1294 260 1848 866"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ(隔離弁)</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能</td> <td>安全保護系(原子炉保護設備)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>安全保護系(工学的安全施設作動設備)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>原子炉トリップ遮断器の状態 ほう素濃度(サンプリング分析)<sup>*</sup></td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>1次冷却材圧力<sup>*</sup></td> <td rowspan="3">MS-2</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材高温側/低温側温度(広域)<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td>加圧器水位<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>格納容器圧力<sup>*</sup></td> <td rowspan="2">MS-2</td> </tr> <tr> <td>格納容器高レンジエアモニタ(低レンジ/高レンジ)<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>ほう酸タンク水位<sup>*</sup></td> <td rowspan="7">MS-2</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(広域、狭域)<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td>補助給水ライン流量<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット水位<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ピット水位<sup>*</sup></td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位(広域、狭域)<sup>*</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装グループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ(隔離弁)	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	安全保護系(原子炉保護設備)	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系(工学的安全施設作動設備)	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ遮断器の状態 ほう素濃度(サンプリング分析) <sup>*</sup>	MS-2	事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力 <sup>*</sup>	MS-2	1次冷却材高温側/低温側温度(広域) <sup>*</sup>	加圧器水位 <sup>*</sup>	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力 <sup>*</sup>	MS-2	格納容器高レンジエアモニタ(低レンジ/高レンジ) <sup>*</sup>	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう酸タンク水位 <sup>*</sup>	MS-2	蒸気発生器水位(広域、狭域) <sup>*</sup>	主蒸気ライン圧力 <sup>*</sup>	補助給水ライン流量 <sup>*</sup>	補助給水ピット水位 <sup>*</sup>	燃料取扱用水ピット水位 <sup>*</sup>	格納容器再循環サンプ水位(広域、狭域) <sup>*</sup>	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																								
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1																																																																																																																								
格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1																																																																																																																								
格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1																																																																																																																								
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1																																																																																																																								
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1																																																																																																																								
非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機(高圧が心スプレイ系ディーゼル発電機を含む)	MS-1																																																																																																																								
非常用の直流電源機能	蓄電池(非常用)	MS-1																																																																																																																								
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																																								
補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系	MS-1																																																																																																																								
冷却海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系	MS-1																																																																																																																								
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1																																																																																																																								
圧縮空気供給機能	主蒸気逃がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1																																																																																																																								
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1																																																																																																																								
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																																								
原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1																																																																																																																								
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1																																																																																																																								
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	起動加速モニター <sup>※1</sup> 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び制御棒位置	MS-2																																																																																																																								
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																								
事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位(広帯域) <sup>※1</sup>	MS-2																																																																																																																								
	原子炉水位(燃料域) <sup>※1</sup>																																																																																																																									
	原子炉圧力 <sup>※1</sup>																																																																																																																									
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	ドライウェル圧力 <sup>※1</sup>	MS-2																																																																																																																								
	圧力抑制室圧力 <sup>※1</sup>																																																																																																																									
	サブプレッションプール水温度 <sup>※1</sup>																																																																																																																									
	格納容器内雰囲気放射線モニター <sup>※1</sup>																																																																																																																									
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉水位(広帯域) <sup>※1</sup>	MS-2																																																																																																																								
	原子炉水位(燃料域) <sup>※1</sup>																																																																																																																									
	原子炉圧力 <sup>※1</sup>																																																																																																																									
	ドライウェル圧力 <sup>※1</sup>																																																																																																																									
	圧力抑制室圧力 <sup>※1</sup>																																																																																																																									
	サブプレッションプール水温度 <sup>※1</sup>																																																																																																																									
	格納容器内雰囲気水温度 <sup>※1</sup>																																																																																																																									
格納容器内雰囲気気酸濃度 <sup>※1</sup>																																																																																																																										
直接関連系	気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニター <sup>※1,2</sup>	MS-3																																																																																																																								
	計測制御電源室換気空調系 原子炉補機換気空調系 換気空調室非常用冷却水系	MS-1																																																																																																																								
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																								
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ(隔離弁)	PS-1																																																																																																																								
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																																								
原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	安全保護系(原子炉保護設備)	MS-1																																																																																																																								
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系(工学的安全施設作動設備)	MS-1																																																																																																																								
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ遮断器の状態 ほう素濃度(サンプリング分析) <sup>*</sup>	MS-2																																																																																																																								
事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力 <sup>*</sup>	MS-2																																																																																																																								
	1次冷却材高温側/低温側温度(広域) <sup>*</sup>																																																																																																																									
	加圧器水位 <sup>*</sup>																																																																																																																									
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力 <sup>*</sup>	MS-2																																																																																																																								
	格納容器高レンジエアモニタ(低レンジ/高レンジ) <sup>*</sup>																																																																																																																									
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう酸タンク水位 <sup>*</sup>	MS-2																																																																																																																								
	蒸気発生器水位(広域、狭域) <sup>*</sup>																																																																																																																									
	主蒸気ライン圧力 <sup>*</sup>																																																																																																																									
	補助給水ライン流量 <sup>*</sup>																																																																																																																									
	補助給水ピット水位 <sup>*</sup>																																																																																																																									
	燃料取扱用水ピット水位 <sup>*</sup>																																																																																																																									
	格納容器再循環サンプ水位(広域、狭域) <sup>*</sup>																																																																																																																									



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																								
<p>表 3-2 「プール冷却」及び「プールへの給水」機能を有する系統の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="701 256 1245 432"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール冷却機能</td> <td>燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度<sup>※1</sup></td> <td>PS-3</td> </tr> <tr> <td>プール給水機能</td> <td>燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位<sup>※1</sup></td> <td>MS-2 MS-3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装ループ全体を示すための要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度 <sup>※1</sup>	PS-3	プール給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位 <sup>※1</sup>	MS-2 MS-3	<p>表 3-2 「ピット冷却」及び「ピットへの給水」機能を有する系統の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="1290 256 1856 432"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・設備</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピット冷却機能</td> <td>使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度<sup>※1</sup></td> <td>PS-2 PS-3</td> </tr> <tr> <td>ピット給水機能</td> <td>燃料取替用水ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位<sup>※1</sup></td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すための要素名を記載</p>	機能	対象系統・設備	重要度分類	ピット冷却機能	使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度 <sup>※1</sup>	PS-2 PS-3	ピット給水機能	燃料取替用水ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位 <sup>※1</sup>	MS-2	<p>相違理由</p>																																																																																																																																							
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																																																																									
プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度 <sup>※1</sup>	PS-3																																																																																																																																																									
プール給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位 <sup>※1</sup>	MS-2 MS-3																																																																																																																																																									
機能	対象系統・設備	重要度分類																																																																																																																																																									
ピット冷却機能	使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度 <sup>※1</sup>	PS-2 PS-3																																																																																																																																																									
ピット給水機能	燃料取替用水ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位 <sup>※1</sup>	MS-2																																																																																																																																																									
<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性（1/17）</p> <table border="1" data-bbox="701 630 1245 1225"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能<sup>※1</sup></th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">PS-1</td> <td rowspan="10">その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="10">①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td rowspan="10">原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、溢水による影響を受けない。</td> <td rowspan="10">(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離<sup>※</sup></td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動機構ハウジング</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>中性子束計測ハウジング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒カップリング</td> <td>本臨界維持機能</td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動機構カップリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉心シールド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シールドサポート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部格子板</td> <td>(炉心形状の維持機能として、左記機器は原子炉圧力容器内にあり、また静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>炉心支持構造物(炉心シールド、シールドサポート)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">③炉心形状の維持機能</td> <td rowspan="10">炉心支持構造物(炉心シールド、シールドサポート、上部格子板、炉心支持構造物内管)</td> <td rowspan="10">燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td rowspan="10">燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td>燃料集合体(上部タイププレート)</td> <td></td> <td rowspan="10">(炉心形状の維持機能として、溢水影響上の影響が小さい)</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(下部タイププレート)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、溢水による影響を受けない。	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離 <sup>※</sup>	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	制御棒駆動機構ハウジング	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	中性子束計測ハウジング		制御棒カップリング	本臨界維持機能	制御棒駆動機構カップリング		炉心シールド		シールドサポート		上部格子板	(炉心形状の維持機能として、左記機器は原子炉圧力容器内にあり、また静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	炉心支持構造物(炉心シールド、シールドサポート)		③炉心形状の維持機能	炉心支持構造物(炉心シールド、シールドサポート、上部格子板、炉心支持構造物内管)	燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)	燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)	燃料集合体(上部タイププレート)		(炉心形状の維持機能として、溢水影響上の影響が小さい)	燃料集合体(下部タイププレート)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性（1/13）</p> <table border="1" data-bbox="1290 630 1856 1246"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能<sup>※1</sup></th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">PS-1</td> <td rowspan="10">その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="10">①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td rowspan="10">原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）</td> <td>燃料内蔵機器</td> <td></td> <td rowspan="10">(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、溢水影響上の影響が小さい)</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器配管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動機構ハウジング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">②過剰反応度の抑制的止機能</td> <td rowspan="10">燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="10">制御棒駆動機構ハウジング</td> <td rowspan="10">制御棒駆動機構ハウジング</td> <td>制御棒駆動機構ハウジング</td> <td></td> <td rowspan="10">(過剰反応度の抑制的止機能として、溢水影響上の影響が小さい)</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">③炉心形状の維持機能</td> <td rowspan="10">炉心支持構造物(炉心シールド、シールドサポート、上部格子板、炉心支持構造物内管)</td> <td rowspan="10">燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td rowspan="10">燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td>燃料集合体(上部タイププレート)</td> <td></td> <td rowspan="10">(炉心形状の維持機能として、溢水影響上の影響が小さい)</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(下部タイププレート)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、溢水影響範囲上の扱いを( )内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料内蔵機器		(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、溢水影響上の影響が小さい)	燃料集合体		加圧器		加圧器配管		加圧器		制御棒駆動機構ハウジング		燃料集合体		燃料集合体		燃料集合体		燃料集合体		②過剰反応度の抑制的止機能	燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	制御棒駆動機構ハウジング	制御棒駆動機構ハウジング	制御棒駆動機構ハウジング		(過剰反応度の抑制的止機能として、溢水影響上の影響が小さい)	燃料集合体		燃料集合体		燃料集合体		燃料集合体		燃料集合体		燃料集合体		燃料集合体		燃料集合体		燃料集合体		③炉心形状の維持機能	炉心支持構造物(炉心シールド、シールドサポート、上部格子板、炉心支持構造物内管)	燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)	燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)	燃料集合体(上部タイププレート)		(炉心形状の維持機能として、溢水影響上の影響が小さい)	燃料集合体(下部タイププレート)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)		<p>相違理由</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>																																																																																																																																																					
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																																																																																							
PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、溢水による影響を受けない。	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																																																																																																																					
				原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離 <sup>※</sup>	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能																																																																																																																																																						
				制御棒駆動機構ハウジング	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																																																																																																																						
				中性子束計測ハウジング																																																																																																																																																							
				制御棒カップリング	本臨界維持機能																																																																																																																																																						
				制御棒駆動機構カップリング																																																																																																																																																							
				炉心シールド																																																																																																																																																							
				シールドサポート																																																																																																																																																							
				上部格子板	(炉心形状の維持機能として、左記機器は原子炉圧力容器内にあり、また静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																																																																																																																						
				炉心支持構造物(炉心シールド、シールドサポート)																																																																																																																																																							
③炉心形状の維持機能	炉心支持構造物(炉心シールド、シールドサポート、上部格子板、炉心支持構造物内管)	燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)	燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)	燃料集合体(上部タイププレート)		(炉心形状の維持機能として、溢水影響上の影響が小さい)																																																																																																																																																					
				燃料集合体(下部タイププレート)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>																																																																																																																																																					
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																																																																																							
PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系（計装等の小口径配管・機器は除く。）	燃料内蔵機器		(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能として、溢水影響上の影響が小さい)																																																																																																																																																					
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				加圧器																																																																																																																																																							
				加圧器配管																																																																																																																																																							
				加圧器																																																																																																																																																							
				制御棒駆動機構ハウジング																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
②過剰反応度の抑制的止機能	燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	制御棒駆動機構ハウジング	制御棒駆動機構ハウジング	制御棒駆動機構ハウジング		(過剰反応度の抑制的止機能として、溢水影響上の影響が小さい)																																																																																																																																																					
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
				燃料集合体																																																																																																																																																							
③炉心形状の維持機能	炉心支持構造物(炉心シールド、シールドサポート、上部格子板、炉心支持構造物内管)	燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)	燃料集合体(上部タイププレート) 燃料集合体(下部タイププレート) 燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)	燃料集合体(上部タイププレート)		(炉心形状の維持機能として、溢水影響上の影響が小さい)																																																																																																																																																					
				燃料集合体(下部タイププレート)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							
				燃料集合体(ただし、燃料を傾く。)																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(2/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉の緊急停止機能</td> <td>制御棒 原子炉停止系の制御棒による系（制御棒駆動機構及び制御棒駆動系（スクラム機能））</td> <td>原子炉の緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>2) 未臨界維持機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒による系、ほう酸水注入系）</td> <td>未臨界維持機能</td> </tr> <tr> <td>3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>過がし安全弁（安全弁としての関機能）</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> </tr> <tr> <td>4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレィ系、過がし安全弁（手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能））</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	制御棒 原子炉停止系の制御棒による系（制御棒駆動機構及び制御棒駆動系（スクラム機能））	原子炉の緊急停止機能	2) 未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒による系、ほう酸水注入系）	未臨界維持機能	3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	過がし安全弁（安全弁としての関機能）	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレィ系、過がし安全弁（手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能））	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(2/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-1</td> <td rowspan="3">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉停止系の制御棒による系、制御棒駆動機構及び制御棒駆動系（スクラム機能）</td> <td>原子炉の緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>2) 未臨界維持機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒による系、ほう酸水注入系）</td> <td>未臨界維持機能</td> </tr> <tr> <td>3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>過がし安全弁（安全弁としての関機能）</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系の制御棒による系、制御棒駆動機構及び制御棒駆動系（スクラム機能）	原子炉の緊急停止機能	2) 未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒による系、ほう酸水注入系）	未臨界維持機能	3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	過がし安全弁（安全弁としての関機能）	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																												
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																													
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	制御棒 原子炉停止系の制御棒による系（制御棒駆動機構及び制御棒駆動系（スクラム機能））	原子炉の緊急停止機能																																												
		2) 未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒による系、ほう酸水注入系）	未臨界維持機能																																												
		3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	過がし安全弁（安全弁としての関機能）	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能																																												
		4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレィ系、過がし安全弁（手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能））	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能																																												
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																												
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																													
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系の制御棒による系、制御棒駆動機構及び制御棒駆動系（スクラム機能）	原子炉の緊急停止機能																																												
		2) 未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒による系、ほう酸水注入系）	未臨界維持機能																																												
		3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	過がし安全弁（安全弁としての関機能）	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能																																												

※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、図水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (3/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能<sup>※1</sup></th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>原子炉隔離時冷却系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁）</td> <td rowspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>タービンへの蒸気供給配管、弁</td> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションチェンバ内のストレーナ</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（原子炉隔離時冷却系）</td> <td>復水貯蔵タンク</td> <td>ポンプの復水貯蔵タンクからの送込弁</td> <td>ポンプの復水貯蔵タンクからの戻込配管、弁</td> <td>潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> <td>サブプレッションチェンバ内のストレーナ</td> <td>直接関連系（高圧炉心スプレイス系）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>主蒸気送がし安全弁（手動送がし機能）</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力送がし機能</li> </td></tr> <tr> <td>直接関連系（主蒸気送がし安全弁（手動送がし機能））</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気送がし安全弁までの主蒸気配管</td> <td>駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気送がし安全弁までの配管、弁）</td> <td>圧縮空気供給機能</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	原子炉隔離時冷却系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁）	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	タービンへの蒸気供給配管、弁	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	ポンプミニマムフローラインの配管、弁	サブプレッションチェンバ内のストレーナ	直接関連系（原子炉隔離時冷却系）	復水貯蔵タンク	ポンプの復水貯蔵タンクからの送込弁	ポンプの復水貯蔵タンクからの戻込配管、弁	潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁	サブプレッションチェンバ内のストレーナ	直接関連系（高圧炉心スプレイス系）	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	主蒸気送がし安全弁（手動送がし機能）	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力送がし機能</li>	直接関連系（主蒸気送がし安全弁（手動送がし機能））	原子炉圧力容器から主蒸気送がし安全弁までの主蒸気配管	駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気送がし安全弁までの配管、弁）	圧縮空気供給機能		<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (3/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能<sup>※1</sup></th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td rowspan="2">高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">5) 炉心冷却機能</td> <td rowspan="2">非常用炉心冷却系（低圧注入弁、高圧注入弁）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故時の原子炉の状態に応じて炉心冷却のための原子炉内圧降降における注水機能</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故時の原子炉の状態に応じて炉心冷却のための原子炉内圧降降における注水機能</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul>	MS-1	5) 炉心冷却機能	非常用炉心冷却系（低圧注入弁、高圧注入弁）	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故時の原子炉の状態に応じて炉心冷却のための原子炉内圧降降における注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故時の原子炉の状態に応じて炉心冷却のための原子炉内圧降降における注水機能</li> </ul>	<p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、最悪影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>																																																																				
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																					
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	原子炉隔離時冷却系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁）	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>																																																																				
			タービンへの蒸気供給配管、弁		<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>																																																																			
			ポンプミニマムフローラインの配管、弁																																																																					
			サブプレッションチェンバ内のストレーナ																																																																					
直接関連系（原子炉隔離時冷却系）	復水貯蔵タンク	ポンプの復水貯蔵タンクからの送込弁	ポンプの復水貯蔵タンクからの戻込配管、弁	潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管																																																																				
高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁	サブプレッションチェンバ内のストレーナ	直接関連系（高圧炉心スプレイス系）	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>																																																																				
主蒸気送がし安全弁（手動送がし機能）	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力送がし機能</li>																																																																							
直接関連系（主蒸気送がし安全弁（手動送がし機能））	原子炉圧力容器から主蒸気送がし安全弁までの主蒸気配管	駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気送がし安全弁までの配管、弁）	圧縮空気供給機能																																																																					
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																				
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスレーズヤ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul>																																																																		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul>																																																																		
MS-1	5) 炉心冷却機能	非常用炉心冷却系（低圧注入弁、高圧注入弁）	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための二次系への除熱機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故時の原子炉の状態に応じて炉心冷却のための原子炉内圧降降における注水機能</li> </ul>																																																																		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</li> <li>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故時の原子炉の状態に応じて炉心冷却のための原子炉内圧降降における注水機能</li> </ul>																																																																			





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
<p>大阪発電所3/4号炉</p>	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(5/17)</p> <table border="1" data-bbox="698 247 1243 1013"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">5) 炉心冷却機能</td> <td>自動減圧系（主蒸気過し安全弁）</td> <td>・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（自動減圧系（主蒸気過し安全弁））</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気過し安全弁までの主蒸気配管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能</td> <td rowspan="2">6) 放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>原子炉格納容器（格納容器本体、貫通部、所外用エアロック、機器搬出入用ハッチ）</td> <td>（真空破壊弁及び原子炉格納給排気隔離弁については、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮。それ以外は静的構築物であるため、溢水による影響を受けない）</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td>ベント管 スプレイ管 真空破壊弁 主蒸気過し安全弁 排気管のクエンチ管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能</td> <td rowspan="2">6) 放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイ冷却系、原子炉格納容器バウンダリ配管</td> <td>（放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記構築物は静的構築物であるため、溢水による影響を受けない）</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（原子炉格納容器隔離弁及び原子炉格納容器バウンダリ配管）</td> <td>原子炉格納容器バウンダリ配管を構成する配管の隔離機能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>主蒸気流量制限器</td> <td>圧縮空気供給機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	自動減圧系（主蒸気過し安全弁）	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能	直接関連系（自動減圧系（主蒸気過し安全弁））	原子炉圧力容器から主蒸気過し安全弁までの主蒸気配管	MS-1	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	6) 放射性物質の閉じ込め機能	原子炉格納容器（格納容器本体、貫通部、所外用エアロック、機器搬出入用ハッチ）	（真空破壊弁及び原子炉格納給排気隔離弁については、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮。それ以外は静的構築物であるため、溢水による影響を受けない）	直接関連系（原子炉格納容器）	ベント管 スプレイ管 真空破壊弁 主蒸気過し安全弁 排気管のクエンチ管	MS-1	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	6) 放射性物質の閉じ込め機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイ冷却系、原子炉格納容器バウンダリ配管	（放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記構築物は静的構築物であるため、溢水による影響を受けない）	直接関連系（原子炉格納容器隔離弁及び原子炉格納容器バウンダリ配管）	原子炉格納容器バウンダリ配管を構成する配管の隔離機能				主蒸気流量制限器	圧縮空気供給機能	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(5/13)</p> <table border="1" data-bbox="1310 247 1848 917"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">5) 炉心冷却機能</td> <td>1) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>原子炉格納容器 ・原子炉トリップ安全装置 ・原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> </tr> <tr> <td>2) 安全上必要な他の構築物、系統及び機器</td> <td>工学的安全施設構築物 ・非常用炉心冷却装置（安全装置） ・格納容器スプレイ冷却装置構築物 ・主蒸気過し安全弁（安全装置） ・格納容器隔離弁（安全装置）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要な他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要な他の構築物</td> <td>2) 安全上必要な他の構築物</td> <td>原子炉格納容器 ・ベント管 ・スプレイ管 ・真空破壊弁 ・主蒸気過し安全弁 ・排気管のクエンチ管</td> </tr> <tr> <td>2) 安全上必要な他の構築物</td> <td>原子炉格納容器 ・ベント管 ・スプレイ管 ・真空破壊弁 ・主蒸気過し安全弁 ・排気管のクエンチ管</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>主蒸気流量制限器</td> <td>圧縮空気供給機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	1) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	原子炉格納容器 ・原子炉トリップ安全装置 ・原子炉停止系への作動信号の発生機能	2) 安全上必要な他の構築物、系統及び機器	工学的安全施設構築物 ・非常用炉心冷却装置（安全装置） ・格納容器スプレイ冷却装置構築物 ・主蒸気過し安全弁（安全装置） ・格納容器隔離弁（安全装置）	MS-1	2) 安全上必要な他の構築物、系統及び機器	2) 安全上必要な他の構築物	2) 安全上必要な他の構築物	原子炉格納容器 ・ベント管 ・スプレイ管 ・真空破壊弁 ・主蒸気過し安全弁 ・排気管のクエンチ管	2) 安全上必要な他の構築物	原子炉格納容器 ・ベント管 ・スプレイ管 ・真空破壊弁 ・主蒸気過し安全弁 ・排気管のクエンチ管				主蒸気流量制限器	圧縮空気供給機能	<p>相違理由</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																
分類	定義	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																	
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	自動減圧系（主蒸気過し安全弁）	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能																																																																
			直接関連系（自動減圧系（主蒸気過し安全弁））	原子炉圧力容器から主蒸気過し安全弁までの主蒸気配管																																																																
MS-1	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	6) 放射性物質の閉じ込め機能	原子炉格納容器（格納容器本体、貫通部、所外用エアロック、機器搬出入用ハッチ）	（真空破壊弁及び原子炉格納給排気隔離弁については、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮。それ以外は静的構築物であるため、溢水による影響を受けない）																																																																
			直接関連系（原子炉格納容器）	ベント管 スプレイ管 真空破壊弁 主蒸気過し安全弁 排気管のクエンチ管																																																																
MS-1	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	6) 放射性物質の閉じ込め機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレイ冷却系、原子炉格納容器バウンダリ配管	（放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能としては、左記構築物は静的構築物であるため、溢水による影響を受けない）																																																																
			直接関連系（原子炉格納容器隔離弁及び原子炉格納容器バウンダリ配管）	原子炉格納容器バウンダリ配管を構成する配管の隔離機能																																																																
			主蒸気流量制限器	圧縮空気供給機能																																																																
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																
分類	定義	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																	
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	1) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	原子炉格納容器 ・原子炉トリップ安全装置 ・原子炉停止系への作動信号の発生機能																																																																
			2) 安全上必要な他の構築物、系統及び機器	工学的安全施設構築物 ・非常用炉心冷却装置（安全装置） ・格納容器スプレイ冷却装置構築物 ・主蒸気過し安全弁（安全装置） ・格納容器隔離弁（安全装置）																																																																
MS-1	2) 安全上必要な他の構築物、系統及び機器	2) 安全上必要な他の構築物	2) 安全上必要な他の構築物	原子炉格納容器 ・ベント管 ・スプレイ管 ・真空破壊弁 ・主蒸気過し安全弁 ・排気管のクエンチ管																																																																
			2) 安全上必要な他の構築物	原子炉格納容器 ・ベント管 ・スプレイ管 ・真空破壊弁 ・主蒸気過し安全弁 ・排気管のクエンチ管																																																																
			主蒸気流量制限器	圧縮空気供給機能																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																															
<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(6/17)</p> <table border="1" data-bbox="698 247 1272 1013"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へし及び放出低減機能</td> <td>                     原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレッド冷却系、原子炉格納容器、可燃性ガス濃度制御系                 </td> <td>                     格納容器の冷却機能                       格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場内の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能                       格納容器内の可燃性ガス制御機能                 </td> <td rowspan="2">                     残留熱除去系（格納容器スプレッド冷却モード）（ポンプ、熱交換器、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレッド（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ気相部）までの配管、弁、スプレッド管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））                       直接関連系（残留熱除去（格納容器スプレッド冷却モード））                       非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟設込口から排気口までの配管、弁）                       直接関連系（非常用ガス処理系）                       可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）                       直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）                       残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）                 </td> </tr> <tr> <td>                     可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）                       直接関連系（非常用ガス処理系）                       可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）                       直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）                       残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 工学的安全施設及び原子炉停止の作動信号の発生機能</td> <td>                     原子炉保護系への作動信号の発生機構                      ・原子炉保護系の安全保護回路                 </td> <td>                     格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場内の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能                       格納容器内の可燃性ガス制御機能                 </td> <td rowspan="2">                     格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場内の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能                       格納容器内の可燃性ガス制御機能                 </td> </tr> <tr> <td>                     工学的安全施設への作動信号の発生機構                      ・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路                      ・主要欠陥の安全保護回路                      ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路                      ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路                 </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へし及び放出低減機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレッド冷却系、原子炉格納容器、可燃性ガス濃度制御系	格納容器の冷却機能  格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場内の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能  格納容器内の可燃性ガス制御機能	残留熱除去系（格納容器スプレッド冷却モード）（ポンプ、熱交換器、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレッド（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ気相部）までの配管、弁、スプレッド管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））  直接関連系（残留熱除去（格納容器スプレッド冷却モード））  非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟設込口から排気口までの配管、弁）  直接関連系（非常用ガス処理系）  可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）  直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）  残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）	可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）  直接関連系（非常用ガス処理系）  可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）  直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）  残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）	MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	1) 工学的安全施設及び原子炉停止の作動信号の発生機能	原子炉保護系への作動信号の発生機構 ・原子炉保護系の安全保護回路	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場内の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能  格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場内の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能  格納容器内の可燃性ガス制御機能	工学的安全施設への作動信号の発生機構 ・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主要欠陥の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (6/13)</p> <table border="1" data-bbox="1281 247 1863 949"> <thead> <tr> <th colspan="2">別添資料1(女川原子炉)の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2) 安全上特に重要な危険回避機能</td> <td>                     非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備                      あるいは、MS-1 関連の機器                 </td> <td>                     原子炉格納容器の冷却機能                      ・原子炉格納容器の冷却モード（ポンプ、熱交換器、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレッド（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ気相部）までの配管、弁、スプレッド管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））                       非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備                      あるいは、MS-1 関連の機器                 </td> <td rowspan="2">                     原子炉格納容器の冷却機能                       非常用炉内電気系                      ・非常用圧縮空気設備                      ・非常用炉内電気系                 </td> </tr> <tr> <td>                     非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備                      あるいは、MS-1 関連の機器                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-2</td> <td rowspan="2">1) その設備又は設備により発生する事象によって、何れも、著しい損傷又は燃料の大量の破壊を招き起こすおそれのある事象を防止し、かつ、放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 原子炉の冷却材を内蔵する構造体及び、原子炉冷却材の圧力バウンダリから放射線が外部に漏れ出すのを防止する構造体（放射線遮蔽体）</td> <td>                     化学体積制御装置、排気装置、排気装置                 </td> <td>                     非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備                      あるいは、MS-1 関連の機器                 </td> <td rowspan="2">                     原子炉格納容器の冷却機能                       非常用炉内電気系                      ・非常用圧縮空気設備                      ・非常用炉内電気系                 </td> </tr> <tr> <td>                     化学体積制御装置、排気装置、排気装置                 </td> </tr> </tbody> </table>	別添資料1(女川原子炉)の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な危険回避機能	非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備 あるいは、MS-1 関連の機器	原子炉格納容器の冷却機能 ・原子炉格納容器の冷却モード（ポンプ、熱交換器、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレッド（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ気相部）までの配管、弁、スプレッド管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））  非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備 あるいは、MS-1 関連の機器	原子炉格納容器の冷却機能  非常用炉内電気系 ・非常用圧縮空気設備 ・非常用炉内電気系	非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備 あるいは、MS-1 関連の機器	PS-2	1) その設備又は設備により発生する事象によって、何れも、著しい損傷又は燃料の大量の破壊を招き起こすおそれのある事象を防止し、かつ、放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉の冷却材を内蔵する構造体及び、原子炉冷却材の圧力バウンダリから放射線が外部に漏れ出すのを防止する構造体（放射線遮蔽体）	化学体積制御装置、排気装置、排気装置	非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備 あるいは、MS-1 関連の機器	原子炉格納容器の冷却機能  非常用炉内電気系 ・非常用圧縮空気設備 ・非常用炉内電気系	化学体積制御装置、排気装置、排気装置	<p>相違理由</p> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、図表影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>
	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																													
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																															
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へし及び放出低減機能	原子炉格納容器、原子炉格納容器隔離弁、原子炉格納容器スプレッド冷却系、原子炉格納容器、可燃性ガス濃度制御系	格納容器の冷却機能  格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場内の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能  格納容器内の可燃性ガス制御機能	残留熱除去系（格納容器スプレッド冷却モード）（ポンプ、熱交換器、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレッド（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ気相部）までの配管、弁、スプレッド管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））  直接関連系（残留熱除去（格納容器スプレッド冷却モード））  非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟設込口から排気口までの配管、弁）  直接関連系（非常用ガス処理系）  可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）  直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）  残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）																																													
			可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）  直接関連系（非常用ガス処理系）  可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）  直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）  残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）																																															
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	1) 工学的安全施設及び原子炉停止の作動信号の発生機能	原子炉保護系への作動信号の発生機構 ・原子炉保護系の安全保護回路	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場内の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能  格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場内の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能  格納容器内の可燃性ガス制御機能																																													
			工学的安全施設への作動信号の発生機構 ・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主要欠陥の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路																																															
別添資料1(女川原子炉)の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																														
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																															
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な危険回避機能	非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備 あるいは、MS-1 関連の機器	原子炉格納容器の冷却機能 ・原子炉格納容器の冷却モード（ポンプ、熱交換器、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレッド（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ気相部）までの配管、弁、スプレッド管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））  非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備 あるいは、MS-1 関連の機器	原子炉格納容器の冷却機能  非常用炉内電気系 ・非常用圧縮空気設備 ・非常用炉内電気系																																													
			非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備 あるいは、MS-1 関連の機器																																															
PS-2	1) その設備又は設備により発生する事象によって、何れも、著しい損傷又は燃料の大量の破壊を招き起こすおそれのある事象を防止し、かつ、放射性物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉の冷却材を内蔵する構造体及び、原子炉冷却材の圧力バウンダリから放射線が外部に漏れ出すのを防止する構造体（放射線遮蔽体）	化学体積制御装置、排気装置、排気装置	非常用炉内電気系 制御電圧及びその過電圧検出装置、原子炉格納容器内圧力異常検出装置、非常用圧縮空気設備 あるいは、MS-1 関連の機器	原子炉格納容器の冷却機能  非常用炉内電気系 ・非常用圧縮空気設備 ・非常用炉内電気系																																													
			化学体積制御装置、排気装置、排気装置																																															



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(7/17)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1265 970"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2)安全上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="2">非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用機械冷却水系、直流電源系(いずれも、MS-1関連のもの)</td> <td>非常用交流電源設備(ディーゼル機関、発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及びケーブル)</td> <td>                     燃料系(デイツタンクからディーゼル機関まで)                      補助用空気系(空気だめからディーゼル機関まで)                      非常用交流電源設備                      換気系                      冷却水系                      潤滑油系                      燃料移送系(軽油タンクからデイツタンクまで)                      軽油タンク                 </td> <td>                     ・非常用の交流電源機能                      ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能                 </td> </tr> <tr> <td>中央制御室及び中央制御室連絡</td> <td>(安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出。中央制御室連絡は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉機械冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用系負荷冷却ライン配置、弁(弁-1関連))</td> <td>原子炉機械冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用系負荷冷却ライン配置、弁(弁-1関連))</td> <td>サーージタンク</td> <td>機械冷却機能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>高圧炉心スプレイ補機冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)</td> <td>高圧炉心スプレイ補機冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)</td> <td>サーージタンク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2)安全上特に重要な関連機能	非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用機械冷却水系、直流電源系(いずれも、MS-1関連のもの)	非常用交流電源設備(ディーゼル機関、発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及びケーブル)	燃料系(デイツタンクからディーゼル機関まで) 補助用空気系(空気だめからディーゼル機関まで) 非常用交流電源設備 換気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系(軽油タンクからデイツタンクまで) 軽油タンク	・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	中央制御室及び中央制御室連絡	(安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出。中央制御室連絡は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	原子炉制御室非常用換気空調機能					原子炉機械冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用系負荷冷却ライン配置、弁(弁-1関連))	原子炉機械冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用系負荷冷却ライン配置、弁(弁-1関連))	サーージタンク	機械冷却機能				高圧炉心スプレイ補機冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)	高圧炉心スプレイ補機冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)	サーージタンク		<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(7/13)</p> <table border="1" data-bbox="1308 256 1854 979"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-2</td> <td rowspan="2">2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2)安全上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="2">2)安全上特に重要な関連機能</td> <td>1)その設備又は設備により発生する事象によって、炉心の新しい現象又は燃料の大量の破損を後らに引き起こすおそれはない</td> <td>                     2)原子炉冷却材圧力パウンダリに直接接続された大きいもの、使用燃料ピットに使用済み燃料貯蔵ラックを含む。                 </td> <td>                     放射性物質の貯蔵設備                      放射性物質貯蔵設備                      放射性物質貯蔵設備                 </td> </tr> <tr> <td>3)燃料を安全に取り扱う機能</td> <td>                     放射性物質貯蔵設備                      放射性物質貯蔵設備                 </td> <td>                     放射性物質貯蔵設備                      放射性物質貯蔵設備                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-2</td> <td rowspan="2">2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2)安全上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="2">2)安全上特に重要な関連機能</td> <td>2)過剰運転時及び過剰運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものの中で、その設備により、炉心の異常な状態を抑制する機能</td> <td>                     1)安全弁及び過剰し弁の吹き止まり機能                      2)燃料ポンプの吹き止まり機能                 </td> <td>                     加圧調整弁、加圧調整弁、加圧調整弁が、吹き止まり機能に関連する部分                 </td> </tr> <tr> <td>1)PS-2の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくする構築物、系統及び機器</td> <td>                     1)燃料ポンプ水の補給機能                      2)放射性物質貯蔵設備の放射線の影響を十分小さくする構築物、系統及び機器                 </td> <td>                     放射性物質貯蔵設備                      放射性物質貯蔵設備                 </td> <td>                     放射性物質貯蔵設備                      放射性物質貯蔵設備                 </td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを( )内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-2	2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2)安全上特に重要な関連機能	2)安全上特に重要な関連機能	1)その設備又は設備により発生する事象によって、炉心の新しい現象又は燃料の大量の破損を後らに引き起こすおそれはない	2)原子炉冷却材圧力パウンダリに直接接続された大きいもの、使用燃料ピットに使用済み燃料貯蔵ラックを含む。	放射性物質の貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備	3)燃料を安全に取り扱う機能	放射性物質貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備	放射性物質貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備	MS-2	2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2)安全上特に重要な関連機能	2)安全上特に重要な関連機能	2)過剰運転時及び過剰運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものの中で、その設備により、炉心の異常な状態を抑制する機能	1)安全弁及び過剰し弁の吹き止まり機能 2)燃料ポンプの吹き止まり機能	加圧調整弁、加圧調整弁、加圧調整弁が、吹き止まり機能に関連する部分	1)PS-2の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくする構築物、系統及び機器	1)燃料ポンプ水の補給機能 2)放射性物質貯蔵設備の放射線の影響を十分小さくする構築物、系統及び機器	放射性物質貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備	放射性物質貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																					
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																							
MS-1	2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2)安全上特に重要な関連機能	非常用内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用機械冷却水系、直流電源系(いずれも、MS-1関連のもの)	非常用交流電源設備(ディーゼル機関、発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及びケーブル)	燃料系(デイツタンクからディーゼル機関まで) 補助用空気系(空気だめからディーゼル機関まで) 非常用交流電源設備 換気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系(軽油タンクからデイツタンクまで) 軽油タンク	・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																					
				中央制御室及び中央制御室連絡	(安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出。中央制御室連絡は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	原子炉制御室非常用換気空調機能																																																																					
			原子炉機械冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用系負荷冷却ライン配置、弁(弁-1関連))	原子炉機械冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用系負荷冷却ライン配置、弁(弁-1関連))	サーージタンク	機械冷却機能																																																																					
			高圧炉心スプレイ補機冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)	高圧炉心スプレイ補機冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)	サーージタンク																																																																						
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																					
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																							
PS-2	2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2)安全上特に重要な関連機能	2)安全上特に重要な関連機能	1)その設備又は設備により発生する事象によって、炉心の新しい現象又は燃料の大量の破損を後らに引き起こすおそれはない	2)原子炉冷却材圧力パウンダリに直接接続された大きいもの、使用燃料ピットに使用済み燃料貯蔵ラックを含む。	放射性物質の貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備																																																																					
				3)燃料を安全に取り扱う機能	放射性物質貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備	放射性物質貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備																																																																					
MS-2	2)安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2)安全上特に重要な関連機能	2)安全上特に重要な関連機能	2)過剰運転時及び過剰運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものの中で、その設備により、炉心の異常な状態を抑制する機能	1)安全弁及び過剰し弁の吹き止まり機能 2)燃料ポンプの吹き止まり機能	加圧調整弁、加圧調整弁、加圧調整弁が、吹き止まり機能に関連する部分																																																																					
				1)PS-2の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくする構築物、系統及び機器	1)燃料ポンプ水の補給機能 2)放射性物質貯蔵設備の放射線の影響を十分小さくする構築物、系統及び機器	放射性物質貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備	放射性物質貯蔵設備 放射性物質貯蔵設備																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																															
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (8/17)</p> <table border="1" data-bbox="696 256 1256 667"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する相互指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">2) 安全上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="4">非常用所内電源系、制御系及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補機冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）</td> <td colspan="2">原子炉補機冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ（MS-1関連））</td> <td rowspan="4">冷却用海水供給機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（原子炉補機冷却水系）</td> <td>ストレータ（異物除去機能をつかさどる部分）</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ補機冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ）</td> <td>ストレータ（異物除去機能をつかさどる部分）</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（高圧炉心スプレイ補機冷却水系）</td> <td>取水路（屋外トレンチ含む）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））</td> <td></td> <td>・非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計画制御電源設備（蓄電池から非常用計画制御装置までの配電設備及び電路（MS-1関連））</td> <td></td> <td>非常用の計画制御用直流電源機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する相互指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用所内電源系、制御系及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補機冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）	原子炉補機冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ（MS-1関連））		冷却用海水供給機能	直接関連系（原子炉補機冷却水系）	ストレータ（異物除去機能をつかさどる部分）	高圧炉心スプレイ補機冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ）	ストレータ（異物除去機能をつかさどる部分）	直接関連系（高圧炉心スプレイ補機冷却水系）	取水路（屋外トレンチ含む）				非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））		・非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能				計画制御電源設備（蓄電池から非常用計画制御装置までの配電設備及び電路（MS-1関連））		非常用の計画制御用直流電源機能	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (8/13)</p> <table border="1" data-bbox="1301 244 1856 991"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する相互指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-2</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td rowspan="3">事故時監視制御系</td> <td colspan="2">・原子炉トリップシールドシステム ・炉心監視（ヤングレンゲ位置）</td> <td rowspan="3">事故時の炉心トリップ及び炉心監視機能 事故時の炉心監視機能の把握機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・1号炉冷却水 ・1号炉冷却水循環ポンプ監視（0.5周） ・加圧器位置</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・燃料監視能力 ・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">MS-2</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">事故時監視制御系</td> <td colspan="2">・1号炉冷却水 ・1号炉冷却水循環ポンプ監視（0.5周） ・加圧器位置 ・炉心監視システム（燃料監視システム）</td> <td rowspan="3">事故時のプラント操作のための制御機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・燃料監視能力 ・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の転回事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 原子炉の加圧制御機能 PS-1、PS-2以外のもの</td> <td rowspan="3">加圧器監視制御系</td> <td colspan="2">加圧器監視制御系</td> <td rowspan="3">加圧器監視制御系が機能した場合には、プラント操作が困難であるため、炉心による影響が深刻なものと見られる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">加圧器監視制御系</td> </tr> <tr> <td colspan="2">加圧器監視制御系</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の転回事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 原子炉の加圧制御機能 PS-1、PS-2以外のもの</td> <td rowspan="3">加圧器監視制御系</td> <td colspan="2">加圧器監視制御系</td> <td rowspan="3">加圧器監視制御系が機能した場合には、プラント操作が困難であるため、炉心による影響が深刻なものと見られる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">加圧器監視制御系</td> </tr> <tr> <td colspan="2">加圧器監視制御系</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、取水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する相互指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視制御系	・原子炉トリップシールドシステム ・炉心監視（ヤングレンゲ位置）		事故時の炉心トリップ及び炉心監視機能 事故時の炉心監視機能の把握機能	・1号炉冷却水 ・1号炉冷却水循環ポンプ監視（0.5周） ・加圧器位置		・燃料監視能力 ・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム）		MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	事故時監視制御系	・1号炉冷却水 ・1号炉冷却水循環ポンプ監視（0.5周） ・加圧器位置 ・炉心監視システム（燃料監視システム）		事故時のプラント操作のための制御機能	・燃料監視能力 ・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム）		・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム）		PS-3	1) 異常状態の転回事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉の加圧制御機能 PS-1、PS-2以外のもの	加圧器監視制御系	加圧器監視制御系		加圧器監視制御系が機能した場合には、プラント操作が困難であるため、炉心による影響が深刻なものと見られる。	加圧器監視制御系		加圧器監視制御系		PS-3	1) 異常状態の転回事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉の加圧制御機能 PS-1、PS-2以外のもの	加圧器監視制御系	加圧器監視制御系		加圧器監視制御系が機能した場合には、プラント操作が困難であるため、炉心による影響が深刻なものと見られる。	加圧器監視制御系		加圧器監視制御系		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する相互指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																												
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																														
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用所内電源系、制御系及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補機冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）	原子炉補機冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ（MS-1関連））		冷却用海水供給機能																																																																																												
				直接関連系（原子炉補機冷却水系）	ストレータ（異物除去機能をつかさどる部分）																																																																																													
				高圧炉心スプレイ補機冷却水系（ポンプ、配管、弁、ストレータ）	ストレータ（異物除去機能をつかさどる部分）																																																																																													
				直接関連系（高圧炉心スプレイ補機冷却水系）	取水路（屋外トレンチ含む）																																																																																													
			非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））		・非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																													
			計画制御電源設備（蓄電池から非常用計画制御装置までの配電設備及び電路（MS-1関連））		非常用の計画制御用直流電源機能																																																																																													
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する相互指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																												
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																														
MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視制御系	・原子炉トリップシールドシステム ・炉心監視（ヤングレンゲ位置）		事故時の炉心トリップ及び炉心監視機能 事故時の炉心監視機能の把握機能																																																																																												
				・1号炉冷却水 ・1号炉冷却水循環ポンプ監視（0.5周） ・加圧器位置																																																																																														
				・燃料監視能力 ・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム）																																																																																														
MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	事故時監視制御系	・1号炉冷却水 ・1号炉冷却水循環ポンプ監視（0.5周） ・加圧器位置 ・炉心監視システム（燃料監視システム）		事故時のプラント操作のための制御機能																																																																																												
				・燃料監視能力 ・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム）																																																																																														
				・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム） ・燃料監視システム（燃料監視システム）																																																																																														
PS-3	1) 異常状態の転回事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉の加圧制御機能 PS-1、PS-2以外のもの	加圧器監視制御系	加圧器監視制御系		加圧器監視制御系が機能した場合には、プラント操作が困難であるため、炉心による影響が深刻なものと見られる。																																																																																												
				加圧器監視制御系																																																																																														
				加圧器監視制御系																																																																																														
PS-3	1) 異常状態の転回事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉の加圧制御機能 PS-1、PS-2以外のもの	加圧器監視制御系	加圧器監視制御系		加圧器監視制御系が機能した場合には、プラント操作が困難であるため、炉心による影響が深刻なものと見られる。																																																																																												
				加圧器監視制御系																																																																																														
				加圧器監視制御系																																																																																														







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(11/17)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 1272 670"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能※1</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-2</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td>事故時監視計器の一部</td> <td>                     [低温停止への移行]                      ・原子炉圧力                      ・原子炉水位（広帯域）                      [ドライウェルスプレイ]                      ・原子炉水位（広帯域）                      ・原子炉水位（燃料域）                      ・圧力抑制室圧力                      ・ドライウェルス圧力                      [サブプレッションチェンバ（冷却）]                      ・原子炉水位（広帯域）                      ・原子炉水位（燃料域）                      ・サブプレッションプール水温度                      [可燃性ガス濃度制御系起動]                      ・格納容器内雰囲気気水素濃度                      ・格納容器内雰囲気気酸素濃度                      (対象外)                 </td> <td>事故時のプラント操作のための機能の把握機能</td> </tr> <tr> <td>2) 異常状態の緩和機能</td> <td>3) 制御室外からの安全停止機能</td> <td>                     3) 制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)                 </td> <td>(対象外)</td> </tr> <tr> <td>制御室外原子炉停止装置（安全停止に関連するもの）</td> <td>中央制御室外原子炉停止装置</td> <td>(制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能※1	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計器の一部	[低温停止への移行] ・原子炉圧力 ・原子炉水位（広帯域） [ドライウェルスプレイ] ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・圧力抑制室圧力 ・ドライウェルス圧力 [サブプレッションチェンバ（冷却）] ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・サブプレッションプール水温度 [可燃性ガス濃度制御系起動] ・格納容器内雰囲気気水素濃度 ・格納容器内雰囲気気酸素濃度 (対象外)	事故時のプラント操作のための機能の把握機能	2) 異常状態の緩和機能	3) 制御室外からの安全停止機能	3) 制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)	(対象外)	制御室外原子炉停止装置（安全停止に関連するもの）	中央制御室外原子炉停止装置	(制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (11/13)</p> <table border="1" data-bbox="1279 252 1863 845"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能※1</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">1) 異常状態の対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">6) プラント運転補助機能</td> <td>                     6) プラント運転補助機能                      制御室外部の安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)                 </td> <td>                     制御室外部の安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)                 </td> <td rowspan="2">                     (左記機器は機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、設計による影響評価の対象としない)                 </td> </tr> <tr> <td>                     1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射停止機能                      2) 原子炉冷却材の浄化機能                 </td> <td>                     1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射停止機能                      2) 原子炉冷却材の浄化機能                 </td> <td>                     (左記機器は機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、設計による影響評価の対象としない)                 </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能※1	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	PS-3	1) 異常状態の対応上特に重要な構築物、系統及び機器	6) プラント運転補助機能	6) プラント運転補助機能 制御室外部の安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)	制御室外部の安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)	(左記機器は機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、設計による影響評価の対象としない)	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射停止機能 2) 原子炉冷却材の浄化機能	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射停止機能 2) 原子炉冷却材の浄化機能	(左記機器は機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、設計による影響評価の対象としない)	<p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、漏水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能※1																																											
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																												
MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計器の一部	[低温停止への移行] ・原子炉圧力 ・原子炉水位（広帯域） [ドライウェルスプレイ] ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・圧力抑制室圧力 ・ドライウェルス圧力 [サブプレッションチェンバ（冷却）] ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・サブプレッションプール水温度 [可燃性ガス濃度制御系起動] ・格納容器内雰囲気気水素濃度 ・格納容器内雰囲気気酸素濃度 (対象外)	事故時のプラント操作のための機能の把握機能																																											
		2) 異常状態の緩和機能	3) 制御室外からの安全停止機能	3) 制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)	(対象外)																																											
		制御室外原子炉停止装置（安全停止に関連するもの）	中央制御室外原子炉停止装置	(制御室外からの安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)																																												
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能※1																																										
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																												
PS-3	1) 異常状態の対応上特に重要な構築物、系統及び機器	6) プラント運転補助機能	6) プラント運転補助機能 制御室外部の安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)	制御室外部の安全停止機能として、左記機器は漏水影響評価上の防護対象設備として抽出)	(左記機器は機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、設計による影響評価の対象としない)																																											
			1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射停止機能 2) 原子炉冷却材の浄化機能	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射停止機能 2) 原子炉冷却材の浄化機能		(左記機器は機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、設計による影響評価の対象としない)																																										







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(14/17)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 1265 774"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td>1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器</td> <td>4) プラント運転補助機能</td> <td>炉内ボイラ設備、計装用圧縮空気系</td> <td>                     原子炉補機冷却水系 (MS-1 関連以外) (配管/弁)                      タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁)                      直線関連系 (タービン補機冷却水系)                      タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、配管/弁、ストレーナ)                      復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁)                      直線関連系 (復水補給水 復水貯蔵タンク系)                 </td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く抑える構築物、系統及び機器</td> <td>1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射線防止機能  2) 原子炉冷却材の浄化機能</td> <td>燃料被覆管  原子炉冷却材浄化系、復水浄化系</td> <td>                     燃料被覆管 上/下部検出                      タイロッド                      原子炉冷却材浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁)                      復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)                 </td> <td>                     (左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)                       (左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)                 </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器	4) プラント運転補助機能	炉内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	原子炉補機冷却水系 (MS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直線関連系 (タービン補機冷却水系) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直線関連系 (復水補給水 復水貯蔵タンク系)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	2) 原子炉冷却材中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く抑える構築物、系統及び機器	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射線防止機能  2) 原子炉冷却材の浄化機能	燃料被覆管  原子炉冷却材浄化系、復水浄化系	燃料被覆管 上/下部検出 タイロッド 原子炉冷却材浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)	(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)  (左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																			
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																				
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器	4) プラント運転補助機能	炉内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	原子炉補機冷却水系 (MS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直線関連系 (タービン補機冷却水系) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直線関連系 (復水補給水 復水貯蔵タンク系)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																		
	2) 原子炉冷却材中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く抑える構築物、系統及び機器	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射線防止機能  2) 原子炉冷却材の浄化機能	燃料被覆管  原子炉冷却材浄化系、復水浄化系	燃料被覆管 上/下部検出 タイロッド 原子炉冷却材浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)	(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)  (左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)																		



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(15/17)</p> <table border="1" data-bbox="698 255 1270 1077"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">MS-3</td> <td rowspan="5">1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能</td> <td rowspan="5">1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能</td> <td rowspan="5">逃がし安全弁（逃がし弁機能）、タービンバイパス弁</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能）</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管</td> <td rowspan="2">（原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機器は自動減圧系により代替が可能である）</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能））</td> <td>駆動用蒸発器（アキムレータ、アキムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、弁）</td> </tr> <tr> <td>タービンバイパス弁</td> <td>原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管</td> <td rowspan="2">（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（タービンバイパス系）</td> <td>駆動用油圧系（アキムレータ、アキムレータからタービンバイパス弁までの配管、弁）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材再循環系（再循環ポンプトリップ機能）、制御棒引抜監視装置</td> <td>原子炉再循環流量制御系（ポンプトリップ機能）</td> <td>制御棒引抜監視装置（制御棒引抜阻止インターロック）</td> <td>選択制御棒挿入機構</td> <td rowspan="2">（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2) 出力上昇の抑制機能</td> <td rowspan="3">2) 出力上昇の抑制機能</td> <td rowspan="3">原子炉冷却材の補給機能</td> <td>制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）（ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁）</td> <td>ポンプセクション（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））</td> <td rowspan="2">（原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である）</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））</td> <td>ポンプセクション（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）（ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁）</td> <td>タービンへの蒸気供給配管、弁</td> <td>ポンプセクション（原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給））</td> <td>潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管</td> <td>（原子炉隔離時冷却系としてMS-1で抽出済み）</td> </tr> <tr> <td>4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能</td> <td>原子炉再循環ポンプM/Gセット</td> <td>DRRには対象機能なし（ADRのみ）</td> <td></td> <td></td> <td>（対象外）</td> </tr> <tr> <td>3) タービントリップ</td> <td>DRRには対象機能なし</td> <td>（対象外）</td> <td></td> <td></td> <td>（対象外）</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器	MS-3	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	逃がし安全弁（逃がし弁機能）、タービンバイパス弁	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能）	原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	（原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機器は自動減圧系により代替が可能である）	直接関連系（主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能））	駆動用蒸発器（アキムレータ、アキムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、弁）	タービンバイパス弁	原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管	（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）	直接関連系（タービンバイパス系）	駆動用油圧系（アキムレータ、アキムレータからタービンバイパス弁までの配管、弁）	原子炉冷却材再循環系（再循環ポンプトリップ機能）、制御棒引抜監視装置	原子炉再循環流量制御系（ポンプトリップ機能）	制御棒引抜監視装置（制御棒引抜阻止インターロック）	選択制御棒挿入機構	（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）	2) 出力上昇の抑制機能	2) 出力上昇の抑制機能	原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）（ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁）	ポンプセクション（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））	（原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である）	直接関連系（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））	ポンプセクション（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））	原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）（ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁）	タービンへの蒸気供給配管、弁	ポンプセクション（原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給））	潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	（原子炉隔離時冷却系としてMS-1で抽出済み）	4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能	原子炉再循環ポンプM/Gセット	DRRには対象機能なし（ADRのみ）			（対象外）	3) タービントリップ	DRRには対象機能なし	（対象外）			（対象外）		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																					
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																						
MS-3	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	逃がし安全弁（逃がし弁機能）、タービンバイパス弁	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能）	原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	（原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機器は自動減圧系により代替が可能である）																																																				
				直接関連系（主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能））	駆動用蒸発器（アキムレータ、アキムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、弁）																																																					
				タービンバイパス弁	原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管	（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）																																																				
				直接関連系（タービンバイパス系）	駆動用油圧系（アキムレータ、アキムレータからタービンバイパス弁までの配管、弁）																																																					
				原子炉冷却材再循環系（再循環ポンプトリップ機能）、制御棒引抜監視装置	原子炉再循環流量制御系（ポンプトリップ機能）	制御棒引抜監視装置（制御棒引抜阻止インターロック）	選択制御棒挿入機構	（当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している）																																																		
2) 出力上昇の抑制機能	2) 出力上昇の抑制機能	原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系（冷却材の補給）（ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁）	ポンプセクション（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））	（原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である）																																																					
			直接関連系（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））	ポンプセクション（制御棒駆動水圧系（冷却材の補給））																																																						
			原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給）（ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁）	タービンへの蒸気供給配管、弁	ポンプセクション（原子炉隔離時冷却系（冷却材の補給））	潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	（原子炉隔離時冷却系としてMS-1で抽出済み）																																																			
4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能	原子炉再循環ポンプM/Gセット	DRRには対象機能なし（ADRのみ）			（対象外）																																																					
3) タービントリップ	DRRには対象機能なし	（対象外）			（対象外）																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(16/17)</p> <table border="1" data-bbox="698 252 1263 906"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能<sup>※1</sup></th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">MS-3</td> <td rowspan="6">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="6">1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td rowspan="6">原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明</td> <td>緊急時対策所</td> <td>空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び図材 連絡設備</td> <td>(緊急時対策所及びその直接関連系の機器については、水密化されかつ溢水源がない緊急時対策施設内に設置されるため、溢水の影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備（放射線監視モニタ）</td> <td>放射線監視設備（放射線監視モニタ）</td> <td>(放射線監視設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替が可能である)</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備（上記以外）</td> <td>放射線監視設備（上記以外）</td> <td>(放射線監視設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>事故時監視計器の一部</td> <td>事故時監視計器の一部</td> <td>(事故時監視計器の一部は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>通信連絡設備（1つの専用回線を含む複数の回線を有する通信連絡設備）</td> <td>通信連絡設備（1つの専用回線を含む複数の回線を有する通信連絡設備）</td> <td>(通信連絡設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）</td> <td>放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）</td> <td>(気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタは事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮)</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(17/17)</p> <table border="1" data-bbox="698 1038 1263 1449"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能<sup>※1</sup></th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">MS-3</td> <td rowspan="6">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="6">1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td rowspan="6">原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明</td> <td>消火系（水消火設備、ガス消火設備）</td> <td>消火ポンプ 消火水罐、消火タンク 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの）</td> <td>(消火ポンプは他の消火設備により代替が可能である) (消火ポンプは他の消火設備により代替が可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>安全避難通路</td> <td>安全避難通路</td> <td>(左記機器は静的機器のため溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>非常用照明</td> <td>非常用照明</td> <td>(左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替が可能である)</td> </tr> <tr> <td>通信連絡設備（安全避難通路）</td> <td>通信連絡設備（安全避難通路）</td> <td>(通信連絡設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備（放射線監視モニタ）</td> <td>放射線監視設備（放射線監視モニタ）</td> <td>(放射線監視設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>事故時監視計器の一部</td> <td>事故時監視計器の一部</td> <td>(事故時監視計器の一部は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	緊急時対策所	空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び図材 連絡設備	(緊急時対策所及びその直接関連系の機器については、水密化されかつ溢水源がない緊急時対策施設内に設置されるため、溢水の影響を受けない)	放射線監視設備（放射線監視モニタ）	放射線監視設備（放射線監視モニタ）	(放射線監視設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替が可能である)	放射線監視設備（上記以外）	放射線監視設備（上記以外）	(放射線監視設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)	事故時監視計器の一部	事故時監視計器の一部	(事故時監視計器の一部は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)	通信連絡設備（1つの専用回線を含む複数の回線を有する通信連絡設備）	通信連絡設備（1つの専用回線を含む複数の回線を有する通信連絡設備）	(通信連絡設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)	放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）	放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）	(気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタは事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮)	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	消火系（水消火設備、ガス消火設備）	消火ポンプ 消火水罐、消火タンク 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの）	(消火ポンプは他の消火設備により代替が可能である) (消火ポンプは他の消火設備により代替が可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため溢水による影響を受けない)	安全避難通路	安全避難通路	(左記機器は静的機器のため溢水による影響を受けない)	非常用照明	非常用照明	(左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替が可能である)	通信連絡設備（安全避難通路）	通信連絡設備（安全避難通路）	(通信連絡設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)	放射線監視設備（放射線監視モニタ）	放射線監視設備（放射線監視モニタ）	(放射線監視設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)	事故時監視計器の一部	事故時監視計器の一部	(事故時監視計器の一部は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>																																																																			
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																					
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	緊急時対策所	空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び図材 連絡設備	(緊急時対策所及びその直接関連系の機器については、水密化されかつ溢水源がない緊急時対策施設内に設置されるため、溢水の影響を受けない)																																																																			
				放射線監視設備（放射線監視モニタ）	放射線監視設備（放射線監視モニタ）	(放射線監視設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替が可能である)																																																																			
				放射線監視設備（上記以外）	放射線監視設備（上記以外）	(放射線監視設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)																																																																			
				事故時監視計器の一部	事故時監視計器の一部	(事故時監視計器の一部は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)																																																																			
				通信連絡設備（1つの専用回線を含む複数の回線を有する通信連絡設備）	通信連絡設備（1つの専用回線を含む複数の回線を有する通信連絡設備）	(通信連絡設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)																																																																			
				放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）	放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタ）	(気体廃棄物処理設備エアラ排気放射線モニタは事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮)																																																																			
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 <sup>※1</sup>																																																																			
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																					
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	消火系（水消火設備、ガス消火設備）	消火ポンプ 消火水罐、消火タンク 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの）	(消火ポンプは他の消火設備により代替が可能である) (消火ポンプは他の消火設備により代替が可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため溢水による影響を受けない)																																																																			
				安全避難通路	安全避難通路	(左記機器は静的機器のため溢水による影響を受けない)																																																																			
				非常用照明	非常用照明	(左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替が可能である)																																																																			
				通信連絡設備（安全避難通路）	通信連絡設備（安全避難通路）	(通信連絡設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)																																																																			
				放射線監視設備（放射線監視モニタ）	放射線監視設備（放射線監視モニタ）	(放射線監視設備は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)																																																																			
				事故時監視計器の一部	事故時監視計器の一部	(事故時監視計器の一部は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)																																																																			
<p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>防護対象設備              (1) 重要度の特に関し高い安全機能を有する設備              (2) 使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な設備              (3) 電源盤等の関連設備も含む</p> <p>①フェイルポジションで安全機能に影響しない設備か              YES → 評価対象              NO → ②原子炉格納容器内の設備か              YES → 評価対象              NO → ③水の影響を受けない設備か              YES → 評価対象              NO → ④他の設備で代替できる設備か              YES → 評価対象              NO → 評価対象外</p> <p>④他の設備で代替できる設備か YES → 溢水の影響を受けても必要な安全機能を損なわないと評価</p> <p>防護対象設備のうち溢水影響評価の対象</p>	<p>発電所構内の構築物、系統及び機器              防護対象設備の抽出*</p> <p>*以下、1、2、を抽出              1. 安全重要度クラス1,2,3に属する設備のうち原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる機能、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる機能を有する設備              2. 「使用済燃料プール冷却」及び「使用済燃料プールへの給水」機能を有する設備</p> <p>① 溢水により機能を喪失しない              Yes → 評価対象              No → ② PCV内耐環境仕様の設備              Yes → 評価対象              No → ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない              Yes → 評価対象              No → ④ 他の設備で代替できる              Yes → 評価対象              No → 評価対象外</p>	<p>発電所構内の構築物、系統及び機器              防護対象設備の抽出*</p> <p>*以下、1、2、を抽出              1. 安全重要度クラス1,2,3に属する設備のうち原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる機能、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる機能を有する設備              2. 「使用済燃料プール冷却」及び「使用済燃料プールへの給水」機能を有する設備</p> <p>① 動作機能の喪失により安全機能に影響しない              Yes → 評価対象              No → ② 原子炉格納容器内耐環境仕様の設備              Yes → 評価対象              No → ③ 溢水により機能喪失しない              Yes → 評価対象              No → ④ 他の設備で代替できる              Yes → 評価対象              No → 評価対象外</p>	<p>記載方針の相違              女川と泊で溢水評価対象の選定フローの順番が異なる（①と③が逆である）が、除外理由の考え及び選定フローによる選定結果に相違は無い。              なお、泊の選定フローの順番は大飯と同じである。</p> <p>【大飯】              記載方針の相違              ・女川審査実績の反映</p>
<p>図 1.2-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	<p>図 3-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	<p>図 3-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
表 1.2-1 溢水影響評価の対象外とする理由		表 3-4 溢水影響評価の対象外とする理由		表 3-4 溢水影響評価の対象外とする理由		
各ステップの項目	理由	各ステップの項目	理由	各ステップの項目	理由	
①フェイルポジションで安全機能に影響しない設備	フェイルアブイズでも安全機能に影響しない電動弁、フェイルポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁等、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は溢水影響がないと評価した。	① 溢水により機能喪失しない	容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。	① 動作機能の喪失により安全機能に影響しない	状態監視のみの現場指示計、フェイル・アブ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。	<p>記載方針の相違</p> <p>女川と泊で溢水評価対象の選定フローの順番が異なる（①と③が逆である）が、除外理由の考え方や選定フローによる選定結果に相違は無い。</p> <p>なお、泊の選定フローの順番は大阪と同じである。</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>
②原子炉格納容器内の設備	原子炉格納容器内に設置される設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度、圧力及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないものは溢水影響がないと評価した。	② PCV内耐環境仕様様の設備	PCV内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。	②原子炉格納容器内耐環境仕様様の設備	原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。	
③水の影響を受けない設備	容器、熱交換器、フィルタ、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、静的機器は溢水影響がないと評価した。					
④他の設備で代替できる設備	他の設備により機能が代替できる設備は機能喪失しても安全機能に影響しない。具体的には、補助給水隔離弁が機能喪失しても上流側に設置されている補助給水流量調節弁は補助給水隔離弁と別区画にあり隔離機能を有する。					
（添付資料 1.2-1）重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統 （添付資料 1.2-2）防護対象設備と機能喪失高さ一覧		③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない	状態監視のみの現場指示計、フェイル・アブ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。	③ 溢水により機能喪失しない	容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。	
		④ 他の設備で代替できる	他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。	④ 他の設備で代替できる	他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。	





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違説明																																																																																																																																																																																																																																	
<p>図1 機能喪失高さと滞留面積の考え方</p> <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	<p>表1 防護対象設備一覧 (2/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>E.L<sup>※1</sup>(m)</th> <th>機能<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>電気炉心スプレイ系</td><td>3炉心スプレイ出口流量制御弁装置 (E3-47060)</td><td>3-422-2</td><td>原子炉建屋</td><td>9.610</td><td>③</td></tr> <tr><td>電気炉心スプレイ系</td><td>3炉心スプレイ出口流量制御弁装置 (E3-47060)</td><td>3-422-2</td><td>原子炉建屋</td><td>9.610</td><td>③④</td></tr> <tr><td>電気炉心スプレイ系</td><td>3炉心スプレイ出口流量制御弁装置 (E3-47060)</td><td>3-422-2</td><td>原子炉建屋</td><td>9.610</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉隔離時冷却系加圧弁装置 (E2-001)</td><td>3-422-3</td><td>原子炉建屋</td><td>9.503</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉隔離時冷却系ポンプ (E3-000)</td><td>3-422-3</td><td>原子炉建屋</td><td>9.503</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン (E3-000)</td><td>3-422-3</td><td>原子炉建屋</td><td>9.625</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47510A)</td><td>3-422-1</td><td>原子炉建屋</td><td>9.600</td><td>③④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47510B)</td><td>3-422-1</td><td>原子炉建屋</td><td>9.599</td><td>③④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47510C)</td><td>3-422-2</td><td>原子炉建屋</td><td>9.603</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉注入弁 (E3-47000)</td><td>3-422-1B</td><td>原子炉建屋</td><td>11.200</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47000)</td><td>3-422-1B</td><td>原子炉建屋</td><td>9.630</td><td>④⑤</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン入口流量制御弁装置 (E3-47000)</td><td>3-422-1B</td><td>原子炉建屋</td><td>1.165</td><td>④⑤</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン止め弁 (E3-47000)</td><td>3-422-2</td><td>原子炉建屋</td><td>2.994</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47011)</td><td>3-422-1B</td><td>原子炉建屋</td><td>9.607</td><td>④⑤</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47011)</td><td>3-422-1B</td><td>原子炉建屋</td><td>9.107</td><td>④⑤</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47011)</td><td>3-422-1B</td><td>原子炉建屋</td><td>2.713</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47020)</td><td>3-422-1B</td><td>原子炉建屋</td><td>9.604</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47071)</td><td>3-422-1B</td><td>原子炉建屋</td><td>9.503</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47060)</td><td>3-422-2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.240*</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)</td><td>3-422-1B</td><td>原子炉建屋</td><td>9.503</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)</td><td>3-422-2</td><td>原子炉建屋</td><td>9.503</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)</td><td>3-422-2</td><td>原子炉建屋</td><td>9.503</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)</td><td>3-422-2</td><td>原子炉建屋</td><td>9.503</td><td>④</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系</td><td>原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)</td><td>3-422-2</td><td>原子炉建屋</td><td>9.503</td><td>④</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：図1より機能喪失する床面からの高さ（E.Lは3.050を基準）          ※2：①安全機能          ②緊急停止機能          ③停止・再起動機能          ④流量制御機能          ⑤圧力制御機能          ※3：①安全機能          ②緊急停止機能          ③停止・再起動機能          ④流量制御機能          ⑤圧力制御機能          ※4：図1より機能喪失する床面からの高さ</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L <sup>※1</sup> (m)	機能 <sup>※2</sup>	電気炉心スプレイ系	3炉心スプレイ出口流量制御弁装置 (E3-47060)	3-422-2	原子炉建屋	9.610	③	電気炉心スプレイ系	3炉心スプレイ出口流量制御弁装置 (E3-47060)	3-422-2	原子炉建屋	9.610	③④	電気炉心スプレイ系	3炉心スプレイ出口流量制御弁装置 (E3-47060)	3-422-2	原子炉建屋	9.610	③⑤	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系加圧弁装置 (E2-001)	3-422-3	原子炉建屋	9.503	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ (E3-000)	3-422-3	原子炉建屋	9.503	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン (E3-000)	3-422-3	原子炉建屋	9.625	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47510A)	3-422-1	原子炉建屋	9.600	③④	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47510B)	3-422-1	原子炉建屋	9.599	③④	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47510C)	3-422-2	原子炉建屋	9.603	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉注入弁 (E3-47000)	3-422-1B	原子炉建屋	11.200	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47000)	3-422-1B	原子炉建屋	9.630	④⑤	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン入口流量制御弁装置 (E3-47000)	3-422-1B	原子炉建屋	1.165	④⑤	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン止め弁 (E3-47000)	3-422-2	原子炉建屋	2.994	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47011)	3-422-1B	原子炉建屋	9.607	④⑤	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47011)	3-422-1B	原子炉建屋	9.107	④⑤	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47011)	3-422-1B	原子炉建屋	2.713	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47020)	3-422-1B	原子炉建屋	9.604	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47071)	3-422-1B	原子炉建屋	9.503	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47060)	3-422-2	原子炉建屋	1.240*	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)	3-422-1B	原子炉建屋	9.503	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)	3-422-2	原子炉建屋	9.503	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)	3-422-2	原子炉建屋	9.503	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)	3-422-2	原子炉建屋	9.503	④	原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)	3-422-2	原子炉建屋	9.503	④	<p>表1 防護対象設備一覧 (2/29)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ*1 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>補助給水系統</td><td>3-補助給水ピット水位 (I) (3LT-3750)</td><td>3RB-D-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>補助給水系統</td><td>3-補助給水ピット水位 (II) (3LT-3751)</td><td>3RB-D-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>3-タービン動補助給水ポンプ起動盤トレンA (3TDPA)</td><td>3RB-H-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.47</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>3-タービン動補助給水ポンプ起動盤トレンB (3TDPB)</td><td>3RB-H-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.46</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>3-補助給水ポンプ出口流量調節弁盤トレンA (3AFWA)</td><td>3RB-H-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.53</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>3-補助給水ポンプ出口流量調節弁盤トレンB (3AFWB)</td><td>3RB-H-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.52</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3A-充てんポンプ (3CSPA)</td><td>3AB-H-8</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.68</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3B-充てんポンプ (3CSPB)</td><td>3AB-H-6</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.68</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3C-充てんポンプ (3CSPC)</td><td>3AB-H-4</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.68</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3-体積制御タンク出口第1止め弁 (3LCV-121B)</td><td>3AB-G-5</td><td>原子炉補助建屋</td><td>1.03</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3-体積制御タンク出口第2止め弁 (3LCV-121C)</td><td>3AB-G-5</td><td>原子炉補助建屋</td><td>1.02</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3-充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁 A (3LCV-121D)</td><td>3AB-G-5</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.91</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3-充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁 B (3LCV-121E)</td><td>3AB-G-5</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.91</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3-充てんラインC/V外側止め弁 (3V-CS-17D)</td><td>3RB-E-2</td><td>原子炉建屋</td><td>0.97</td></tr> </tbody> </table> <p>*1：溢水により機能喪失する床面からの高さ</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)	補助給水系統	3-補助給水ピット水位 (I) (3LT-3750)	3RB-D-N3	原子炉建屋	1.00	補助給水系統	3-補助給水ピット水位 (II) (3LT-3751)	3RB-D-N3	原子炉建屋	1.00	関連設備	3-タービン動補助給水ポンプ起動盤トレンA (3TDPA)	3RB-H-N1	原子炉建屋	0.47	関連設備	3-タービン動補助給水ポンプ起動盤トレンB (3TDPB)	3RB-H-N1	原子炉建屋	0.46	関連設備	3-補助給水ポンプ出口流量調節弁盤トレンA (3AFWA)	3RB-H-N1	原子炉建屋	0.53	関連設備	3-補助給水ポンプ出口流量調節弁盤トレンB (3AFWB)	3RB-H-N1	原子炉建屋	0.52	化学体積制御系統	3A-充てんポンプ (3CSPA)	3AB-H-8	原子炉補助建屋	0.68	化学体積制御系統	3B-充てんポンプ (3CSPB)	3AB-H-6	原子炉補助建屋	0.68	化学体積制御系統	3C-充てんポンプ (3CSPC)	3AB-H-4	原子炉補助建屋	0.68	化学体積制御系統	3-体積制御タンク出口第1止め弁 (3LCV-121B)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	1.03	化学体積制御系統	3-体積制御タンク出口第2止め弁 (3LCV-121C)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	1.02	化学体積制御系統	3-充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁 A (3LCV-121D)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.91	化学体積制御系統	3-充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁 B (3LCV-121E)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.91	化学体積制御系統	3-充てんラインC/V外側止め弁 (3V-CS-17D)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.97	<p>【大阪】          記載方針の相違          ・女川及び泊は、機能喪失高さの考え方について添付資料5に記載する。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L <sup>※1</sup> (m)	機能 <sup>※2</sup>																																																																																																																																																																																																																															
電気炉心スプレイ系	3炉心スプレイ出口流量制御弁装置 (E3-47060)	3-422-2	原子炉建屋	9.610	③																																																																																																																																																																																																																															
電気炉心スプレイ系	3炉心スプレイ出口流量制御弁装置 (E3-47060)	3-422-2	原子炉建屋	9.610	③④																																																																																																																																																																																																																															
電気炉心スプレイ系	3炉心スプレイ出口流量制御弁装置 (E3-47060)	3-422-2	原子炉建屋	9.610	③⑤																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系加圧弁装置 (E2-001)	3-422-3	原子炉建屋	9.503	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ (E3-000)	3-422-3	原子炉建屋	9.503	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン (E3-000)	3-422-3	原子炉建屋	9.625	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47510A)	3-422-1	原子炉建屋	9.600	③④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47510B)	3-422-1	原子炉建屋	9.599	③④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47510C)	3-422-2	原子炉建屋	9.603	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉注入弁 (E3-47000)	3-422-1B	原子炉建屋	11.200	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47000)	3-422-1B	原子炉建屋	9.630	④⑤																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン入口流量制御弁装置 (E3-47000)	3-422-1B	原子炉建屋	1.165	④⑤																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン止め弁 (E3-47000)	3-422-2	原子炉建屋	2.994	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47011)	3-422-1B	原子炉建屋	9.607	④⑤																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47011)	3-422-1B	原子炉建屋	9.107	④⑤																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47011)	3-422-1B	原子炉建屋	2.713	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系流量制御弁装置 (E3-47020)	3-422-1B	原子炉建屋	9.604	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47071)	3-422-1B	原子炉建屋	9.503	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-47060)	3-422-2	原子炉建屋	1.240*	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)	3-422-1B	原子炉建屋	9.503	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)	3-422-2	原子炉建屋	9.503	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)	3-422-2	原子炉建屋	9.503	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)	3-422-2	原子炉建屋	9.503	④																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却系	原子炉タービン流量制御弁装置 (E3-48102)	3-422-2	原子炉建屋	9.503	④																																																																																																																																																																																																																															
系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)																																																																																																																																																																																																																																
補助給水系統	3-補助給水ピット水位 (I) (3LT-3750)	3RB-D-N3	原子炉建屋	1.00																																																																																																																																																																																																																																
補助給水系統	3-補助給水ピット水位 (II) (3LT-3751)	3RB-D-N3	原子炉建屋	1.00																																																																																																																																																																																																																																
関連設備	3-タービン動補助給水ポンプ起動盤トレンA (3TDPA)	3RB-H-N1	原子炉建屋	0.47																																																																																																																																																																																																																																
関連設備	3-タービン動補助給水ポンプ起動盤トレンB (3TDPB)	3RB-H-N1	原子炉建屋	0.46																																																																																																																																																																																																																																
関連設備	3-補助給水ポンプ出口流量調節弁盤トレンA (3AFWA)	3RB-H-N1	原子炉建屋	0.53																																																																																																																																																																																																																																
関連設備	3-補助給水ポンプ出口流量調節弁盤トレンB (3AFWB)	3RB-H-N1	原子炉建屋	0.52																																																																																																																																																																																																																																
化学体積制御系統	3A-充てんポンプ (3CSPA)	3AB-H-8	原子炉補助建屋	0.68																																																																																																																																																																																																																																
化学体積制御系統	3B-充てんポンプ (3CSPB)	3AB-H-6	原子炉補助建屋	0.68																																																																																																																																																																																																																																
化学体積制御系統	3C-充てんポンプ (3CSPC)	3AB-H-4	原子炉補助建屋	0.68																																																																																																																																																																																																																																
化学体積制御系統	3-体積制御タンク出口第1止め弁 (3LCV-121B)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	1.03																																																																																																																																																																																																																																
化学体積制御系統	3-体積制御タンク出口第2止め弁 (3LCV-121C)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	1.02																																																																																																																																																																																																																																
化学体積制御系統	3-充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁 A (3LCV-121D)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.91																																																																																																																																																																																																																																
化学体積制御系統	3-充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁 B (3LCV-121E)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.91																																																																																																																																																																																																																																
化学体積制御系統	3-充てんラインC/V外側止め弁 (3V-CS-17D)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.97																																																																																																																																																																																																																																



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉					相違説明
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(1/9)						表1 防護対象設備一覧（3/27）						表1 防護対象設備一覧（3/29）					
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)	
補助給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ入口圧力制御盤 (3B-P001B)	0-03P-2	原子炉建屋 原子炉棟	1.175 <sup>※</sup>	④	化学体積制御 系統	3-充てんラインC/V外側隔離弁 (3V-CS-177)	3B-E-2	原子炉建屋	0.97	
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ出口圧力制御盤 (3B-P001C)	0-03P-2	原子炉建屋 原子炉棟	1.140 <sup>※</sup>	④	化学体積制御 系統	3A-ほう酸ポンプ (3CSP2A)	3AB-F-21	原子炉補助 建屋	0.59	
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.74	1.14	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口圧力制御盤 (3B-P001D)	0-03P-2	原子炉建屋 原子炉棟	1.175 <sup>※</sup>	④	化学体積制御 系統	3B-ほう酸ポンプ (3CSP2B)	3AB-F-20	原子炉補助 建屋	0.59	
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001E)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御 系統	3-緊急ほう酸注入弁 (3V-CS-541)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.75	
補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.16	1.06	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001F)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御 系統	3A-ほう酸タンク水位(I) (3LT-206)	3AB-F-1	原子炉補助 建屋	1.00	
補助給水系	3復水ビット水位III, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001G)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御 系統	3B-ほう酸タンク水位(II) (3LT-208)	3AB-F-1	原子炉補助 建屋	0.99	
補助給水系	3復水ビット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001H)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御 系統	3-1次冷却材ポンプ封水戻りラインC/V 外側隔離弁 (3V-CS-255)	3B-E-2	原子炉建屋	0.89	
化学体積制御 系統	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001I)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.155	④	余熱除去系統	3A-余熱除去ポンプ (3RHP1A)	3AB-L-6	原子炉補助 建屋	0.83	
化学体積制御 系統	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.31	0.31	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001J)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.155	④	余熱除去系統	3B-余熱除去ポンプ (3RHP1B)	3AB-L-5	原子炉補助 建屋	0.83	
化学体積制御 系統	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001K)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.155	④	余熱除去系統	3A-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-601)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	3.25	
化学体積制御 系統	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001L)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	1.155	④	余熱除去系統	3B-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-611)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	3.23	
化学体積制御 系統	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ 現場操作箱 (3LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001M)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	余熱除去系統	3A-余熱除去ポンプ出口流量(I) (3FT-601)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	1.01	
化学体積制御 系統	3充てんポンプ入口燃料取替 用水ビット側補給弁A, B (3LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001N)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	余熱除去系統	3B-余熱除去ポンプ出口流量(II) (3FT-611)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	1.00	
化学体積制御 系統	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.57	0.57	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001O)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	余熱除去系統	3A-余熱除去ポンプWRSP側入口弁 (3V-RH-051A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.75	
化学体積制御 系統	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001P)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④						
化学体積制御 系統	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001Q)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④						
化学体積制御 系統	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.24	1.14	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001R)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④						
化学体積制御 系統	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.23	1.13	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001S)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④						
化学体積制御 系統	3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.64	4.54	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001T)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④						
化学体積制御 系統	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	原子炉補助給水系	原子炉ポンプ 静電圧力制御盤 (3B-P001U)	0-03P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④						
化学体積制御 系統	3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	20.98	3.88												
化学体積制御 系統	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違説明		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（2/9）					表1 防護対象設備一覧（4/27）					表1 防護対象設備一覧（4/29）							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上 [m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ <sup>※</sup> [m]		
化学体積制御系	3A, 3B封水注入フィルタ	原子炉 周辺建屋	26.0	-	制御除去系	3A 3B封水注入フィルタ (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.420	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP側入口弁 (3V-RH-051B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78		
化学体積制御系	3封水ストレーナ	原子炉 周辺建屋	17.1	-	制御除去系	3A 3B封水注入設備 (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.560	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77		
化学体積制御系	3体積制御タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.360	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78		
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク水位 (3LT-206, 208)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77	
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク	原子炉 周辺建屋	10.0	-	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78		
化学体積制御系	3ほう酸フィルタ	原子炉 周辺建屋	10.0	-	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77		
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操 作箱 (3IB-14, 15)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流 量 (3FT-601, 611)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.60	1.10	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプミニマ ムフローライン止め弁 (3FCY-601, 611)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.96	0.86	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78		
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機制御 盤 (3IAC-A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.54	0.44	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機	原子炉 周辺建屋	17.1	17.70	0.60	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気乾燥器 (3IAHA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気ため (3IATA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78	
制御用空気系	3A-C, 3B-C制御用空気母管連 結弁 (3V-1A-501A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.80	0.70	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気主蒸気逃が し弁等供給ライン止め弁 (3V-1A-505A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.77	0.67	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78	
制御用空気系	3A, 3B 制御用空気格納容器隔 離弁 (3V-1A-508A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.99	0.89	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気供給母管圧 力 (3PT-1800, 1810)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.05	0.95	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78	
原子炉補機 冷却系	3A, 3B余熱除去冷却器冷却水 止め弁 (3V-CC-114A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.72	1.72	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77	
原子炉補機 冷却系	3原子炉補機冷却水サージ タンク水位Ⅲ, IV (3LT-1200, 1201)	原子炉 周辺建屋	39.0	40.09	1.09	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3B-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	1.78	
原子炉補機 冷却系	3原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-	制御除去系	3A 3B再循環タンク (31I-0500)	3-07-11	原子炉建屋 原子炉	9.180	②④⑤⑥	制御除去系	3A-余熱除去ポンプWRSP/再循環サンプ 側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	1.77	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違説明		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)						表1 防護対象設備一覧（5/27）						表1 防護対象設備一覧（5/29）								
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>*</sup> E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ <sup>*1</sup> (m)	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ <sup>*1</sup> (m)					
原子炉補機冷却系	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	-	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水ポンプ	3B-10	原子炉建屋	2.87	原子炉補機冷却系	3A-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-K-N4	原子炉建屋	2.87	関連設備	3B-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-H-N3	原子炉建屋	0.30
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.10	2.10	原子炉補機冷却系	3A-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-10	原子炉建屋	2.87	原子炉補機冷却系	3B-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-K-N4	原子炉建屋	2.87	関連設備	3A-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-H-N2	原子炉建屋	0.79
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱	制御建屋	7.0	9.90	2.90	原子炉補機冷却系	3B-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-10	原子炉建屋	2.87	原子炉補機冷却系	3D-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-K-N1	原子炉建屋	2.88	関連設備	3B-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-H-N3	原子炉建屋	0.80
原子炉補機冷却系	3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	制御建屋	7.0	9.29	2.29	原子炉補機冷却系	3A-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-10	原子炉建屋	2.87	原子炉補機冷却系	3C-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-K-N1	原子炉建屋	2.88	制御用空気系統	3A-制御用空気C/V外側隔離弁	3B-F-2	原子炉建屋	0.75
原子炉補機冷却系	3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁	制御建屋	7.0	9.28	2.28	原子炉補機冷却系	3B-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-10	原子炉建屋	2.87	原子炉補機冷却系	3D-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-K-N1	原子炉建屋	2.88	制御用空気系統	3B-制御用空気C/V外側隔離弁	3B-F-2	原子炉建屋	0.75
原子炉補機冷却系	34廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁(3号機側)	原子炉周辺建屋	17.1	18.09	0.99	原子炉補機冷却系	3A-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-10	原子炉建屋	2.87	原子炉補機冷却系	3A-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-K-N4	原子炉建屋	3.99	原子炉補機冷却系	3A-原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁	3B-K-N4	原子炉建屋	3.99
原子炉補機冷却系	3A, 3B格納容器スプレィ冷却器冷却水止め弁	原子炉周辺建屋	10.0	11.89	1.89	原子炉補機冷却系	3B-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-10	原子炉建屋	2.87	原子炉補機冷却系	3B-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-K-N4	原子炉建屋	2.65	原子炉補機冷却系	3B-原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁	3B-K-N4	原子炉建屋	2.00
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁	原子炉周辺建屋	17.1	22.41	5.31	原子炉補機冷却系	3C-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-K-N1	原子炉建屋	2.88	原子炉補機冷却系	3A-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-K-N4	原子炉建屋	4.00	原子炉補機冷却系	3A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁	3A-B-K-4	原子炉補助建屋	1.28
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁	原子炉周辺建屋	17.1	22.42	5.32	原子炉補機冷却系	3D-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-K-N1	原子炉建屋	2.87	原子炉補機冷却系	3B-原子炉補機冷却水戻り母管A側連絡弁	3B-K-N4	原子炉建屋	2.65					
原子炉補機冷却系	3-3CDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁	原子炉周辺建屋	17.1	22.12	5.02	原子炉補機冷却系	3A-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-10	原子炉建屋	2.87										
原子炉補機冷却系	3-3CDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	5.03	原子炉補機冷却系	3B-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-10	原子炉建屋	2.87										
原子炉補機冷却系	3A-D, 3B-C格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁	原子炉周辺建屋	17.1	21.22	4.12	原子炉補機冷却系	3C-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-K-N1	原子炉建屋	2.88										
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁	原子炉周辺建屋	17.1	21.12	4.02	原子炉補機冷却系	3D-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-K-N1	原子炉建屋	2.87										
原子炉補機冷却系	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁	制御建屋	7.0	9.70	2.70	原子炉補機冷却系	3A-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-10	原子炉建屋	2.87										
原子炉補機冷却系	3海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D海水ストレーナ	海水ポンプエリア	1.0	-	-	原子炉補機冷却系	3B-原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁	3B-10	原子炉建屋	2.87										
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	原子炉補機冷却系	3C-原子炉補機冷却水ポンプ	3B-K-N1	原子炉建屋	2.88										



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違説明
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(4/9)						表1 防護対象設備一覧（6/27）						表1 防護対象設備一覧（6/29）						
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)		
原子炉補機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現操操作箱 (3B-26, 27, 28, 29)	海水ポンプエリア	2.5	6.50	4.00	原子炉補機冷却系	海水ポンプエリア	3-26-3	原子炉補機	1.995	②	原子炉補機冷却水系統	3B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117B)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.29		
電気盤	3主盤 (原子炉盤) (3MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉格納容器隔離弁	格納容器ライオン第二隔離弁 (3G1-F106)	3-247-3	原子炉補機	6.570	①	原子炉補機冷却水系統	3A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.27		
電気盤	3原子炉補助盤 (3RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	原子炉格納容器隔離弁	3A, 3B1, 3B2, 3Cライオン第二隔離弁 (3A1-F104)	3-247-10	原子炉補機	11.216	①	原子炉補機冷却水系統	3B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.30		
電気盤	3原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (3RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉格納容器隔離弁	3A, 3B, 3Cライオン第二隔離弁 (3A1-F104)	3-247-10	原子炉補機	9.963	①	原子炉補機冷却水系統	3A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)	3BH-H-4	原子炉建屋	1.10		
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤 (3RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.95	0.15	原子炉格納容器隔離弁	3A, 3B, 3Cライオン第二隔離弁 (3A1-F104)	3-247-10	原子炉補機	9.963	①	原子炉補機冷却水系統	3B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)	3BH-H-4	原子炉建屋	1.10		
電気盤	3安全保護シーケンス盤 A01, A02, B01, B02 (3SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	22.00	0.20	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (A) (3B-3001A)	3-25-1-1	原子炉補機	6.600	①	原子炉補機冷却水系統	3A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)	3BH-H-4	原子炉建屋	1.10		
電気盤	3所内盤 (3PSE)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (B) (3B-3001B)	3-25-1-1	原子炉補機	6.600	①	原子炉補機冷却水系統	3B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)	3BH-H-4	原子炉建屋	1.10		
電気盤	事故時放射線監視盤 3RMS (3FRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.87	0.07	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (A) (3B-3001A)	3-25-1-1	原子炉補機	6.140	①	原子炉補機冷却水系統	3A-WDおよびCPLDエバポ補機冷却水戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	1.02		
電気盤	3原子炉トリップ遮断器盤 (3RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.14	0.04	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (B) (3B-3001B)	3-25-1-1	原子炉補機	6.140	①	原子炉補機冷却水系統	3B-WDおよびCPLDエバポ補機冷却水戻りライン第2止め弁 (3V-CC-352)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	1.01		
電気盤	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4 フレノイド分電盤 (3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (A) (3B-3001A)	3-25-1-1	原子炉補機	6.130	①	原子炉補機冷却水系統	3-原子炉補機冷却水サーージタンク水位 (IID) (3LT-1200)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.02		
電気盤	3A, 3Bドロップ盤 (3BCP-A-DRP, 3BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (B) (3B-3001B)	3-25-1-1	原子炉補機	6.130	①	原子炉補機冷却水系統	3-原子炉補機冷却水サーージタンク水位 (IV) (3LT-1201)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.00		
電気盤	3A, 3B直流分電盤 (3DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (A) (3B-3001A)	3-25-1-1	原子炉補機	2.430	①	原子炉補機冷却水系統	3A, B-C/V 再蒸餾ユニット補機冷却水入口 C/V 外側隔離弁 (3V-CC-203A)	3RD-D-2	原子炉建屋	1.18		
電気盤	3A, 3B直流分電盤 (3DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (B) (3B-3001B)	3-25-1-1	原子炉補機	1.445	①	原子炉補機冷却水系統	3C, D-C/V 再蒸餾ユニット補機冷却水入口 C/V 外側隔離弁 (3V-CC-203B)	3RD-D-3	原子炉建屋	1.39		
電気盤	3A, 3B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (A) (3B-3001A)	3-25-1-1	原子炉補機	1.445	①	原子炉補機冷却水系統	3A-C/V 再蒸餾ユニット補機冷却水出口 C/V 外側隔離弁 (3V-CC-208A)	3RD-D-2	原子炉建屋	4.00		
電気盤	3A, 3B充電器盤 (3BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (B) (3B-3001B)	3-25-1-1	原子炉補機	1.445	①							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルラッドスイッチギア (3MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	非常用ボイラ隔離弁	非常用ボイラ隔離弁 (A) (3B-3001A)	3-25-1-1	原子炉補機	1.475	①							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ (3PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	非常用ボイラ隔離弁	3B2 トリップ出口装置 (3B-3700A2)	3-25-1	原子炉補機	1.245	①							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントロールセンタ (3RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	非常用ボイラ隔離弁	3B2 トリップ出口装置 (3B-3700A2)	3-25-1	原子炉補機	1.250	①							
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用電源盤 (1)~(3) (3IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10													
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤 (3IFD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違説明
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(5/9)						表1 防護対象設備一覧（7/27）						表1 防護対象設備一覧（7/29）						
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上 [m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ <sup>※</sup> (a)		
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計表用交流電源切替盤 (3ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	格納容器	空気の乾燥装置(1) 電気ヒータ入口配管 (1B-1000A)	9-2F-1-2	原子炉建屋	1.955	①	原子炉補機	3B-C/V再循環ユニット補機冷却水出口					
電気盤	3AC, 3BD計表用後備分電盤 (3IBP-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	格納容器	空気の乾燥装置(2) 電気ヒータ入口配管 (1B-1000B)	9-2F-1-3	原子炉建屋	1.845	①	冷却水系統	C/V外側隔離弁 (3V-CC-208B)	3B-D-2	原子炉建屋	4.00		
非常用電源系	3A, 3Bディーゼセル発電機コントロールセンタ (3GCC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.24	0.24	格納容器	フィード加熱チャコールニアフィタ入口配管(4) (1B-1000A)	9-2F-1-4	原子炉建屋	1.275	①	原子炉補機	3C-C/V再循環ユニット補機冷却水出口	3B-D-3	原子炉建屋	4.00		
非常用電源系	3A, 3Bディーゼセル機関	原子炉周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.91	0.41	格納容器	フィード加熱チャコールニアフィタ入口配管(5) (1B-1000B)	9-2F-1-5	原子炉建屋	1.285	①	冷却水系統	C/V外側隔離弁 (3V-CC-208C)	3B-D-3	原子炉建屋	4.00		
非常用電源系	3A, 3Bディーゼセル発電機	原子炉周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.84	0.34	格納容器	フィード加熱チャコールニアフィタ入口配管(6) (1B-1000C)	9-2F-1-6	原子炉建屋	1.975	①	原子炉補機	3D-C/V再循環ユニット補機冷却水出口	3B-D-3	原子炉建屋	4.04		
非常用電源系	3A, 3Bディーゼセル発電機制御盤 (3DGC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.10	0.10	格納容器	フィード加熱チャコールニアフィタ入口配管(7) (1B-1000D)	9-2F-1-7	原子炉建屋	1.975	①	冷却水系統	C/V外側隔離弁 (3V-CC-208D)	3B-D-3	原子炉建屋	4.04		
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	格納容器	フィード加熱チャコールニアフィタ出口配管(4) (1B-1001A)	9-2F-1-8	原子炉建屋	1.285	①	原子炉補機	3-余剰抽出冷却器等補機冷却水入口C/V	3B-E-1	原子炉建屋	1.45		
格納容器スプレイ系	3よう素除去薬品タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	格納容器	フィード加熱チャコールニアフィタ出口配管(5) (1B-1001B)	9-2F-1-9	原子炉建屋	1.335	①	冷却水系統	外側隔離弁 (3V-CC-422)	3B-E-1	原子炉建屋	0.90		
格納容器スプレイ系	3格納容器圧力 (正域) I, II, III, IV (3PT-950, 951, 952, 953)	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	4.98	格納容器	フィード加熱チャコールニアフィタ出口配管(6) (1B-1001C)	9-2F-1-10	原子炉建屋	1.195	①	原子炉補機	3-余剰抽出冷却器等補機冷却水出口C/V	3B-E-1	原子炉建屋	1.27		
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.31	0.81	格納容器	フィード加熱チャコールニアフィタ出口配管(7) (1B-1001D)	9-2F-1-11	原子炉建屋	1.965	①	冷却水系統	3-1次冷却材ポンプ補機冷却水入口止め弁 (3V-CC-501)	3B-E-1	原子炉建屋	1.28		
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱 (3LB-18, 19)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	格納容器	フィード加熱チャコールニアフィタ出口配管(8) (1B-1001E)	9-2F-1-12	原子炉建屋	1.975	①	原子炉補機	3-1次冷却材ポンプ補機冷却水入口C/V	3B-E-1	原子炉建屋	1.28		
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (3V-CP-001A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.95	1.95	可動性ガス濃度制御系(A)	PCS 3D濃度 3D3-1 (3D1-1006A)	9-2F-1	原子炉建屋	0.900	①	冷却水系統	外側隔離弁 (3V-CC-503)	3B-E-1	原子炉建屋	1.25		
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (3V-CP-003A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	12.08	2.08	可動性ガス濃度制御系(B)	CS2濃度 3D3-2 (3D2-1006A)	9-2F-2	原子炉建屋	0.975 <sup>※</sup>	①	原子炉補機	3-1次冷却材ポンプ補機冷却水出口C/V	3B-E-1	原子炉建屋	1.25		
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイヘッダ冷却器出口格納容器隔離弁 (3V-CP-024A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.97	1.87	可動性ガス濃度制御系(C)	可動性ガス濃度制御系内結合調整加熱器(A) (電気ヒータ) (1B-1002A)	9-2F-3-2	原子炉建屋	0.145	①	関連設備	3A-充電器盤 (3CPA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10		
格納容器スプレイ系	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.65	0.55	可動性ガス濃度制御系(D)	可動性ガス濃度制御系内結合調整加熱器(B) (電気ヒータ) (1B-1002B)	9-2F-3-3	原子炉建屋	0.115	①	関連設備	3B-充電器盤 (3CPB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10		
格納容器スプレイ系	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.65	0.55	可動性ガス濃度制御系(E)	可動性ガス濃度制御系内結合調整加熱器(C) (1B-1002C)	9-2F-3-4	原子炉建屋	0.115	①	関連設備	運転コンソール (3MCP)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	0.20		
安全注入系	3A, 3B高压注入ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.00	0.50	可動性ガス濃度制御系(F)	PCS A系冷却水止め弁 (1B-1003A)	9-2F-4	原子炉建屋	0.880	①	関連設備	3-共通要因故障対策EP室操作盤 (3CMFLP)	3B-H-N9	原子炉建屋	1.12		
安全注入系	3A, 3B高压注入ポンプ現場操作箱 (3LB-12, 13)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	可動性ガス濃度制御系(G)	PCS A系冷却水入口弁 (1B-1003B)	9-2F-5	原子炉建屋	0.115	①	関連設備	3A-共通要因故障対策操作盤 (3CMFPA)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	0.33		
安全注入系	3A, 3B高压注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (3V-SI-002A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.93	1.93	可動性ガス濃度制御系(H)	PCS A系冷却水出口弁 (1B-1003C)	9-2F-6	原子炉建屋	0.115	①	関連設備	3B-共通要因故障対策操作盤 (3CMFPB)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	0.33		
安全注入系	3A, 3B高压注入ポンプミナムフローライン第1止め弁 (3V-SI-015A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	可動性ガス濃度制御系(I)	PCS A系冷却水流量調整弁 (1B-1003D)	9-2F-7	原子炉建屋	0.115	①							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違説明	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)					表1 防護対象設備一覧（8/27）					表1 防護対象設備一覧（8/29）						
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上 [m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)	
安全注入系	3A, 3B 高压注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁 (3V-SI-016A, B)	原子炉 周辺建屋	6.6	7.38	0.78	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVプロセッサ (A) 入口流量監視装置 (14B-370004)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	関連設備	3A-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPA)	3RB-II-N9	原子炉建屋	0.18
安全注入系	3A, 3B 高压注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (3V-SI-093A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.82	1.82	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVプロセッサ (A) 入口流量監視装置 (14B-370004)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	関連設備	3B-中央制御室外原子炉停止盤 (3EBP)	3RB-II-N8	原子炉建屋	0.18
安全注入系	3A, 3B 余熱除去ポンプ RWSピット及び再循環サンプ側入口弁 (3V-SI-096A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.93	1.93	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV加熱器 (A) 出口温度監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	関連設備	3A-換気空調系集中現場盤 (3LVPA)	3RB-II-N9	原子炉建屋	0.43
安全注入系	3A 高压注入流量 (I), 3B 高压注入流量 (II) (3PT-962, 963)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.10	1.10	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV加熱器 (A) 出口温度監視装置 (14B-370004-2)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	関連設備	3B-換気空調系集中現場盤 (3LVPB)	3RB-II-N8	原子炉建屋	0.44
安全注入系	3燃料取替用水ピット水位 I, II, III, IV (3LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.18	1.08	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV加熱器 (A) 出口温度監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	関連設備	3-工学的安全施設作動盤 (トレンA) (3EFA)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04
安全注入系、燃料取替用水系	3燃料取替用水ピット	原子炉 周辺建屋	18.5	-	-	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV加熱器 (A) 出口温度監視装置 (14B-370004-2)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	関連設備	3-工学的安全施設作動盤 (トレンB) (3EFB)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04
燃料取替用水系	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋	17.1	17.57	0.47	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV加熱器 (A) 出口温度監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	関連設備	3A-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3REIA)	3RB-II-N5	原子炉建屋	0.04
燃料取替用水系	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (3LB-33, 34)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV加熱器 (A) 出口温度監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.115	⑤	関連設備	3B-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3REIB)	3RB-II-N5	原子炉建屋	0.04
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピット冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV加熱器 (A) 出口温度監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	関連設備	3C-1次冷却材ポンプ母線計測盤 (3REIC)	3RB-II-N5	原子炉建屋	0.04
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピット	原子炉 周辺建屋	33.6	-	-	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV加熱器 (A) 出口温度監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	関連設備	3-原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネル I) (3RTI)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.71	0.71	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV加熱器 (A) 出口温度監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.029 <sup>※</sup>	⑤	関連設備	3-原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネル II) (3RTII)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ現場操作箱 (3LB-24, 25)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV加熱器 (A) 出口温度監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	関連設備	3-原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネル III) (3RTIII)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気透かし弁 (3PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉 周辺建屋	26.0	37.37	11.37	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV 流量計 (A) 流量監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	⑤	関連設備	3-原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネル IV) (3RTIV)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06
主蒸気系	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気圧力 (3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉 周辺建屋	29.0	30.00	1.00	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV 流量計 (A) 流量監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.432	⑤	関連設備	3-原子炉安全保護盤 (チャンネル I) (3PI)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D)	原子炉 周辺建屋	33.6	36.78	3.18	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV 流量計 (A) 流量監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.105	⑤					
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D 付属パネル)	原子炉 周辺建屋	29.0	29.52	0.52	可動性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV 流量計 (A) 流量監視装置 (14B-370004-1)	9-2F-0-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.105	⑤					
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59											
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.54	0.54											
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ現場操作箱 (3LB-103, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20											

※1：図面上より機能喪失する床面からの高さ  
 ※2：安全機能  
 ※3：緊急停止機能  
 ※4：本機停止機能  
 ※5：異常検出機能  
 ※6：異常検出機能  
 ※7：異常検出機能  
 ※8：異常検出機能  
 ※9：異常検出機能  
 ※10：異常検出機能  
 ※11：異常検出機能  
 ※12：異常検出機能  
 ※13：異常検出機能  
 ※14：異常検出機能  
 ※15：異常検出機能  
 ※16：異常検出機能  
 ※17：異常検出機能  
 ※18：異常検出機能  
 ※19：異常検出機能  
 ※20：異常検出機能  
 ※21：異常検出機能  
 ※22：異常検出機能  
 ※23：異常検出機能  
 ※24：異常検出機能  
 ※25：異常検出機能  
 ※26：異常検出機能  
 ※27：異常検出機能  
 ※28：異常検出機能  
 ※29：異常検出機能  
 ※30：異常検出機能  
 ※31：異常検出機能  
 ※32：異常検出機能  
 ※33：異常検出機能  
 ※34：異常検出機能  
 ※35：異常検出機能  
 ※36：異常検出機能  
 ※37：異常検出機能  
 ※38：異常検出機能  
 ※39：異常検出機能  
 ※40：異常検出機能  
 ※41：異常検出機能  
 ※42：異常検出機能  
 ※43：異常検出機能  
 ※44：異常検出機能  
 ※45：異常検出機能  
 ※46：異常検出機能  
 ※47：異常検出機能  
 ※48：異常検出機能  
 ※49：異常検出機能  
 ※50：異常検出機能  
 ※51：異常検出機能  
 ※52：異常検出機能  
 ※53：異常検出機能  
 ※54：異常検出機能  
 ※55：異常検出機能  
 ※56：異常検出機能  
 ※57：異常検出機能  
 ※58：異常検出機能  
 ※59：異常検出機能  
 ※60：異常検出機能  
 ※61：異常検出機能  
 ※62：異常検出機能  
 ※63：異常検出機能  
 ※64：異常検出機能  
 ※65：異常検出機能  
 ※66：異常検出機能  
 ※67：異常検出機能  
 ※68：異常検出機能  
 ※69：異常検出機能  
 ※70：異常検出機能  
 ※71：異常検出機能  
 ※72：異常検出機能  
 ※73：異常検出機能  
 ※74：異常検出機能  
 ※75：異常検出機能  
 ※76：異常検出機能  
 ※77：異常検出機能  
 ※78：異常検出機能  
 ※79：異常検出機能  
 ※80：異常検出機能  
 ※81：異常検出機能  
 ※82：異常検出機能  
 ※83：異常検出機能  
 ※84：異常検出機能  
 ※85：異常検出機能  
 ※86：異常検出機能  
 ※87：異常検出機能  
 ※88：異常検出機能  
 ※89：異常検出機能  
 ※90：異常検出機能  
 ※91：異常検出機能  
 ※92：異常検出機能  
 ※93：異常検出機能  
 ※94：異常検出機能  
 ※95：異常検出機能  
 ※96：異常検出機能  
 ※97：異常検出機能  
 ※98：異常検出機能  
 ※99：異常検出機能  
 ※100：異常検出機能

\*1：浸水により機能喪失する床面からの高さ



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違説明
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(7/9)						表1 防護対象設備一覧 (9/27)						表1 防護対象設備一覧 (9/29)						
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)		
冷水系	3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.21	1.21	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS 3系再循環系監視器 (T4P-313-F000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.100	②	関連設備	3-原子炉安全保護盤(チャンネルII) (3P1I)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04		
冷水系	3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.32	1.22	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) A11流量監視器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.100	②	関連設備	3-原子炉安全保護盤(チャンネルIII) (3P1II)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04		
冷水系	34C, 34D安全補機閉閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2800, 2801)	制御建屋	26.1	27.58	1.48	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) A11圧力設定器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.100	②	関連設備	3-原子炉安全保護盤(チャンネルIV) (3P1V)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04		
換気空調系	3換気空調盤 (3VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) 入口温度監視器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.100	②	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (3SFGA)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04		
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.35	1.25	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) 入口温度監視器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.100	②	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (3SFMG)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04		
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) 入口温度監視器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	②	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (3SFOA)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.05		
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.03	3.93	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) 入口温度監視器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	②	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (3SF0B)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.05		
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) 入口温度監視器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	②	関連設備	3-安全系マルチプレクサ(トレンA) (3SMCA)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04		
換気空調系	3中央制御室温度(1), (2) (3TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.21	1.41	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) 入口温度監視器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	②	関連設備	3-安全系マルチプレクサ(トレンB) (3SMCB)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04		
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.34	0.24	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) 入口温度監視器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	②	関連設備	3-安全系現場制御監視器(トレンAグループ1) (3SLCA1)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04		
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) 入口温度監視器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	②	関連設備	3-安全系現場制御監視器(トレンAグループ2) (3SLCA2)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04		
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	27.53	1.43	可動性ゾナ濃度制御系②	PCS2系①(2) 入口温度監視器 (T4P-313-000)	9-2P-2-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.145	②	関連設備	3-安全系現場制御監視器(トレンAグループ3) (3SLCA3)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04		
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42	緊急時監視計器(圧力)	原子炉圧力(1A) (3D1-PT010)	9-2P-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.610	②	緊急時監視計器(圧力)	原子炉圧力(1B) (3D1-PT010)	9-2P-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.610	②	
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.85	1.75	緊急時監視計器(圧力)	原子炉圧力(2) (3D1-PT010)	9-2P-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.610	②	緊急時監視計器(圧力)	原子炉圧力(3) (3D1-PT010)	9-2P-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.610	②	
換気空調系	34A, 34B安全補機閉閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	緊急時監視計器(圧力)	原子炉圧力(4) (3D1-PT010)	9-2P-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.790	②	緊急時監視計器(圧力)	原子炉圧力(5) (3D1-PT010)	9-2P-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.900	②	
換気空調系	34C, 34D安全補機閉閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	緊急時監視計器(圧力)	原子炉圧力(6) (3D1-PT010)	9-2P-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.900	②	緊急時監視計器(圧力)	原子炉圧力(7) (3D1-PT010)	9-2P-4	原子炉建屋 原子炉棟	9.900	②	
換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機閉閉器室空調ファン現場操作箱 (34LE-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23	緊急時監視計器(圧力)	圧力監視器内圧力 (T4P-313-000)	9-01P-1	原子炉建屋 原子炉棟	9.910	②	緊急時監視計器(圧力)	圧力監視器内圧力 (T4P-313-000)	9-01P-1	原子炉建屋 原子炉棟	9.910	②	
換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパA, B (3D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.36	3.26	緊急時監視計器(圧力)	圧力監視器内圧力 (T4P-313-000)	9-01P-1	原子炉建屋 原子炉棟	9.910	②	緊急時監視計器(圧力)	圧力監視器内圧力 (T4P-313-000)	9-01P-1	原子炉建屋 原子炉棟	9.910	②	
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)	制御建屋	28.7	30.96	2.26	緊急時監視計器(流量)	原子炉排水(1) (流量) (3D1-FT010)	9-01P-1	原子炉建屋 原子炉棟	9.910	②	緊急時監視計器(流量)	原子炉排水(2) (流量) (3D1-FT010)	9-01P-1	原子炉建屋 原子炉棟	9.910	②	
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40	緊急時監視計器(流量)	原子炉排水(2) (流量) (3D1-FT010)	9-01P-1	原子炉建屋 原子炉棟	9.910	②	緊急時監視計器(流量)	原子炉排水(3) (流量) (3D1-FT010)	9-01P-1	原子炉建屋 原子炉棟	9.910	②	
換気空調系	3A, 3B安全補機閉閉器室温度 (3TS-2817, 2818)	制御建屋	15.8	17.20	1.40	緊急時監視計器(流量)	原子炉排水(3) (流量) (3D1-FT010)	9-01P-1	原子炉建屋 原子炉棟	9.910	②	緊急時監視計器(流量)	原子炉排水(4) (流量) (3D1-FT010)	9-01P-1	原子炉建屋 原子炉棟	9.910	②	
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉 周辺建屋	17.1	17.40	0.30													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違説明
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(8/9)						表1 防護対象設備一覧（10/27）						表1 防護対象設備一覧（10/29）						
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上 [m]			系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ <sup>※1</sup> (a)	
換気空調系	3A, 3B副用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱 (31B-90, 91)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉周辺建屋	原子炉周辺建屋	0-02-1	原子炉周辺建屋	0.365	⑤	関連設備	3-安全系現場制御監視盤(トレンブグループ3)(3SLCB3)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04		
換気空調系	3副用空気圧縮機室排気ダンパ(A, B (3D-VS-431A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.65	4.55	原子炉周辺建屋	3副用空気圧縮機室排気ダンパ(A, B)	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.365	⑤	関連設備	3A-計装用インバータ (31VA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10		
換気空調系	3副用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4) (3TS-2771, 2772, 2773, 2774)	原子炉周辺建屋	17.1	18.50	1.40	原子炉周辺建屋	3副用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4)	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.435	⑤	関連設備	3B-計装用インバータ (31VB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10		
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.43	0.33	原子炉周辺建屋	3A電動補助給水ポンプ室給気ファン	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.365	⑤	関連設備	3C-計装用インバータ (31VC)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10		
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱 (31B-86, 87)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉周辺建屋	3A電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.375	⑤	関連設備	3D-計装用インバータ (31VD)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10		
換気空調系	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパ(A, B (3D-VS-411A, B)	原子炉周辺建屋	21.3	23.30	2.00	原子炉周辺建屋	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパ(A, B)	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.455	⑤	関連設備	3A1-計装用交流分電盤 (31DPA1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.23		
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2) (3TS-2741, 2742, 2743, 2744)	原子炉周辺建屋	10.0	11.40	1.40	原子炉周辺建屋	3A電動補助給水ポンプ室温度(1), (2)	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.165	⑤	関連設備	3A2-計装用交流分電盤 (31DPA2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.22		
換気空調系	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	原子炉周辺建屋	33.6	33.91	0.31	原子炉周辺建屋	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.265	⑤	関連設備	3B1-計装用交流分電盤 (31DPB1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.20		
換気空調系	3A1-A2, 3B1-B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱 (31B-84, 85)	原子炉周辺建屋	33.6	34.82	1.22	原子炉周辺建屋	3A1-A2, 3B1-B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.495	⑤	関連設備	3B2-計装用交流分電盤 (31DPB2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21		
換気空調系	3ディーゼル発電機室排気ダンパ(A1, A2, B1, B2 (3D-VS-401A, B, 403A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	13.59	3.59	原子炉周辺建屋	3ディーゼル発電機室排気ダンパ(A1, A2, B1, B2)	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.340	⑤	関連設備	3C1-計装用交流分電盤 (31DPC1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.22		
換気空調系	3A, 3Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4) (3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714)	原子炉周辺建屋	10.0	11.18	1.18	原子炉周辺建屋	3A, 3Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4)	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.300	⑤	関連設備	3C2-計装用交流分電盤 (31DPC2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.22		
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.93	0.83	原子炉周辺建屋	3A安全補機室冷却ファン	0-02-1	原子炉周辺建屋	0.365	⑤	関連設備	0D1-計装用交流分電盤 (31DPD1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.20		
換気空調系	3A, 3B安全補機室現場操作箱 (31B-82, 83)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉周辺建屋	3A安全補機室現場操作箱	0-02-1	原子炉周辺建屋	0.345	⑤	関連設備	3D2-計装用交流分電盤 (31DPD2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.20		
換気空調系	3A, 3B安全補機室温度(1), (2) (3TS-2680, 2681, 2690, 2691)	原子炉周辺建屋	10.0	11.28	1.28	原子炉周辺建屋	3A安全補機室温度(1), (2)	0-20-2	原子炉周辺建屋	0.345	⑤	関連設備	3A-計装用交流電源切替器盤 (31SPA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.35		
換気空調系	3A, 3B安全補機室排気ダンパ (3D-VS-105A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.61	5.51	原子炉周辺建屋	3A安全補機室排気ダンパ	0-10-2	原子炉周辺建屋	0.165	⑤							
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン	原子炉周辺建屋	10.0	10.59	0.59	原子炉周辺建屋	3Aほう酸ポンプ室空調ファン	0-02-1	原子炉周辺建屋	0.495	⑤							
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱 (31B-77, 78)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉周辺建屋	3Aほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱	0-02-1	原子炉周辺建屋	0.345	⑤							
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	原子炉周辺建屋	10.0	10.46	0.46	原子炉周辺建屋	3Aほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	0-10-2	原子炉周辺建屋	0.165	⑤							
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室温度調節計 (3TC-2601, 2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	原子炉周辺建屋	3Aほう酸ポンプ室温度調節計	0-10-2	原子炉周辺建屋	0.335	⑤							

※1：図面上より機能喪失する床面からの高さ（※3高さ0.075mを考慮）  
 ※2：設置高さ  
 ※3：設置停止機能  
 ※4：停止機能  
 ※5：停止機能  
 ※6：停止機能  
 ※7：停止機能  
 ※8：停止機能  
 ※9：停止機能  
 ※10：停止機能  
 ※11：停止機能  
 ※12：停止機能  
 ※13：停止機能  
 ※14：停止機能  
 ※15：停止機能  
 ※16：停止機能  
 ※17：停止機能  
 ※18：停止機能  
 ※19：停止機能  
 ※20：停止機能  
 ※21：停止機能  
 ※22：停止機能  
 ※23：停止機能  
 ※24：停止機能  
 ※25：停止機能  
 ※26：停止機能  
 ※27：停止機能  
 ※28：停止機能  
 ※29：停止機能  
 ※30：停止機能  
 ※31：停止機能  
 ※32：停止機能  
 ※33：停止機能  
 ※34：停止機能  
 ※35：停止機能  
 ※36：停止機能  
 ※37：停止機能  
 ※38：停止機能  
 ※39：停止機能  
 ※40：停止機能  
 ※41：停止機能  
 ※42：停止機能  
 ※43：停止機能  
 ※44：停止機能  
 ※45：停止機能  
 ※46：停止機能  
 ※47：停止機能  
 ※48：停止機能  
 ※49：停止機能  
 ※50：停止機能  
 ※51：停止機能  
 ※52：停止機能  
 ※53：停止機能  
 ※54：停止機能  
 ※55：停止機能  
 ※56：停止機能  
 ※57：停止機能  
 ※58：停止機能  
 ※59：停止機能  
 ※60：停止機能  
 ※61：停止機能  
 ※62：停止機能  
 ※63：停止機能  
 ※64：停止機能  
 ※65：停止機能  
 ※66：停止機能  
 ※67：停止機能  
 ※68：停止機能  
 ※69：停止機能  
 ※70：停止機能  
 ※71：停止機能  
 ※72：停止機能  
 ※73：停止機能  
 ※74：停止機能  
 ※75：停止機能  
 ※76：停止機能  
 ※77：停止機能  
 ※78：停止機能  
 ※79：停止機能  
 ※80：停止機能  
 ※81：停止機能  
 ※82：停止機能  
 ※83：停止機能  
 ※84：停止機能  
 ※85：停止機能  
 ※86：停止機能  
 ※87：停止機能  
 ※88：停止機能  
 ※89：停止機能  
 ※90：停止機能  
 ※91：停止機能  
 ※92：停止機能  
 ※93：停止機能  
 ※94：停止機能  
 ※95：停止機能  
 ※96：停止機能  
 ※97：停止機能  
 ※98：停止機能  
 ※99：停止機能  
 ※100：停止機能

※1：設水により機能喪失する床面からの高さ

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違説明
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(9/9)							表1 防護対象設備一覧（11/27）					表1 防護対象設備一覧（11/29）					
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上[m]			系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ <sup>※1</sup> (m)
換気空調系	3号炉酸タンク室温度(1),(2),(3),(4) (3TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.29	1.29		原子炉補助 原子炉	3-12-6	原子炉補助 原子炉	2.945	⑤	関連設備	3B-計装用交流電源切替器盤 (3ISP6)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.33	
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.90	0.60		原子炉補助 原子炉	3-12-7	原子炉補助 原子炉	9.000	⑤	関連設備	3C-計装用交流電源切替器盤 (3ISPC)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.35	
換気空調系	3A, B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (3LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20		原子炉補助 原子炉	3-12-10	原子炉補助 原子炉	7.095	⑤	関連設備	3B-計装用交流電源切替器盤 (3ISPD)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.33	
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.66	0.36		原子炉補助 原子炉	3-12-3	原子炉補助 原子炉	1.795	⑤	関連設備	3A-補助建屋直流分電盤 (306PA)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.23	
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (3HCD-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.76	1.46		原子炉補助 原子炉	3-12-4	原子炉補助 原子炉	9.000	⑤	関連設備	3B-補助建屋直流分電盤 (306PB)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.22	
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (3HCD-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.67	0.37		原子炉補助 原子炉	3-12-5	原子炉補助 原子炉	2.945	⑤	関連設備	3-3ツレノイド分電盤トレン A1 (3SDA1)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.20	
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ (3HCD-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.29	1.99		原子炉補助 原子炉	3-12-6	原子炉補助 原子炉	3.543	⑤	関連設備	3-3ツレノイド分電盤トレン A2 (3SDA2)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.20	
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (3FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.44	1.34		原子炉補助 原子炉	3-12-7	原子炉補助 原子炉	3.919	⑤	関連設備	3-3ツレノイド分電盤トレン A3 (3SDA3)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.20	
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.90	1.60		原子炉補助 原子炉	3-12-8	原子炉補助 原子炉	3.226	⑤	関連設備	3-3ツレノイド分電盤トレン A4 (3SDA4)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.20	
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.49	1.19		原子炉補助 原子炉	3-12-9	原子炉補助 原子炉	1.953	⑤	関連設備	3-3ツレノイド分電盤トレン B1 (3SDB1)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.18	
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (3HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.45	2.15		原子炉補助 原子炉	3-12-10	原子炉補助 原子炉	2.161	⑤	関連設備	3-3ツレノイド分電盤トレン B2 (3SDB2)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.19	
換気空調系	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン (3VSPA, B)	原子炉 周辺建屋	20.9	21.47	0.57		原子炉補助 原子炉	3-12-1	原子炉補助 原子炉	0.000	⑤	関連設備	3-3ツレノイド分電盤トレン B3 (3SDB3)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.19	
換気空調系	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱 (3LB-52, 53)	原子炉 周辺建屋	20.9	22.10	1.20		原子炉補助 原子炉	3-12-2	原子炉補助 原子炉	0.000	⑤	関連設備	3-3ツレノイド分電盤トレン B4 (3SDB4)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.18	
換気空調系	3A, 3Bアニュラス排気ダンパ (3D-VS-101A, B)	原子炉 周辺建屋	20.9	21.37	0.47		原子炉補助 原子炉	3-12-3	原子炉補助 原子炉	0.000	⑤	関連設備	3A-直流コントロールセンタ (3DCA)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.10	
換気空調系	3A, 3Bアニュラス全量排気弁 (3V-VS-102A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	19.24	2.14		原子炉補助 原子炉	3-12-4	原子炉補助 原子炉	0.000	⑤						
換気空調系	3A, 3Bアニュラス少量排気弁 (3V-VS-103A, B)	原子炉 周辺建屋	20.9	22.97	2.07		原子炉補助 原子炉	3-12-5	原子炉補助 原子炉	0.000	⑤						
換気空調系			20.9	23.25	2.35		原子炉補助 原子炉	3-12-6	原子炉補助 原子炉	0.000	⑤						

※ 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。

※1：図面上より機能喪失する床面からの高さ  
 ※2：安全機器  
 ※3：換気空調系  
 ※4：本館内設備  
 ※5：換気空調系  
 ※6：原子炉格納容器内設置設備  
 ※7：原子炉格納容器内設置設備  
 ※8：原子炉格納容器内設置設備  
 ※9：原子炉格納容器内設置設備  
 ※10：原子炉格納容器内設置設備  
 ※11：原子炉格納容器内設置設備  
 ※12：原子炉格納容器内設置設備  
 ※13：原子炉格納容器内設置設備  
 ※14：原子炉格納容器内設置設備  
 ※15：原子炉格納容器内設置設備  
 ※16：原子炉格納容器内設置設備  
 ※17：原子炉格納容器内設置設備  
 ※18：原子炉格納容器内設置設備  
 ※19：原子炉格納容器内設置設備  
 ※20：原子炉格納容器内設置設備  
 ※21：原子炉格納容器内設置設備  
 ※22：原子炉格納容器内設置設備  
 ※23：原子炉格納容器内設置設備  
 ※24：原子炉格納容器内設置設備  
 ※25：原子炉格納容器内設置設備  
 ※26：原子炉格納容器内設置設備  
 ※27：原子炉格納容器内設置設備  
 ※28：原子炉格納容器内設置設備  
 ※29：原子炉格納容器内設置設備  
 ※30：原子炉格納容器内設置設備  
 ※31：原子炉格納容器内設置設備  
 ※32：原子炉格納容器内設置設備  
 ※33：原子炉格納容器内設置設備  
 ※34：原子炉格納容器内設置設備  
 ※35：原子炉格納容器内設置設備  
 ※36：原子炉格納容器内設置設備  
 ※37：原子炉格納容器内設置設備  
 ※38：原子炉格納容器内設置設備  
 ※39：原子炉格納容器内設置設備  
 ※40：原子炉格納容器内設置設備  
 ※41：原子炉格納容器内設置設備  
 ※42：原子炉格納容器内設置設備  
 ※43：原子炉格納容器内設置設備  
 ※44：原子炉格納容器内設置設備  
 ※45：原子炉格納容器内設置設備  
 ※46：原子炉格納容器内設置設備  
 ※47：原子炉格納容器内設置設備  
 ※48：原子炉格納容器内設置設備  
 ※49：原子炉格納容器内設置設備  
 ※50：原子炉格納容器内設置設備  
 ※51：原子炉格納容器内設置設備  
 ※52：原子炉格納容器内設置設備  
 ※53：原子炉格納容器内設置設備  
 ※54：原子炉格納容器内設置設備  
 ※55：原子炉格納容器内設置設備  
 ※56：原子炉格納容器内設置設備  
 ※57：原子炉格納容器内設置設備  
 ※58：原子炉格納容器内設置設備  
 ※59：原子炉格納容器内設置設備  
 ※60：原子炉格納容器内設置設備  
 ※61：原子炉格納容器内設置設備  
 ※62：原子炉格納容器内設置設備  
 ※63：原子炉格納容器内設置設備  
 ※64：原子炉格納容器内設置設備  
 ※65：原子炉格納容器内設置設備  
 ※66：原子炉格納容器内設置設備  
 ※67：原子炉格納容器内設置設備  
 ※68：原子炉格納容器内設置設備  
 ※69：原子炉格納容器内設置設備  
 ※70：原子炉格納容器内設置設備  
 ※71：原子炉格納容器内設置設備  
 ※72：原子炉格納容器内設置設備  
 ※73：原子炉格納容器内設置設備  
 ※74：原子炉格納容器内設置設備  
 ※75：原子炉格納容器内設置設備  
 ※76：原子炉格納容器内設置設備  
 ※77：原子炉格納容器内設置設備  
 ※78：原子炉格納容器内設置設備  
 ※79：原子炉格納容器内設置設備  
 ※80：原子炉格納容器内設置設備  
 ※81：原子炉格納容器内設置設備  
 ※82：原子炉格納容器内設置設備  
 ※83：原子炉格納容器内設置設備  
 ※84：原子炉格納容器内設置設備  
 ※85：原子炉格納容器内設置設備  
 ※86：原子炉格納容器内設置設備  
 ※87：原子炉格納容器内設置設備  
 ※88：原子炉格納容器内設置設備  
 ※89：原子炉格納容器内設置設備  
 ※90：原子炉格納容器内設置設備  
 ※91：原子炉格納容器内設置設備  
 ※92：原子炉格納容器内設置設備  
 ※93：原子炉格納容器内設置設備  
 ※94：原子炉格納容器内設置設備  
 ※95：原子炉格納容器内設置設備  
 ※96：原子炉格納容器内設置設備  
 ※97：原子炉格納容器内設置設備  
 ※98：原子炉格納容器内設置設備  
 ※99：原子炉格納容器内設置設備  
 ※100：原子炉格納容器内設置設備

※1：没水により機能喪失する床面からの高さ



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違説明
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(1/9)				表1 防護対象設備一覧（12/27）				表1 防護対象設備一覧（12/29）				
系統	設備	設置建屋	設置高さ			機能喪失高さ <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1	
			E.L. + [m]	E.L. + [m]	床土[m]						(a)	(n)
補助給水系	4A, 4B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.75	1.15	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4VDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	
補助給水系	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助 給水流量 (4FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	
補助給水系	4復水ビット水位Ⅲ, IV (4LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	
補助給水系	4復水ビット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	
化学体積制御系	4A, 4B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.65	0.65	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	
化学体積制御系	4C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.29	0.29	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御補助 盤 (4CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	
化学体積制御系	4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ 現場操作箱 (4LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.06	0.06	
化学体積制御系	4充てんポンプ入口燃料取替 用水ビット側補給弁A, B (4LCV-12D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.19	1.19	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.62	0.62	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (4LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	
化学体積制御系	4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第1止め 弁 (4LCV-12B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.26	1.16	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第2止め 弁 (4LCV-12C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.27	1.17	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	
化学体積制御系	4緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (4V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.57	4.47	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	
化学体積制御系	4充てんライン格納容器隔離 弁 (4V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	
化学体積制御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.00	4.90	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	
化学体積制御系	4封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	⑤	原子炉補助 給水ポンプ	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.15	0.15	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉					相違説明	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（2/9）						表1 防護対象設備一覧（13/27）						表1 防護対象設備一覧（13/29）						
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※1</sup> [m]	機能 <sup>※2</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)	相違説明	
化学体積制御系	4A, 4B封水注入フィルタ	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	電気空調系	原子炉補機(3D)冷却水ターニング (3)	B-2F-7	原子炉補機 貯水庫	0.900	③④⑤⑥	電気空調系	原子炉補機 冷却海水系統	3D-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SWP1D)	3CP-A-N2	循環水 ポンプ建屋	1.50	
化学体積制御系	4封水ストレーナ	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	電気空調系	原子炉補機(3A)冷却水ターニング (3)	B-2F-8	原子炉補機 貯水庫	0.900	③④⑤⑥	電気空調系	原子炉補機 冷却海水系統	3A-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海 水出口止め弁(3V-SW-571A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	0.76	
化学体積制御系	4体積制御タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	電気空調系	原子炉補機(3B)冷却水ターニング (3)	C-2F-1	原子炉補機 貯水庫	0.900	③	電気空調系	原子炉補機 冷却海水系統	3B-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海 水出口止め弁(3V-SW-571B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	0.75	
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク水位 (4LT-206, 208)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.18	1.08	電気空調系	原子炉補機(3C)冷却水ターニング (3)	C-2F-2	原子炉補機 貯水庫	0.900	③	電気空調系	原子炉補機 冷却海水系統	3C-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海 水出口止め弁(3V-SW-571C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	0.76	
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	電気空調系	原子炉補機(3D)冷却水ターニング (3)	C-2F-3	原子炉補機 貯水庫	0.900	③	非常用電源系	3A-ディーゼル発電機 (3DG2A)	3DG-J-N2	ディーゼル 発電機建屋	0.38		
化学体積制御系	4ほう酸フィルタ	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	電気空調系	原子炉補機(3A)冷却水ターニング (3)	B-2F-4	原子炉補機 貯水庫	0.100	③	非常用電源系	3B-ディーゼル発電機 (3DG2B)	3DG-J-N1	ディーゼル 発電機建屋	0.37		
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	電気空調系	原子炉補機(3B)冷却水ターニング (3)	B-2F-5	原子炉補機 貯水庫	0.120	③④⑤⑥	非常用電源系	3A-ディーゼル発電機 (3DGE1A)	3DG-J-N2	ディーゼル 発電機建屋	0.32		
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ現場操 作箱(4LB-14, 15)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	電気空調系	原子炉補機(3C)冷却水ターニング (3)	B-2F-6	原子炉補機 貯水庫	0.110	③	非常用電源系	3B-ディーゼル発電機 (3DGE1B)	3DG-J-N1	ディーゼル 発電機建屋	0.32		
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ出口流 量(4FT-601, 611)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.61	1.11	電気空調系	原子炉補機(3D)冷却水ターニング (3)	B-2F-7	原子炉補機 貯水庫	0.120	③④	非常用電源系	3A-蓄電池 (3BATA)	3AB-H-N7	原子炉補助 建屋	0.57		
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプミニマ ムフローライン止め弁 (4FCV-601, 611)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.98	0.88	電気空調系	原子炉補機(3A)冷却水ターニング (3)	B-2F-8	原子炉補機 貯水庫	0.100	③	非常用電源系	3B-蓄電池 (3BATB)	3AB-H-N3	原子炉補助 建屋	0.57		
余熱除去系	4A, 4B余熱除去冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	電気空調系	原子炉補機(3B)冷却水ターニング (3)	B-2F-9	原子炉補機 貯水庫	0.100	③	関連設備	3A-ディーゼル発電機コントローラセン タ(3GCC-A)	3RB-H-N11	原子炉建屋	0.10		
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機制御 盤(4IAC-A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.54	0.44	電気空調系	原子炉補機(3C)冷却水ターニング (3)	B-2F-10	原子炉補機 貯水庫	0.100	③	関連設備	3B-ディーゼル発電機コントローラセン タ(3GCC-B)	3RB-H-N10	原子炉建屋	0.10		
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機	原子炉 周辺建屋	17.1	17.72	0.62	電気空調系	原子炉補機(3D)冷却水ターニング (3)	B-2F-11	原子炉補機 貯水庫	0.100	③	非常用電源系	3A-ディーゼル発電機 (3DGE2A)	3DG-J-N2	ディーゼル 発電機建屋	0.32		
制御用空気系	4A, 4B制御用空気乾燥器 (4IAHA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	電気空調系	原子炉補機(3A)冷却水ターニング (3)	B-2F-12	原子炉補機 貯水庫	0.120	③	非常用電源系	3B-ディーゼル発電機 (3DGE2B)	3DG-J-N1	ディーゼル 発電機建屋	0.32		
制御用空気系	4A, 4B制御用空気ため (4IATA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	電気空調系	原子炉補機(3B)冷却水ターニング (3)	B-2F-13	原子炉補機 貯水庫	0.120	③	非常用電源系	3A-蓄電池 (3BATA)	3AB-H-N7	原子炉補助 建屋	0.57		
制御用空気系	4A-C, 4B-C制御用空気母管連 給弁(4V-1A-501A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.78	0.68	電気空調系	原子炉補機(3C)冷却水ターニング (3)	B-2F-14	原子炉補機 貯水庫	0.100	③	非常用電源系	3B-蓄電池 (3BATB)	3AB-H-N3	原子炉補助 建屋	0.57		
制御用空気系	4A, 4B制御用空気主蒸気逃が し弁等供給ライン止め弁 (4V-1A-505A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.76	0.66	電気空調系	原子炉補機(3D)冷却水ターニング (3)	B-2F-15	原子炉補機 貯水庫	0.100	③	非常用電源系	3A-ディーゼル発電機 (3DGE1A)	3DG-J-N2	ディーゼル 発電機建屋	0.32		
制御用空気系	4A, 4B 制御用空気格納容器隔 離弁(4V-1A-508A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.88	0.78	電気空調系	原子炉補機(3A)冷却水ターニング (3)	B-2F-16	原子炉補機 貯水庫	0.120	③④⑤⑥	非常用電源系	3B-ディーゼル発電機 (3DGE1B)	3DG-J-N1	ディーゼル 発電機建屋	0.32		
制御用空気系	4A, 4B制御用空気供給母管圧 力(4PT-1800, 1810)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.20	1.10	電気空調系	原子炉補機(3B)冷却水ターニング (3)	B-2F-17	原子炉補機 貯水庫	0.120	③④⑤⑥	非常用電源系	3A-蓄電池 (3BATA)	3AB-H-N7	原子炉補助 建屋	0.57		
原子炉補機 冷却系	4A, 4B余熱除去冷却器冷却水 止め弁(4V-CC-114A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.69	1.69	電気空調系	原子炉補機(3C)冷却水ターニング (3)	B-2F-18	原子炉補機 貯水庫	0.120	③④⑤⑥	非常用電源系	3B-蓄電池 (3BATB)	3AB-H-N3	原子炉補助 建屋	0.57		
原子炉補機 冷却系	4原子炉補機冷却水サージ タンク水位III, IV (4LT-1200, 1201)	原子炉 周辺建屋	39.0	39.99	0.99	電気空調系	原子炉補機(3D)冷却水ターニング (3)	B-2F-19	原子炉補機 貯水庫	0.120	③④⑤⑥	非常用電源系	3A-ディーゼル発電機 (3DGE2A)	3DG-J-N2	ディーゼル 発電機建屋	0.32		
原子炉補機 冷却系	4原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-	電気空調系	原子炉補機(3A)冷却水ターニング (3)	B-2F-20	原子炉補機 貯水庫	0.120	③④⑤⑥	非常用電源系	3B-ディーゼル発電機 (3DGE2B)	3DG-J-N1	ディーゼル 発電機建屋	0.32		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉					相違説明
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)						表1 防護対象設備一覧（14/27）						表1 防護対象設備一覧（14/29）					
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ <sup>*</sup> E.L.+[m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L.[m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ <sup>*1</sup> (m)	
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	-	原子炉補機(A)冷却機(1)	(1A1-0001)	9-02-01	原子炉建屋	9.140	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用電源系	3B-ディーゼル発電機制御室(3EG8B)	3BB-H-N10	原子炉建屋	0.07	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.08	2.08	原子炉補機(B)冷却機(1)	(1B1-0001)	9-02-13	原子炉建屋	9.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレシステム	3A-格納容器スプレポンプ(3CPP1A)	3AB-L-7	原子炉補助建屋	0.83	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱(4LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	2.90	原子炉補機(C)冷却機(1)	(1C1-0001)	9-02-13	原子炉建屋	9.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレシステム	3B-格納容器スプレポンプ(3CPP1B)	3AB-L-4	原子炉補助建屋	0.82	
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁(4V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.33	2.33	原子炉補機(D)冷却機(1)	(1D1-0001)	9-02-11	原子炉建屋	9.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレシステム	3A-格納容器スプレ冷却器出口C/V外側隔離弁(3V-CP-013A)	3BB-E-2	原子炉建屋	1.29	
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁(4V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.33	2.33	原子炉補機(A)冷却機(2)	(1A1-0002)	9-02-04	原子炉建屋	9.800	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレシステム	3B-格納容器スプレ冷却器出口C/V外側隔離弁(3V-CP-013B)	3BB-E-2	原子炉建屋	1.44	
原子炉補機冷却系	4廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁(4号機側)(4V-CC-605, 606)	原子炉周辺建屋	17.1	17.97	0.87	原子炉補機(B)冷却機(2)	(1B1-0002)	9-02-13	原子炉建屋	9.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレシステム	3-よう薬除去薬品タンク注入Aライン止め弁(3V-CP-054A)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.42	
原子炉補機冷却系	4A, 4B格納容器スプレ冷却器冷却水止め弁(4V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.85	1.85	原子炉補機(C)冷却機(2)	(1C1-0002)	9-02-04	原子炉建屋	9.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレシステム	3-よう薬除去薬品タンク注入Bライン止め弁(3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.42	
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁(4V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	5.30	原子炉補機(D)冷却機(2)	(1D1-0002)	9-02-11	原子炉建屋	9.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレシステム	3-格納容器圧力(I)	3BB-F-2	原子炉建屋	1.15	
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁(4V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	5.30	原子炉補機(A)冷却機(3)	(1A1-0003)	9-02-13	原子炉建屋	9.120	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレシステム	3-格納容器圧力(II)	3BB-F-2	原子炉建屋	1.14	
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁(4V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.11	5.01	原子炉補機(B)冷却機(3)	(1B1-0003)	9-02-13	原子炉建屋	9.120	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器スプレシステム	3-格納容器圧力(III)	3BB-F-2	原子炉建屋	1.12	
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁(4V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	5.03	原子炉補機(C)冷却機(3)	(1C1-0003)	9-02-11	原子炉建屋	9.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿						
原子炉補機冷却系	4A・D, 4B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁(4V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.20	5.10	原子炉補機(D)冷却機(3)	(1D1-0003)	9-02-04	原子炉建屋	9.800	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿						
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁(4V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	4.98	原子炉補機(A)冷却機(4)	(1A1-0004)	9-02-13	原子炉建屋	9.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿						
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁(4V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.69	2.69	原子炉補機(B)冷却機(4)	(1B1-0004)	9-02-11	原子炉建屋	9.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿						
原子炉補機冷却系	4海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4D海水ストレーナ(4S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	-	原子炉補機(C)冷却機(4)	(1C1-0004)	9-02-13	原子炉建屋	9.120	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿						
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	原子炉補機(D)冷却機(4)	(1D1-0004)	9-02-11	原子炉建屋	9.110	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿						

\*1：図面上より機能喪失する床面からの高さ（床上200mmを考慮）  
 ※：① 安全機能  
 ② 緊急停止機能  
 ③ 異常検知機能  
 ④ 異常停止機能  
 ⑤ 原子炉制御システム機能  
 ⑥ 運転停止機能  
 ⑦ 電源供給機能  
 ⑧ 監視機能  
 ⑨ 原子炉制御システム機能  
 ⑩ 原子炉制御システム機能  
 ⑪ 原子炉制御システム機能  
 ⑫ 原子炉制御システム機能  
 ⑬ 原子炉制御システム機能  
 ⑭ 原子炉制御システム機能  
 ⑮ 原子炉制御システム機能  
 ⑯ 原子炉制御システム機能  
 ⑰ 原子炉制御システム機能  
 ⑱ 原子炉制御システム機能  
 ⑲ 原子炉制御システム機能  
 ⑳ 原子炉制御システム機能  
 ㉑ 原子炉制御システム機能  
 ㉒ 原子炉制御システム機能  
 ㉓ 原子炉制御システム機能  
 ㉔ 原子炉制御システム機能  
 ㉕ 原子炉制御システム機能  
 ㉖ 原子炉制御システム機能  
 ㉗ 原子炉制御システム機能  
 ㉘ 原子炉制御システム機能  
 ㉙ 原子炉制御システム機能  
 ㉚ 原子炉制御システム機能  
 ㉛ 原子炉制御システム機能  
 ㉜ 原子炉制御システム機能  
 ㉝ 原子炉制御システム機能  
 ㉞ 原子炉制御システム機能  
 ㉟ 原子炉制御システム機能  
 ㊱ 原子炉制御システム機能  
 ㊲ 原子炉制御システム機能  
 ㊳ 原子炉制御システム機能  
 ㊴ 原子炉制御システム機能  
 ㊵ 原子炉制御システム機能  
 ㊶ 原子炉制御システム機能  
 ㊷ 原子炉制御システム機能  
 ㊸ 原子炉制御システム機能  
 ㊹ 原子炉制御システム機能  
 ㊺ 原子炉制御システム機能  
 ㊻ 原子炉制御システム機能  
 ㊼ 原子炉制御システム機能  
 ㊽ 原子炉制御システム機能  
 ㊾ 原子炉制御システム機能  
 ㊿ 原子炉制御システム機能

\*1：設水により機能喪失する床面からの高さ



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違説明
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（4/9）						表1 防護対象設備一覧（15/27）						表1 防護対象設備一覧（15/29）						
系統	設備	設置建屋	設置高さ		機能喪失高さ <sup>※</sup>	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※1</sup> [m]	機能 <sup>※2</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ <sup>※1</sup> (m)	相違説明			
			E.L. + [m]	床上[m]														
原子炉補機冷却系	4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱 (4LB-26, 27, 28, 29)	海水ポンプエリア	2.5	6.40	3.90													
電気盤	4主盤（原子炉盤）(4MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16													
電気盤	4原子炉補助盤 (4RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18													
電気盤	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (4RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.97	0.17													
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤 (4RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.98	0.18													
電気盤	4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (4SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	21.97	0.17													
電気盤	4所内盤 (4HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10													
電気盤	事故時放射線監視盤 4RMS (4PMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.86	0.06													
電気盤	4原子炉トリップ遮断器盤 (4RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.15	0.05													
電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4フレンジイド分電盤 (4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29													
電気盤	4A, 4Bドロップ盤 (4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.89	0.09													
電気盤	4A, 4B直流電盤 (4DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09													
電気盤	4A, 4B直流分電盤 (4DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48													
電気盤	4A, 4B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80													
電気盤	4A, 4B充電器盤 (4BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09													
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクランプスイッチギア (4MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15													
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ (4PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06													
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ (4RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21													
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1)~(3) (4IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10													
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤 (4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違説明	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(5/9)					表1 防護対象設備一覧（16/27）					表1 防護対象設備一覧（16/29）						
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※</sup> [m]	機能 <sup>※1</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ <sup>※1</sup> (m)	
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源切替盤 (4ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	格納容器系	格納容器系(3) 燃料格納容器(3)	C-021-1	制御建屋	0.100	燃料格納容器	安全注入系統	3-ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.98
電気盤	4AC, 4BD計装用後備分電盤 (4IBD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	格納容器系	格納容器系(3) 燃料格納容器(3)	C-021-1	制御建屋	0.080	燃料格納容器	安全注入系統	3-ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)	3AB-F-23	原子炉補助建屋	0.98
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンタ (4GCC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26	格納容器系	格納容器系(3) 燃料格納容器(3)	C-021-1	制御建屋	0.080	燃料格納容器	安全注入系統	3-ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)	3RB-E-2	原子炉建屋	1.10
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関 (本体10.0)	原子炉周辺建屋	3.5	3.91	0.41	格納容器系	格納容器系(3) 燃料格納容器(3)	C-021-1	制御建屋	0.700	燃料格納容器	安全注入系統	3-ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)	3RB-E-2	原子炉建屋	1.09
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機 (本体は10.0)	原子炉周辺建屋	3.5	3.83	0.33	格納容器系	格納容器系(3) 燃料格納容器(3)	C-021-2	制御建屋	0.100	燃料格納容器	安全注入系統	3-ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁 (3V-SI-051)	3RB-E-2	原子炉建屋	1.10
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤 (4DGC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.10	0.10	格納容器系	格納容器系(3) 燃料格納容器(3)	C-021-2	制御建屋	0.080	燃料格納容器	安全注入系統	3-補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)	3RB-E-2	原子炉建屋	1.10
格納容器系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	格納容器系	格納容器系(3) 燃料格納容器(3)	C-021-2	制御建屋	0.080	燃料格納容器	安全注入系統	3A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084A)	3RB-J-2	原子炉建屋	3.86
格納容器系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	格納容器系	格納容器系(3) 燃料格納容器(3)	C-021-2	制御建屋	0.080	燃料格納容器	安全注入系統	3B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-084B)	3RB-J-1	原子炉建屋	4.07
格納容器系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.33	0.83	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 原子炉補助系(3)	B-021-11	原子炉補助系	0.100	原子炉補助系	燃料代替	3A-燃料代替用水ポンプ (3RFP1A)	3RB-D-1	原子炉建屋	0.53
格納容器系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ現場操作箱 (4LB-18, 19)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 原子炉補助系(3)	B-021-11	原子炉補助系	0.080	原子炉補助系	燃料代替	3B-燃料代替用水ポンプ (3RFP1B)	3RB-D-1	原子炉建屋	0.53
格納容器系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ燃料代替用水ビット側入口止め弁 (4V-CP-001A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.91	1.91	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 燃料格納容器(3)	B-021-11	原子炉補助系	0.540	燃料格納容器	燃料代替	3-燃料代替用水ビット水位(I) (3LT-1400)	3RB-D-1	原子炉建屋	1.04
格納容器系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (4V-CP-003A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	12.06	2.06	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 燃料格納容器(3)	B-021-11	原子炉補助系	0.580	燃料格納容器	燃料代替	3-燃料代替用水ビット水位(II) (3LT-1401)	3RB-D-1	原子炉建屋	1.04
格納容器系	4A, 4B格納容器スプレイヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (4V-CP-024A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.96	1.86	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 燃料格納容器(3)	B-021-11	原子炉補助系	3.880	燃料格納容器	主給水系統	3A-主給水隔離弁 (3V-FW-538A)	3RB-D-N51	原子炉建屋	2.39
格納容器系	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (4V-CP-054A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.64	0.54	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 燃料格納容器(3)	B-021-11	原子炉補助系	3.880	燃料格納容器	主給水系統	3B-主給水隔離弁 (3V-FW-538B)	3RB-D-N51	原子炉建屋	2.40
格納容器系	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (4V-CP-056A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.62	0.52	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 燃料格納容器(3)	B-021-11	原子炉補助系	0.700	燃料格納容器					
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.00	0.50	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 燃料格納容器(3)	B-021-11	原子炉補助系	0.700	燃料格納容器					
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ現場操作箱 (4LB-12, 13)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 燃料格納容器(3)	B-021-11	原子炉補助系	0.700	燃料格納容器					
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ燃料代替用水ビット側入口弁 (4V-SI-002A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.94	1.94	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 燃料格納容器(3)	B-021-11	原子炉補助系	0.580	燃料格納容器					
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (4V-SI-015A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	原子炉補助系	原子炉補助系(3) 燃料格納容器(3)	B-021-11	原子炉補助系	0.200	燃料格納容器					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違説明
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)						表1 防護対象設備一覧（17/27）						表1 防護対象設備一覧（17/29）						
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ <sup>※</sup> E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 <sup>※</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)		
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプミナマムフローライン第2止め弁 (4V-S1-016A, B)	原子炉 周辺建屋	6.6	7.38	0.78	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉冷却ポンプ(A) (F42-17011E)	0-0P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.110 <sup>※</sup>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主給水系統	3C-主給水隔離弁 (3V-FW-538C)	3RB-D-N51	原子炉建屋	2.40		
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (4V-S1-093A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.83	1.83	原子炉格納容器取水系(B)	原子炉冷却ポンプ(B) (F42-17011E)	0-0P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.100 <sup>※</sup>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3A-主蒸気透かし弁 (3PCV-3610)	3RB-D-N51	原子炉建屋	9.25		
安全注入系	4A, 4B余熱除去ポンプRWSビット及び再循環サンプ側入口弁 (4V-S1-096A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.99	1.99	原子炉格納容器取水系(C)	原子炉冷却ポンプ(C) (F42-17011E)	0-0P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.100 <sup>※</sup>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3B-主蒸気透かし弁 (3PCV-3620)	3RB-D-N51	原子炉建屋	9.24		
安全注入系	4A高圧注入流量(I), 4B高圧注入流量(II) (4PT-962, 963)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.08	1.08	原子炉格納容器取水系(D)	原子炉冷却ポンプ(D) (F42-17011E)	0-0P-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.200	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3C-主蒸気透かし弁 (3PCV-3630)	3RB-D-N51	原子炉建屋	9.27		
安全注入系	4燃料取替用水ビット I, II, III, IV (4LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.10	1.00	原子炉格納容器取水系(E)	原子炉冷却ポンプ(E) (F42-17011E)	0-0P-11	原子炉建屋 付属パネル	0.200	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3A-主蒸気透かし弁 (付属パネル)	3RB-D-N51	原子炉建屋	9.00		
安全注入系、燃料取替用水系	4燃料取替用水ビット	原子炉 周辺建屋	18.5	-	-	原子炉格納容器取水系(F)	原子炉冷却ポンプ(F) (F42-17011E)	0-0P-11	原子炉建屋 付属パネル	0.200	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3B-主蒸気透かし弁 (付属パネル)	3RB-D-N51	原子炉建屋	9.00		
燃料取替用水系	4A, 4B燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋	17.1	17.57	0.47	原子炉格納容器取水系(G)	原子炉冷却ポンプ(G) (F42-17011E)	0-0P-11	原子炉建屋 付属パネル	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3C-主蒸気透かし弁 (付属パネル)	3RB-D-N51	原子炉建屋	8.65		
燃料取替用水系	4A, 4B燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (4LB-33, 34)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉格納容器取水系(H)	原子炉冷却ポンプ(H) (F42-17011E)	0-0P-11	原子炉建屋 付属パネル	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3A-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528A)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.60		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビット冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	原子炉格納容器取水系(I)	原子炉冷却ポンプ(I) (F42-17011E)	0-0P-11	原子炉建屋 付属パネル	0.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528B)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.57		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビット	原子炉 周辺建屋	33.6	-	-	原子炉格納容器取水系(J)	原子炉冷却ポンプ(J) (F42-17011E)	0-0P-11	原子炉建屋 付属パネル	0.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528C)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.58		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビットポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.72	0.72	原子炉格納容器取水系(K)	原子炉冷却ポンプ(K) (F42-17011E)	0-0P-14	原子炉建屋 付属パネル	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3A-主蒸気隔離弁 (付属パネル)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.63		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビットポンプ現場操作箱 (4LB-24, 25)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉格納容器取水系(L)	原子炉冷却ポンプ(L) (F42-17011E)	0-0P-11	原子炉建屋 付属パネル	0.640	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3B-主蒸気隔離弁 (付属パネル)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.63		
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気透かし弁 (4PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉 周辺建屋	26.0	37.33	11.33	原子炉格納容器取水系(M)	原子炉冷却ポンプ(M) (F42-17011E)	0-0P-11	原子炉建屋 付属パネル	0.640	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3C-主蒸気隔離弁 (付属パネル)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.63		
主蒸気系	I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力 (4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉 周辺建屋	29.0	30.00	1.00	原子炉格納容器取水系(N)	原子炉冷却ポンプ(N) (F42-17011E)	0-0P-14	原子炉建屋 付属パネル	0.545	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	主蒸気系統	3A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)	3RB-C-N1	原子炉建屋	0.79		
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D)	原子炉 周辺建屋	33.6	36.78	3.18	原子炉格納容器取水系(O)	原子炉冷却ポンプ(O) (F42-17011E)	0-0P-14	原子炉建屋 付属パネル	0.545	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿							
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D 付属パネル)	原子炉 周辺建屋	29.0	29.40	0.40	原子炉格納容器取水系(P)	原子炉冷却ポンプ(P) (F42-17011E)	0-0P-11	原子炉建屋 付属パネル	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿							
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	原子炉格納容器取水系(Q)	原子炉冷却ポンプ(Q) (F42-17011E)	0-0P-11	原子炉建屋 付属パネル	0.520	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿							
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.55	0.55													





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違説明	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(8/9)					表1 防護対象設備一覧（19/27）					表1 防護対象設備一覧（19/29）						
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. <sup>※1</sup> [m]	機能 <sup>※2</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 [m]	
換気空調系	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.41	0.31	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水レール&スリット	303C-1000	原子炉建屋	6.070	303C(1)	換気空調	3B-アンユラス排気ダンバ	3B-C-2	原子炉建屋	4.02
換気空調系	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	17.1	18.40	1.30	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.110 <sup>※1</sup>	303C(1)	換気空調	3B-アンユラス戻りダンバ	3B-B-3	原子炉建屋	4.86
換気空調系	4制御用空気圧縮機室排気ダンバ(A, B (4D-VS-431A, B))	原子炉周辺建屋	17.1	21.50	4.40	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.060	303C(1)	換気空調	3A-アンユラス戻りダンバ	3B-D-3	原子炉建屋	4.86
換気空調系	4制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2771, 2772, 2773, 2774)	原子炉周辺建屋	17.1	18.48	1.38	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.000	303C(1)	換気空調	3A-アンユラス戻りダンバ流量設定器	3B-B-2	原子炉建屋	1.44
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.43	0.33	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.115	303C(1)	換気空調	3B-アンユラス戻りダンバ流量設定器	3B-B-2	原子炉建屋	1.44
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.230	303C(1)	換気空調	3A-アンユラス全量排気弁	3B-B-4	原子炉建屋	4.16
換気空調系	4電動補助給水ポンプ室排気ダンバ(A, B (4D-VS-411A, B))	原子炉周辺建屋	21.3	23.76	2.46	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.280	303C(1)	換気空調	3B-アンユラス全量排気弁	3B-B-4	原子炉建屋	4.18
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2) (4TS-2742, 2743, 2744)	原子炉周辺建屋	10.0	11.44	1.44	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.365	303C(1)	換気空調	3A-アンユラス少量排気弁	3B-B-4	原子炉建屋	3.10
換気空調系	4A1, 4A2, 4B1, 4B2ディーゼルクモ機室給気ファン	原子炉周辺建屋	33.6	33.91	0.31	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.650	303C(1)	換気空調	3B-アンユラス少量排気弁	3B-B-4	原子炉建屋	3.12
換気空調系	4A1-A2, 4B1-B2ディーゼルクモ機室給気ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	33.6	34.83	1.23	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	1.175	303C(1)	換気空調	3A-安全補機室冷却ファン	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.97
換気空調系	4ディーゼルクモ機室排気ダンバ(A1, A2, B1, B2 (4D-VS-401A, B, 403A, B))	原子炉周辺建屋	10.0	14.00	4.00	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.000	303C(1)	換気空調	3B-安全補機室冷却ファン	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.97
換気空調系	4A, 4Bディーゼルクモ機室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714)	原子炉周辺建屋	10.0	11.18	1.18	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.125	303C(1)	換気空調	3A-余熱除去冷却器室室内空気温度(1)	3AB-K-20	原子炉補助建屋	3.01
換気空調系	4A, 4B安全補機室冷却ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.92	0.82	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.115	303C(1)	換気空調	3A-余熱除去冷却器室室内空気温度(2)	3AB-K-20	原子炉補助建屋	3.01
換気空調系	4A, 4B安全補機室現場操作箱	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.230	303C(1)	換気空調	3B-余熱除去冷却器室室内空気温度(1)	3AB-K-19	原子炉補助建屋	3.01
換気空調系	4A, 4B安全補機室温度(1), (2) (4TS-2680, 2681, 2690, 2691)	原子炉周辺建屋	10.0	11.28	1.28	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.365	303C(1)	換気空調	3B-余熱除去冷却器室室内空気温度(2)	3AB-K-19	原子炉補助建屋	3.01
換気空調系	4A, 4B安全補機室排気ダンバ(4D-VS-105A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.63	5.53	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.425	303C(1)	換気空調				
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン	原子炉周辺建屋	10.0	10.59	0.59	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.365	303C(1)	換気空調				
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.425	303C(1)	換気空調				
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	原子炉周辺建屋	10.0	10.46	0.46	換気空調機室常用内排水	303C(1)ポンプタンク排水室排水ポンプ	303C-1000	原子炉建屋	6.425	303C(1)	換気空調				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料4）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違説明	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(9/9)					表1 防護対象設備一覧（20/27）					表1 防護対象設備一覧（20/29）						
系統	設備	設置建屋	設置高さ		機能喪失高さ*	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L <sup>1)</sup> [m]	機能 <sup>2)</sup>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)
			E.L. + [m]	床 [m]												
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室温度調節計 (4TC-2601, 2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	換気空調系	3B-余熱除去冷却器室内空気温度 (2) (3TS-2642)	3AB-K-19	原子炉補助建屋	3.01	◎◎◎◎◎	換気空調設備系統	3A-格納容器スプレイポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2633)	3AB-L-7	原子炉補助建屋	1.45
換気空調系	4ほう酸タンク室温度 (1), (2), (3), (4) (4TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.30	1.30	換気空調系	3A-格納容器スプレイポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2634)	3AB-L-7	原子炉補助建屋	1.46	◎◎◎◎◎	換気空調設備系統	3B-格納容器スプレイポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2643)	3AB-L-4	原子炉補助建屋	1.46
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.93	0.63	換気空調系	3B-格納容器スプレイポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2643)	3AB-L-4	原子炉補助建屋	1.46	◎◎◎◎◎	換気空調設備系統	3A-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF39A)	3BB-F-N10	原子炉建屋	0.19
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (4LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20	換気空調系	3B-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF39B)	3BB-F-N10	原子炉建屋	0.19	◎◎◎◎◎	換気空調設備系統	3C-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF39C)	3BB-F-N8	原子炉建屋	0.19
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (4D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.65	0.35	換気空調系	3D-ディーゼル発電機室給気ファン (3VSF39D)	3BB-F-N8	原子炉建屋	0.19	◎◎◎◎◎	換気空調設備系統	3A-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2741)	3BB-F-N10	原子炉建屋	4.11
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (4HC-D-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.79	1.49	換気空調系	3B-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2742)	3BB-F-N8	原子炉建屋	4.11	◎◎◎◎◎	換気空調設備系統	3A-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2741)	3BB-F-N10	原子炉建屋	1.44
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (4HC-D-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.68	0.38	換気空調系	3B-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2742)	3BB-F-N8	原子炉建屋	4.11	◎◎◎◎◎	換気空調設備系統	3B-ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2742)	3BB-F-N8	原子炉建屋	1.44
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ (4HC-D-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.28	1.98	換気空調系	3A-ディーゼル発電機室内空気温度 (1) (3TS-2747)	3DG-H-N2	ディーゼル発電機建屋	5.80	◎◎◎◎◎					
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (4FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.42	1.32											
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.91	1.61											
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.51	1.21											
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (4HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.31	2.01											
換気空調系	4A, 4Bアニュラス空気浄化ファン (4VSE3A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.46	0.56											
換気空調系	4A, 4Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱 (4LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20											
換気空調系	4A, 4Bアニュラス排気ダンパ (4D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.35	0.45											
換気空調系	4A, 4Bアニュラス戻りダンパ (4D-VS-104A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.21	2.11											
換気空調系	4A, 4Bアニュラス全量排気弁 (4V-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.98	2.08											
換気空調系	4A, 4Bアニュラス少量排気弁 (4V-VS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.27	2.37											

\* 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。

- ※1：図面より機能喪失する床面からの高さ（床より300mmを考慮）
- ※2：空冷機
- ※3：換気機
- ※4：換気機排気機
- ※5：換気機上機
- ※6：換気機排気機上機
- ※7：排気機上機
- ※8：排気機
- ※9：排気機排気機上機
- ※10：排気機排気機上機上機
- ※11：排気機排気機上機上機上機
- ※12：排気機排気機上機上機上機上機
- ※13：排気機排気機上機上機上機上機上機
- ※14：排気機排気機上機上機上機上機上機上機

\*1：没水により機能喪失する床面からの高さ





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違説明																																																																																																																																																																																																																											
	<p>表1 防護対象設備一覧 (22/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>E.L<sup>設</sup>(m)</th> <th>機能<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気用DC(A)</td><td>120V 高圧発電(パワーセンタ2) (342-P062)</td><td>C-017-3</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(A)</td><td>120V 水電調整器 (342-P063)</td><td>C-017-3</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(A)</td><td>120V 高圧主母線電圧(F/C) (342-P064)</td><td>C-017-3</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(A)</td><td>120V 高圧主母線電圧(BC/C) (342-P064)</td><td>C-017-3</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(A)</td><td>120V 高圧分電盤(1-1) (342-P061)</td><td>C-017-3</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(A)</td><td>120V 高圧電源切替器(3) (342-P113A)</td><td>19-17-2-3</td><td>商業用併用(2) (非常用区域)</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)</td><td>120V 制御電機 (1-1)</td><td>C-017-4</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)</td><td>120V 高圧発電(パワーセンタ2) (342-P062)</td><td>C-017-4</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)</td><td>120V 水電調整器 (342-P063)</td><td>C-017-4</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)</td><td>120V 高圧主母線電圧(F/C) (342-P064)</td><td>C-017-4</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)</td><td>120V 高圧主母線電圧(BC/C) (342-P064)</td><td>C-017-4</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)</td><td>120V 高圧分電盤(1-1) (342-P061)</td><td>C-017-4</td><td>新設建屋</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)</td><td>120V 高圧電源切替器(3) (342-P113B)</td><td>19-17-2-3</td><td>商業用併用(2) (非常用区域)</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)FC</td><td>120V 制御電機 (1-1)</td><td>B-027-4</td><td>原子炉建屋 付風機</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)FC</td><td>120V 水電調整器 (342-P063)</td><td>B-017-4</td><td>原子炉建屋 付風機</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)FC</td><td>120V 高圧主母線電圧(F/C) (342-P064)</td><td>B-017-4</td><td>原子炉建屋 付風機</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)FC</td><td>120V 高圧主母線電圧(BC/C) (342-P064)</td><td>B-017-4</td><td>原子炉建屋 付風機</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用DC(B)FC</td><td>120V 高圧分電盤 (342-P061)</td><td>B-017-4</td><td>原子炉建屋 付風機</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用ディーゼル発電設備 (B)</td><td>換気用ディーゼル発電機(3)非常用調整器 (321-P273A)</td><td>B-14-13</td><td>原子炉建屋 付風機</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用ディーゼル発電設備 (B)</td><td>換気用ディーゼル発電機(3)非常用調整器 (321-P273A)</td><td>B-14-13</td><td>原子炉建屋 付風機</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用ディーゼル発電設備 (B)</td><td>換気用ディーゼル発電機(3)自動調整器 (321-P273A)</td><td>B-14-13</td><td>原子炉建屋 付風機</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用ディーゼル発電設備 (B)</td><td>換気用ディーゼル発電機(3)自動調整器 (321-P273A)</td><td>B-14-13</td><td>原子炉建屋 付風機</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>換気用ディーゼル発電設備 (B)</td><td>換気用ディーゼル発電機(3)制御器 (321-P273A)</td><td>B-14-13</td><td>原子炉建屋 付風機</td><td>0.000</td><td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：表中より機能喪失する床面からの高さ（床上面より0.000mを基準）          ※2：安全機能          ※3：緊急停止機能          ※4：緊急停止機能          ※5：緊急停止機能          ※6：緊急停止機能          ※7：緊急停止機能          ※8：緊急停止機能          ※9：緊急停止機能          ※10：緊急停止機能          ※11：緊急停止機能          ※12：緊急停止機能          ※13：緊急停止機能          ※14：緊急停止機能          ※15：緊急停止機能          ※16：緊急停止機能          ※17：緊急停止機能          ※18：緊急停止機能          ※19：緊急停止機能          ※20：緊急停止機能          ※21：緊急停止機能          ※22：緊急停止機能          ※23：緊急停止機能          ※24：緊急停止機能          ※25：緊急停止機能          ※26：緊急停止機能          ※27：緊急停止機能          ※28：緊急停止機能          ※29：緊急停止機能          ※30：緊急停止機能          ※31：緊急停止機能          ※32：緊急停止機能          ※33：緊急停止機能          ※34：緊急停止機能          ※35：緊急停止機能          ※36：緊急停止機能          ※37：緊急停止機能          ※38：緊急停止機能          ※39：緊急停止機能          ※40：緊急停止機能          ※41：緊急停止機能          ※42：緊急停止機能          ※43：緊急停止機能          ※44：緊急停止機能          ※45：緊急停止機能          ※46：緊急停止機能          ※47：緊急停止機能          ※48：緊急停止機能          ※49：緊急停止機能          ※50：緊急停止機能          ※51：緊急停止機能          ※52：緊急停止機能          ※53：緊急停止機能          ※54：緊急停止機能          ※55：緊急停止機能          ※56：緊急停止機能          ※57：緊急停止機能          ※58：緊急停止機能          ※59：緊急停止機能          ※60：緊急停止機能          ※61：緊急停止機能          ※62：緊急停止機能          ※63：緊急停止機能          ※64：緊急停止機能          ※65：緊急停止機能          ※66：緊急停止機能          ※67：緊急停止機能          ※68：緊急停止機能          ※69：緊急停止機能          ※70：緊急停止機能          ※71：緊急停止機能          ※72：緊急停止機能          ※73：緊急停止機能          ※74：緊急停止機能          ※75：緊急停止機能          ※76：緊急停止機能          ※77：緊急停止機能          ※78：緊急停止機能          ※79：緊急停止機能          ※80：緊急停止機能          ※81：緊急停止機能          ※82：緊急停止機能          ※83：緊急停止機能          ※84：緊急停止機能          ※85：緊急停止機能          ※86：緊急停止機能          ※87：緊急停止機能          ※88：緊急停止機能          ※89：緊急停止機能          ※90：緊急停止機能          ※91：緊急停止機能          ※92：緊急停止機能          ※93：緊急停止機能          ※94：緊急停止機能          ※95：緊急停止機能          ※96：緊急停止機能          ※97：緊急停止機能          ※98：緊急停止機能          ※99：緊急停止機能          ※100：緊急停止機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L <sup>設</sup> (m)	機能 <sup>※1</sup>	換気用DC(A)	120V 高圧発電(パワーセンタ2) (342-P062)	C-017-3	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(A)	120V 水電調整器 (342-P063)	C-017-3	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(A)	120V 高圧主母線電圧(F/C) (342-P064)	C-017-3	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(A)	120V 高圧主母線電圧(BC/C) (342-P064)	C-017-3	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(A)	120V 高圧分電盤(1-1) (342-P061)	C-017-3	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(A)	120V 高圧電源切替器(3) (342-P113A)	19-17-2-3	商業用併用(2) (非常用区域)	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)	120V 制御電機 (1-1)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)	120V 高圧発電(パワーセンタ2) (342-P062)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)	120V 水電調整器 (342-P063)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)	120V 高圧主母線電圧(F/C) (342-P064)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)	120V 高圧主母線電圧(BC/C) (342-P064)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)	120V 高圧分電盤(1-1) (342-P061)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)	120V 高圧電源切替器(3) (342-P113B)	19-17-2-3	商業用併用(2) (非常用区域)	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)FC	120V 制御電機 (1-1)	B-027-4	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)FC	120V 水電調整器 (342-P063)	B-017-4	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)FC	120V 高圧主母線電圧(F/C) (342-P064)	B-017-4	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)FC	120V 高圧主母線電圧(BC/C) (342-P064)	B-017-4	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用DC(B)FC	120V 高圧分電盤 (342-P061)	B-017-4	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用ディーゼル発電設備 (B)	換気用ディーゼル発電機(3)非常用調整器 (321-P273A)	B-14-13	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用ディーゼル発電設備 (B)	換気用ディーゼル発電機(3)非常用調整器 (321-P273A)	B-14-13	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用ディーゼル発電設備 (B)	換気用ディーゼル発電機(3)自動調整器 (321-P273A)	B-14-13	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用ディーゼル発電設備 (B)	換気用ディーゼル発電機(3)自動調整器 (321-P273A)	B-14-13	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	換気用ディーゼル発電設備 (B)	換気用ディーゼル発電機(3)制御器 (321-P273A)	B-14-13	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	<p>表1 防護対象設備一覧 (22/29)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ*1 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3A-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2672)</td><td>3RB-H-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>5.40</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3B-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2681)</td><td>3RB-H-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>5.40</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3B-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2682)</td><td>3RB-H-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>5.41</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3A-制御用空気圧縮機室給気ファン (3VSP42A)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.64</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3B-制御用空気圧縮機室給気ファン (3VSP42B)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>4.64</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ(3HCD-2701)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.64</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ(3HCD-2711)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>4.63</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ流量設定器(3HC-2701)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.76</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ流量設定器(3HC-2711)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.75</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3A-制御用空気圧縮機室内空気温度 (1) (3TS-2702)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.39</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3A-制御用空気圧縮機室内空気温度 (2) (3TS-2703)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.39</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3B-制御用空気圧縮機室内空気温度 (1) (3TS-2712)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.39</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3B-制御用空気圧縮機室内空気温度 (2) (3TS-2713)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.40</td></tr> <tr><td>換気空調 設備系統</td><td>3A-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSP27A)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>2.16</td></tr> </tbody> </table> <p>*1：設水により機能喪失する床面からの高さ</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)	換気空調 設備系統	3A-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2672)	3RB-H-N6	原子炉建屋	5.40	換気空調 設備系統	3B-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2681)	3RB-H-N7	原子炉建屋	5.40	換気空調 設備系統	3B-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2682)	3RB-H-N7	原子炉建屋	5.41	換気空調 設備系統	3A-制御用空気圧縮機室給気ファン (3VSP42A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	4.64	換気空調 設備系統	3B-制御用空気圧縮機室給気ファン (3VSP42B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	4.64	換気空調 設備系統	3A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ(3HCD-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	4.64	換気空調 設備系統	3B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ(3HCD-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	4.63	換気空調 設備系統	3A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ流量設定器(3HC-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	5.76	換気空調 設備系統	3B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ流量設定器(3HC-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	5.75	換気空調 設備系統	3A-制御用空気圧縮機室内空気温度 (1) (3TS-2702)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.39	換気空調 設備系統	3A-制御用空気圧縮機室内空気温度 (2) (3TS-2703)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.39	換気空調 設備系統	3B-制御用空気圧縮機室内空気温度 (1) (3TS-2712)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.39	換気空調 設備系統	3B-制御用空気圧縮機室内空気温度 (2) (3TS-2713)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.40	換気空調 設備系統	3A-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSP27A)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.16	
系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L <sup>設</sup> (m)	機能 <sup>※1</sup>																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(A)	120V 高圧発電(パワーセンタ2) (342-P062)	C-017-3	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(A)	120V 水電調整器 (342-P063)	C-017-3	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(A)	120V 高圧主母線電圧(F/C) (342-P064)	C-017-3	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(A)	120V 高圧主母線電圧(BC/C) (342-P064)	C-017-3	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(A)	120V 高圧分電盤(1-1) (342-P061)	C-017-3	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(A)	120V 高圧電源切替器(3) (342-P113A)	19-17-2-3	商業用併用(2) (非常用区域)	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)	120V 制御電機 (1-1)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)	120V 高圧発電(パワーセンタ2) (342-P062)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)	120V 水電調整器 (342-P063)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)	120V 高圧主母線電圧(F/C) (342-P064)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)	120V 高圧主母線電圧(BC/C) (342-P064)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)	120V 高圧分電盤(1-1) (342-P061)	C-017-4	新設建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)	120V 高圧電源切替器(3) (342-P113B)	19-17-2-3	商業用併用(2) (非常用区域)	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)FC	120V 制御電機 (1-1)	B-027-4	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)FC	120V 水電調整器 (342-P063)	B-017-4	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)FC	120V 高圧主母線電圧(F/C) (342-P064)	B-017-4	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)FC	120V 高圧主母線電圧(BC/C) (342-P064)	B-017-4	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用DC(B)FC	120V 高圧分電盤 (342-P061)	B-017-4	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用ディーゼル発電設備 (B)	換気用ディーゼル発電機(3)非常用調整器 (321-P273A)	B-14-13	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用ディーゼル発電設備 (B)	換気用ディーゼル発電機(3)非常用調整器 (321-P273A)	B-14-13	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用ディーゼル発電設備 (B)	換気用ディーゼル発電機(3)自動調整器 (321-P273A)	B-14-13	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用ディーゼル発電設備 (B)	換気用ディーゼル発電機(3)自動調整器 (321-P273A)	B-14-13	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
換気用ディーゼル発電設備 (B)	換気用ディーゼル発電機(3)制御器 (321-P273A)	B-14-13	原子炉建屋 付風機	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3A-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2672)	3RB-H-N6	原子炉建屋	5.40																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3B-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (1) (3TS-2681)	3RB-H-N7	原子炉建屋	5.40																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3B-電動補助給水ポンプ室内空気温度 (2) (3TS-2682)	3RB-H-N7	原子炉建屋	5.41																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3A-制御用空気圧縮機室給気ファン (3VSP42A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	4.64																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3B-制御用空気圧縮機室給気ファン (3VSP42B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	4.64																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ(3HCD-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	4.64																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ(3HCD-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	4.63																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ流量設定器(3HC-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	5.76																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調 節ダンパ流量設定器(3HC-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	5.75																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3A-制御用空気圧縮機室内空気温度 (1) (3TS-2702)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.39																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3A-制御用空気圧縮機室内空気温度 (2) (3TS-2703)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.39																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3B-制御用空気圧縮機室内空気温度 (1) (3TS-2712)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.39																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3B-制御用空気圧縮機室内空気温度 (2) (3TS-2713)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.40																																																																																																																																																																																																																										
換気空調 設備系統	3A-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSP27A)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.16																																																																																																																																																																																																																										

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違説明																																																																																																																																																																																																																											
	<p>表1 防護対象設備一覧 (23/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>E.L.*1(m)</th> <th>機能**</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>非常用ディーゼル発電機2A 300kW (2A-1070A)</td> <td>0-01F-4</td> <td>原子炉建屋 2階</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>非常用ディーゼル発電機2A 301kW (2A-1070A)</td> <td>0-01F-4</td> <td>原子炉建屋 2階</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>非常用ディーゼル発電機2A 317kW (2A-1077A)</td> <td>0-01F-4</td> <td>原子炉建屋 2階</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>非常用ディーゼル発電機2A 374kW (2A-1078A)</td> <td>0-01F-4</td> <td>原子炉建屋 2階</td> <td>0.900</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>海水加熱器 (A) (2A-1005A)</td> <td>0-01F-1</td> <td>原子炉建屋 1階</td> <td>0.125</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>潤滑油加熱器 (A) (2A-1015A)</td> <td>0-01F-1</td> <td>原子炉建屋 1階</td> <td>0.125</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>非常用ディーゼル発電機 (A) (2A-1005A)</td> <td>0-1F-12</td> <td>原子炉建屋 12階</td> <td>0.115</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>非常用ディーゼル機関 (A) (2A-1005A)</td> <td>0-1F-12</td> <td>原子炉建屋 12階</td> <td>0.755</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>海水加熱器ポンプ (A) (2A-1006A)</td> <td>0-01F-1</td> <td>原子炉建屋 1階</td> <td>0.125</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>潤滑油ポンプ (A) (2A-1008A)</td> <td>0-01F-1</td> <td>原子炉建屋 1階</td> <td>0.120</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>機関用海水注油電動ポンプ (A) (2A-1009A)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>0.820</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>燃料移送ポンプ (A) (2A-1009A)</td> <td>10F-1</td> <td>燃料貯蔵10F</td> <td>0.440</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>燃料ポンプ (A) (2A-11200A)</td> <td>0-1F-17</td> <td>原子炉建屋 17階</td> <td>0.145</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>機関用海水注油ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-11113A)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>1.055</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>機関用海水注油ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-10200A)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>0.820</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>燃料ポンプ停止装置 (A) (注油圧力スイッチ) (2A-10200A)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>0.820</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-1)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>1.055</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-2)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>1.055</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-1)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>1.055</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-2)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>1.055</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>非常用海水注油電動ポンプ (2A-1003A)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>0.105</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>301kW第一台機中 (2A-10700A)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>0.725</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td> <td>301kW第二台機中 (2A-10711A)</td> <td>0-1F-13</td> <td>原子炉建屋 13階</td> <td>0.725</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置階層	E.L.*1(m)	機能**	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機2A 300kW (2A-1070A)	0-01F-4	原子炉建屋 2階	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機2A 301kW (2A-1070A)	0-01F-4	原子炉建屋 2階	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機2A 317kW (2A-1077A)	0-01F-4	原子炉建屋 2階	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機2A 374kW (2A-1078A)	0-01F-4	原子炉建屋 2階	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	海水加熱器 (A) (2A-1005A)	0-01F-1	原子炉建屋 1階	0.125	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	潤滑油加熱器 (A) (2A-1015A)	0-01F-1	原子炉建屋 1階	0.125	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機 (A) (2A-1005A)	0-1F-12	原子炉建屋 12階	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル機関 (A) (2A-1005A)	0-1F-12	原子炉建屋 12階	0.755	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	海水加熱器ポンプ (A) (2A-1006A)	0-01F-1	原子炉建屋 1階	0.125	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	潤滑油ポンプ (A) (2A-1008A)	0-01F-1	原子炉建屋 1階	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水注油電動ポンプ (A) (2A-1009A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	燃料移送ポンプ (A) (2A-1009A)	10F-1	燃料貯蔵10F	0.440	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	燃料ポンプ (A) (2A-11200A)	0-1F-17	原子炉建屋 17階	0.145	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水注油ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-11113A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	1.055	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水注油ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-10200A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	燃料ポンプ停止装置 (A) (注油圧力スイッチ) (2A-10200A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-1)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	1.055	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-2)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	1.055	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-1)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	1.055	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-2)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	1.055	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用海水注油電動ポンプ (2A-1003A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.105	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	301kW第一台機中 (2A-10700A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.725	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	301kW第二台機中 (2A-10711A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.725	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	<p>表1 防護対象設備一覧 (23/29)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>設置高さ*1 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3B-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSF27B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.16</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3A-安全系計装盤室室内空気温度 (3TS-2790)</td> <td>3AB-F-N13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3B-安全系計装盤室室内空気温度 (3TS-2791)</td> <td>3AB-F-N2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3A-蓄電池室排気ファン (3VSF31A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.52</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3B-蓄電池室排気ファン (3VSF31B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.51</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3A-中央制御室循環ファン (3VSF20A)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3B-中央制御室循環ファン (3VSF20B)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3A-中央制御室給気ファン (3VSF21A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.12</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3B-中央制御室給気ファン (3VSF21B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.13</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.83</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.83</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3A-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3B-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.26</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3A-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HCD-2836)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.25</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置階層	設置高さ*1 (m)	換気空調設備系統	3B-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSF27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.16	換気空調設備系統	3A-安全系計装盤室室内空気温度 (3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.30	換気空調設備系統	3B-安全系計装盤室室内空気温度 (3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.30	換気空調設備系統	3A-蓄電池室排気ファン (3VSF31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.52	換気空調設備系統	3B-蓄電池室排気ファン (3VSF31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.51	換気空調設備系統	3A-中央制御室循環ファン (3VSF20A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.17	換気空調設備系統	3B-中央制御室循環ファン (3VSF20B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.18	換気空調設備系統	3A-中央制御室給気ファン (3VSF21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.12	換気空調設備系統	3B-中央制御室給気ファン (3VSF21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.13	換気空調設備系統	3A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.83	換気空調設備系統	3B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.83	換気空調設備系統	3A-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.25	換気空調設備系統	3B-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.26	換気空調設備系統	3A-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HCD-2836)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.25	<p>*1：設水により機能喪失する床面からの高さ</p>
系統	設備	区画番号	設置階層	E.L.*1(m)	機能**																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機2A 300kW (2A-1070A)	0-01F-4	原子炉建屋 2階	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機2A 301kW (2A-1070A)	0-01F-4	原子炉建屋 2階	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機2A 317kW (2A-1077A)	0-01F-4	原子炉建屋 2階	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機2A 374kW (2A-1078A)	0-01F-4	原子炉建屋 2階	0.900	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	海水加熱器 (A) (2A-1005A)	0-01F-1	原子炉建屋 1階	0.125	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	潤滑油加熱器 (A) (2A-1015A)	0-01F-1	原子炉建屋 1階	0.125	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機 (A) (2A-1005A)	0-1F-12	原子炉建屋 12階	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル機関 (A) (2A-1005A)	0-1F-12	原子炉建屋 12階	0.755	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	海水加熱器ポンプ (A) (2A-1006A)	0-01F-1	原子炉建屋 1階	0.125	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	潤滑油ポンプ (A) (2A-1008A)	0-01F-1	原子炉建屋 1階	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水注油電動ポンプ (A) (2A-1009A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	燃料移送ポンプ (A) (2A-1009A)	10F-1	燃料貯蔵10F	0.440	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	燃料ポンプ (A) (2A-11200A)	0-1F-17	原子炉建屋 17階	0.145	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水注油ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-11113A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	1.055	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水注油ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-10200A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	燃料ポンプ停止装置 (A) (注油圧力スイッチ) (2A-10200A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.820	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-1)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	1.055	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-2)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	1.055	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-1)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	1.055	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	機関用海水ポンプ (A) (注油圧力スイッチ) (2A-1003A-2)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	1.055	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用海水注油電動ポンプ (2A-1003A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.105	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	301kW第一台機中 (2A-10700A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.725	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼル発電設備 (A)	301kW第二台機中 (2A-10711A)	0-1F-13	原子炉建屋 13階	0.725	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																									
系統	設備	区画番号	設置階層	設置高さ*1 (m)																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3B-安全補機閉閉器室給気ファン (3VSF27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.16																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3A-安全系計装盤室室内空気温度 (3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.30																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3B-安全系計装盤室室内空気温度 (3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.30																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3A-蓄電池室排気ファン (3VSF31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.52																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3B-蓄電池室排気ファン (3VSF31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.51																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3A-中央制御室循環ファン (3VSF20A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.17																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3B-中央制御室循環ファン (3VSF20B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.18																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3A-中央制御室給気ファン (3VSF21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.12																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3B-中央制御室給気ファン (3VSF21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.13																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.83																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.83																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3A-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.25																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3B-中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.26																																																																																																																																																																																																																										
換気空調設備系統	3A-中央制御室循環風量調節ダンパ (3HCD-2836)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.25																																																																																																																																																																																																																										
<p>※1：設水により機能喪失する床面からの高さ（注：高さ0.05mを考慮）                  ※2：安全機能                  ※3：緊急停止機能                  ※4：非常停止機能                  ※5：非常停止機能                  ※6：非常停止機能                  ※7：非常停止機能                  ※8：非常停止機能                  ※9：非常停止機能                  ※10：非常停止機能                  ※11：非常停止機能                  ※12：非常停止機能                  ※13：非常停止機能                  ※14：非常停止機能                  ※15：非常停止機能                  ※16：非常停止機能                  ※17：非常停止機能                  ※18：非常停止機能                  ※19：非常停止機能                  ※20：非常停止機能                  ※21：非常停止機能                  ※22：非常停止機能                  ※23：非常停止機能                  ※24：非常停止機能                  ※25：非常停止機能                  ※26：非常停止機能                  ※27：非常停止機能                  ※28：非常停止機能                  ※29：非常停止機能                  ※30：非常停止機能                  ※31：非常停止機能                  ※32：非常停止機能                  ※33：非常停止機能                  ※34：非常停止機能                  ※35：非常停止機能                  ※36：非常停止機能                  ※37：非常停止機能                  ※38：非常停止機能                  ※39：非常停止機能                  ※40：非常停止機能                  ※41：非常停止機能                  ※42：非常停止機能                  ※43：非常停止機能                  ※44：非常停止機能                  ※45：非常停止機能                  ※46：非常停止機能                  ※47：非常停止機能                  ※48：非常停止機能                  ※49：非常停止機能                  ※50：非常停止機能                  ※51：非常停止機能                  ※52：非常停止機能                  ※53：非常停止機能                  ※54：非常停止機能                  ※55：非常停止機能                  ※56：非常停止機能                  ※57：非常停止機能                  ※58：非常停止機能                  ※59：非常停止機能                  ※60：非常停止機能                  ※61：非常停止機能                  ※62：非常停止機能                  ※63：非常停止機能                  ※64：非常停止機能                  ※65：非常停止機能                  ※66：非常停止機能                  ※67：非常停止機能                  ※68：非常停止機能                  ※69：非常停止機能                  ※70：非常停止機能                  ※71：非常停止機能                  ※72：非常停止機能                  ※73：非常停止機能                  ※74：非常停止機能                  ※75：非常停止機能                  ※76：非常停止機能                  ※77：非常停止機能                  ※78：非常停止機能                  ※79：非常停止機能                  ※80：非常停止機能                  ※81：非常停止機能                  ※82：非常停止機能                  ※83：非常停止機能                  ※84：非常停止機能                  ※85：非常停止機能                  ※86：非常停止機能                  ※87：非常停止機能                  ※88：非常停止機能                  ※89：非常停止機能                  ※90：非常停止機能                  ※91：非常停止機能                  ※92：非常停止機能                  ※93：非常停止機能                  ※94：非常停止機能                  ※95：非常停止機能                  ※96：非常停止機能                  ※97：非常停止機能                  ※98：非常停止機能                  ※99：非常停止機能                  ※100：非常停止機能</p>																																																																																																																																																																																																																														







泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違説明																																																																																																																																																																																																																						
	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>E.L<sup>1)</sup>(m)</th> <th>機能<sup>2)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油加熱器 (344-3003)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.940</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>高圧炉心冷却剤ポンプ用ディーゼル発電機 (344-0061)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.240</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>高圧炉心冷却剤ポンプ用ディーゼル機関 (344-0062)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.960</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>炉心加熱器ポンプ (344-0062)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.900</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油アライミングポンプ (344-0100)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.940</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油供給ポンプ (344-0340)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.970</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料供給ポンプ (344-0200)</td><td>10F-0</td><td>機庫1F上</td><td>0.440</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>オイルパン-燃焼スウィッチ (344-42300)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.970</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油供給ポンプ用スウィッチ (344-42320)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料スウィッチ (344-42320)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機庫温度感知ジョンソンスウィッチ (344-90200)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.907</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料ハンドストップ位置感知ジョンソンスウィッチ (344-90201)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.970</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機庫1F排水ポンプ出口圧力スウィッチ (344-95031)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.400</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機庫1F排水ポンプ出口圧力スウィッチ (344-95032)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.400</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機庫1F潤滑油圧力スウィッチ (344-95114)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.800</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機庫1F潤滑油圧力スウィッチ (344-95114-02)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.800</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>非管理区 (DRCS) 速度検出器 (344-98300)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.140</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>3FCS1区第一駆動機 (344-904300)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.740</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>3FCS1区第二駆動機 (344-904311)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.740</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>3FCS1区第一停止弁 (344-904312)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.230</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>3FCS1区第二停止弁 (344-904313)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.230</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機庫1Fディーゼル冷却水温度スウィッチ (344-95050)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.400</td><td>③④⑤</td></tr> <tr><td>炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油アライミングポンプ入口温度スウィッチ (344-95200)</td><td>3F-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.800</td><td>③④⑤</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L <sup>1)</sup> (m)	機能 <sup>2)</sup>	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油加熱器 (344-3003)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.940	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧炉心冷却剤ポンプ用ディーゼル発電機 (344-0061)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	1.240	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧炉心冷却剤ポンプ用ディーゼル機関 (344-0062)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.960	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	炉心加熱器ポンプ (344-0062)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.900	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油アライミングポンプ (344-0100)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.940	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油供給ポンプ (344-0340)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.970	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料供給ポンプ (344-0200)	10F-0	機庫1F上	0.440	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	オイルパン-燃焼スウィッチ (344-42300)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.970	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油供給ポンプ用スウィッチ (344-42320)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.145	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料スウィッチ (344-42320)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.145	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫温度感知ジョンソンスウィッチ (344-90200)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.907	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料ハンドストップ位置感知ジョンソンスウィッチ (344-90201)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.970	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫1F排水ポンプ出口圧力スウィッチ (344-95031)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	2.400	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫1F排水ポンプ出口圧力スウィッチ (344-95032)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	2.400	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫1F潤滑油圧力スウィッチ (344-95114)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	1.800	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫1F潤滑油圧力スウィッチ (344-95114-02)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	1.800	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	非管理区 (DRCS) 速度検出器 (344-98300)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.140	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3FCS1区第一駆動機 (344-904300)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.740	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3FCS1区第二駆動機 (344-904311)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.740	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3FCS1区第一停止弁 (344-904312)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.230	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3FCS1区第二停止弁 (344-904313)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.230	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫1Fディーゼル冷却水温度スウィッチ (344-95050)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	2.400	③④⑤	炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油アライミングポンプ入口温度スウィッチ (344-95200)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	1.800	③④⑤	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/29)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ*1 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3B-副用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)</td><td>3RB-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>2.79</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2970)</td><td>3RB-A-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2971)</td><td>3RB-A-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2980)</td><td>3RB-A-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.41</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2981)</td><td>3RB-A-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.41</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)</td><td>3RB-A-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>2.58</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)</td><td>3RB-A-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>2.57</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2930)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>1.42</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2931)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>1.42</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2934)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>1.41</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2935)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>1.42</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2950)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>1.42</td></tr> <tr><td>換気空調設備系統</td><td>3C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2951)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>1.42</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)	換気空調設備系統	3B-副用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)	3RB-II-N3	原子炉建屋	2.79	換気空調設備系統	3A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	換気空調設備系統	3A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	換気空調設備系統	3B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.41	換気空調設備系統	3B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.41	換気空調設備系統	3A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.58	換気空調設備系統	3B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.57	換気空調設備系統	3A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	換気空調設備系統	3A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	換気空調設備系統	3B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.41	換気空調設備系統	3D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	換気空調設備系統	3C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	換気空調設備系統	3C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	<p>*1：溢水により機能喪失する床面からの高さ</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L <sup>1)</sup> (m)	機能 <sup>2)</sup>																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油加熱器 (344-3003)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.940	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧炉心冷却剤ポンプ用ディーゼル発電機 (344-0061)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	1.240	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧炉心冷却剤ポンプ用ディーゼル機関 (344-0062)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.960	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	炉心加熱器ポンプ (344-0062)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.900	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油アライミングポンプ (344-0100)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.940	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油供給ポンプ (344-0340)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.970	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料供給ポンプ (344-0200)	10F-0	機庫1F上	0.440	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	オイルパン-燃焼スウィッチ (344-42300)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.970	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油供給ポンプ用スウィッチ (344-42320)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.145	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料スウィッチ (344-42320)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.145	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫温度感知ジョンソンスウィッチ (344-90200)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.907	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料ハンドストップ位置感知ジョンソンスウィッチ (344-90201)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.970	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫1F排水ポンプ出口圧力スウィッチ (344-95031)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	2.400	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫1F排水ポンプ出口圧力スウィッチ (344-95032)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	2.400	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫1F潤滑油圧力スウィッチ (344-95114)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	1.800	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫1F潤滑油圧力スウィッチ (344-95114-02)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	1.800	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	非管理区 (DRCS) 速度検出器 (344-98300)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.140	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3FCS1区第一駆動機 (344-904300)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.740	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3FCS1区第二駆動機 (344-904311)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.740	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3FCS1区第一停止弁 (344-904312)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.230	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	3FCS1区第二停止弁 (344-904313)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	0.230	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機庫1Fディーゼル冷却水温度スウィッチ (344-95050)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	2.400	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
炉内用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油アライミングポンプ入口温度スウィッチ (344-95200)	3F-15	原子炉建屋 行機庫	1.800	③④⑤																																																																																																																																																																																																																				
系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3B-副用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)	3RB-II-N3	原子炉建屋	2.79																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3A-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.41																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3B-原子炉補機冷却水サージタンク室室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.41																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.58																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.57																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3A-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3B-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.41																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3D-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (1) (3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42																																																																																																																																																																																																																					
換気空調設備系統	3C-非管理区域空調機器室室内空気温度 (2) (3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42																																																																																																																																																																																																																					
	<p>注1：表中に上下機能喪失する床面からの高さ（床上高さ0.00mを基準）          注2：安全機能          注3：緊急停止機能          注4：水漏れ検知機能          注5：異常停止機能          注6：原子炉制御停止機能          注7：手動停止機能          注8：停止弁閉鎖機能          注9：緊急停止機能          注10：緊急停止機能          注11：緊急停止機能          注12：緊急停止機能          注13：緊急停止機能          注14：緊急停止機能          注15：緊急停止機能          注16：緊急停止機能          注17：緊急停止機能          注18：緊急停止機能          注19：緊急停止機能          注20：緊急停止機能          注21：緊急停止機能          注22：緊急停止機能          注23：緊急停止機能          注24：緊急停止機能          注25：緊急停止機能          注26：緊急停止機能          注27：緊急停止機能          注28：緊急停止機能          注29：緊急停止機能          注30：緊急停止機能          注31：緊急停止機能          注32：緊急停止機能          注33：緊急停止機能          注34：緊急停止機能          注35：緊急停止機能          注36：緊急停止機能          注37：緊急停止機能          注38：緊急停止機能          注39：緊急停止機能          注40：緊急停止機能          注41：緊急停止機能          注42：緊急停止機能          注43：緊急停止機能          注44：緊急停止機能          注45：緊急停止機能          注46：緊急停止機能          注47：緊急停止機能          注48：緊急停止機能          注49：緊急停止機能          注50：緊急停止機能          注51：緊急停止機能          注52：緊急停止機能          注53：緊急停止機能          注54：緊急停止機能          注55：緊急停止機能          注56：緊急停止機能          注57：緊急停止機能          注58：緊急停止機能          注59：緊急停止機能          注60：緊急停止機能          注61：緊急停止機能          注62：緊急停止機能          注63：緊急停止機能          注64：緊急停止機能          注65：緊急停止機能          注66：緊急停止機能          注67：緊急停止機能          注68：緊急停止機能          注69：緊急停止機能          注70：緊急停止機能          注71：緊急停止機能          注72：緊急停止機能          注73：緊急停止機能          注74：緊急停止機能          注75：緊急停止機能          注76：緊急停止機能          注77：緊急停止機能          注78：緊急停止機能          注79：緊急停止機能          注80：緊急停止機能          注81：緊急停止機能          注82：緊急停止機能          注83：緊急停止機能          注84：緊急停止機能          注85：緊急停止機能          注86：緊急停止機能          注87：緊急停止機能          注88：緊急停止機能          注89：緊急停止機能          注90：緊急停止機能          注91：緊急停止機能          注92：緊急停止機能          注93：緊急停止機能          注94：緊急停止機能          注95：緊急停止機能          注96：緊急停止機能          注97：緊急停止機能          注98：緊急停止機能          注99：緊急停止機能          注100：緊急停止機能</p>																																																																																																																																																																																																																								





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違説明																																																																																																																			
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (28/29)</p> <table border="1" data-bbox="1288 207 1854 933"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ*1 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3B-制御用空気圧縮機電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度 (2) (3TS-2923)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.82</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3A-空調用冷凍機 (3CHE1A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.27</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3B-空調用冷凍機 (3CHE1B)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.27</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3C-空調用冷凍機 (3CHE1C)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.27</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3D-空調用冷凍機 (3CHE1D)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.27</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3A-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助建屋</td> <td>1.96</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3B-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助建屋</td> <td>1.97</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3A-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2827)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助建屋</td> <td>1.77</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3B-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2828)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助建屋</td> <td>1.77</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3-空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.97</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (29/29)</p> <table border="1" data-bbox="1288 1037 1854 1420"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ*1 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3-空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.97</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3-空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.86</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水設備系統</td> <td>3-空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.98</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>3A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.23</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>3B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.22</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>3C-空調用冷凍機盤 (3VCP C)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.23</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>3D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.23</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)	換気空調設備系統	3B-制御用空気圧縮機電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度 (2) (3TS-2923)	3RB-H-N3	原子伊建屋	2.82	空調用冷水設備系統	3A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.45	空調用冷水設備系統	3B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.45	空調用冷水設備系統	3C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.45	空調用冷水設備系統	3D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.45	空調用冷水設備系統	3A-空調用冷凍機 (3CHE1A)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.27	空調用冷水設備系統	3B-空調用冷凍機 (3CHE1B)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.27	空調用冷水設備系統	3C-空調用冷凍機 (3CHE1C)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.27	空調用冷水設備系統	3D-空調用冷凍機 (3CHE1D)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.27	空調用冷水設備系統	3A-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	1.96	空調用冷水設備系統	3B-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	1.97	空調用冷水設備系統	3A-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	1.77	空調用冷水設備系統	3B-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	1.77	空調用冷水設備系統	3-空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.97	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)	空調用冷水設備系統	3-空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.97	空調用冷水設備系統	3-空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.86	空調用冷水設備系統	3-空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.98	関連設備	3A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.23	関連設備	3B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.22	関連設備	3C-空調用冷凍機盤 (3VCP C)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.23	関連設備	3D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.23	
系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)																																																																																																																		
換気空調設備系統	3B-制御用空気圧縮機電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度 (2) (3TS-2923)	3RB-H-N3	原子伊建屋	2.82																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.45																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.45																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.45																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.45																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3A-空調用冷凍機 (3CHE1A)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.27																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3B-空調用冷凍機 (3CHE1B)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.27																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3C-空調用冷凍機 (3CHE1C)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.27																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3D-空調用冷凍機 (3CHE1D)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.27																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3A-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	1.96																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3B-安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	1.97																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3A-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	1.77																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3B-中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	1.77																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3-空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.97																																																																																																																		
系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ*1 (m)																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3-空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.97																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3-空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.86																																																																																																																		
空調用冷水設備系統	3-空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.98																																																																																																																		
関連設備	3A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.23																																																																																																																		
関連設備	3B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.22																																																																																																																		
関連設備	3C-空調用冷凍機盤 (3VCP C)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.23																																																																																																																		
関連設備	3D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3RB-K-N1	原子伊建屋	2.23																																																																																																																		

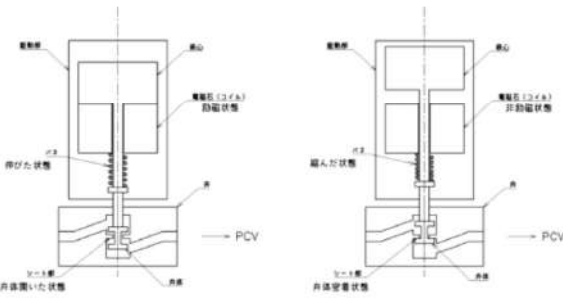
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料6）

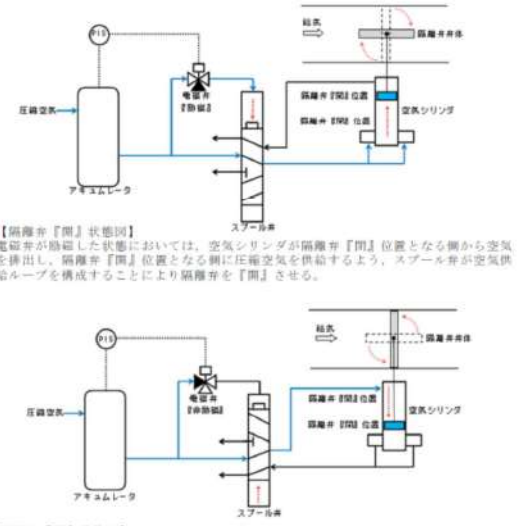
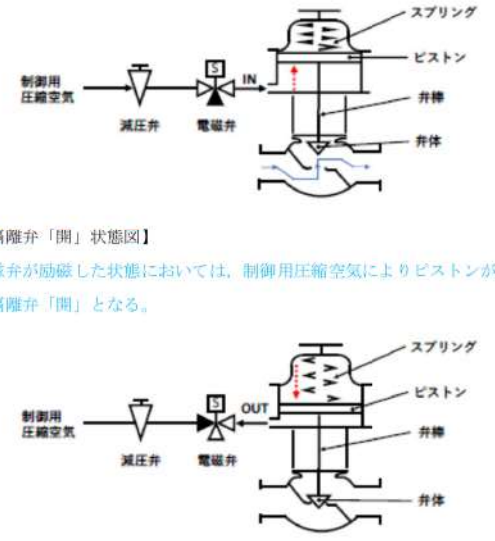
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p>溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備                      別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。                      また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備は空気作動のもの(AO)と電磁石によるもの(SO)に分類される。次項以降でそれぞれその構造を示す。                      なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p>溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備                      別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。                      また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした空気作動弁(AOV)について、次項以降でそれぞれその構造を示す。                      なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p>記載方針の相違                      別添1-3の図3-1に示した選定フローのステップの順序が異なることから、項目の記載順が異なる。                      女川の記載との比較のため、女川の(1)項と(3)項の記載箇所を入れ替えた。</p> <p>記載方針の相違                      設計方針(設備)の相違                      泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. 電磁弁（SO）への影響</p> <p>代表例として移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要を図6に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は電磁石を励磁させる。これにより弁閉状態を維持するばね力に打ち勝って鉄心が電磁石に吸着し、弁開となり、またその状態を保持する。溢水によって当該隔離弁の動作機能が喪失した（電磁石が非励磁になった）場合、ばね力により鉄心は電磁石から離れて弁閉になり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>弁“開”状態図          電磁石が励磁すると、鉄心が電磁石に吸着し、弁体が押し下げられて、弁体はシート部より離れる。このときバネは伸ばされ、常に弁「閉」側にバネ力が加わった状態となる。</p> <p>弁“閉”状態図          電磁石が非励磁となると、鉄心は電磁石から脱落され、バネが縮みバネ力にて弁体がシート部に密着する。</p> <p>図6 移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要図</p>		<p>設計方針（設備）の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 空気作動弁（AO）への影響</p> <p>代表例として原子炉棟給気隔離弁の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、圧縮空気によりスプール弁を動作させる。これにより圧縮空気供給ループの構成が変化して隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、スプール弁は通常位置に復帰する。これにより圧縮空気供給ループが変化し、隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『開』状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、空気シリンダが隔離弁『開』位置となる側から空気を排出し、隔離弁『開』位置となる側に圧縮空気を供給するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『開』させる。</p> <p>【隔離弁『閉』状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、空気シリンダが隔離弁『閉』位置となる側に圧縮空気を供給し、隔離弁『閉』位置となる側から空気を排出するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『閉』させる。</p> <p>図7 原子炉棟給気隔離弁の動作概要図</p>	<p>a. 空気作動弁（AOV）への影響</p> <p>フェイルポジションが「閉」である空気作動弁（隔離弁）の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、制御用圧縮空気によりピストンを動作させる。これにより隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、ピストンは通常位置に復帰する。これにより隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。隔離弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であるため、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『開』状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、制御用圧縮空気によりピストンが動作し、隔離弁『開』となる。</p> <p>【隔離弁『閉』状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、ピストンは通常位置に復帰し、隔離弁『閉』となる。</p> <p>図8 空気作動弁（隔離弁）の動作概要図</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は具体的な弁を代表例としてあげるのでなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>隔離弁の構造の相違により、記載方針が異なる。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>隔離弁の構造の相違により、記載方針が異なる。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は具体的な弁を代表例としてあげるのでなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 没水によるフェイル・セーフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セーフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 基本的には端子箱が没水した時点で電源が遮断され、電磁弁が作動し、弁のフェイル動作が完了する（電源が落ちれば誤作動はしない）。</p> <p>(b) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(d) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(例 計装用圧縮空気系統圧：約0.7MPa⇒水頭約70m)</p>	<p>b. 没水によるフェイル・セーフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セーフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(c) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p>	<p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p><a href="#">設計方針（設備）の相違</a>                      泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無いため、記載していない。</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>                      図7に示した通り隔離弁の開閉機構が異なるため、泊では女川のような例示は記載していない。</p>
<p>(4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について より抜粋)</p> <p>3. 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響評価について</p> <p>耐環境性仕様である原子炉格納容器内防護対象設備については、LOCA時の原子炉格納容器内環境に対して機能維持が図れるよう、以下のことを確認している。確認結果の一覧は別表に示す。</p> <p>(1)被水影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内圧力が上昇すると、格納容器スプレ이가動作し、スプレイ水により防護対象設備が被水する。原子炉格納容器内防護対象設備は、スプレイ水に対しても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p>	<p>(2)②「PCV内耐環境仕様の設備」について</p> <p>原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.427MPa[gage]、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価</p> <p>設計基準事故時にドライウエル内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水はドライウエル内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p>	<p>(2)②「原子炉格納容器内耐環境仕様の設備」について</p> <p>原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.283MPa[gage]、温度：132℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価</p> <p>設計基準事故時に原子炉格納容器内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水は原子炉格納容器内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p>	<p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a>                      プラント設計の相違により、CV内の温度・圧力条件が異なる。</p> <p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>                      ・女川審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 没水影響</p> <p>LOCAに伴う炉心注入及び格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水される。LOCA時に機能要求のある防護対象設備は、1次冷却系の漏えい水の他、これらの保有水全量が原子炉格納容器内にたまった場合においても、没水しない高さに設置している。</p>	<p>b. 没水影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器内のドライウェル下部に溜まった後、ドライウェル下部にあるベント管を通り、サブプレッションチェンバへ流れ込む設計となっている。</p> <p>高圧炉心スプレイ系の初期水源は復水貯蔵タンクであるが、サブプレッションチェンバ水位高(0.P.-3800)又は復水貯蔵タンク水位低で、水源はサブプレッションチェンバに切り替わることから、原子炉冷却材喪失事故時にサブプレッションチェンバ水位高(0.P.-3800)よりも高水位まで原子炉格納容器が溢水することは無い。</p> <p>原子炉格納容器内の防護対象設備は上述したサブプレッションチェンバ水位高(0.P.-3800)以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>b. 没水影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器最下階まで流下した後、原子炉格納容器再循環サンプへ流れ込む設計となっている。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴う炉心注入及び原子炉格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水され、燃料取替用水ピット水位低となり、原子炉格納容器再循環に切り替わる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故による漏えい水も含めた水の全量が格納容器内に溜まった場合の水位はT.P.+15.1mであり、原子炉格納容器内の防護対象設備はT.P.+15.1m以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、原子炉格納容器内で発生する溢水水位の算出過程は異なるが、原子炉格納容器内の防護対象設備が溢水水位以上の高さに設置されており、没水に機能喪失しない評価としていることに相違はない。</p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>・女川審査実績の反映</p>
<p>(3) 蒸気影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内には蒸気が充満する。原子炉格納容器内防護対象設備は、蒸気環境下においても機能維持が図れることを、1.に述べた環境試験により確認している。</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境(図3、図4参照)を包絡した条件で行っている。図5に試験条件の代表例を示す。</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での原子炉冷却材喪失事故時の環境条件(図2参照)で行っている。図3に試験条件の代表例を示す。</p>	<p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊はC/V内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="707 185 1263 603" style="border: 1px solid black; height: 262px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="757 619 1196 647" style="color: blue;">図3 原子炉格納容器圧力変化（再循環配管破断）</div> <div data-bbox="707 695 1263 1011" style="border: 1px solid black; height: 198px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="757 1027 1196 1056" style="color: blue;">図4 原子炉格納容器温度変化（主蒸気配管破断）</div> <div data-bbox="707 1072 1263 1107" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。                 </div>	<div data-bbox="1290 437 1854 810" style="border: 2px solid black; height: 234px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="1339 858 1850 887" style="color: blue;">図2 原子炉格納容器圧力変化（原子炉冷却材喪失事故時）</div>	<p style="color: blue;">記載方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊はC/V内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p>

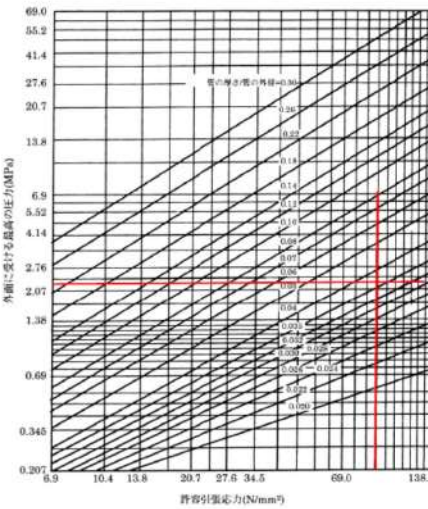
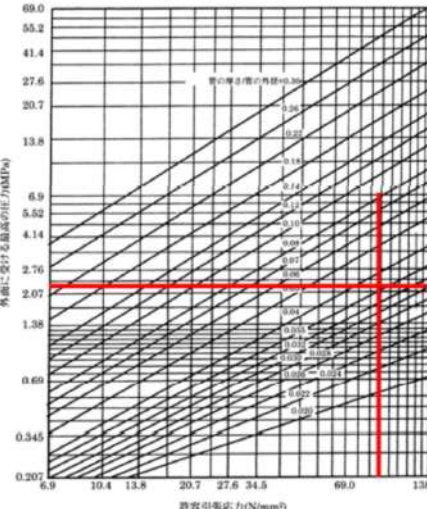
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について</p> <p>1. 耐環境性試験の試験条件の考え方</p> <p>原則として、米国の民間規格 IEEE-323 を参考に、実機条件及び試験装置条件を考慮して設定する。</p> <p>なお、格納容器スプレイによる被水については、機器のシール性能が確認できれば機能への影響はないものと判断している。</p> <p>表 1 実機条件と試験条件の比較</p> <table border="1" data-bbox="114 448 674 576"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験条件 (伝送器の例)</th> <th>実機条件 (大阪3号炉、 及び4号炉)</th> <th>実機条件 (高浜3号炉、 及び4号炉)</th> <th>IEEE-323</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプレイ 流量</td> <td>63.7 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>13.8 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>12.5 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>6.1 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> </tr> <tr> <td>スプレイ 時間</td> <td>24[h]</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. スプレイ条件の保守性に関する考察</p> <p>格納容器スプレイは下図のとおり、LOCA後の環境温度、圧力が高い条件で24時間実施している。</p> <p>この条件でシール性能に問題のないことを確認できれば、温度、圧力が低下した24時間以降のシール性能についても問題はないと考えられ、IEEE-323 にしたがったスプレイ条件は試験条件として妥当と判断している。</p> <div data-bbox="168 831 642 1153" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p>図 1 耐環境性試験プロファイル</p>		試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、 及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、 及び4号炉)	IEEE-323	スプレイ 流量	63.7 [L/min/m <sup>2</sup> ]	13.8 [L/min/m <sup>2</sup> ]	12.5 [L/min/m <sup>2</sup> ]	6.1 [L/min/m <sup>2</sup> ]	スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <div data-bbox="703 225 1263 802" style="border: 1px solid black; height: 360px; width: 100%;"></div> <p>図 5 耐環境仕様品の試験条件（代表例）</p> <div data-bbox="703 863 1263 903" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <div data-bbox="1285 225 1845 732" style="border: 1px solid black; height: 318px; width: 100%;"></div> <p>図 3 耐環境仕様品の試験条件（代表例）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績の反映</p>
	試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、 及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、 及び4号炉)	IEEE-323														
スプレイ 流量	63.7 [L/min/m <sup>2</sup> ]	13.8 [L/min/m <sup>2</sup> ]	12.5 [L/min/m <sup>2</sup> ]	6.1 [L/min/m <sup>2</sup> ]														
スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]														



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について</p> <p>容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁</p> <p>例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3 mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411 (2) に基づき評価すると、2MPa 以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照）</p> <p>弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。</p> <p>また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようにシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>  <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p>	<p>(3) ③「溢水により機能を喪失しない」について</p> <p>容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁</p> <p>例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3 mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411 (2) に基づき評価すると、2MPa 以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照）</p> <p>弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。</p> <p>また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようにシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>  <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>別添1-3の図3-11に示した選定フローのステップの順序が異なることから、項目の記載順が異なる。</p> <p>女川の記事との比較のため、女川の(1)項と(3)項の記載箇所を入れ替えた。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
	<p>b. 容器・熱交換器</p> <p>容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p> <p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価結果(1/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 491 1220 1495"> <thead> <tr> <th>防護区画番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-B1F-1</td> <td>CRD アクチュエレータ CRD 窒素容器</td> <td>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。そのため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-1F-13, R-1F-16</td> <td>清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ</td> <td>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-1F-7, R-B1F-11</td> <td>清水冷却器 潤滑油冷却器</td> <td>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B1F-1	CRD アクチュエレータ CRD 窒素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。そのため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	<p>b. 容器・熱交換器</p> <p>容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p> <p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1281 491 1854 1495"> <thead> <tr> <th>評価エリア番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3B0-F-23</td> <td>ほう機圧入タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-F-1</td> <td>よう機油冷却器タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-A-02</td> <td>原子炉冷却器本体タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-A-02</td> <td>空冷用冷却器本体タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-F-05</td> <td>A/B-原子炉冷却器本体冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-F-02</td> <td>C/D-原子炉冷却器本体冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-F-03</td> <td>体積調整タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-F-24</td> <td>ほう機タンク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-F-19</td> <td>新冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-F-12</td> <td>B-冷却器冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-F-19</td> <td>A-冷却器冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-F-20</td> <td>B-冷却器冷却器</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3B0-F-12</td> <td>B-冷却器冷却器</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価	3B0-F-23	ほう機圧入タンク	○	3B0-F-1	よう機油冷却器タンク	○	3B0-A-02	原子炉冷却器本体タンク	○	3B0-A-02	空冷用冷却器本体タンク	○	3B0-F-05	A/B-原子炉冷却器本体冷却器	○	3B0-F-02	C/D-原子炉冷却器本体冷却器	○	3B0-F-03	体積調整タンク	○	3B0-F-24	ほう機タンク	○	3B0-F-19	新冷却器	○	3B0-F-12	B-冷却器冷却器	○	3B0-F-19	A-冷却器冷却器	○	3B0-F-20	B-冷却器冷却器	○	3B0-F-12	B-冷却器冷却器	○	<p>記載方針の相違</p> <p>泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。          (次頁以降同様)</p>
防護区画番号	機器	評価																																																							
R-B1F-1	CRD アクチュエレータ CRD 窒素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。そのため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																							
R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。																																																							
R-1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																							
評価エリア番号	機器	評価																																																							
3B0-F-23	ほう機圧入タンク	○																																																							
3B0-F-1	よう機油冷却器タンク	○																																																							
3B0-A-02	原子炉冷却器本体タンク	○																																																							
3B0-A-02	空冷用冷却器本体タンク	○																																																							
3B0-F-05	A/B-原子炉冷却器本体冷却器	○																																																							
3B0-F-02	C/D-原子炉冷却器本体冷却器	○																																																							
3B0-F-03	体積調整タンク	○																																																							
3B0-F-24	ほう機タンク	○																																																							
3B0-F-19	新冷却器	○																																																							
3B0-F-12	B-冷却器冷却器	○																																																							
3B0-F-19	A-冷却器冷却器	○																																																							
3B0-F-20	B-冷却器冷却器	○																																																							
3B0-F-12	B-冷却器冷却器	○																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="698 245 853 743">防護区画番号</th> <th data-bbox="698 750 853 1018">機器</th> <th data-bbox="698 1024 853 1493">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="862 245 965 743">R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19</td> <td data-bbox="862 750 965 1018">燃料ダイタシタンク</td> <td data-bbox="862 1024 965 1493">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイタシタンク油面許の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="974 245 1077 743">-(軽油タンククビ ット内)</td> <td data-bbox="974 750 1077 1018">軽油タンク</td> <td data-bbox="974 1024 1077 1493">○ピット内には溢水原因となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 245 1189 743">R-2F-2-2, R-2F-2-3</td> <td data-bbox="1086 750 1189 1018">FCS 再結合器 FCS 冷却器 FCS 気水分離器</td> <td data-bbox="1086 1024 1189 1493">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1198 245 1272 743">R-3F-1</td> <td data-bbox="1198 750 1272 1018">スキマサージタンク</td> <td data-bbox="1198 1024 1272 1493">○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1281 245 1272 743">R-1F-1</td> <td data-bbox="1281 750 1272 1018">燃料プール冷却浄化系熱交換器</td> <td data-bbox="1281 1024 1272 1493">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いことから、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイタシタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイタシタンク油面許の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。	-(軽油タンククビ ット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水原因となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。	R-2F-2-2, R-2F-2-3	FCS 再結合器 FCS 冷却器 FCS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。	R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。	R-1F-1	燃料プール冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いことから、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1281 245 1384 1327">評価エリア番号</th> <th data-bbox="1281 1334 1384 1493">機器</th> <th data-bbox="1393 245 1518 1327">評価</th> <th data-bbox="1527 245 1653 1327">相違理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1393 245 1518 529">3AB-E-22</td> <td data-bbox="1393 536 1518 660">A-格納容器スプレッド冷却器</td> <td data-bbox="1393 667 1518 951">○同一区画内に溢水原因となりうる機器・配管はなく、浸入防止措置を講じていることから、溢水による機械的損傷が生じることがない。</td> <td data-bbox="1393 957 1518 1327">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1527 245 1653 529">3BB-F-6</td> <td data-bbox="1527 536 1653 660">A/B-炭素鋼製燃料ピット冷却器</td> <td data-bbox="1527 667 1653 951">○</td> <td data-bbox="1527 957 1653 1327">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1662 245 1787 529">3BB-D-1</td> <td data-bbox="1662 536 1787 660">燃料冷却器用水加熱器</td> <td data-bbox="1662 667 1787 951">○</td> <td data-bbox="1662 957 1787 1327">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1796 245 1921 529">3BB-F-87 3BB-F-89</td> <td data-bbox="1796 536 1921 660">A/B-ディーゼル発電機 燃料重サービスタシタンク</td> <td data-bbox="1796 667 1921 951">○</td> <td data-bbox="1796 957 1921 1327">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1930 245 2056 529">CV内</td> <td data-bbox="1930 536 2056 660">再生熱交換器</td> <td data-bbox="1930 667 2056 951">○</td> <td data-bbox="1930 957 2056 1327">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2065 245 2190 529">CV内</td> <td data-bbox="2065 536 2190 660">蓄圧タンク</td> <td data-bbox="2065 667 2190 951">○</td> <td data-bbox="2065 957 2190 1327">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2199 245 2235 529">屋外</td> <td data-bbox="2199 536 2235 660">燃料重貯槽</td> <td data-bbox="2199 667 2235 951">○</td> <td data-bbox="2199 957 2235 1327">○</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価	相違理由	3AB-E-22	A-格納容器スプレッド冷却器	○同一区画内に溢水原因となりうる機器・配管はなく、浸入防止措置を講じていることから、溢水による機械的損傷が生じることがない。	○	3BB-F-6	A/B-炭素鋼製燃料ピット冷却器	○	○	3BB-D-1	燃料冷却器用水加熱器	○	○	3BB-F-87 3BB-F-89	A/B-ディーゼル発電機 燃料重サービスタシタンク	○	○	CV内	再生熱交換器	○	○	CV内	蓄圧タンク	○	○	屋外	燃料重貯槽	○	○	
防護区画番号	機器	評価																																																			
R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイタシタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイタシタンク油面許の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。																																																			
-(軽油タンククビ ット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水原因となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。																																																			
R-2F-2-2, R-2F-2-3	FCS 再結合器 FCS 冷却器 FCS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。																																																			
R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。																																																			
R-1F-1	燃料プール冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いことから、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も認められなかった。																																																			
評価エリア番号	機器	評価	相違理由																																																		
3AB-E-22	A-格納容器スプレッド冷却器	○同一区画内に溢水原因となりうる機器・配管はなく、浸入防止措置を講じていることから、溢水による機械的損傷が生じることがない。	○																																																		
3BB-F-6	A/B-炭素鋼製燃料ピット冷却器	○	○																																																		
3BB-D-1	燃料冷却器用水加熱器	○	○																																																		
3BB-F-87 3BB-F-89	A/B-ディーゼル発電機 燃料重サービスタシタンク	○	○																																																		
CV内	再生熱交換器	○	○																																																		
CV内	蓄圧タンク	○	○																																																		
屋外	燃料重貯槽	○	○																																																		



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価結果(3/6)</p> <table border="1" data-bbox="698 248 1270 1390"> <thead> <tr> <th data-bbox="698 1219 983 1390">防護区画番号</th> <th data-bbox="698 874 983 1219">機器</th> <th data-bbox="698 248 983 874">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="698 1219 983 1390">R-3F-1</td> <td data-bbox="698 874 983 1219">換気空調補機非常用冷却水系サージタンク</td> <td data-bbox="698 248 983 874">                     ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。                      ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。                      ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクには開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="983 1219 1270 1390">R-1F-15</td> <td data-bbox="983 874 1270 1219">清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気給タンク 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ</td> <td data-bbox="983 248 1270 874">                     ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。                      ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。                      ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。                 </td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクには開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気給タンク 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		
防護区画番号	機器	評価										
R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクには開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										
R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気給タンク 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価結果(4/6)</p> <table border="1" data-bbox="698 252 1272 1391"> <thead> <tr> <th data-bbox="698 1222 981 1391">防護区画番号</th> <th data-bbox="698 877 981 1216">機器</th> <th data-bbox="698 252 981 871">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="981 1222 1151 1391">R-2F-3</td> <td data-bbox="981 877 1151 1216">高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="981 252 1151 871">                     ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。                      ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。                      ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1151 1222 1272 1391">R-B3F-13</td> <td data-bbox="1151 877 1272 1216">高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="1151 252 1272 871">                     ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。                      ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1272 1222 1339 1391">R-M3F-3-1</td> <td data-bbox="1272 877 1339 1216">原子炉種補給気隔離弁用アキュムレータ</td> <td data-bbox="1272 252 1339 871">                     ○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。                      ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。                 </td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-M3F-3-1	原子炉種補給気隔離弁用アキュムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。		
防護区画番号	機器	評価													
R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													
R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-M3F-3-1	原子炉種補給気隔離弁用アキュムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

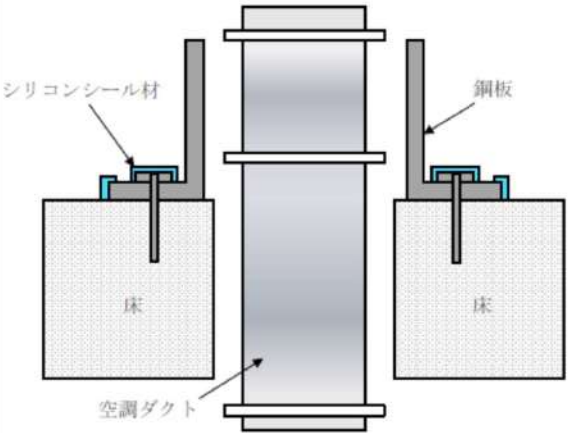
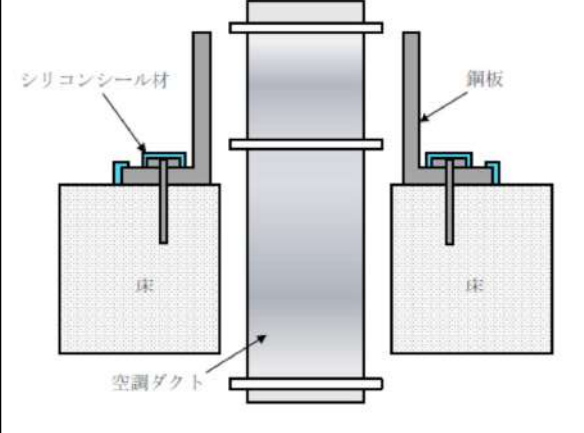
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価結果(5/6)</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 1220 896 1390">防護区画番号 -(PCV内)</th> <th data-bbox="696 874 896 1220">機器</th> <th data-bbox="696 252 896 874">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="896 1220 1010 1390">R-B1F-3-2</td> <td data-bbox="896 874 1010 1220">主蒸気速し安全弁速し弁機能用 アキユムレータ 主蒸気速し安全弁アキユムレータ (ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ</td> <td data-bbox="896 252 1010 874">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1010 1220 1272 1390">R-3F-1</td> <td data-bbox="1010 874 1272 1220">原子炉補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="1010 252 1272 874">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようその他の要因が無いことを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようその他の要因が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号 -(PCV内)	機器	評価	R-B1F-3-2	主蒸気速し安全弁速し弁機能用 アキユムレータ 主蒸気速し安全弁アキユムレータ (ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようその他の要因が無いことを確認した。	R-3F-1	原子炉補機冷却水サージタンク	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようその他の要因が無いことを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようその他の要因が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		
防護区画番号 -(PCV内)	機器	評価										
R-B1F-3-2	主蒸気速し安全弁速し弁機能用 アキユムレータ 主蒸気速し安全弁アキユムレータ (ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようその他の要因が無いことを確認した。										
R-3F-1	原子炉補機冷却水サージタンク	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようその他の要因が無いことを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようその他の要因が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価結果(6/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 256 1272 1209"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 1066 862 1209">防護区画番号</th> <th data-bbox="696 778 862 1066">機器</th> <th data-bbox="696 256 862 778">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="696 1066 862 1209">R-B3F-11, R-B3F-14</td> <td data-bbox="696 778 862 1066">原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="696 256 862 778">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="862 1066 1003 1209">R-1F-1, R-1F-11</td> <td data-bbox="862 778 1003 1066">残留熱除去系熱交換器</td> <td data-bbox="862 256 1003 778">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1003 1066 1272 1209">R-2F-3-1</td> <td data-bbox="1003 778 1272 1066">ほう龍水注入系貯蔵タンク ほう龍水注入系アキュムレータ</td> <td data-bbox="1003 256 1272 778">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう龍水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう龍水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B3F-11, R-B3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-3-1	ほう龍水注入系貯蔵タンク ほう龍水注入系アキュムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう龍水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう龍水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		
防護区画番号	機器	評価													
R-B3F-11, R-B3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-2F-3-1	ほう龍水注入系貯蔵タンク ほう龍水注入系アキュムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう龍水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう龍水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては対策を講ずることとする。</p> <p>なお、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(4)④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。代替する設備はすべて逆止弁であり、またQMSに基づいた保全活動により、その機能維持を図っている。図8に系統構成例を示す。</p> <div data-bbox="750 462 1232 1013" data-label="Diagram"> <p>The diagram shows a piping system for a nuclear reactor's containment vessel. At the top is the '原子炉格納容器' (Nuclear Containment Vessel). Below it is the '原子炉格納容器バウンダリ' (Nuclear Containment Vessel Boundary). A pipe leads from the boundary to a valve labeled 'MO'. This valve is identified as '溢水影響評価から対象外とした防護対象設備' (Protection target equipment excluded from overflow impact evaluation). The pipe continues to another valve labeled '要求機能を代替する設備' (Equipment replacing the required function). The system then leads to a lower section of the '原子炉格納容器'.</p> </div> <p>図8 系統構成例 (放射性物質の閉じ込め機能 (原子炉格納容器隔離弁))</p>	<p>(4)④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とするスクリーニング基準であるが、現状において、泊3の防護対象設備への適用実績はない。</p>	<p>設計方針の相違</p> <p>泊では本スクリーニング基準により溢水評価対象外とした設備はない。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
(2-1 防護対象設備の抽出の考え方 より抜粋) 大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/9)				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由**	
1次冷却系	原子炉容器		×	③	AC	740-F001	バージ用空気供給側隔離弁	③	1次冷却系統	3PCV-452A,B	加圧器逃がし弁	②	
	3A, 3B, 3C, 3D 蒸気発生器		×	③	AC	740-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	③	1次冷却系統	3V-RC-054A,B	加圧器逃がし弁弁弁	①	
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ		×	①	AC	740-F003	S/Cバージ用入口隔離弁	③	1次冷却系統	3V-RC-055, 056, 057	加圧器安全弁	③	
	3加圧器		×	③	AC	740-F004	格納容器外真空逃がし阻止隔離弁(A)	①	1次冷却系統	3LCV-451, 452	抽出ライン第1(2)止め弁	①	
	3A, 3B, 3C加圧器安全弁	3V-RC-055, 056, 057	×	①	AC	740-F004B	格納容器外真空逃がし阻止隔離弁(B)	①	1次冷却系統	3LT-451, 452, 453, 454	加圧器水位	②	
	3A, 3B加圧器逃がし弁弁	3PCV-452A,B	×	②	AC	740-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁(A)	③	1次冷却系統	3PT-451, 452, 453, 454	加圧器圧力	②	
	3A, 3B加圧器逃がし弁弁弁	3V-RC-054A,B	×	①	AC	740-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁(B)	③	1次冷却系統	3PT-410, 430	1次冷却材圧力	②	
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側1隔離弁	3V-RC-077	×	②	AC	740-F008B	格納容器外真空逃がし隔離弁(B)	③	1次冷却系統	3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A	1次冷却材高温側温度(狭域)	②	
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側2隔離弁	3V-RC-078	×	①	AC	740-F010	補給用窒素ガス供給側第二隔離弁	③					
	3加圧器逃がしタンク窒素供給ライン格納容器側	3V-RC-084	×	①	AC	740-F011	D/W補給用窒素ガス供給側第一隔離弁	③	1次冷却系統	3TE-411B, 421B, 431B, 441B	1次冷却材低温側温度(狭域)	②	
	3格納容器内補給水供給ライン格納容器側	3V-RC-095	×	①	AC	740-F012	S/C補給用窒素ガス供給側第一隔離弁	③					
	3A, 3B加圧器スプレイ弁	3PCV-451A,B	×	①	AC	740-F016	バージ用窒素ガス供給側第二隔離弁	③	1次冷却系統	3TE-410, 420, 430	1次冷却材高温側温度(広域)	②	
	3-1次冷却材圧力	3PT-420, 430	×	②	AC	740-F019	D/Wバージ用出口隔離弁	③	1次冷却系統	3TE-417, 427, 437	1次冷却材低温側温度(広域)	②	
	3加圧器水位	3LT-451, 452, 453, 454	×	②	AC	740-F020	ベント用SGTS側隔離弁	③	1次冷却系統	3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435	1次冷却材流量	②	
	3A, B, C, Dのバージ1次冷却材高温側・低温側温度(広域)	3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445	×	②	AC	740-F021	ベント用HVAC側隔離弁	③					
	3A, B, C, Dのバージ1次冷却材高温側・低温側温度(狭域)	3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	②	AC	740-F022	S/Cベント用出口隔離弁	③	1次冷却系統	3RCHA, B, C	蒸気発生器	③	
	3加圧器圧力	3PT-451, 452, 453, 454	×	②	AC	740-F023	D/Wベント用出口隔離弁バイパス弁	③					
	3A, B, C, Dのバージ1次冷却材流量	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	×	②	AC	740-F024	S/Cベント用出口隔離弁バイパス弁	③	1次冷却系統	3V-RC-077	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	①	
	1次冷却材ポンプ回転数	3SP-40A, 420A, 430A, 440A	×	②	AC	740-F043	P/CV耐圧強化ベント用連絡配管隔離弁	③	1次冷却系統	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	①	
	化学体積制御系	3A, 3Bはう離ポンプ		○	—	AC	740-F709	事故後サンプリング設備取り第一隔離弁	①	1次冷却系統	3V-RC-084	加圧器逃がしタンク窒素供給ラインC/V外側隔離弁	①
3A, 3B, 3C受てんポンプ			○	—	AC	740-F701	バージ用窒素供給流量	③	1次冷却系統	3V-RC-093	加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	①	
3体積制御タンク			×	③	AC	740-F7019	圧力抑制室圧力	③	1次冷却系統	3RCT1	原子炉容器	③	
3再生熱交換器			×	③	AC	740-S0-F042A	真空破壊弁(A)計装用空気配管隔離弁	③	1次冷却系統	3RCT2	加圧器	③	
3A, 3Bはう離タンク			×	③	AC	740-S0-F042B	真空破壊弁(B)計装用空気配管隔離弁	③	1次冷却系統	3RCHA, B, C	蒸気発生器	③	
3はう離フィルタ			×	③	AC	740-S0-F042C	真空破壊弁(C)計装用空気配管隔離弁	③	1次冷却系統	3RCPA, B, C	1次冷却材ポンプ	②	
3射水冷却器			×	③	AC	740-S0-F042D	真空破壊弁(D)計装用空気配管隔離弁	③					
3A, 3B射水注入フィルタ			×	③	AC	740-S0-F042E	真空破壊弁(E)計装用空気配管隔離弁	③					
3射水ストレーナ			×	③									
3体積制御タンク出口第1止め弁		3LCV-121B	○	—									
3体積制御タンク出口第2止め弁	3LCV-121C	○	—										

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②C/V内側環境仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由  
 ①動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ②原子炉格納容器内環境仕様の設備  
 ③溢水により機能を喪失しない  
 ④その他の設備で代替できる設備

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/9)				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由*	
化学体積制御系	3緊急ほうげん注入ライン補給弁	3F-CS-573	○	—	AC	T49-50-F942F	真空破壊弁（F）計装用空気配管隔離弁	①	化学体積制御系統	3FCV-138	充てん流量制御弁	①	
	3充てんポンプ入口燃料取替用本ピット隔離弁A,B	3LCV-210,E	○	—	AC	T49-50-F708	L S 0 1 5 D/W冠水位計装配管（H）側隔離弁	②	化学体積制御系統	3V-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁	①	
	3充てんライン格納容器隔離弁	3F-CS-157	○	—	AC	T48-50-F710	L S 0 1 5 D/W冠水位計装配管（L）側隔離弁	②	化学体積制御系統	3CST1	体積制御タンク	③	
	3充てんライン止め弁	3F-CS-155	○	—	AC	T49-50-F721	露点サンプリング入口第一隔離弁	③	化学体積制御系統	3V-CS-191	充てんライン止め弁	①	
	3充てんライン流量制御弁	3FCV-138	×	①	AC	T49-50-F722	露点サンプリング入口第二隔離弁	③	化学体積制御系統	3V-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	①	
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3FCV-140	×	①	AC	T48-50-F723	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系統	3CSH1	再生熱交換器	③	
	3抽出ライン第1止め弁	3LCV-451	×	②	AC	T49-50-F724	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系統	3CST5A,B	ほう酸タンク	③	
	3抽出ライン第2止め弁	3LCV-452	×	②	AC	T49-50-F727	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系統	3KSF4	ほう酸フィルタ	③	
	3A, 3B, 3C抽出オリフィス出口格納容器隔離弁	3F-CS-004A,B,C	×	②	AC	T49-50-F725	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系統	3V-CS-455A,B	ほう酸タンク出口弁	①	
	3加圧器補助スプレイ弁	3F-CS-169	×	②	AC	T49-50-F726	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系統	3V-CS-466A,B	ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁	①	
	3冷却材抽出ライン第1止め弁	3F-CS-301	×	②	AC	T49-50-F729	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系統	3V-CS-473A,B	ほう酸ポンプ出口循環ライン切替弁	①	
	3冷却材抽出ライン第2止め弁	3F-CS-301	×	②	AC	T49-50-F730	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系統	3V-CS-474A,B	ほう酸フィルタ出口A（B）ほう酸タンク戻り弁	①	
	3抽出ライン格納容器第2隔離弁	3F-CS-007	×	①	AC	T49-50-F772	T 4 8 - L S 0 2 5 D/W水位計装配管（L）側隔離弁	②	化学体積制御系統	3V-CS-499A,B	ほう酸ポンプ入口切替弁	①	
	3充てんライン流量制御弁前止め弁	3F-CS-151	×	①	DCMS	DC2-D001A	校正ガスボンベサポート	①	化学体積制御系統	3V-CS-004A,B,C	抽出オリフィス出口C/V内側隔離弁	①	
	3B-Aープ充てんライン止め弁	3F-CS-163	×	①	DCMS	DC2-D001B	校正ガスボンベサポート	①	化学体積制御系統	3V-CS-006	抽出ライン格納容器外側隔離弁	①	
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	3F-CS-177	×	①	CRD	C12	制御棒駆動機構	①	化学体積制御系統	3CSH4	封水冷却器	③	
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水注入ライン格納容器隔離弁	3F-CS-196A,B,C,D	×	①	CRD	C12-D001-120	方向制御弁	①	化学体積制御系統	3V-CS-224A,B,C	1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	①	
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第1隔離弁	3F-CS-310	×	②	CRD	C12-D001-120	方向制御弁	②	化学体積制御系統	3V-CS-254	1次冷却材ポンプ封水戻りラインC/V内側隔離弁	②	
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁	3F-CS-312	○	—	CRD	C12-D001-120	方向制御弁	②	化学体積制御系統	3V-CS-242A,B,C	1次冷却材ポンプ封水戻りオリフィスバイパス弁	①	
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン止め弁	3F-CS-208A,B,C,D	×	②	CRD	C12-D001-125	アクチュエータ	①	化学体積制御系統				
	3A, 3Bほう酸タンク水位	3LT-286, 288	○	—	CRD	C12-D001-126	スクラム入口弁	②	化学体積制御系統				
	3充てんポンプ速度制御弁	3CS3	○	—	CRD	C12-D001-128	遮断容器	①	化学体積制御系統				
	3充てんポンプ速度制御補助弁	3CSAC	○	—	CRD	C12-D001-132	制御棒駆動水圧素ラプチュアディスク	①	化学体積制御系統				
	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ保護操作箱	3LB-5, 6, 7, 8	○	—	CRD	C12-D001-135	方向制御弁フィルタ	①	化学体積制御系統				
3A, 3Bほう酸ポンプ保護操作箱	3LB-9, 10	○	—	CRD	C12-D001-139	スクラムバイロット弁	①	化学体積制御系統					
3A, 3B高圧注入ポンプ		○	—	CRD	C12-L05129	HCUアクチュエータレベルスイッチ	②						
3A, 3B, 3C, 3D蓄圧タンク		×	②	CRD	C12-F1131	HCUアクチュエータ圧力指示計	②						
3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	3F-S1-015A,B	○	—	CRD	C12-F5130	HCUアクチュエータ圧力スイッチ	②						
3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	3F-S1-016A,B	○	—										
3A, 3B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプリング入口格納容器隔離弁	3F-S1-092A,B	○	—										
3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用本ピット注入弁	3F-S1-002A,B	○	—										
3A, 3B冷却材ポンプRWSピット及び再循環サンプリング注入弁	3F-S1-096A,B	○	—										
3A, 3B高圧注入ライン格納容器隔離弁	3F-S1-062A,B	×	①										
3A, 3B高圧注入ポンプ出口遮断弁	3F-S1-066A,B	×	②										

\*1 評価対象外とした理由  
 ①動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ②原子炉格納容器内耐環境仕様の設備  
 ③溢水により機能を喪失しない  
 ④その他の設備で代替できる設備

\*1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②炉内耐環境仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)					
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由**		
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ高圧側注入ライン止め弁	3V-SI-007A, B	×	②	①UF ②DG ③DG ④DG ⑤DG ⑥DG ⑦DG ⑧DG ⑨DG ⑩DG ⑪DG ⑫DG ⑬DG ⑭DG ⑮DG ⑯DG ⑰DG ⑱DG ⑲DG ⑳DG ㉑DG ㉒DG ㉓DG ㉔DG ㉕DG ㉖DG ㉗DG ㉘DG ㉙DG ㉚DG ㉛DG ㉜DG ㉝DG ㉞DG ㉟DG ㊱DG ㊲DG ㊳DG ㊴DG ㊵DG ㊶DG ㊷DG ㊸DG ㊹DG ㊺DG ㊻DG ㊼DG ㊽DG ㊾DG ㊿DG	①UF	G31-F002	CUIW入口ライン第一隔離弁	②	安全注入系統	3SIT2	ほう酸注入タンク	③	
	3A, 3B, 3C, 3D高圧タンク出口弁	3V-SI-122A, B, C, D	×	②		DG	E43-A001A	清水影響タンク (A)	①	安全注入系統	3V-SI-061A, B	高圧注入ポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3格納容器再循環サンパ水位 (狭域)・(広域)	3LT-970, 971, 972, 973	×	②		DG	E43-A001B	清水影響タンク (B)	①	安全注入系統	3V-SI-062A, B, C	高温側高圧注入 (B) ライン止め弁	②	
	3A, 3B高圧注入ポンプ規模操作箱	3LB-12, 13	○	—		DG	E43-A100A	潤滑油サンパタンク (A)	①	安全注入系統	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	①	
	3A高圧注入流量 (I), 3B高圧注入流量 (II)	3FT-942, 963	○	—		DG	E43-A100A	潤滑油サンパタンク (A)	①	安全注入系統	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1 (2) 止め弁	①	
余熱除去系	3燃料取替用水ビット水位 I, II, III, IV	3LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—	DG	E43-A100B	潤滑油サンパタンク (B)	①	安全注入系統	3CVT2, 3	格納容器再循環サンパ	③		
	3A, 3B余熱除去ポンプ		○	—	DG	E43-A101A	機関付動弁注油タンク (A)	①	安全注入系統	3LT-620, 630	格納容器再循環サンパ水位 (広域)	②		
	3A, 3B余熱除去冷却器	×	③	DG	E43-A101B	機関付動弁注油タンク (B)	①	安全注入系統	3LT-621, 631	格納容器再循環サンパ水位 (狭域)	②			
	3A, 3B余熱除去冷却器ミニマムフローライン止め弁	3FCV-401, 611	○	—	DG	E43-A200A	軽油タンク (A)	①	安全注入系統	3SIT1A, B, C	蓄圧タンク	③		
	3A, 3B余熱除去冷却器出口流量設定弁	3FCV-403, 613	×	①	DG	E43-A200A	軽油タンク (A)	①	安全注入系統	3V-SI-132A, B, C	蓄圧タンク出口弁	①		
	3A, 3B余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	3FCV-404, 614	×	①	DG	E43-A200B	軽油タンク (B)	①	安全注入系統	3V-SI-123A, B, C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	①		
	3A, 3B余熱除去ポンプB, Cグループ高圧側入口止め弁	3FCV-420, 430	×	②	DG	E43-A200C	軽油タンク (C)	①	安全注入系統	3V-SI-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁	①		
	3A, 3B余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	3V-EH-002A, B	×	②	DG	E43-A200D	軽油タンク (D)	①	安全注入系統	3V-SI-164	蓄圧タンク室裏供給ライン C/V 外側隔離弁	①		
	3A, 3B余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	3V-EH-043A, B	×	①	DG	E43-A200E	軽油タンク (E)	①	安全注入系統	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁	①		
	3A, 3B余熱除去冷却器出口連絡弁	3V-EH-047A, B	×	②	DG	E43-A200F	軽油タンク (F)	①	安全注入系統	3V-SI-185	蓄圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁	①		
格納容器・スプレイ系	3B, 3Cグループ高圧側低圧注入ライン止め弁	3V-EH-048A, B	×	②	DG	E43-A201A	燃料ディタンク (A)	①	安全注入系統	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁	①		
	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量	3FT-601, 611	○	—	DG	E43-A201B	燃料ディタンク (B)	①	余熱除去系統	3R011A, B	余熱除去冷却器	③		
	3A, 3B余熱除去ポンプ規模操作箱	3LB-14, 15	○	—	DG	E43-A201B	燃料ディタンク (B)	①	余熱除去系統	3KV-603, 613	余熱除去冷却器出口流量調節弁	①		
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ	○	—	DG	E43-A300A	空気だめ (自動) (A)	①	余熱除去系統	3FCV-410, 430	余熱除去 (B) ライン入口止め弁	②			
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器	×	③	DG	E43-A300B	空気だめ (自動) (B)	①	余熱除去系統	3V-RH-002A, B	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	②			
	3より集約去水品タンク	×	③	DG	E43-B001A	清水冷却器 (A)	①	余熱除去系統	3V-RH-029A, B	余熱除去 (B) ライン C/V 外側隔離弁	①			
	3-FH調整剤タンク	×	③	DG	E43-B001B	清水冷却器 (B)	①	余熱除去系統	3V-RH-033A, B	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	②			
	3A, 3Bより集約去水品注入ライン第1止め弁	3V-CP-054A, B	○	—	DG	E43-B003A-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	余熱除去系統	3V-RH-034A, B	高温側低圧注入ライン止め弁	②		
	3A, 3Bより集約去水品注入ライン第2止め弁	3V-CP-056A, B	○	—	DG	E43-B003A-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	主給水系統	3LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483	蒸気発生器水位 (狭域)	②		
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ビット 側入口止め弁	3V-CP-051A, B	○	—	DG	E43-B003B-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	主給水系統	3LT-464, 474, 484	蒸気発生器水位 (広域)	②		
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンパ側入口格納容器隔離弁	3V-CP-003A, B	○	—	DG	E43-B003B-2	機関付空気冷却器 (R側)	①						
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	3V-CP-024A, B	○	—	DG	E43-B100A	潤滑油冷却器 (A)	①						
	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV	3FT-960, 961, 962, 963	○	—	DG	E43-B100B	潤滑油冷却器 (B)	①						
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ規模操作箱	3LB-18, 19	○	—	DG	E43-D100A	潤滑油フィルタ (A)	①						
	主蒸気及び主給水系統補助給水系	3タービン駆動補助給水ポンプ	○	—	DG	E43-D100B	潤滑油フィルタ (B)	①						
3A, 3B電動補助給水ポンプ		○	—											
3復水ビット		×	③											
3タービン駆動補助給水ポンプ駆動弁A, B		3V-MG-S70A, B	○	—										
3A, 3B, 3C, 3D補助給水隔離弁	3V-FH-S74A, B, C, D	×	④											

\*1 評価対象外とした理由  
 ①動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ②原子が格納容器内副環境仕様の設備  
 ③従来により機能を喪失しない  
 ④その他の設備で代替できる設備

※1 評価対象外とした理由  
 ①従来により機能を喪失しない  
 ②PCV内副環境仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由*	
原子炉補機冷却系	3-1冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁	3F-CC-429	○	—	06	R43-LS257B	シリンダー段水スイッチ	①	06	3SF3HA,B	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	③	
	3-CR6冷却ユニット・余熱抽出冷却器冷却水戻りラインC/V隔離弁	3F-CC-342	○	—	06	R43-PI052A	機関付清水ポンプ出口圧力指示計	②	06	3SFDIA,B	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	③	
	3-CR6冷却ユニット・余熱抽出冷却器冷却水戻りラインC/V隔離弁	3F-CC-365	○	—	06	R43-PI052B	機関付清水ポンプ出口圧力指示計	②	06	3SFFIA,B	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	③	
	3A,B,3C,3D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁	3F-CC-189A,B	○	—	06	R43-PI101A	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③	06	3SF3FA,B	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	③	
	3A,3B,3C,3D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁	3F-CC-198A,B,C,D	○	—	06	R43-PI101B	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③	06	3SFFIA,B	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	③	
	3A 廃棄物処理機冷却水供給ライン第1,2点検弁 (3日検弁)	34V-CI-600,601	○	—	06	R43-PI202A	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③	06	3SFFIA,B	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	③	
	3原子炉補機冷却水サーージタンク水位器,IV	3L-I-1200,1201	○	—	06	R43-PI202B	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③	06	3SFFIA,B	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	③	
	3A,3B,3C,3D 原子炉補機冷却水ポンプ保護操作弁	3L-B-20,21,22,23	○	—	06	R43-PI203A	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③	06	3S-SW-01A,B,C,D	原子炉補機冷却水ポンプ出口ストレーナ	③	
	3A,3B,3C 海水ポンプ		○	—	06	R43-PI203B	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③	06	3S-SW-02A,B,C,D	原子炉補機冷却水ポンプ冷却海水入口ストレーナ	③	
	3海水ポンプ出口3A,3B,3C 3C海水ストレーナ	3S-SW-01A,B,C,D	×	④	06	R43-PI203B	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③	06	3V-RL-005	CVDI 自動ガス分析ライン C/V 内側隔離弁	①	
	3A,3B,3C 海水ポンプ冷却ストレーナA,B	3S-SW-02A,B,C 3S-SW-03A,B,C	×	④	06	R43-PI211A	機関入口燃料油圧力指示計	③	06	3V-RL-006	CVDI 自動ガス分析ライン C/V 外側隔離弁	①	
	3A,3B 原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁	3V-SW-070A,B	○	—	06	R43-PI211B	機関入口燃料油圧力指示計	③	06	3V-RL-010	格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V 内側隔離弁	①	
	3A,3B1,3B2,3C 海水ポンプ保護操作弁	3L-B-26,27,28,29	○	—	06	R43-PI255A	機関入口吸気圧力 (L側) 指示計	③	06	3V-RL-011	格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V 外側隔離弁	①	
	3A,3B 使用済燃料ピットポンプ		○	—	06	R43-PI255B	機関入口吸気圧力 (L側) 指示計	③	06	3V-RL-017	格納容器冷却材ドレンタンク窒素供給 C/V 隔離弁	①	
	燃料ピット冷却浄化系	3A,3B 使用済燃料ピット		×	④	06	R43-PI256B	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	③	06	3V-RL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V 内側隔離弁	①
3A,3B,3C 使用済燃料ピット冷却器			×	④	06	R43-PI256A	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	③	06	3V-RL-114	格納容器サンパポンプ出口 C/V 外側隔離弁	①	
3A,3B 使用済燃料ピット脱塩器			×	④	06	R43-PI256B	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	③	06	3V-SS-504	加圧器気相部サンプリングライン C/V 内側隔離弁	①	
3A,3B 使用済燃料ピットフィルタ			×	④	06	R43-PI5108A	機関潤滑油圧力	③	06	3V-SS-509	加圧器液相部サンプリングライン C/V 内側隔離弁	①	
3A,3B 使用済燃料ピットポンプ保護操作弁		3L-B-24,25	○	—	06	R43-PI5108B	機関潤滑油圧力	③					
燃料取替用水系	3A,3B 燃料取替用水ポンプ		○	—	06	R43-PI5113A	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計 (検点付)	③					
	3A,3B 燃料取替用水ポンプ保護操作弁	3L-B-31,34	○	—	06	R43-PI5113B	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計 (検点付)	③					
蒸気発生器ブローダウン系	3A,3B,3C,3D ブローダウンライン格納容器隔離弁	3F-BD-101A,B,C,D	×	①	06	R43-PI5253A	空気だめ圧力 (自動) 指示計 (検点付)	③					
	3F-BD-016A,B,C,D	×	①	06	R43-PI5253B	空気だめ圧力 (自動) 指示計 (検点付)	③						
1次系統料採取系	3D15器液相部試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3F-SS-503	×	②	06	R43-Pa5260A	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③					
	3D15器液相部試料採取ライン格納容器第2隔離弁	3F-SS-506	×	②	06	R43-Pa5260B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③					
	3Dループ蒸気部試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3F-SS-522	×	②	06	R43-Pa5262A	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③					
	3Dループ蒸気部試料採取ライン格納容器第2隔離弁	3F-SS-507	×	①	06	R43-Pa5262B	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③					
	3Dループ蒸気部試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3F-SS-525	×	②	06	R43-PS250A	空気だめ圧力 (自動) スwitch	③					
	3Dループ蒸気部試料採取ライン格納容器第2隔離弁	3F-SS-526	×	①	06	R43-PS250B	空気だめ圧力 (自動) スwitch	③					
	3A,3B,3C,3D 蓄圧タンク試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3F-SS-593A,B,C,D	×	②									
	3蓄圧タンク試料採取ライン格納容器第2隔離弁	3F-SS-594	×	①									
制御用空気系	3A,3B 制御用空気圧縮機	3F-SS-574	○	—									

\*1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② 炉内前燃焼仕様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替できる

\*1 評価対象外とした理由  
 ① 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ② 原子炉格納容器内耐燃焼仕様の設備  
 ③ 溢水により機能を喪失しない  
 ④ その他の設備で代替できる設備

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/9)					
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由※1	系統	機器番号	機器名称	理由**			
制御用空気系	3A, 3B制御用空気乾燥器	3IAR1A, B	×	②	DG	R43-PS251A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	②	試験採取系統	3V-SS-514, 519	B (C) ループ高温側サンプリングラインC/V内側隔離弁	②			
	3A, 3B制御用空気だめ	3IAT1A, B	×	②	DG	R43-PS251B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	②	試験採取系統	3V-SS-521A	B ループ高温側、加圧器サンプリングラインC/V外側隔離弁	①			
	3A, 3B制御用空気主送気源がしきり供給停止防止弁	3F-1A-505A, B	○	—	DG	R43-TE331A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	②	試験採取系統	3V-SS-521B	C ループ高温側サンプリングラインC/V内側隔離弁	①			
	3A-C, 3B-C制御用空気管差違弁	3F-1A-501A, B	○	—	DG	R43-TE331B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	②	試験採取系統	3V-SS-718	PASS1 次冷却材サンプル戻りラインC/V外側隔離弁	①			
	3A, 3B制御用空気格納容器隔離弁	3F-1A-509A, B	○	—	DG	R43-TE332A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	②	格納容器減圧設備および格納容器水素制御設備	3V-DP-001A, B	格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁	②			
	3A, 3B格納容器内側環境クラス制御用空気流量差止防止弁	3F-1A-510A, B	×	②	DG	R43-TE332B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	②	格納容器減圧設備および格納容器水素制御設備	3V-DP-002A, B	格納容器減圧ライン格納容器外側隔離弁	①			
	3A, 3B制御用空気供給管差違弁	3FT-1000, 1810	○	—	DG	R43-TE333A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	②	格納容器減圧設備および格納容器水素制御設備	3V-1C-304A, B	格納容器水素パージ給気ライン格納容器外側隔離弁	①			
	3A, 3B制御用空気圧縮機制御弁	3IAC-1, B	○	—	DG	R43-TE333B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	②	放射線監視設備空気サンプリング系統	3V-RM-001	格納容器空気サンプル取出し格納容器内側隔離弁	②			
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第1隔離弁	3F-RL-078	×	②	DG	R43-TE333C	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	②	放射線監視設備空気サンプリング系統	3V-RM-002	格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁	①			
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第2隔離弁	3F-RL-079	×	①	DG	R43-TE334A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	②	放射線監視設備空気サンプリング系統	3V-RM-015	格納容器空気サンプル戻り格納容器外側隔離弁	①			
廃棄物処理系	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	3F-RL-093	×	②	DG	R43-TE334B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	②	蒸気発生器ブローダウン系統	3V-BD-026A, B, C	ブローダウン止め弁	①			
	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	3F-RL-094	×	①	DG	R43-TE335A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	②	蒸気発生器ブローダウン系統	3V-BD-008A, B, C	蒸気発生器サンプルラインC/V外側隔離弁	①			
	3格納容器冷却材ドレンタンク差違弁	3F-RL-094	×	①	DG	R43-TE335B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	②	蒸気発生器ブローダウン系統	3V-BD-026A, B, C	ブローダウンC/V外側隔離弁	①			
	3格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第1隔離弁	3F-RL-042	×	②	DG	R43-TE336A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	②							
	3格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第2隔離弁	3F-RL-043	×	①	DG	R43-TE336B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	②							
	3格納容器冷却材ポンプ出口格納容器第1隔離弁	3F-RL-143	×	②	DG	R43-TE337A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相予備) 検出器	②							
	3格納容器冷却材ポンプ出口格納容器第2隔離弁	3F-RL-144	×	①	DG	R43-TE337B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相予備) 検出器	②							
	3炉大水ライン格納容器隔離弁	3F-FS-502	×	①	DG	R43-TE338A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相予備) 検出器	②							
	3炉内統計装置ガススパーージライン格納容器第1隔離弁	3F-1G-009	×	②	DG	R43-TE338B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相予備) 検出器	②							
	3炉内統計装置ガススパーージライン格納容器第2隔離弁	3F-1G-008	×	①	DG	R43-TE339A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相予備) 検出器	②							
炉大水系	3炉大水ライン格納容器隔離弁	3F-FS-502	×	①	DG	R43-TE339B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相予備) 検出器	②							
	3炉内統計装置ガススパーージライン格納容器第1隔離弁	3F-1G-009	×	②	DG	R43-TE341A	非常用D/G (A) 軸受温度検出器	②							
炉内統計装置ガススパーージ系	3炉内統計装置ガススパーージライン格納容器第1隔離弁	3F-1G-009	×	②	DG	R43-TE341B	非常用D/G (B) 軸受温度検出器	②							
	3炉内統計装置ガススパーージライン格納容器第2隔離弁	3F-1G-008	×	①	DG	R43-T1051A	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	②							
	手動弁一式		×	②	DG	R43-T1051B	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	②							
	遮断弁一式		×	③	DG	R43-T1054A	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計 (接点付)	②							
	換気空調系	3換気空調盤	3FB	○	—	DG	R43-T1054B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計 (接点付)	②						
		3A, 3B中央制御室空調ファン		○	—	DG	R43-T13054B	機関入口潤滑油温度指示計 (接点付)	②						
		3A, 3B中央制御室循環ファン		○	—	DG	R43-T13054A	機関入口潤滑油温度指示計 (接点付)	②						
		3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	3YF22A, B	○	—	DG	R43-T13054B	機関出口潤滑油温度指示計 (接点付)	②						
		3A, 3B中央制御室外気取入止めダンパ	3D-YF-601A, B	×	①										
		3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	3D-YF-602A, B	○	—										
3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ		3D-YF-603A, B	○	—											
3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ		3D-YF-604A, B	○	—											
3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ		3RD-2874, 2875	○	—											
3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ		3RD-2885, 2886	○	—											
3A, 3B中央制御室大気吐出流量調節ダンパ	3RD-2897, 2898	×	①												
3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	3RD-2889, 2890	○	—												

※1 評価対象外とした理由  
 ①漏れにより機能を喪失しない  
 ②PCV内副環境仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

\*1 評価対象外とした理由  
 ①動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ②原子力格納容器内副環境仕様の設備  
 ③溢水により機能を喪失しない  
 ④その他の設備で代替できる設備



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/9)					
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由**			
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時経路流量調節ダンパ	3BCD-2891, 2892	○	—	DG	843-TIS109B	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	③	燃料取替用水系統	3RF-P	燃料取替用水ビット	③			
	3中央制御室温度(1), (2)	3TS-2908, 2909	○	—	DG	843-TIS343A	非常用D/G (A) 軸受温度指示計（接点付）	③	燃料取替用水系統	3RFH1	燃料取替用水加熱器	③			
	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量	3FS-2904, 2905	○	—	DG	843-TIS43D	非常用D/G (B) 軸受温度指示計（接点付）	③	制御用空気系統	3V-1A-514A, B	制御用空気原子炉格納容器内供給弁	②			
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量	3FS-2910, 2911	○	—	DG	843-TS112A	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③	換気空調設備系統	3D-VS-291A, B	燃料取扱機事故時排気ライン隔離ダンパ	①			
	34キックン排気第1, 2隔離ダンパ	34D-VS-605, 606	×	①	DG	843-TS112B	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③	換気空調設備系統	3VSU7A, B	アニュラス空気浄化フィルタユニット	③			
	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	3BC-2874, 2875	○	—	FCS	749-A001A	F C S再結露器 (A)	①	換気空調設備系統	—	排気筒	③			
	3A, 3B中央制御室温度ダンパ流量設定	3BC-2885, 2886	○	—	FCS	749-A001B	F C S再結露器 (B)	①	換気空調設備系統	—	排気筒	③			
	A, B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	3BC-2887, 2888	×	①	FCS	749-B001A	F C S冷却器 (A)	①	換気空調設備系統	—	排気筒	③			
	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定	3BC-2889, 2890	○	—	FCS	749-B001B	F C S冷却器 (B)	①	換気空調設備系統	3V-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁	①			
	3A, 3B中央制御室事故時経路ダンパ流量設定	3BC-2891, 2892	○	—	FCS	749-D001A	F C S気水分離器 (A)	①	換気空調設備系統	3V-VS-056	格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁	①			
	34A, 34D安全補機閉鎖器空調ファン	○	○	—	FCS	749-D001B	F C S気水分離器 (B)	①	換気空調設備系統	3V-VS-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	①			
	34C, 34D安全補機閉鎖器空調ファン	○	○	—	FCS	749-TE001A	F C S (A) 入口ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3V-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	①			
	3安全系電気盤室給気止めダンパ/A, B	3D-VS-532, 533	○	—	FCS	749-TE001B	F C S (B) 入口ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3VSA18A, B	安全補機室冷却ユニット	③			
	3安全系電気盤室排気止めダンパ/A, B	3D-VS-536, 537	○	—	FCS	749-TE009A-1	F C S再結露器 (A) 内ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3D-VS-301A, B	安全補機室給気第1隔離ダンパ	①			
	3A, 3B安全補機閉鎖器室温度	3TS-2817, 2818	○	—	FCS	749-TE009A-2	F C S再結露器 (A) 内ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3D-VS-302A, B	安全補機室給気第2隔離ダンパ	①			
	3A, 3B制御用空気圧縮機室結露ファン	○	○	—	FCS	749-TE009B-1	F C S再結露器 (B) 内ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3D-VS-303A, B	安全補機室排気第1隔離ダンパ	①			
	3制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2771, 2772, 2773, 2774	○	—	FCS	749-TE009B-2	F C S再結露器 (B) 内ガス温度検出器	③	換気空調設備系統	3D-VS-304A, B	安全補機室排気第2隔離ダンパ	①			
	3制御用空気圧縮機室排気ダンパ/A, B	3D-VS-431A, B	○	—	FDW	821-F052A	F D W第二隔離弁 (A)	③	換気空調設備系統	3D-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	①			
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	○	○	—	FDW	821-F052B	F D W第二隔離弁 (B)	③	換気空調設備系統	3VSG2A, B	原子炉建屋給気ガラリ	③			
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2)	3TS-2741, 2742, 2743, 2744	○	—	FFC	F31	使用済燃料プール	①	換気空調設備系統	3VSA6A, B	安全補機閉鎖器室給気ユニット	③			
	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパ/A, B	3D-VS-411A, B	○	—	FFC	641-A001A	スキマージタンク	①	換気空調設備系統						
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	○	○	—	FFC	641-A001B	スキマージタンク	①	換気空調設備系統						
	3A, 3Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714	○	—	FFC	641-B001A	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (A)	①	換気空調設備系統						
	3ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2	3D-VS-401A, B, 403A, B	○	—	FFC	641-B001B	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (B)	①	換気空調設備系統						
	3A, 3B安全補機室冷却ファン	○	○	—	FFC	641-D006A	プール浄化水戻りディフューザ	①	換気空調設備系統						
	3A, 3B安全補機室温度(1), (2)	3TS-2680, 2681, 2682, 2683	○	—	FFC	641-D009B	プール浄化水戻りディフューザ	①	換気空調設備系統						
	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン	○	○	—	FFC	641-F013	F P Cろ過塩素装置出口弁	④							
	3A, 3Bほう酸ポンプ室温度調節計	3TS-2601, 2611	○	—											
	3ほう酸タンク室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2602, 2603, 2612, 2613	○	—											
	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン	3VSP9A, B	○	—											
	アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱ユニット	3VSH1A, B	×	①											
	3A, 3Bアニュラス排気ダンパ	3D-VS-101A, B	○	—											

\*1 評価対象外とした理由  
 ①従来により機能を喪失しない  
 ②FCV内耐震度仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

\*1 評価対象外とした理由  
 ①動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ②原子炉格納容器内耐震度仕様の設備  
 ③従来により機能を喪失しない  
 ④他の設備で代替できる設備



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/9)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由**			
冷水系	3号機用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止弁	3F-CB-032, 033	○	—	HNCW	F24-F102	HNCW供給ライン第二隔離弁	④	関連設備	3NE41A, B, 3NE42A, B, 3NE43A, B, 3NE44A, B	出力領域検出器	②			
	3号機種監視監視室用ユニット給水入口、出口格納容器隔離弁	3F-CB-452, 457	×	①	HNCW	F24-F107	HNCW戻りライン第一隔離弁	②		関連設備	3NE31, 32	中性子源領域検出器	②		
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ現場操作箱	3LB-103, 104, 105, 106	○	—	HPCS	E22-D010	高圧炉心スプレイ系ストレーナ	①			関連設備	3RE-91A, 92A	格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ）	②	
3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器隔離弁①	3F-DP-001A, B	×	②	HPCS	E22-dP006	HPCSノズル差圧伝送器	③	関連設備	3RE-91B, 92B			格納容器高レンジエリアモニタ（高レンジ）	②		
3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器隔離弁②	3F-DP-002A, B	×	①	HPCS	E22-F010	HPCS S/C側試験用調整弁	③		—	—		炉内構造物一式	③		
3A, 3B格納容器水車バージ給気ライン格納容器隔離弁	3F-BC-304A, B	×	①	HPCS	E22-F021	HPCS注入ライン試験可能逆止弁均圧弁	②		—	—	手動弁一式	③			
格納容器減圧装置及び水車制御設備系	3A, 3B格納容器水車バージ給気ライン格納容器隔離弁①	3F-BC-304A, B	×	①	HPCS	E22-F003B	HPCSポンプ出口流量実測器	③	—	—	逆止弁一式	③			
	3A, 3B格納容器水車バージ給気ライン格納容器隔離弁②	3F-BC-305A, B	×	①	HPCS	E22-F1001	HPCSポンプ入口圧力	③	—	—	配管一式	③			
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器隔離弁①	3F-EM-001	×	②	HPCS	E22-F1004	HPCSポンプ出口圧力	③							
放射線監視設備 空気サンプルリング系	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器隔離弁②	3F-EM-002	×	①	HPCS	E22-F1001	HPCSポンプ入口圧力	③							
	3格納容器サンプル戻りライン格納容器隔離弁	3F-EM-013	×	①	HPCS	E22-F1004	HPCSポンプ出口圧力	③							
電気盤	3主盤（原子炉盤）	3MCD	○	—	HPCS	E22-PT001A	HPCSポンプ入口圧力伝送器	③	*1 評価対象外とした理由 ①動作機能の喪失により安全機能に影響しない ②炉心内耐環境仕様の設備 ③溢水により機能を喪失しない ④その他の設備で代替できる設備						
	3原子炉補助盤	3MAB	○	—	HPCSOG	R44-A001	清水排気タンク	①							
	3原子炉安全保護計装盤Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ	3RPR-Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ	○	—	HPCSOG	R44-A102	機油前補給タンク	①							
	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤	3RPL-A, B, C, D	○	—	HPCSOG	R44-A200	軽油タンク（G）	①							
	3安全保護シャッタンス盤AG1, AG2, BG1, BG2	3SPS-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG	R44-A201	燃料デリタンク	①							
	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4フレンジ分電盤	3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	HPCSOG	R44-A300	空気だめ（自動）	①							
	3原子炉トランプ遮断装置	3RTS	○	—	HPCSOG	R44-B001	清水冷却器	①							
	3A, 3Bドロップ盤	3RCP-A-DRP, 3RCP-B-DRP	○	—	HPCSOG	R44-B003	機潤付空気冷却器	①							
	3A, 3B直流き電盤	3RMP-A, B	○	—	HPCSOG	R44-B100	機潤油冷却器	①							
	3A, 3B直流分電盤	3RFP-A, B	○	—	HPCSOG	R44-B102	発電機軸受機潤油冷却器	①							
	3A, 3B充電電盤	3RCP-A, B	○	—	HPCSOG	R44-B100	機潤付機潤油フィルタ	①							
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルラックスイッチボックス	3MC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG	R44-D200	燃料移送ポンプ入口ストレーナ	①							
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ	3PC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG	R44-D201	HPCS D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ	①							
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントロールセンタ	3RCC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG	R44-D202-1	燃料油フィルタ-1	①							
	3A, 3B, 3C, 3D計装用電源盤(1)~(3)	31BC-A, B, C, D	○	—	HPCSOG	R44-D202-2	燃料油フィルタ-2	①							
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤	31PD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	HPCSOG	R44-D300	始動用空気Y型ストレーナ	①							
	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電源切替盤	31SP-A, B, C, D	○	—	HPCSOG	R44-D301	始動用空気Y型ストレーナ	①							
	3所内盤	3R5B	○	—	HPCSOG	R44-dPS112	機潤付機潤油フィルタ差圧	③							
	3AC, 3BC計装用後備分電盤	31BD-A, B	○	—											
	3事故時放射線監視盤	3FRMS-Ⅲ, Ⅳ	○	—											
	計器	3出力領域中性子束	3N-41, 42, 43, 44	×	②										



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (10/24)					
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*		
計器	3号中性線継電機中性子束	3N-31.32	×	②	HPCS06	R44-0FS210	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③		
	3号新容器高レベルモニタ(低レベル)・(高レベル)	3RE-91A, 91B, 92A, 92B	×	②	HPCS06	R44-G200	フレキシブルチューブ	①		
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル機		○	—	HPCS06	R44-L15050	清水貯留タンク水位指示計(接点付)	③		
	3A, 3Bディーゼル発電機		○	—	HPCS06	R44-LS257	シリンダー脱氷スイッチ	③		
	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンタ	3GOC-A, B	○	—	HPCS06	R44-PI052	機関付清水ポンプ出口圧力	③		
	3A, 3Bディーゼル発電機制御盤	3GOC-A, B	○	—	HPCS06	R44-PI102	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		
スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェールポジションとなる空気作動弁に安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない(動作要求のない原子炉格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む)。 ②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した前継継電機であるため機能喪失しない。又は、溢水事故が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③タンク、熱交換器、逆止弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。					HPCS06	R44-PI202	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③		
					HPCS06	R44-PI200	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		
<溢水影響評価対象外の注記> *1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対称設備を併用するために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失時は「—」として溢水影響評価の対象外とした。					HPCS06	R44-PI211	機関入口燃料油圧力指示計	③		
					HPCS06	R44-PI256	機関入口脱氷圧力指示計	③		
*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内前継継電機様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					HPCS06	R44-PI510F	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計(接点付)	③		
					HPCS06	R44-PI5113	機関入口潤滑油圧力	③		
*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内前継継電機様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					HPCS06	R44-PI3253	空気だめ圧力(自動)指示計(接点付)	③		
					HPCS06	R44-PS260	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③		
*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内前継継電機様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					HPCS06	R44-PS262	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③		
					HPCS06	R44-PS250	空気だめ圧力(自動)スイッチ	③		
*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内前継継電機様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					HPCS06	R44-PS251	空気だめ圧力(自動)スイッチ	③		
					HPCS06	R44-TE301H	HPCSD/G固定子巻線温度(U相)検出器	③		
*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内前継継電機様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					HPCS06	R44-TE302H	HPCSD/G固定子巻線温度(V相)検出器	③		
					HPCS06	R44-TE303H	HPCSD/G固定子巻線温度(W相)検出器	③		
*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内前継継電機様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					HPCS06	R44-TE304H	HPCSD/G固定子巻線温度(U相)検出器	③		
					HPCS06	R44-TE305H	HPCSD/G固定子巻線温度(V相)検出器	③		
*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内前継継電機様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					HPCS06	R44-TE306H	HPCSD/G固定子巻線温度(W相)検出器	③		
					HPCS06	R44-TE307H	HPCSD/G固定子巻線温度(U相子機)検出器	③		
*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内前継継電機様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					HPCS06	R44-TE308H	HPCSD/G固定子巻線温度(V相子機)検出器	③		
					HPCS06	R44-TE309H	HPCSD/G固定子巻線温度(W相子機)検出器	③		
*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内前継継電機様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					HPCS06	R44-TE341H	HPCSD/G反直結側軸受温度検出器	③		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由			
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (11/24)													
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>		
1次冷却材系	4原子炉容器		×	②	HPGSDG	R44-TE342H	H P C S D / G 直結側軸受温度検出器	①										
	4A, 4B, 4C, 4D 燃焼発生器		×	③	HPGSDG	R44-TI051	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③										
	4A, 4B, 4C, 4D-1次冷却材ポンプ		×	①	HPGSDG	R44-TI103	機関出口潤滑油温度指示計	③										
	4加圧器		×	③	HPGSDG	R44-TI3054	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	③										
	4A, 4B, 4C加圧器安全弁	4V-RC-055, 056, 057	×	②	HPGSDG	R44-TI5111	機関潤滑油温度	③										
	4A, 4B加圧器送がし弁	4PCV-452A, B	×	②	HPGSDG	R44-TIS343H	H P C S D / G 直結側軸受温度指示計（接点付）	③										
	4A, 4B加圧器送がし弁前弁	4V-RC-054A, B	×	①	HPGSDG	R44-TIS344R	H P C S D / G 直結側軸受温度指示計（接点付）	③										
	4加圧器送がしタンクガス分岐ライン格納装置第1隔離弁	4V-RC-077	×	②	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	4加圧器送がしタンクガス分岐ライン格納装置第2隔離弁	4V-RC-078	×	①	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	4加圧器送がしタンク置換供給ライン格納装置隔離弁	4V-RC-084	×	①	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	4格納容器内補給水供給ライン格納装置隔離弁	4V-RC-095	×	①	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	4A, 4B加圧器スプレイベン	4PCV-451A, B	×	①	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	4-1次冷却材圧力	4PT-②0, 430	×	②	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	4加圧器水位	4LT-③1, 452, 453, 454	×	②	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	4A, B, C, D 4-1次冷却材高置側・低置側流量（正域）	4TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445	×	②	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	4A, B, C, D 4-1次冷却材高置側・低置側流量（負域）	4TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	②	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	4加圧器圧力	4PT-⑤1, 452, 453, 454	×	②	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	4A, B, C, D 4-1次冷却材流量	4PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	×	②	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	1次冷却材ポンプ回転数	4TE-110A, 420A, 430A, 440A	×	②	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
	化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ		○	—	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③									
		4A, 4B, 4C充てんポンプ		○	—	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③									
		4体積制御タンク		×	③	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③									
		4再生熱交換器		×	③	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③									
4A, 4Bほう酸タンク			×	③	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
4ほう酸フィルタ			×	③	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
4射水冷却器			×	③	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
4A, 4B射水圧入フィルタ			×	③	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
4射水ストレーナ			×	③	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
4体積制御タンク出口第1止め弁		4LCV-121B	○	—	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
4体積制御タンク出口第2止め弁		4LCV-121C	○	—	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										
4緊急ほう酸注入ライン補給弁		4V-CI-573	○	—	HPGSDG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③										

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内前環境仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (12/24)								
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方		系統	機器番号	設備	理由※1					
化学体積制御系	4号でんポンプ入口燃料貯蔵用本ピット副 給給弁A	4LCV-121D, E	○	—		HVAC	V10-D204	D/C-M/C C 2A室非常用排気隔離ダンパ	②					
	4号でんライン格納容器隔離弁	4V-CI-137	○	—		HVAC	V10-F001A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	①					
	4号でんライン止め弁	4V-CI-155	○	—		HVAC	V10-F001A	原子炉排気隔離弁(A)	②					
	4号でんライン流量制御弁	4PCV-138	×	①		HVAC	V10-F001B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	②					
	4-1次冷却材ポンプ射水圧入ライン流量制 御弁	4PCV-140	×	①		HVAC	V10-F001B	原子炉排気隔離弁(B)	③					
	4抽出ライン第1止め弁	4LV-451	×	②		HVAC	V10-F002A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	①					
	4抽出ライン第2止め弁	4LV-452	×	②		HVAC	V10-F002A	原子炉排気隔離弁(A)	②					
	4A, 4B, 4C抽出オリフィス出口格納容器第1 隔離弁	4V-CI-004A, B, C	×	②		HVAC	V10-F002B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	①					
	3加圧器補助スプレイ弁	4V-CI-149	×	②		HVAC	V10-F002B	原子炉排気隔離弁(B)	②					
	4余剰抽出ライン第1止め弁	4V-CI-301	×	②		HVAC	V10-F022A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	③					
	4余剰抽出ライン第2止め弁	4V-CI-302	×	②		HVAC	V10-F022B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	③					
	4抽出ライン格納容器第2隔離弁	4V-CI-007	×	①		HVAC	V10-F022B	原子炉排気隔離弁(B)	③					
	4号でんライン流量制御弁前止め弁	4V-CI-151	×	①		HVAC	V10-F030A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	②					
	4B-4号でんライン止め弁	4V-CI-163	×	①		HVAC	V10-F030B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	②					
	4-1次冷却材ポンプ射水圧入ライン流量制 御弁前止め弁	4V-CI-177	×	①		HVAC	V10-P15015A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ圧力	③					
	4A, 4B, 4C, 4D-1次冷却材ポンプ射水圧入ラ イン格納容器隔離弁	4V-CI-196A, B, C, D	×	①		HVAC	V10-P15015B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ圧力	③					
	4-1次冷却材ポンプ射水戻りライン格納容 器第1隔離弁	4V-CI-310	×	②		HVAC	V10-P15016A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ圧力	③					
	4-1次冷却材ポンプ射水戻りライン格納容 器第2隔離弁	4V-CI-312	○	—		HVAC	V10-P15016B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ圧力	③					
	4A, 4B, 4C, 4D-1次冷却材ポンプ射水戻りラ イン止め弁	4V-CI-208A, B, C, D	×	②		HVAC	V11-B001	原子炉補機(A)室給気冷却コイル	①					
	4A, 4Bほう線タンク水位	4LT-206, 208	○	—		HVAC	V11-B002	原子炉補機(A)室給気加熱コイル	①					
	4号でんポンプ速度制御装置	4CS	○	—		HVAC	V11-D001	原子炉補機(A)室給気バッグニアフィルタ	①					
	4号でんポンプ速度制御補助装置	4CSAC	○	—		HVAC	V11-D002	D/G(A)室給気バッグニアフィルタ	①					
	4A, 4B, 4C1, 4C2号でんポンプ現場操作箱	4LB-5, 6, 7, 8	○	—		HVAC	V11-dP1001	原子炉補機(A)室給気バッグニアフィルタ差圧指示計	②					
	4A, 4Bほう線ポンプ現場操作箱	4LB-9, 10	○	—		HVAC	V11-dP1003	D/G(A)室給気バッグニアフィルタ差圧指示計	②					
4A, 4B高圧圧入ポンプ		○	—		HVAC	V11-3001	原子炉補機(A)室給気ルーバ	①						
4A, 4B, 4C, 4D蓄圧タンク		×	②		HVAC	V11-3002	原子炉補機(A)室給気ルーバ	①						
4A, 4B高圧圧入ポンプミニマムフローライ ン第1止め弁	4V-SI-015A, B	○	—		HVAC	V11-3003	D/G(A)室給気ルーバ	①						
4A, 4B高圧圧入ポンプミニマムフローライ ン第2止め弁	4V-SI-016A, B	○	—		HVAC	V11-3004	D/G(A)室給気ルーバ	①						
4A, 4B高圧圧入ポンプ格納容器再循環ポン プ吸入格納容器隔離弁	4V-SI-093A, B	○	—											
4A, 4B高圧圧入ポンプ燃料貯蔵用本ピット 吸入弁	4V-SI-092A, B	○	—											
4A, 4B余剰除去ポンプRW5ピット及び再 循環ポンプ吸入弁	4V-SI-090A, B	○	—											
4A, 4B高圧圧入ライン格納容器隔離弁	4V-SI-062A, B	×	①											
4A, 4B高圧圧入ポンプ出口連絡弁	4V-SI-060A, B	×	②											
4A, 4B高圧圧入ポンプ高圧戻りライン止 め弁	4V-SI-067A, B	×	②											

※1 評価対象外とした理由  
 ①図本により機能を喪失しない  
 ②PCV内耐環境仕様を設置  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (13/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
安全注入系	4A, 4B, 4C, 4D 蓄圧タンク出口弁	4V-51-132A, B, C, D	×	②	HVAC	V12-B001	原子炉補機 (B) 凝結気冷却コイル	①			
	4格納容器再循環タンク水位(監視)・(広域)	4LT-070, 071, 072, 073	×	②	HVAC	V12-B002	原子炉補機 (B) 凝結気加熱コイル	①			
	4A, 4B 高圧注入ポンプ復操操作箱	4LB-12, 13	○	—	HVAC	V12-D001	原子炉補機 (B) 凝結気バッグエアフィルタ	①			
	4燃料取替用水ピット水位 I, II, III, IV	4LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—	HVAC	V12-D002	D/G (B) 凝結気バッグエアフィルタ	①			
	4A 高圧注入流量 (I), 4B 高圧注入流量 (II)	4PT-062, 063	○	—	HVAC	V12-dP1001	原子炉補機 (B) 凝結気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
余熱除去系	4A, 4B 余熱除去ポンプ		○	—	HVAC	V12-dP1003	D/G (B) 凝結気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
	4A, 4B 余熱除去ポンプミニマムフローライン止め弁	4PCV-601, 611	○	—	HVAC	V12-3001	原子炉補機 (B) 凝結気ルーバ	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ出口流量設定弁	4PCV-602, 613	×	①	HVAC	V12-3002	原子炉補機 (B) 凝結気ルーバ	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプバイパス流量制御弁	4PCV-604, 614	×	①	HVAC	V12-3003	D/G (B) 凝結気ルーバ	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプR/Cルーバ流量制御弁 I 止め弁	4PCV-420, 430	×	②	HVAC	V12-3004A	D/G (B) 凝結気ルーバ (A)	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	4V-02-002A, B	×	②	HVAC	V12-3004B	D/G (B) 凝結気ルーバ (B)	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ出口格納容器隔離弁	4V-02-043A, B	×	①	HVAC	V13-B001A	原子炉補機 (HPCS) 凝結気加熱コイル (A)	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ出口連絡弁	4V-02-047A, B	×	②	HVAC	V13-B001B	原子炉補機 (HPCS) 凝結気加熱コイル (B)	①			
	4B, 4C ループ高圧側低圧注入ライン止め弁	4V-02-048A, B	×	②	HVAC	V13-D001	原子炉補機 (HPCS) 凝結気バッグエアフィルタ	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ出口流量	4PT-401, 611	○	—	HVAC	V13-D002	D/G (HPCS) 凝結気バッグエアフィルタ	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ復操操作箱	4LB-14, 15	○	—	HVAC	V13-dP1001	原子炉補機 (HPCS) 凝結気バッグエアフィルタ差圧	②			
	4A, 4B 格納容器スプレイポンプ		○	—	HVAC	V13-dP1003	D/G (HPCS) 凝結気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
	格納容器スプレイ系	4A, 4B 格納容器スプレイ冷却器		×	②	HVAC	V13-3001	原子炉補機 (HPCS) 凝結気ルーバ	①		
4よう廃除去薬品タンク			×	②	HVAC	V13-3002	原子炉補機 (HPCS) 凝結気ルーバ	①			
4-FH調整剤タンク			×	②	HVAC	V13-3003	D/G (HPCS) 凝結気ルーバ	①			
4A, 4B よう廃除去薬品注入ライン閉1止め弁		4V-CF-054A, B	○	—	HVAC	V13-3004	D/G (HPCS) 凝結気ルーバ	①			
4A, 4B よう廃除去薬品注入ライン閉2止め弁		4V-CF-056A, B	○	—	HVAC	V30-B001A	中央制御室凝結気冷却コイル (A)	①			
4A, 4B 格納容器スプレイポンプ燃料取替用 水ピット閉入口止め弁		4V-CF-001A, B	○	—	HVAC	V30-B001B	中央制御室凝結気冷却コイル (B)	①			
4A, 4B 格納容器スプレイポンプ再循環タンク 閉入口格納容器隔離弁		4V-CF-003A, B	○	—	HVAC	V30-B001C	中央制御室凝結気冷却コイル (C)	①			
4A, 4B 格納容器スプレイ冷却器出口格納容器 隔離弁		4V-CF-024A, B	○	—	HVAC	V30-B001D	中央制御室凝結気冷却コイル (D)	①			
4格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV		4PT-050, 051, 052, 053	○	—	HVAC	V30-B001E	中央制御室凝結気冷却コイル (E)	①			
4A, 4B 格納容器スプレイポンプ復操操作箱		4LB-16, 19	○	—	HVAC	V30-B001F	中央制御室凝結気冷却コイル (F)	①			
主蒸気及び 主給水系、 補助給水系	4タービン駆動補助給水ポンプ		○	—							
	4A, 4B 電動補助給水ポンプ		○	—							
	4復水ピット		×	②							
	4タービン駆動補助給水ポンプ駆動弁A, B	4V-02-570A, B	○	—							
	4A, 4B, 4C, 4D 補助給水隔離弁	4V-F9-574A, B, C, D	×	④							
4A, 4B, 4C, 4D 電動補助給水ライン流量隔離弁	4V-F9-527A, B, C, D	×	④								

※1 評価対象外とした理由  
 ①根本により機能を喪失しない  
 ②内容相違は仕様上の設備  
 ③動作機種の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (4/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (14/24)										
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
主蒸気及び 主給水系、 補助給水系	4復水ビッド電動補助給水ポンプ阻止止め弁	4V-PP-580	×	①	HVAC	V30-D002A	中央制御室給気加熱コイル (A)	①	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (14/24)	HVAC	V30-D002A	中央制御室給気加熱コイル (A)	①		
	4復水ビッドタービン電動補助給水ポンプ阻止止め弁	4V-PP-581	×	①	HVAC	V30-D002B	中央制御室給気加熱コイル (B)	①		HVAC	V30-D002B	中央制御室給気加熱コイル (B)	①		
	4A, 4B, 4C, 4Dタービン補助給水ライン流量調整弁	4BVC-371E, 372E, 373E, 374E	×	①	HVAC	V30-D002C	中央制御室給気加熱コイル (C)	①		HVAC	V30-D002C	中央制御室給気加熱コイル (C)	①		
	4A, 4Bタービン電動補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止め弁	4V-ME-575A, B	×	①	HVAC	V30-D002D	中央制御室給気加熱コイル (D)	①		HVAC	V30-D002D	中央制御室給気加熱コイル (D)	①		
	4A, 4B, 4C, 4D主給水隔離弁	4V-PP-520A, B, C, D	×	②	HVAC	V30-D002E	中央制御室給気加熱コイル (E)	①		HVAC	V30-D002E	中央制御室給気加熱コイル (E)	①		
	4復水ビッド水位計, IV	4LT-3760, 3761	○	—	HVAC	V30-D002F	中央制御室給気加熱コイル (F)	①		HVAC	V30-D002F	中央制御室給気加熱コイル (F)	①		
	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助給水流量調整弁	4PT-3716, 3720, 3726, 3736	○	—	HVAC	V30-D002G	中央制御室給気加熱コイル (G)	①		HVAC	V30-D002G	中央制御室給気加熱コイル (G)	①		
	4A, B, C, D蒸気発生器広域水位計	4LT-464, 474, 484, 494	×	②	HVAC	V30-D002H	中央制御室給気加熱コイル (H)	①		HVAC	V30-D002H	中央制御室給気加熱コイル (H)	①		
	4A, B, C, D蒸気発生器狭域水位計	4LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②	HVAC	V30-D001	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①		HVAC	V30-D001	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①		
	4タービン電動補助給水ポンプ駆動蒸気A, B	4TDF-A, B	○	—	HVAC	V30-D002A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A)	①		HVAC	V30-D002A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A)	①		
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁	4V-ME-533A, B, C, D	○	—	HVAC	V30-D002B	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B)	①		HVAC	V30-D002B	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B)	①		
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁バイパス弁	4BTV-3615, 3625, 3635, 3645	×	①	HVAC	V30-D003	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ	①		HVAC	V30-D003	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ	①		
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気過がし弁	4PCV-3610, 3620, 3630, 3640	○	—	HVAC	V30-D004A	MC R給気バッグフィルタ (A)	①		HVAC	V30-D004A	MC R給気バッグフィルタ (A)	①		
	4A, 4B, 4C, 4D-1主蒸気安全弁	4V-ME-526A, B, C, D	×	①	HVAC	V30-D004B	MC R給気バッグフィルタ (B)	①		HVAC	V30-D004B	MC R給気バッグフィルタ (B)	①		
	4A, 4B, 4C, 4D-2主蒸気安全弁	4V-ME-527A, B, C, D	×	①	HVAC	V30-D005A	中央制御室加温器 (A)	②		HVAC	V30-D005A	中央制御室加温器 (A)	②		
	4A, 4B, 4C, 4D-3主蒸気安全弁	4V-ME-528A, B, C, D	×	①	HVAC	V30-D005B	中央制御室加温器 (B)	②		HVAC	V30-D005B	中央制御室加温器 (B)	②		
	4A, 4B, 4C, 4D-4主蒸気安全弁	4V-ME-529A, B, C, D	×	①	HVAC	V30-D005C	中央制御室加温器 (C)	②		HVAC	V30-D005C	中央制御室加温器 (C)	②		
	4A, 4B, 4C, 4D-5主蒸気安全弁	4V-ME-530A, B, C, D	×	①	HVAC	V30-D005D	中央制御室加温器 (D)	②		HVAC	V30-D005D	中央制御室加温器 (D)	②		
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止め弁	4V-ME-545A, B, C, D	×	①	HVAC	V30-D1001A	中央制御室給気バッグエアフィルタ (A) 差圧指示計	③		HVAC	V30-dP1001A	中央制御室給気バッグエアフィルタ (A) 差圧指示計	③		
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気過がし弁元弁	4V-ME-523A, B, C, D	×	①	HVAC	V30-dP1001B	中央制御室給気バッグエアフィルタ (B) 差圧指示計	③		HVAC	V30-dP1001B	中央制御室給気バッグエアフィルタ (B) 差圧指示計	③		
	I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力	4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—	HVAC	V30-dP1005	中央制御室再循環中性化エアフィルタ差圧指示計	③		HVAC	V30-dP1005	中央制御室再循環中性化エアフィルタ差圧指示計	③		
	4A, 4B, 4C, 4D原子伊補機冷却水ポンプ		○	—	HVAC	V30-dP1006	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A) 差圧指示計	③		HVAC	V30-dP1006	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (A) 差圧指示計	③		
	4原子伊補機冷却水サージタンク		×	②	HVAC	V30-dP1007	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ差圧指示計	③		HVAC	V30-dP1007	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ差圧指示計	③		
	4A, 4B原子伊補機冷却水冷却器		×	②	HVAC	V30-dP1008	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B) 差圧指示計	③		HVAC	V30-dP1008	中央制御室再循環高性能エアフィルタ (B) 差圧指示計	③		
4A, 4B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁	4V-CC-178A, B	○	—	HVAC	V30-ME7000A	中央制御室湿度度 (A) 検出器 (変換器付)	③	HVAC	V30-ME7000A	中央制御室湿度度 (A) 検出器 (変換器付)	③				
4A-C, 4B-C原子伊補機冷却水供給母管連絡弁	4V-CC-056A, B	○	—	HVAC	V30-ME7000B	中央制御室湿度度 (B) 検出器 (変換器付)	③	HVAC	V30-ME7000B	中央制御室湿度度 (B) 検出器 (変換器付)	③				
4A-C, 4B-C原子伊補機冷却水戻り母管連絡弁	4V-CC-043A, B	○	—	HVAC	V30-X001	MC R給気ルーバ	①	HVAC	V30-X001	MC R給気ルーバ	①				
4A, 4B余熱除去冷却器冷却水止め弁	4V-CC-114A, B	○	—												
4-1冷却器付ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁	4V-CC-403	○	—												
4-1冷却器付ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁	4V-CC-427	×	②												
4-1冷却器付ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁	4V-CC-429	○	—												

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②炉内循環装置の設備  
 ③動作確認の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (15/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方		系統	機器番号	設備	理由*			
原子炉補機 冷却系	4-C炉冷却ユニット・蒸気抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁	4V-CC-342	○	—		HVAC	V30-3002	MCR排気ルーバ	①			
	4-C炉冷却ユニット・蒸気抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁	4V-CC-345	○	—		HVAC	V31-0001	計測制御電源 (A) 室給気冷却コイル	①			
	4A, 4B, 4C格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁	4V-CC-199A, B	○	—		HVAC	V31-0002	計測制御電源 (A) 室給気加熱コイル	①			
	4A, 4B, 4C, 4D格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁	4V-CC-199A, B, C, D	○	—		HVAC	V31-0001	計測制御電源 (A) 室給気バグフィルタ	①			
	4D格納容器再循環冷却水供給ライン第1,2止め弁 (4号機室)	4V-CC-005, 006	○	—		HVAC	V31-dP1001	計測制御電源 (A) 室給気バグエアフィルタ差圧指示計	③			
	4原子炉補機冷却水サージタンク水位置、D1	4L-T-1200, 1201	○	—		HVAC	V31-dP1001	計測制御電源 (A) 室給気バグエアフィルタ差圧指示計	③			
	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ機操作盤	4LB-20, 21, 22, 23	○	—		HVAC	V31-3001	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①			
	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ機操作盤		○	—		HVAC	V31-3002	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①			
	4D原子炉補機冷却水ポンプ機停止弁	4D-59-01A, B, C, D	×*	③		HVAC	V32-0001	計測制御電源 (B) 室給気冷却コイル	①			
	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ機停止弁	4D-59-02A, B, C, D	×	③		HVAC	V32-0002	計測制御電源 (B) 室給気加熱コイル	①			
	4D原子炉補機冷却水ポンプ機停止弁	4V-59-570A, B	○	—		HVAC	V32-0001	計測制御電源 (B) 室給気バグフィルタ	①			
	4A, 4B1, 4B2, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ機操作盤	4LB-26, 27, 28, 29	○	—		HVAC	V32-dP1001	計測制御電源 (B) 室給気バグエアフィルタ差圧指示計	③			
	4A, 4B使用濃燃料ピットポンプ		○	—		HVAC	V32-3001	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①			
	4A, 4B使用濃燃料ピット		×*	③		HVAC	V32-3002	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①			
	4A, 4B, 4C使用濃燃料ピット冷却器		×*	③		IA/MP/D	P52-F111	I A第二隔離弁	④			
4A, 4B使用濃燃料ピット脱塩塔		×	③		IA/MP/D	P54-F015	H P I N非常用第二隔離弁	④				
4A, 4B使用濃燃料ピットフォルタ		×	③		IA/MP/D	P54-F068A	H P I N非常用第二隔離弁 (A)	④				
4A, 4B使用濃燃料ピットポンプ機操作盤	4LB-24, 25	○	—		IA/MP/D	P54-F068B	H P I N非常用第二隔離弁 (B)	④				
4A, 4B燃料貯蔵用水ポンプ		○	—		LPCS	E21-D001	低圧炉心スプレイ系ストレーナ	①				
4燃料貯蔵用水ピット		×*	③		LPCS	E21-F006	L P C S試験用調整弁	③				
4A, 4B燃料貯蔵用水ポンプ機操作盤	4LB-33, 34	○	—		LPCS	E21-F016	L P C S注入ライン試験可能逆止弁	③				
4A, 4B, 4C, 4Dブローダウンライン格納容器隔離弁	4V-39-101A, B, C, D	×	①		LPCS	E21-F1001	L P C Sポンプ入口圧力	③				
4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器燃料採取ライン格納容器隔離弁	4V-39-016A, B, C, D	×	①		LPCS	E21-F1004	L P C Sポンプ出口圧力	③				
4加圧器底部燃料採取ライン格納容器第1隔離弁	4V-52-503	×	②		MS	B21	主蒸気過し安全弁排気管 T-ークエンチャ (A)	①				
4加圧器底部燃料採取ライン格納容器第1隔離弁	4V-52-506	×	②		MS	B21	主蒸気過し安全弁排気管 T-ークエンチャ (B)	①				
4Bループ蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第1隔離弁	4V-52-522	×	②		MS	B21	主蒸気過し安全弁排気管 T-ークエンチャ (C)	①				
4Bループ蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第2隔離弁	4V-52-507	×	①		MS	B21	主蒸気過し安全弁排気管 T-ークエンチャ (D)	①				
4Bループ蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第1隔離弁	4V-52-525	×	②									
4Bループ蒸気発生器燃料採取ライン格納容器第2隔離弁	4V-52-526	×	①									
4A, 4B, 4C, 4D蒸気タンク燃料採取ライン格納容器第1隔離弁	4V-52-593A, B, C, D	×	②									
4蒸気タンク燃料採取ライン格納容器第2隔離弁	4V-52-594	×	①									
4-1次冷却材燃料採取ライン格納容器隔離弁	4V-52-574	×	①									
4A, 4B制御用空気圧縮機		○	—									
4A, 4B制御用空気乾燥器	4IARIA, B	×*	③									

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②炉内前扉責任線の設備  
 ③動作機密の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (16/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
制御用空気系	4A、4B制御用空気だめ	4IAT1A, B	×	③	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (E)	①			
	4A、4B制御用空気主蒸気逃がし弁等排気ライン止め弁	4V-1A-505A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (F)	①			
	4A-C、4B-C制御用空気母管遮断弁	4V-1A-501A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (G)	①			
	4A、4B制御用空気格納容器隔離弁	4V-1A-509A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (H)	①			
	4A、4B格納容器内側副ドラフス制御用空気配管遮断止め弁	4V-1A-510A, B	×	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (I)	①			
	4A、4B制御用空気供給母管圧力	4PT-800, 1810	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (J)	①			
	4A、4B制御用空気圧縮機制御盤	4IAC-A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (K)	①			
	4格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第1隔離弁	4V-RI-07B	×	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (L)	①			
	4格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第2隔離弁	4V-RI-07B	×	①	MS	B21-M001A	主蒸気逃し安全弁 (A) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	4V-RI-083	×	②	MS	B21-M001B	主蒸気逃し安全弁 (B) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
廃棄物処理系	4格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	4V-RI-084	×	①	MS	B21-M001C	主蒸気逃し安全弁 (C) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却材ドレンタンク空側供給ライン格納容器第1隔離弁	4V-RI-094	×	①	MS	B21-M001D	主蒸気逃し安全弁 (D) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第1隔離弁	4V-RI-042	×	②	MS	B21-M001E	主蒸気逃し安全弁 (E) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第2隔離弁	4V-RI-043	×	①	MS	B21-M001F	主蒸気逃し安全弁 (F) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器サンプポンプ出口格納容器第1隔離弁	4V-RI-143	×	②	MS	B21-M001G	主蒸気逃し安全弁 (G) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器サンプポンプ出口格納容器第2隔離弁	4V-RI-144	×	①	MS	B21-M001H	主蒸気逃し安全弁 (H) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
	4雨水水ライン格納容器隔離弁	4V-PI-502	×	①	MS	B21-M001I	主蒸気逃し安全弁 (I) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
	4炉内燃料装置ガススペースライン格納容器第1隔離弁	4V-1G-009	×	②	MS	B21-M001J	主蒸気逃し安全弁 (J) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
	4炉内燃料装置ガススペースライン格納容器第2隔離弁	4V-1G-008	×	①	MS	B21-M001K	主蒸気逃し安全弁 (K) 逃し弁機能用アキュムレータ	①			
	—	手動弁 一式	—	×	③	MS	B21-M001L	主蒸気逃し安全弁 (L) 逃し弁機能用アキュムレータ	①		
—	遮断弁 一式	—	×	③	MS	B21-M002A	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (A) ADS	①			
換気空調系	4換気空調盤	4VB	○	—	MS	B21-M002C	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (C) ADS	①			
	4A、4B中央制御室空調ファン	—	○	—	MS	B21-M002E	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (E) ADS	①			
	4A、4B中央制御室循環ファン	—	○	—	MS	B21-M002H	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (H) ADS	①			
	4A、4B中央制御室非常用循環ファン	4VFR22A, B	○	—	MS	B21-M002J	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (J) ADS	①			
	4A、4B中央制御室外気取入止めダンパ	4D-VI-601A, B	×	①	MS	B21-M002L	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (L) ADS	①			
	4A、4B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	4D-VI-602A, B	○	—	MS	B21-M003A	主蒸気第一隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①			
	4A、4B中央制御室空調ファン出口ダンパ	4D-VI-603A, B	○	—	MS	B21-M003B	主蒸気第一隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①			
	4A、4B中央制御室循環ファン入口ダンパ	4D-VI-604A, B	○	—	MS	B21-A003C	主蒸気第一隔離弁 (C) 用アキュムレータ	①			
	4A、4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	6RCD-2874, 2875	○	—							
	4A、4B中央制御室循環流量調節ダンパ	6RCD-2885, 2886	○	—							
	4A、4B中央制御室大気放出流量調節ダンパ	6RCD-2887, 2888	×	①							
	4A、4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	6RCD-2889, 2890	○	—							
	4A、4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ	6RCD-2891, 2892	○	—							

※1 評価対象外とした理由  
 ①原本により機能を喪失しない  
 ②FCV内前環境仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由	
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（7/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（17/24）							
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>				
換気空調系	4号中央制御室温度(1),(2)	4TS-2908, 2909	○	—	MS	B21-A003D	主蒸気第一隔離弁(D)用アクチュエレータ	①				
	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン出口流量	4FS-2904, 2905	○	—	MS	B21-A004A	主蒸気第二隔離弁(A)用アクチュエレータ	①				
	4A, 4B中央制御室空調ファン出口流量	4FS-2910, 2911	○	—	MS	B21-A004B	主蒸気第二隔離弁(B)用アクチュエレータ	①				
	34キッチン排気第1,2隔離ダンパ	34D-V5-605, 606	×	①	MS	B21-A004C	主蒸気第二隔離弁(C)用アクチュエレータ	①				
	4A, 4B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	4FC-2874, 2875	○	—	MS	B21-A004D	主蒸気第二隔離弁(D)用アクチュエレータ	①				
	4A, 4B中央制御室循環ダンパ流量設定	4FC-2885, 2886	○	—	MS	B21-F001A	主蒸気過し安全弁(A)	②				
	4A, 4B中央制御室外気放出ダンパ流量設定	4FC-2887, 2888	×	①	MS	B21-F001B	主蒸気過し安全弁(B)	②				
	4A, 4B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定	4FC-2899, 2890	○	—	MS	B21-F001C	主蒸気過し安全弁(C)	②				
	4A, 4B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定	4FC-2891, 2892	○	—	MS	B21-F001D	主蒸気過し安全弁(D)	②				
	34A, 34B安全補機閉閉器空調ファン		○	—	MS	B21-F001E	主蒸気過し安全弁(E)	②				
	34C, 34D安全補機閉閉器空調ファン		○	—	MS	B21-F001F	主蒸気過し安全弁(F)	②				
	4安全系電気駆動給気止めダンパA, B	4D-V5-532, 533	○	—	MS	B21-F001G	主蒸気過し安全弁(G)	②				
	4安全系電気駆動排気止めダンパA, B	4D-V5-536, 537	○	—	MS	B21-F001H	主蒸気過し安全弁(H)	②				
	4A, 4B安全補機閉閉器室温度	4TS-2817, 2818	○	—	MS	B21-F001I	主蒸気過し安全弁(I)	②				
	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン		○	—	MS	B21-F001J	主蒸気過し安全弁(J)	②				
	4制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B	4D-V5-431A, B	○	—	MS	B21-F001K	主蒸気過し安全弁(K)	②				
	4制御用空気圧縮機室温度	4TS-2771, 2772, 2773, 2774	○	—	MS	B21-F001L	主蒸気過し安全弁(L)	②				
	4A, 4B電動補助給水ポンプ室給気ファン		○	—	MS	B21-F002A	主蒸気第一隔離弁(A)	②				
	4電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B	4D-V5-411A, B	○	—	MS	B21-F002B	主蒸気第一隔離弁(B)	②				
	4A, 4B電動補助給水ポンプ室温度(1),(2)	4TS-2741, 2742, 2743, 2744	○	—	MS	B21-F002C	主蒸気第一隔離弁(C)	②				
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2ディーゼル発電機室給気ファン		○	—	MS	B21-F002D	主蒸気第一隔離弁(D)	②				
	4ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2	4D-V5-401A, B, 402A, B	○	—	MS	B21-F003A	主蒸気第二隔離弁(A)	③				
	4A, 4Bディーゼル発電機室温度(1),(2),(3),(4)	4TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714	○	—	MS	B21-F003B	主蒸気第二隔離弁(B)	③				
	4A, 4B安全補機室冷却ファン		○	—	MS	B21-F003C	主蒸気第二隔離弁(C)	③				
	4A, 4B安全補機室温度(1),(2)	4TS-2690, 2691, 2695, 2691	○	—	MS	B21-F003D	主蒸気第二隔離弁(D)	③				
	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル		○	—	MS	B21-F004	主蒸気ドレンライン第一隔離弁	②				
	4A, 4Bほう酸ポンプ室温度調節弁	4TS-2601, 2611	○	—	MS	B21-F045	主蒸気第二隔離弁リークオフライン隔離弁	④				
	4ほう酸タンク室温度(1),(2),(3),(4)	4TS-2602, 2603, 2614, 2613	○	—	MS	B21-F061	事故後炉水サンプリング第一隔離弁	②				
	4A, 4Bアンモニアス空気浄化ファン	4VSPA, B	○	—	※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCV内環境仕様等の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる							
	アンモニアス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	4VSRHA, B	×	①								
	4A, 4Bアンモニアス排気ダンパ	4D-V5-101A, B	○	—								
	4A, 4Bアンモニアス戻りダンパ	4D-V5-104A, B	○	—								
	4A, 4Bアンモニアス全量排気弁	4V-V5-102A, B	○	—								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (18/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*			
換気空調系	4A、4Bアニュラス少量排気弁	4V-Y1-103A,B	○	—	MS	B21-F062	事故時炉水タンプリング第二隔離弁	①			
	4A、4Bアニュラス圧力制御弁	4PT-2522, 2542	×	①	PLR	B32-F002A	原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁	②			
	4A、4B格納容器排気ファン出口ダンパ	4D-Y1-060A,B	×	①	PLR	B32-F002B	原子炉再循環ポンプ(B) 吐出弁	②			
	4格納容器排気止めダンパ	4D-Y1-061	×	①	PLR	B32-F013	P.L.R.サンプリングライン第一隔離弁	③			
	4補助凝縮排気流量調整ダンパ	4BFD-2590	×	①	PLR	B32-F014	P.L.R.サンプリングライン第二隔離弁	③			
	4補助凝縮排気止めダンパ	4D-Y1-351	×	①	RCIC	E51-D004	原子炉隔離時冷却系ストレート	①			
	34放射線管理室排気流量調整ダンパ	34FD-2976	×	①	RCIC	E51-D005	スパーージャ	①			
	34放射線管理室排気止めダンパ	34D-Y1-626	×	①	RCIC	E51-F007	R C I Cタービン入口蒸気ライン第一隔離弁	②			
	4A、4B安全補機室排気ダンパ	4D-Y1-105A,B	○	—	RCIC	E51-F027	R C I Cタービン入口蒸気ライン破機弁	②			
	4安全補機室排気第1,2隔離ダンパ	4D-Y1-301, 302	×	①	RCIC	E51-F1001	R C I Cポンプ入口圧力指示計	③			
	4安全補機室排気第1,2隔離ダンパ	4D-Y1-303, 304	×	①	RCIC	E51-F1003	R C I Cポンプ出口圧力指示計	③			
	4アニュラス給気第1,2隔離ダンパ	4D-Y1-052, 053	×	①	RCIC	E51-F1007	R C I Cポンプ駆動用タービン入口蒸気圧力指示計	③			
	4アニュラス排気第1,2隔離ダンパ	4D-Y1-056, 059	×	①	RCIC	E51-P1009	R C I Cタービン排気圧力指示計	③			
	4格納容器給気第2隔離弁	4V-Y1-054	×	①	RCIC	E51-PT001A	R C I Cポンプ入口圧力伝送器	③			
	4格納容器給気第1隔離弁	4V-Y1-055	×	②	RCW	P42-A001A	原子炉補機冷却水サージタンク(A)	①			
	4格納容器排気第1隔離弁	4V-Y1-056	×	②	RCW	P42-A001B	原子炉補機冷却水サージタンク(B)	①			
	4格納容器排気第2隔離弁	4V-Y1-057	×	①	RCW	P42-B001A	原子炉補機冷却水系統交換器(A)	①			
	4A、4B安全補機室冷却ファン復機操作箱	4LB-82, 83	○	—	RCW	P42-B001B	原子炉補機冷却水系統交換器(B)	①			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2ディーゼル発電機室給気ファン復機操作箱	4LB-84, 85	○	—	RCW	P42-B001C	原子炉補機冷却水系統交換器(C)	①			
	4A、4B電機補給給水ポンプ室給気ファン復機操作箱	4LB-86, 87	○	—	RCW	P42-B001D	原子炉補機冷却水系統交換器(D)	①			
	4A、4B制御室空気圧縮機室給気ファン復機操作箱	4LB-88, 91	○	—	RCW	P42-F006A	R C W冷却水供給温度熱交換器(A) 側調節弁	③			
	4A、4B中央制御室換気ファン復機操作箱	4LB-95, 96	○	—	RCW	P42-F006B	R C W冷却水供給温度熱交換器(B) 側調節弁	③			
	4A、4B中央制御室空調ファン復機操作箱	4LB-101, 102	○	—	RCW	P42-F010A	R C W冷却水供給温度ポンプ(A) 側調節弁	③			
	34A, 34B, 34C, 34D安全補機室空調ファン復機操作箱	34LF-13, 14, 20, 21	○	—	RCW	P42-F010B	R C W冷却水供給温度ポンプ(B) 側調節弁	③			
	4A、4Bはり廊ポンプ室空調ファン復機操作箱	4LB-17, 18	○	—	RCW	P42-F089A	R C W常用冷却水緊急シャ断弁(A)	③			
	4A、4Bアニュラス空気浄化ファン復機操作箱	4LB-12, 23	○	—	RCW	P42-F089B	R C W常用冷却水緊急シャ断弁(B)	③			
	4A、4B中央制御室非常用換気ファン復機操作箱	4LB-87, 96	○	—	RCW	P42-F089C	R C W常用冷却水緊急シャ断弁(C)	③			
	4空調用冷水継ぎタンク			×	③						
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷凍機			○	—						
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ			○	—						
	4A、4B中央制御室空調ユニット冷水温度制御部	4TCV-2878, 2879		○	—						
	34A, 34B安全補機室空調ユニット冷水温度制御弁	34TCV-2798, 2799		○	—						
	4空調用冷水Nヘッド供給、戻りライン止め弁	4V-Q1-032, 033		○	—						
	7制御室用換気室冷却ユニット冷水入口、出口格納容器隔離弁	4V-Q1-453, 457		×	①						
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ機操作箱	4LB-103, 104, 105, 106		○	—						

※1 評価対象外とした理由  
 ①原本により機能を喪失しない  
 ②FCV内耐環境仕様設置  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由			
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (19/24)													
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>#1</sup>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>#1</sup>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>#1</sup>		
格納容器減圧及び水素制御設備系	4A、4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1設備	4V-0P-001A, B	×	②	RCW	P42-F089D	RCW常用冷却水緊急シャ断弁 (D)	③	RCW	P42-F089D	RCW常用冷却水緊急シャ断弁 (D)	③						
	4A、4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置2設備	4V-0P-002A, B	×	①	RCW	P42-F112A	RCW供給側第二隔離弁 (A)	④	RCW	P42-F112A	RCW供給側第二隔離弁 (A)	④						
	4A、4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置3設備	4V-0P-003A, B	×	①	RCW	P42-F112B	RCW供給側第一隔離弁 (B)	④	RCW	P42-F112B	RCW供給側第一隔離弁 (B)	④						
	4A、4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置4設備	4V-0P-004A, B	×	①	RCW	P42-F115A	RCW戻り側第一隔離弁 (A)	②	RCW	P42-F115A	RCW戻り側第一隔離弁 (A)	②						
放射性能監視空気サンプリング系	4格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置1設備	4V-0R-001	×	②	RCW	P42-F115B	RCW戻り側第二隔離弁 (B)	②	RCW	P42-F115B	RCW戻り側第二隔離弁 (B)	②						
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置2設備	4V-0R-002	×	①	RCW	P42-F1006A	RCWA系系統流量発信器	⑤	RCW	P42-F1006A	RCWA系系統流量発信器	⑤						
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置3設備	4V-0R-013	×	①	RCW	P42-F1006B	RCWB系系統流量発信器	⑤	RCW	P42-F1006B	RCWB系系統流量発信器	⑤						
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置4設備	4V-0R-013	×	①	RCW	P42-F1006B	RCWB系系統流量発信器	⑤	RCW	P42-F1006B	RCWB系系統流量発信器	⑤						
電気盤	4主盤 (原子炉盤)	4MCR	○	—	RCW	P42-F1014A	RCWA系常用系入口流量発信器	⑤	RCW	P42-F1014A	RCWA系常用系入口流量発信器	⑤						
	4原子炉補助盤	4RAR	○	—	RCW	P42-F1014B	RCWB系常用系入口流量発信器	⑤	RCW	P42-F1014B	RCWB系常用系入口流量発信器	⑤						
	4原子炉安全保護科装置 I, II, III, IV	4RPF-I, II, III, IV	○	—	RCW	P42-F1016A	RHR熱交換器 (A) 冷却水入口流量発信器	⑤	RCW	P42-F1016A	RHR熱交換器 (A) 冷却水入口流量発信器	⑤						
	4原子炉安全保護科装置 I, II, III, IV	4RPF-I, II, III, IV	○	—	RCW	P42-F1016B	RHR熱交換器 (B) 冷却水入口流量発信器	⑤	RCW	P42-F1016B	RHR熱交換器 (B) 冷却水入口流量発信器	⑤						
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤	4RPL-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-L1009A	RCWサージタンク (A) 水位	⑤	RCW	P42-L1009A	RCWサージタンク (A) 水位	⑤						
	4安全保護シャーンケン盤A01, A02, B01, B02	4SPS-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-L1009B	RCWサージタンク (B) 水位	⑤	RCW	P42-L1009B	RCWサージタンク (B) 水位	⑤						
	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4ゾレイド分電盤	4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	RCW	P42-L1010A	RCWサージタンク (A) 水位発信器	⑤	RCW	P42-L1010A	RCWサージタンク (A) 水位発信器	⑤						
	4原子炉トリップ逆転器盤	4RTS	○	—	RCW	P42-L1010B	RCWサージタンク (B) 水位発信器	⑤	RCW	P42-L1010B	RCWサージタンク (B) 水位発信器	⑤						
	4A, 4Bドロップ盤	4RCP-A-DRP, 4RCP-B-DRP	○	—	RCW	P42-P1001A	RCWポンプ (A) 出口圧力	⑤	RCW	P42-P1001A	RCWポンプ (A) 出口圧力	⑤						
	4A, 4B直流電盤	4RMP-A, B	○	—	RCW	P42-P1001B	RCWポンプ (B) 出口圧力	⑤	RCW	P42-P1001B	RCWポンプ (B) 出口圧力	⑤						
	4A, 4B直流分電盤	4RDP-A, B	○	—	RCW	P42-P1001C	RCWポンプ (C) 出口圧力	⑤	RCW	P42-P1001C	RCWポンプ (C) 出口圧力	⑤						
	4A, 4B蓄電池		○	—	RCW	P42-P1001D	RCWポンプ (D) 出口圧力	⑤	RCW	P42-P1001D	RCWポンプ (D) 出口圧力	⑤						
	4A, 4B充電器盤	4RCP-A, B	○	—	RCW	P42-P1007A	RCWポンプ (A) 入口圧力	⑤	RCW	P42-P1007A	RCWポンプ (A) 入口圧力	⑤						
	4AT, 4A2, 4B1, 4B2メタルアラッドスイッチ盤	4RMC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1007B	RCWポンプ (B) 入口圧力	⑤	RCW	P42-P1007B	RCWポンプ (B) 入口圧力	⑤						
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ	4RPC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1007C	RCWポンプ (C) 入口圧力	⑤	RCW	P42-P1007C	RCWポンプ (C) 入口圧力	⑤						
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ	4RCC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1007D	RCWポンプ (D) 入口圧力	⑤	RCW	P42-P1007D	RCWポンプ (D) 入口圧力	⑤						
	4A, 4B, 4C, 4D射線用電線盤 (1)~(3)	4RNC-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-TE005A	RCWA系冷却水供給温度検出器	⑤	RCW	P42-TE005A	RCWA系冷却水供給温度検出器	⑤						
	4A3, 4A3, 4B1, 4B3, 4C1, 4C2, 4B1, 4B2射線用分電盤	4RSP-A1, A2, B1, B2, C1, C2, B1, B2	○	—	RCW	P42-TE005B	RCWB系冷却水供給温度検出器	⑤	RCW	P42-TE005B	RCWB系冷却水供給温度検出器	⑤						
	4A, 4B, 4C, 4D射線用交流電圧検出器盤	4RSP-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-TE017A	RHR熱交換器 (A) 冷却水出口温度検出器	⑤	RCW	P42-TE017A	RHR熱交換器 (A) 冷却水出口温度検出器	⑤						
	4所内盤	4RCS	○	—	RCW	P42-TE017B	RHR熱交換器 (B) 冷却水出口温度検出器	⑤	RCW	P42-TE017B	RHR熱交換器 (B) 冷却水出口温度検出器	⑤						
	4AC, 4BD射線用後微分電盤	4RHD-AC, BD	○	—														
	4事故時放射線監視盤	4RMC-III, IV	○	—														
	4出力領域中性子束	4R-A1, 42, 43, 44	×	②														
	4中性子領域域中性子束	4R-21, 22	×	②														
4格納容器高圧レンジモニタ (低レンジ)・ (高レンジ)	4RE-91A, 91B, 92A, 92B	×	②															

#1 評価対象外とした理由  
 ①原本により機能を喪失しない  
 ②PCV内耐環境仕様  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由			
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (20/24)								
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>#1</sup>					
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関		○	—	RD	E11-F003	D/W LCWサンプ第一隔離弁	②					
	4A, 4Bディーゼル発電機		○	—	RD	E11-F105	D/W HCWサンプ第一隔離弁	②					
	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	450C-A, B	○	—	RHR	E11-D001A	残留熱除去系熱交換器 (A)	①					
	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤	450C-A, B	○	—	RHR	E11-D001B	残留熱除去系熱交換器 (B)	①					
<p>スクリーンアウトの考え方</p> <p>①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響しない（動作要求のない原子炉格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。</p> <p>②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐環境仕様であるため機能喪失しない。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。</p> <p>③タンク、熱文、差止弁、手動弁等の静的機器に溢水により機能喪失しない。</p> <p>④他の設備で代替できる。</p>					<p>スクリーンアウトの考え方</p> <p>①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響しない（動作要求のない原子炉格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。</p> <p>②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐環境仕様であるため機能喪失しない。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。</p> <p>③タンク、熱文、差止弁、手動弁等の静的機器に溢水により機能喪失しない。</p> <p>④他の設備で代替できる。</p>								
<p>&lt;溢水影響評価対象機の注記&gt;</p> <p>*1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失または「—」として溢水影響影響評価の対象外とした。</p>					<p>&lt;溢水影響評価対象機の注記&gt;</p> <p>*1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失または「—」として溢水影響影響評価の対象外とした。</p>								
					RHR	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①					
					RHR	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①					
					RHR	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①					
					RHR	E11-dPT009A	L P C I系A/L P C S 注入ライン差圧伝送器	③					
					RHR	E11-dPT009B	L P C I系B・C 注入ライン差圧伝送器	③					
					RHR	E11-F012A	RHR A系試験用調整弁	③					
					RHR	E11-F012B	RHR B系試験用調整弁	③					
					RHR	E11-F012C	RHR C系試験用調整弁	③					
					RHR	E11-F014A	RHR A系停止時冷却液送元弁	①					
					RHR	E11-F014B	RHR B系停止時冷却液送元弁	①					
					RHR	E11-F015A	RHR A系停止時冷却液送第一隔離弁	②					
					RHR	E11-F015B	RHR B系停止時冷却液送第一隔離弁	②					
					RHR	E11-F021	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	③					
					RHR	E11-F044A	RHR A系L P C I 注入試験可能逆止弁均圧弁	②					
					RHR	E11-F044B	RHR B系L P C I 注入試験可能逆止弁均圧弁	②					
					RHR	E11-F044C	RHR C系L P C I 注入試験可能逆止弁均圧弁	②					
					RHR	E11-F045A	RHR A系 RW連絡第一弁	③					
					RHR	E11-F045B	RHR B系 RW連絡第一弁	③					
					RHR	E11-F049A	RHR A系系統監視弁	③					
					RHR	E11-F049B	RHR B系系統監視弁	③					
					RHR	E11-F058A	RHR A系停止時冷却液試験可能逆止弁均圧弁	②					
					RHR	E11-F058B	RHR B系停止時冷却液試験可能逆止弁均圧弁	②					
					RHR	E11-F1014	原子炉ヘッドスプレイ流量変換器	③					
					<p>#1 評価対象外とした理由</p> <p>①溢水により機能喪失しない</p> <p>②PCV内耐環境仕様の設備</p> <p>③動作機能の喪失により安全機能に影響しない</p> <p>④他の設備で代替できる</p>								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（21/24）</p> <table border="1" data-bbox="698 223 1272 981"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT001A</td><td>RHRポンプ（A）入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT001B</td><td>RHRポンプ（B）入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT001C</td><td>RHRポンプ（C）入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT004A</td><td>RHRポンプ（A）出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT004B</td><td>RHRポンプ（B）出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT004C</td><td>RHRポンプ（C）出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005A</td><td>RHRポンプ（A）出口圧力伝感器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005B</td><td>RHRポンプ（B）出口圧力伝感器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005C</td><td>RHRポンプ（C）出口圧力伝感器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT013A</td><td>RHR A系入口圧力伝感器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT013B</td><td>RHR B系入口圧力伝感器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE007A</td><td>RHR熱交換器（A）出口温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE007B</td><td>RHR熱交換器（B）出口温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE010A</td><td>RHR熱交換器（A）入口温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE010B</td><td>RHR熱交換器（B）入口温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-D001A</td><td>原子炉補機冷却水系統トレーナ（A）</td><td>①</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-D001B</td><td>原子炉補機冷却水系統トレーナ（B）</td><td>①</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-D001C</td><td>原子炉補機冷却水系統トレーナ（C）</td><td>①</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-D001D</td><td>原子炉補機冷却水系統トレーナ（D）</td><td>①</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-SP1003A</td><td>R C W熱交換器（A）管側差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-SP1003B</td><td>R C W熱交換器（B）管側差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-SP1003C</td><td>R C W熱交換器（C）管側差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-SP1003D</td><td>R C W熱交換器（D）管側差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-PI001A</td><td>R S Wポンプ（A）出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-PI001B</td><td>R S Wポンプ（B）出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-PI001C</td><td>R S Wポンプ（C）出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-PI001D</td><td>R S Wポンプ（D）出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ① 溢水により機能を喪失しない                  ② PCV内耐環境仕様設備                  ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④ 他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	RHR	E11-PT001A	RHRポンプ（A）入口圧力	③	RHR	E11-PT001B	RHRポンプ（B）入口圧力	③	RHR	E11-PT001C	RHRポンプ（C）入口圧力	③	RHR	E11-PT004A	RHRポンプ（A）出口圧力	③	RHR	E11-PT004B	RHRポンプ（B）出口圧力	③	RHR	E11-PT004C	RHRポンプ（C）出口圧力	③	RHR	E11-PT005A	RHRポンプ（A）出口圧力伝感器	③	RHR	E11-PT005B	RHRポンプ（B）出口圧力伝感器	③	RHR	E11-PT005C	RHRポンプ（C）出口圧力伝感器	③	RHR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝感器	③	RHR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝感器	③	RHR	E11-TE007A	RHR熱交換器（A）出口温度検出器	③	RHR	E11-TE007B	RHR熱交換器（B）出口温度検出器	③	RHR	E11-TE010A	RHR熱交換器（A）入口温度検出器	③	RHR	E11-TE010B	RHR熱交換器（B）入口温度検出器	③	ESW	F45-D001A	原子炉補機冷却水系統トレーナ（A）	①	ESW	F45-D001B	原子炉補機冷却水系統トレーナ（B）	①	ESW	F45-D001C	原子炉補機冷却水系統トレーナ（C）	①	ESW	F45-D001D	原子炉補機冷却水系統トレーナ（D）	①	ESW	F45-SP1003A	R C W熱交換器（A）管側差圧指示計	③	ESW	F45-SP1003B	R C W熱交換器（B）管側差圧指示計	③	ESW	F45-SP1003C	R C W熱交換器（C）管側差圧指示計	③	ESW	F45-SP1003D	R C W熱交換器（D）管側差圧指示計	③	ESW	F45-PI001A	R S Wポンプ（A）出口圧力指示計	③	ESW	F45-PI001B	R S Wポンプ（B）出口圧力指示計	③	ESW	F45-PI001C	R S Wポンプ（C）出口圧力指示計	③	ESW	F45-PI001D	R S Wポンプ（D）出口圧力指示計	③		
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
RHR	E11-PT001A	RHRポンプ（A）入口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-PT001B	RHRポンプ（B）入口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-PT001C	RHRポンプ（C）入口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-PT004A	RHRポンプ（A）出口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-PT004B	RHRポンプ（B）出口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-PT004C	RHRポンプ（C）出口圧力	③																																																																																																																
RHR	E11-PT005A	RHRポンプ（A）出口圧力伝感器	③																																																																																																																
RHR	E11-PT005B	RHRポンプ（B）出口圧力伝感器	③																																																																																																																
RHR	E11-PT005C	RHRポンプ（C）出口圧力伝感器	③																																																																																																																
RHR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝感器	③																																																																																																																
RHR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝感器	③																																																																																																																
RHR	E11-TE007A	RHR熱交換器（A）出口温度検出器	③																																																																																																																
RHR	E11-TE007B	RHR熱交換器（B）出口温度検出器	③																																																																																																																
RHR	E11-TE010A	RHR熱交換器（A）入口温度検出器	③																																																																																																																
RHR	E11-TE010B	RHR熱交換器（B）入口温度検出器	③																																																																																																																
ESW	F45-D001A	原子炉補機冷却水系統トレーナ（A）	①																																																																																																																
ESW	F45-D001B	原子炉補機冷却水系統トレーナ（B）	①																																																																																																																
ESW	F45-D001C	原子炉補機冷却水系統トレーナ（C）	①																																																																																																																
ESW	F45-D001D	原子炉補機冷却水系統トレーナ（D）	①																																																																																																																
ESW	F45-SP1003A	R C W熱交換器（A）管側差圧指示計	③																																																																																																																
ESW	F45-SP1003B	R C W熱交換器（B）管側差圧指示計	③																																																																																																																
ESW	F45-SP1003C	R C W熱交換器（C）管側差圧指示計	③																																																																																																																
ESW	F45-SP1003D	R C W熱交換器（D）管側差圧指示計	③																																																																																																																
ESW	F45-PI001A	R S Wポンプ（A）出口圧力指示計	③																																																																																																																
ESW	F45-PI001B	R S Wポンプ（B）出口圧力指示計	③																																																																																																																
ESW	F45-PI001C	R S Wポンプ（C）出口圧力指示計	③																																																																																																																
ESW	F45-PI001D	R S Wポンプ（D）出口圧力指示計	③																																																																																																																



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（22/24）</p> <table border="1" data-bbox="698 220 1267 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>BSW</td><td>P45-PT001A</td><td>R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>BSW</td><td>P45-PT001B</td><td>R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>BSW</td><td>P45-PT001C</td><td>R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>BSW</td><td>P45-PT001D</td><td>R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>BSW</td><td>P45-TI004A</td><td>R C W熱交換器（A）海水出口温度</td><td>③</td></tr> <tr><td>BSW</td><td>P45-TI004B</td><td>R C W熱交換器（B）海水出口温度</td><td>③</td></tr> <tr><td>BSW</td><td>P45-TI004C</td><td>R C W熱交換器（C）海水出口温度</td><td>③</td></tr> <tr><td>BSW</td><td>P45-TI004D</td><td>R C W熱交換器（D）海水出口温度</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1002A</td><td>空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1002B</td><td>空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1004</td><td>フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1005</td><td>フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1010</td><td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1013</td><td>フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001A</td><td>非常用ガス処理系入口弁（A）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001B</td><td>非常用ガス処理系入口弁（B）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41</td><td>ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ</td><td>①</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-M001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td><td>①</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-M003A</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ（A）</td><td>①</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-M003B</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ（B）</td><td>①</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-B001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-B002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-LE001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-LI001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-LT001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-PT010A</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-PT010B</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ①溢水により機能を喪失しない                  ②PCV内密閉環境仕様の設備                  ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	BSW	P45-PT001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	③	BSW	P45-PT001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	③	BSW	P45-PT001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	③	BSW	P45-PT001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	③	BSW	P45-TI004A	R C W熱交換器（A）海水出口温度	③	BSW	P45-TI004B	R C W熱交換器（B）海水出口温度	③	BSW	P45-TI004C	R C W熱交換器（C）海水出口温度	③	BSW	P45-TI004D	R C W熱交換器（D）海水出口温度	③	SGTS	T46-dP1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	③	SGTS	T46-dP1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	③	SGTS	T46-dP1004	フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計	③	SGTS	T46-dP1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	③	SGTS	T46-dP1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	③	SGTS	T46-dP1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	③	SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁（A）	③	SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁（B）	③	SLC	C41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	①	SLC	C41-M001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	①	SLC	C41-M003A	ほう酸水注入系アキュムレータ（A）	①	SLC	C41-M003B	ほう酸水注入系アキュムレータ（B）	①	SLC	C41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	③	SLC	C41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	③	SLC	C41-LE001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	③	SLC	C41-LI001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	③	SLC	C41-LT001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	③	SLC	C41-PT010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	③	SLC	C41-PT010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	③		
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
BSW	P45-PT001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	③																																																																																																																
BSW	P45-PT001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	③																																																																																																																
BSW	P45-PT001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	③																																																																																																																
BSW	P45-PT001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	③																																																																																																																
BSW	P45-TI004A	R C W熱交換器（A）海水出口温度	③																																																																																																																
BSW	P45-TI004B	R C W熱交換器（B）海水出口温度	③																																																																																																																
BSW	P45-TI004C	R C W熱交換器（C）海水出口温度	③																																																																																																																
BSW	P45-TI004D	R C W熱交換器（D）海水出口温度	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1004	フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-dP1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	③																																																																																																																
SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁（A）	③																																																																																																																
SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁（B）	③																																																																																																																
SLC	C41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	①																																																																																																																
SLC	C41-M001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	①																																																																																																																
SLC	C41-M003A	ほう酸水注入系アキュムレータ（A）	①																																																																																																																
SLC	C41-M003B	ほう酸水注入系アキュムレータ（B）	①																																																																																																																
SLC	C41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	③																																																																																																																
SLC	C41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	③																																																																																																																
SLC	C41-LE001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	③																																																																																																																
SLC	C41-LI001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	③																																																																																																																
SLC	C41-LT001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	③																																																																																																																
SLC	C41-PT010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	③																																																																																																																
SLC	C41-PT010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	③																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（23/24）																																																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SLC</td><td>041-TE002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>041-TE003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>041-TE004</td><td>S.L.C貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>041-TI0002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>041-TI0003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>041-TI0004</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE001A</td><td>サブレーションプール水温度（1.1°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE001B</td><td>サブレーションプール水温度（1.1°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE002A</td><td>サブレーションプール水温度（3.4°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE002B</td><td>サブレーションプール水温度（3.4°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE003A</td><td>サブレーションプール水温度（5.6°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE003B</td><td>サブレーションプール水温度（5.6°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE004A</td><td>サブレーションプール水温度（7.9°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE004B</td><td>サブレーションプール水温度（7.9°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE005A</td><td>サブレーションプール水温度（10.1°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE005B</td><td>サブレーションプール水温度（10.1°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE006A</td><td>サブレーションプール水温度（12.4°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE006B</td><td>サブレーションプール水温度（12.4°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE007A</td><td>サブレーションプール水温度（14.6°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE007B</td><td>サブレーションプール水温度（14.6°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE008A</td><td>サブレーションプール水温度（16.9°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE008B</td><td>サブレーションプール水温度（16.9°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE009A</td><td>サブレーションプール水温度（19.1°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE009B</td><td>サブレーションプール水温度（19.1°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE010A</td><td>サブレーションプール水温度（21.4°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE010B</td><td>サブレーションプール水温度（21.4°）</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE011A</td><td>サブレーションプール水温度（23.6°）</td><td>㊸</td></tr> </tbody> </table>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	SLC	041-TE002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	㊸	SLC	041-TE003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	㊸	SLC	041-TE004	S.L.C貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器	㊸	SLC	041-TI0002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	㊸	SLC	041-TI0003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	㊸	SLC	041-TI0004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度	㊸	SPTM	T11-TE001A	サブレーションプール水温度（1.1°）	㊸	SPTM	T11-TE001B	サブレーションプール水温度（1.1°）	㊸	SPTM	T11-TE002A	サブレーションプール水温度（3.4°）	㊸	SPTM	T11-TE002B	サブレーションプール水温度（3.4°）	㊸	SPTM	T11-TE003A	サブレーションプール水温度（5.6°）	㊸	SPTM	T11-TE003B	サブレーションプール水温度（5.6°）	㊸	SPTM	T11-TE004A	サブレーションプール水温度（7.9°）	㊸	SPTM	T11-TE004B	サブレーションプール水温度（7.9°）	㊸	SPTM	T11-TE005A	サブレーションプール水温度（10.1°）	㊸	SPTM	T11-TE005B	サブレーションプール水温度（10.1°）	㊸	SPTM	T11-TE006A	サブレーションプール水温度（12.4°）	㊸	SPTM	T11-TE006B	サブレーションプール水温度（12.4°）	㊸	SPTM	T11-TE007A	サブレーションプール水温度（14.6°）	㊸	SPTM	T11-TE007B	サブレーションプール水温度（14.6°）	㊸	SPTM	T11-TE008A	サブレーションプール水温度（16.9°）	㊸	SPTM	T11-TE008B	サブレーションプール水温度（16.9°）	㊸	SPTM	T11-TE009A	サブレーションプール水温度（19.1°）	㊸	SPTM	T11-TE009B	サブレーションプール水温度（19.1°）	㊸	SPTM	T11-TE010A	サブレーションプール水温度（21.4°）	㊸	SPTM	T11-TE010B	サブレーションプール水温度（21.4°）	㊸	SPTM	T11-TE011A	サブレーションプール水温度（23.6°）	㊸		
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
SLC	041-TE002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	㊸																																																																																																																
SLC	041-TE003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	㊸																																																																																																																
SLC	041-TE004	S.L.C貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器	㊸																																																																																																																
SLC	041-TI0002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	㊸																																																																																																																
SLC	041-TI0003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	㊸																																																																																																																
SLC	041-TI0004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE001A	サブレーションプール水温度（1.1°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE001B	サブレーションプール水温度（1.1°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE002A	サブレーションプール水温度（3.4°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE002B	サブレーションプール水温度（3.4°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE003A	サブレーションプール水温度（5.6°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE003B	サブレーションプール水温度（5.6°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE004A	サブレーションプール水温度（7.9°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE004B	サブレーションプール水温度（7.9°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE005A	サブレーションプール水温度（10.1°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE005B	サブレーションプール水温度（10.1°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE006A	サブレーションプール水温度（12.4°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE006B	サブレーションプール水温度（12.4°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE007A	サブレーションプール水温度（14.6°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE007B	サブレーションプール水温度（14.6°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE008A	サブレーションプール水温度（16.9°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE008B	サブレーションプール水温度（16.9°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE009A	サブレーションプール水温度（19.1°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE009B	サブレーションプール水温度（19.1°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE010A	サブレーションプール水温度（21.4°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE010B	サブレーションプール水温度（21.4°）	㊸																																																																																																																
SPTM	T11-TE011A	サブレーションプール水温度（23.6°）	㊸																																																																																																																
	<p>※1 評価対象外とした理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 溢水により機能を喪失しない</li> <li>② PCV内耐腐蝕仕様設備</li> <li>③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない</li> <li>④ 他の設備で代替できる</li> </ul>																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（24/24）</p> <table border="1" data-bbox="698 225 1263 767"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE011B</td><td>サブプレッションプール水温度（236°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012A</td><td>サブプレッションプール水温度（259°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012B</td><td>サブプレッションプール水温度（259°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013A</td><td>サブプレッションプール水温度（281°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013B</td><td>サブプレッションプール水温度（281°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014A</td><td>サブプレッションプール水温度（304°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014B</td><td>サブプレッションプール水温度（304°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015A</td><td>サブプレッションプール水温度（326°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015B</td><td>サブプレッションプール水温度（326°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016A</td><td>サブプレッションプール水温度（349°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016B</td><td>サブプレッションプール水温度（349°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>C51-F081A</td><td>T1Pバルブアセンブリ（ボール弁A・爆発弁A）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>C51-F081B</td><td>T1Pバルブアセンブリ（ボール弁B・爆発弁B）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>C51-F081C</td><td>T1Pバルブアセンブリ（ボール弁C・爆発弁C）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>C51-F081D</td><td>T1Pバルブアセンブリ（ボール弁D・爆発弁D）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>C51-F083</td><td>T1Pバージ隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>手動弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>遮止弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>配管一式</td><td>①</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                      ① 浸水により機能を喪失しない                      ② PCV内耐震仕様設備                      ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない                      ④ 他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	SPTM	T11-TE011B	サブプレッションプール水温度（236°）	②	SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度（259°）	②	SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度（259°）	②	SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度（281°）	②	SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度（281°）	②	SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度（304°）	②	SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度（304°）	②	SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度（326°）	②	SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度（326°）	②	SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度（349°）	②	SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度（349°）	②	TIP	C51-F081A	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁A・爆発弁A）	③	TIP	C51-F081B	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁B・爆発弁B）	③	TIP	C51-F081C	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁C・爆発弁C）	③	TIP	C51-F081D	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁D・爆発弁D）	③	TIP	C51-F083	T1Pバージ隔離弁	③	その他	-	手動弁一式	①	その他	-	遮止弁一式	①	その他	-	配管一式	①		
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																
SPTM	T11-TE011B	サブプレッションプール水温度（236°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度（259°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度（259°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度（281°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度（281°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度（304°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度（304°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度（326°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度（326°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度（349°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度（349°）	②																																																																																
TIP	C51-F081A	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁A・爆発弁A）	③																																																																																
TIP	C51-F081B	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁B・爆発弁B）	③																																																																																
TIP	C51-F081C	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁C・爆発弁C）	③																																																																																
TIP	C51-F081D	T1Pバルブアセンブリ（ボール弁D・爆発弁D）	③																																																																																
TIP	C51-F083	T1Pバージ隔離弁	③																																																																																
その他	-	手動弁一式	①																																																																																
その他	-	遮止弁一式	①																																																																																
その他	-	配管一式	①																																																																																



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料3）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
<p>補足資料4-2</p> <p>4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について</p> <p>2. 原子炉格納容器内防護対象設備の保守管理について                      耐環境性仕様である原子炉格納容器内の防護対象設備については、定期点検及び定期取替えを実施し、プラントの安全機能に影響のないようにしている。                      定期点検については、外観点検及び絶縁抵抗測定その他、各設備に応じた特性試験及び入出力試験を実施している。                      また、定期取替えについては、検証寿命等を考慮して取替えの周期を定め、この周期内での取替えを実施している。</p> <p>表1 格納容器内高レンジエアモニタの保守管理の例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>点検内容</th> <th>点検周期 [回/定検]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外観点検</td> <td>1/1</td> </tr> <tr> <td>絶縁抵抗測定</td> <td>1/1</td> </tr> <tr> <td>静電容量測定</td> <td>1/1</td> </tr> <tr> <td>特性試験</td> <td>1/1</td> </tr> <tr> <td>入出力試験</td> <td>1/1</td> </tr> <tr> <td>定期取替</td> <td>1/30</td> </tr> </tbody> </table>	点検内容	点検周期 [回/定検]	外観点検	1/1	絶縁抵抗測定	1/1	静電容量測定	1/1	特性試験	1/1	入出力試験	1/1	定期取替	1/30	<p>補足説明資料3</p> <p>溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備                      添付資料6（溢水影響評価の対象外とする設備について）にて整理した結果の補足について示す。</p> <p>2. 「PCV内耐環境仕様の設備」についての補足                      （1）原子炉格納容器内防護対象設備の保全状況                      原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備については、以下のとおり保全を行っており耐環境性能の維持が図れている。</p> <p>a. 弁駆動部及び計器                      長期使用に伴いOリング等の熱劣化によるシール性能の低下や放射線の影響による計測値誤差の増加等が懸念されることから、点検周期を設定し定期的に点検を実施している。</p> <p>b. ケーブル及びケーブル接続部                      長期使用に伴い絶縁体等に経年劣化による絶縁性能の低下が懸念されるが、電力用ケーブルは定期的な絶縁抵抗測定により、許容値以上であることを確認している。                      制御・計装用ケーブルについては、系統機器の動作、又は計器の指示値等に異常がないことを確認し、絶縁低下による機能低下がないことを確認している。                      原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響の確認結果、並びに耐環境性能維持に係る保全状況を表1に示す。                      また、ケーブルの被水影響について評価し、影響ないと評価した。その結果について別紙に示す。</p>	<p>補足説明資料3</p> <p>溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備                      添付資料6（溢水影響評価の対象外とする設備について）にて整理した結果の補足について示す。</p> <p>2. 「原子炉格納容器内耐環境仕様の設備」についての補足                      （1）原子炉格納容器内防護対象設備の保全状況                      原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備については、以下のとおり保全を行っており耐環境性能の維持が図れている。</p> <p>a. 弁駆動部及び計器                      長期使用に伴いOリング等の熱劣化によるシール性能の低下や放射線の影響による計測値誤差の増加等が懸念されることから、点検周期を設定し定期的に点検を実施している。</p> <p>b. ケーブル及びケーブル接続部                      長期使用に伴い絶縁体等に経年劣化による絶縁性能の低下が懸念されるが、電力用ケーブルは定期的な絶縁抵抗測定により、許容値以上であることを確認している。                      制御・計装用ケーブルについては、系統機器の動作、又は計器の指示値等に異常がないことを確認し、絶縁低下による機能低下がないことを確認している。                      原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響の確認結果、並びに耐環境性能維持に係る保全状況を表1に示す。                      また、ケーブルの被水影響について評価し、影響ないと評価した。その結果について別紙に示す。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】                      記載方針の相違                      ・女川審査実績の反映</p> <p>【大阪】                      記載方針の相違                      ・女川審査実績の反映</p>
点検内容	点検周期 [回/定検]																
外観点検	1/1																
絶縁抵抗測定	1/1																
静電容量測定	1/1																
特性試験	1/1																
入出力試験	1/1																
定期取替	1/30																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料3）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由						
表2 原子炉格納容器内防護対象設備の定期取替周期		表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(1/7)				表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(1/4)				【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映						
設備	取替周期	機器名称	機器番号	機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	点検部位	周期	保全内容	機器名称	機器番号	機能喪失高さ(T.P.)	C/V内環境条件の適合性	保全状況 点検部位	周期	保全内容	備考
電動弁駆動装置	- ※1	サブプレッションプール 水温度(11°)	T11-TE001A	-1600	○	本体	1C	特性試験	加圧器水位	3LT-451,452,453,454	18.8m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
空気制御弁	リミットスイッチ	サブプレッションプール 水温度(13°)	T11-TE002A	-1600	○	本体	1C	特性試験	加圧器圧力	3PT-451,452,453,454	25.8m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
	電磁弁	サブプレッションプール 水温度(56°)	T11-TE003A	-1600	○	本体	1C	特性試験					本体	13M	外観点検 特性試験	
伝送器	～19.8年	サブプレッションプール 水温度(79°)	T11-TE004A	-1600	○	本体	1C	特性試験	1次冷却材圧力	3PT-410,430	18.8m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
温度計	～35.5年	サブプレッションプール 水温度(11°)	T11-TE001B	-1595	○	本体	1C	特性試験	1次冷却材高温側 温度(狭域)	3TE-411A,413A,415A,421A,423A,425A,431A,433A,435A,441A,443A,445A	22.0m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
中性子束検出器	～5年	サブプレッションプール 水温度(13°)	T11-TE002B	-1595	○	本体	1C	特性試験					本体	13M	外観点検 特性試験	
格納容器内高レンジエリアモニタ	～30年	サブプレッションプール 水温度(56°)	T11-TE003B	-1595	○	本体	1C	特性試験	1次冷却材低温側 温度(狭域)	3TE-411B,421B,431B,441B	22.0m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(79°)	T11-TE004B	-1595	○	本体	1C	特性試験					本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(101°)	T11-TE005A	-1600	○	本体	1C	特性試験	1次冷却材高温側 温度(広域)	3TE-410,420,430	23.0m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(124°)	T11-TE006A	-1600	○	本体	1C	特性試験	1次冷却材低温側 温度(広域)	3TE-417,427,437	22.2m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(146°)	T11-TE007A	-1600	○	本体	1C	特性試験	1次冷却材流量	3FT-412,413,414,415,422,423,424,425,432,433,434,435	-	○	本体	13M	外観点検 特性試験	※1
		サブプレッションプール 水温度(169°)	T11-TE008A	-1600	○	本体	1C	特性試験					本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(101°)	T11-TE005B	-1595	○	本体	1C	特性試験	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	3LT-620,630	15.5m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(124°)	T11-TE006B	-1595	○	本体	1C	特性試験	格納容器再循環サンプ水位(広域)	3LT-621,631	15.5m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(146°)	T11-TE007B	-1595	○	本体	1C	特性試験	蒸気発生器水位(狭域)	3LT-460,461,462,463,470,471,472,473,480,481,482,483	25.8m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(169°)	T11-TE008B	-1595	○	本体	1C	特性試験					本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(191°)	T11-TE009A	-1600	○	本体	1C	特性試験	蒸気発生器水位(広域)	3LT-464,474,484	18.8m	○	本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(214°)	T11-TE010A	-1600	○	本体	1C	特性試験					本体	13M	外観点検 特性試験	
		サブプレッションプール 水温度(236°)	T11-TE011A	-1600	○	本体	1C	特性試験	中性子領域検出器	3NE31,32	17.5m	○	検出器	26M	取替	
		サブプレッションプール 水温度(259°)	T11-TE012A	-1600	○	本体	1C	特性試験								
		サブプレッションプール 水温度(191°)	T11-TE009B	-1595	○	本体	1C	特性試験								

※1 LOCA時に機能要求なし

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料3）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<p>表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(2/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ (O.P.)</th> <th rowspan="2">PCV内環境条件の適合性</th> <th colspan="3">保全状況</th> </tr> <tr> <th>点検部位</th> <th>周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(214°)</td><td>T11-TE010B</td><td>-1596</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(236°)</td><td>T11-TE011B</td><td>-1596</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(259°)</td><td>T11-TE012B</td><td>-1596</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(281°)</td><td>T11-TE013A</td><td>-1600</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(304°)</td><td>T11-TE014A</td><td>-1600</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(326°)</td><td>T11-TE015A</td><td>-1600</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(349°)</td><td>T11-TE016A</td><td>-1600</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(281°)</td><td>T11-TE013B</td><td>-1096</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(304°)</td><td>T11-TE014B</td><td>-1596</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(326°)</td><td>T11-TE015B</td><td>-1096</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr><td>サブプレッシャブル水温度(349°)</td><td>T11-TE016B</td><td>-1596</td><td>○</td><td>本体</td><td>1C</td><td>特性試験</td></tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気第一隔離弁(A)</td> <td rowspan="4">B21-F002A</td> <td rowspan="4">9107</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>コントロールパネル</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>26M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気第一隔離弁(B)</td> <td rowspan="4">B21-F002B</td> <td rowspan="4">9110</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>コントロールパネル</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>26M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	機器番号	機能喪失高さ (O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況			点検部位	周期	保全内容	サブプレッシャブル水温度(214°)	T11-TE010B	-1596	○	本体	1C	特性試験	サブプレッシャブル水温度(236°)	T11-TE011B	-1596	○	本体	1C	特性試験	サブプレッシャブル水温度(259°)	T11-TE012B	-1596	○	本体	1C	特性試験	サブプレッシャブル水温度(281°)	T11-TE013A	-1600	○	本体	1C	特性試験	サブプレッシャブル水温度(304°)	T11-TE014A	-1600	○	本体	1C	特性試験	サブプレッシャブル水温度(326°)	T11-TE015A	-1600	○	本体	1C	特性試験	サブプレッシャブル水温度(349°)	T11-TE016A	-1600	○	本体	1C	特性試験	サブプレッシャブル水温度(281°)	T11-TE013B	-1096	○	本体	1C	特性試験	サブプレッシャブル水温度(304°)	T11-TE014B	-1596	○	本体	1C	特性試験	サブプレッシャブル水温度(326°)	T11-TE015B	-1096	○	本体	1C	特性試験	サブプレッシャブル水温度(349°)	T11-TE016B	-1596	○	本体	1C	特性試験	主蒸気第一隔離弁(A)	B21-F002A	9107	○	本体	1C	機能・性能試験	コントロールパネル	13M	分解点検	リミットスイッチ	26M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気第一隔離弁(B)	B21-F002B	9110	○	本体	1C	機能・性能試験	コントロールパネル	13M	分解点検	リミットスイッチ	26M	取替	電磁弁	39M	取替	<p>表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(2/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ (T.P.)</th> <th rowspan="2">C/V内環境条件の適合性</th> <th colspan="3">保全状況</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>点検部位</th> <th>周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">出力領域検出器</td> <td rowspan="2">3NE41A,B,42A,B,43A,B,44A,B</td> <td rowspan="2">17.5m</td> <td rowspan="2">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>特性試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検出器</td> <td>52M</td> <td>取替</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td rowspan="2">3RE-91A,92A</td> <td rowspan="2">40.2m</td> <td rowspan="2">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検出器</td> <td>117M</td> <td>取替</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)</td> <td rowspan="2">3RE-91B,92B</td> <td rowspan="2">40.2m</td> <td rowspan="2">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検出器</td> <td>117M</td> <td>取替</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">加圧雷達がし弁</td> <td rowspan="4">3PCV-452A,B</td> <td rowspan="4">39.1m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>機能・性能試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>26M</td> <td>分解点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>130M</td> <td>取替</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>52M</td> <td>取替</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1次冷却材ポンプ封水戻りラインC/V内側隔離弁</td> <td rowspan="4">3V-CS-254</td> <td rowspan="4">18.3m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高圧注入ポンプ出口C/V内側隔離弁</td> <td rowspan="4">3V-SI-061A,B</td> <td rowspan="4">18.3m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高温側高圧注入(B)ライン止め弁</td> <td rowspan="4">3V-SI-062A,B</td> <td rowspan="4">18.3m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">余熱除去A(B)ライン入口止め弁</td> <td rowspan="4">3PCV-410,430</td> <td rowspan="4">20.6m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	機器番号	機能喪失高さ (T.P.)	C/V内環境条件の適合性	保全状況			備考	点検部位	周期	保全内容	出力領域検出器	3NE41A,B,42A,B,43A,B,44A,B	17.5m	○	本体	13M	特性試験		検出器	52M	取替		格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ)	3RE-91A,92A	40.2m	○	本体	13M	外観点検		検出器	117M	取替		格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)	3RE-91B,92B	40.2m	○	本体	13M	外観点検		検出器	117M	取替		加圧雷達がし弁	3PCV-452A,B	39.1m	○	本体	13M	機能・性能試験		本体	26M	分解点検		リミットスイッチ	130M	取替		電磁弁	52M	取替		1次冷却材ポンプ封水戻りラインC/V内側隔離弁	3V-CS-254	18.3m	○	本体	13M	外観点検		本体	78M	分解点検		駆動部	39M	動作試験		駆動部	156M	分解点検		高圧注入ポンプ出口C/V内側隔離弁	3V-SI-061A,B	18.3m	○	本体	13M	外観点検		本体	78M	分解点検		駆動部	39M	動作試験		駆動部	156M	分解点検		高温側高圧注入(B)ライン止め弁	3V-SI-062A,B	18.3m	○	本体	13M	外観点検		本体	78M	分解点検		駆動部	39M	動作試験		駆動部	156M	分解点検		余熱除去A(B)ライン入口止め弁	3PCV-410,430	20.6m	○	本体	13M	外観点検		本体	78M	分解点検		駆動部	39M	動作試験		駆動部	156M	分解点検		
機器名称	機器番号					機能喪失高さ (O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況																																																																																																																																																																																																																																																																					
		点検部位	周期	保全内容																																																																																																																																																																																																																																																																									
サブプレッシャブル水温度(214°)	T11-TE010B	-1596	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
サブプレッシャブル水温度(236°)	T11-TE011B	-1596	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
サブプレッシャブル水温度(259°)	T11-TE012B	-1596	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
サブプレッシャブル水温度(281°)	T11-TE013A	-1600	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
サブプレッシャブル水温度(304°)	T11-TE014A	-1600	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
サブプレッシャブル水温度(326°)	T11-TE015A	-1600	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
サブプレッシャブル水温度(349°)	T11-TE016A	-1600	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
サブプレッシャブル水温度(281°)	T11-TE013B	-1096	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
サブプレッシャブル水温度(304°)	T11-TE014B	-1596	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
サブプレッシャブル水温度(326°)	T11-TE015B	-1096	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
サブプレッシャブル水温度(349°)	T11-TE016B	-1596	○	本体	1C	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
主蒸気第一隔離弁(A)	B21-F002A	9107	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
				コントロールパネル	13M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				リミットスイッチ	26M	取替																																																																																																																																																																																																																																																																							
				電磁弁	39M	取替																																																																																																																																																																																																																																																																							
主蒸気第一隔離弁(B)	B21-F002B	9110	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
				コントロールパネル	13M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				リミットスイッチ	26M	取替																																																																																																																																																																																																																																																																							
				電磁弁	39M	取替																																																																																																																																																																																																																																																																							
機器名称	機器番号	機能喪失高さ (T.P.)	C/V内環境条件の適合性	保全状況			備考																																																																																																																																																																																																																																																																						
				点検部位	周期	保全内容																																																																																																																																																																																																																																																																							
出力領域検出器	3NE41A,B,42A,B,43A,B,44A,B	17.5m	○	本体	13M	特性試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
				検出器	52M	取替																																																																																																																																																																																																																																																																							
格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ)	3RE-91A,92A	40.2m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				検出器	117M	取替																																																																																																																																																																																																																																																																							
格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)	3RE-91B,92B	40.2m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				検出器	117M	取替																																																																																																																																																																																																																																																																							
加圧雷達がし弁	3PCV-452A,B	39.1m	○	本体	13M	機能・性能試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
				本体	26M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				リミットスイッチ	130M	取替																																																																																																																																																																																																																																																																							
				電磁弁	52M	取替																																																																																																																																																																																																																																																																							
1次冷却材ポンプ封水戻りラインC/V内側隔離弁	3V-CS-254	18.3m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
高圧注入ポンプ出口C/V内側隔離弁	3V-SI-061A,B	18.3m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
高温側高圧注入(B)ライン止め弁	3V-SI-062A,B	18.3m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
余熱除去A(B)ライン入口止め弁	3PCV-410,430	20.6m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																																																																																																																																							
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																																																																																																																																							



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 補足説明資料3）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																											
	<p>表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(3/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ(O.P.)</th> <th rowspan="2">PCV内環境条件の適合性</th> <th colspan="3">保全状況</th> </tr> <tr> <th>点検部位</th> <th>周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主蒸気第一隔離弁(C)</td> <td rowspan="4">B21-F002C</td> <td rowspan="4">9110</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>コントロールバルブ</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>26M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気第一隔離弁(D)</td> <td rowspan="4">B21-F002D</td> <td rowspan="4">9107</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>コントロールバルブ</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>26M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ドレンライン第一隔離弁</td> <td>B21-F004</td> <td>6707</td> <td>○</td> <td>駆動部</td> <td>65M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事故後炉水サンプルリング第一隔離弁</td> <td rowspan="2">B21-F061</td> <td rowspan="2">8611</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">駆動部</td> <td>65M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>1C</td> <td>絶縁抵抗測定</td> </tr> <tr> <td>原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁</td> <td>B32-F002A</td> <td>2970</td> <td>○</td> <td>駆動部</td> <td>65M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉再循環ポンプ(B) 吐出弁</td> <td rowspan="2">B32-F002B</td> <td rowspan="2">2970</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">駆動部</td> <td>65M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>1C</td> <td>絶縁抵抗測定</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">PLR サンプルライン第一隔離弁</td> <td rowspan="4">B32-F013</td> <td rowspan="4">10779</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>65M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>52M</td> <td>取替</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	機器番号	機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況			点検部位	周期	保全内容	主蒸気第一隔離弁(C)	B21-F002C	9110	○	本体	1C	機能・性能試験	コントロールバルブ	13M	分解点検	リミットスイッチ	26M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気第一隔離弁(D)	B21-F002D	9107	○	本体	1C	機能・性能試験	コントロールバルブ	13M	分解点検	リミットスイッチ	26M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気ドレンライン第一隔離弁	B21-F004	6707	○	駆動部	65M	分解点検	事故後炉水サンプルリング第一隔離弁	B21-F061	8611	○	駆動部	65M	分解点検	1C	絶縁抵抗測定	原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁	B32-F002A	2970	○	駆動部	65M	分解点検	原子炉再循環ポンプ(B) 吐出弁	B32-F002B	2970	○	駆動部	65M	分解点検	1C	絶縁抵抗測定	PLR サンプルライン第一隔離弁	B32-F013	10779	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	39M	分解点検	リミットスイッチ	65M	取替	電磁弁	52M	取替	<p>表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(3/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ(T.P.)</th> <th rowspan="2">C/V内環境条件の適合性</th> <th colspan="3">保全状況</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>点検部位</th> <th>周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁</td> <td rowspan="4">3V-RH-002A,B</td> <td rowspan="4">15.1m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td rowspan="4">※2</td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁</td> <td rowspan="4">3V-RH-003A,B</td> <td rowspan="4">18.3m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高温側低圧注入ライン止め弁</td> <td rowspan="4">3V-RH-004A,B</td> <td rowspan="4">18.3m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1次冷却材ポンプ補機冷却水出口 C/V 内側隔離弁</td> <td rowspan="4">3V-CC-326</td> <td rowspan="4">18.3m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">Bループ高温側サンプルライン C/V 内側隔離弁</td> <td rowspan="4">3V-SS-514</td> <td rowspan="4">21.0m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">Cループ高温側サンプルライン C/V 内側隔離弁</td> <td rowspan="4">3V-SS-51*</td> <td rowspan="4">21.0m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 詳細な機能喪失高さはT.P.+15.185mであり、浸水評価で示すLOCA時のC/V内水位15.1m（「添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について」参照）を上回っていることから、余熱除去ポンプ入口のC/V内側隔離弁は機能喪失しないと評価している。なお、C/V外の防護対象設備の浸水評価では、盤等で被水対策を施していないものがあるため、水面の揺らぎの影響で機能喪失に至る可能性を考慮し、被水対策を施している設備も含めて一律10cmの裕度を設定して評価しているが、C/V内の防護対象設備は耐環境仕様であることから、水面の揺らぎにより被水影響が及んだ場合でも機能喪失に至ることはないため、その溢水に対する耐性の評価では裕度を考慮せずに評価を実施している。</p>	機器名称	機器番号	機能喪失高さ(T.P.)	C/V内環境条件の適合性	保全状況			備考	点検部位	周期	保全内容	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	3V-RH-002A,B	15.1m	○	本体	13M	外観点検	※2	本体	78M	分解点検	駆動部	39M	動作試験	駆動部	156M	分解点検	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	3V-RH-003A,B	18.3m	○	本体	13M	外観点検		本体	78M	分解点検	駆動部	39M	動作試験	駆動部	156M	分解点検	高温側低圧注入ライン止め弁	3V-RH-004A,B	18.3m	○	本体	13M	外観点検		本体	78M	分解点検	駆動部	39M	動作試験	駆動部	156M	分解点検	1次冷却材ポンプ補機冷却水出口 C/V 内側隔離弁	3V-CC-326	18.3m	○	本体	13M	外観点検		本体	78M	分解点検	駆動部	39M	動作試験	駆動部	156M	分解点検	Bループ高温側サンプルライン C/V 内側隔離弁	3V-SS-514	21.0m	○	本体	13M	外観点検		本体	78M	分解点検	駆動部	39M	動作試験	駆動部	156M	分解点検	Cループ高温側サンプルライン C/V 内側隔離弁	3V-SS-51*	21.0m	○	本体	13M	外観点検		本体	78M	分解点検	駆動部	39M	動作試験	駆動部	156M	分解点検	
機器名称	機器番号					機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況																																																																																																																																																																																																						
		点検部位	周期	保全内容																																																																																																																																																																																																										
主蒸気第一隔離弁(C)	B21-F002C	9110	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																																																																																																								
				コントロールバルブ	13M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
				リミットスイッチ	26M	取替																																																																																																																																																																																																								
				電磁弁	39M	取替																																																																																																																																																																																																								
主蒸気第一隔離弁(D)	B21-F002D	9107	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																																																																																																								
				コントロールバルブ	13M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
				リミットスイッチ	26M	取替																																																																																																																																																																																																								
				電磁弁	39M	取替																																																																																																																																																																																																								
主蒸気ドレンライン第一隔離弁	B21-F004	6707	○	駆動部	65M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
事故後炉水サンプルリング第一隔離弁	B21-F061	8611	○	駆動部	65M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
					1C	絶縁抵抗測定																																																																																																																																																																																																								
原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁	B32-F002A	2970	○	駆動部	65M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
原子炉再循環ポンプ(B) 吐出弁	B32-F002B	2970	○	駆動部	65M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
					1C	絶縁抵抗測定																																																																																																																																																																																																								
PLR サンプルライン第一隔離弁	B32-F013	10779	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	39M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
				リミットスイッチ	65M	取替																																																																																																																																																																																																								
				電磁弁	52M	取替																																																																																																																																																																																																								
機器名称	機器番号	機能喪失高さ(T.P.)	C/V内環境条件の適合性	保全状況			備考																																																																																																																																																																																																							
				点検部位	周期	保全内容																																																																																																																																																																																																								
余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	3V-RH-002A,B	15.1m	○	本体	13M	外観点検	※2																																																																																																																																																																																																							
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	3V-RH-003A,B	18.3m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																								
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
高温側低圧注入ライン止め弁	3V-RH-004A,B	18.3m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																								
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
1次冷却材ポンプ補機冷却水出口 C/V 内側隔離弁	3V-CC-326	18.3m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																								
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
Bループ高温側サンプルライン C/V 内側隔離弁	3V-SS-514	21.0m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																								
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
Cループ高温側サンプルライン C/V 内側隔離弁	3V-SS-51*	21.0m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																																																																								
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																																																																								
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																					
	<p>表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(4/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ(O.P.)</th> <th rowspan="2">PCV内環境条件の適合性</th> <th colspan="3">保全状況</th> </tr> <tr> <th>点検部位</th> <th>周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主蒸気逃がし安全弁(A) ADS</td> <td rowspan="4">B21-F001A</td> <td rowspan="4">17363</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気逃がし安全弁(B)</td> <td rowspan="4">B21-F001B</td> <td rowspan="4">17363</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気逃がし安全弁(C) ADS</td> <td rowspan="4">B21-F001C</td> <td rowspan="4">17363</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気逃がし安全弁(D)</td> <td rowspan="4">B21-F001D</td> <td rowspan="4">17363</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気逃がし安全弁(E) ADS</td> <td rowspan="4">B21-F001E</td> <td rowspan="4">17346</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	機器番号	機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況			点検部位	周期	保全内容	主蒸気逃がし安全弁(A) ADS	B21-F001A	17363	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気逃がし安全弁(B)	B21-F001B	17363	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気逃がし安全弁(C) ADS	B21-F001C	17363	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気逃がし安全弁(D)	B21-F001D	17363	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気逃がし安全弁(E) ADS	B21-F001E	17346	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替	<p>表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(4/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ(T.P.)</th> <th rowspan="2">C/V内環境条件の適合性</th> <th colspan="3">保全状況</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>点検部位</th> <th>周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁</td> <td rowspan="3">3V-DP-001A,B</td> <td rowspan="3">36.1m</td> <td rowspan="3">○</td> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">格納容器空気サンプル取出し格納容器内側隔離弁</td> <td rowspan="4">3V-RM-001</td> <td rowspan="4">36.8m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>78M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">制御用空気原子炉格納容器内供給弁</td> <td rowspan="4">3V-1A-514A,B</td> <td rowspan="4">18.3m</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>13M</td> <td>外観点検</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>130M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>39M</td> <td>動作試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>156M</td> <td>分解点検</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	機器番号	機能喪失高さ(T.P.)	C/V内環境条件の適合性	保全状況			備考	点検部位	周期	保全内容	格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁	3V-DP-001A,B	36.1m	○	本体	78M	分解点検		駆動部	39M	動作試験	駆動部	156M	分解点検	格納容器空気サンプル取出し格納容器内側隔離弁	3V-RM-001	36.8m	○	本体	13M	外観点検		本体	78M	分解点検	駆動部	39M	動作試験	駆動部	156M	分解点検	制御用空気原子炉格納容器内供給弁	3V-1A-514A,B	18.3m	○	本体	13M	外観点検		本体	130M	分解点検	駆動部	39M	動作試験	駆動部	156M	分解点検	
機器名称	機器番号					機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況																																																																																																																																																
		点検部位	周期	保全内容																																																																																																																																																				
主蒸気逃がし安全弁(A) ADS	B21-F001A	17363	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																																																		
				駆動部	13M	分解点検																																																																																																																																																		
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																																																																																		
				電磁弁	39M	取替																																																																																																																																																		
主蒸気逃がし安全弁(B)	B21-F001B	17363	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																																																		
				駆動部	13M	分解点検																																																																																																																																																		
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																																																																																		
				電磁弁	39M	取替																																																																																																																																																		
主蒸気逃がし安全弁(C) ADS	B21-F001C	17363	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																																																		
				駆動部	13M	分解点検																																																																																																																																																		
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																																																																																		
				電磁弁	39M	取替																																																																																																																																																		
主蒸気逃がし安全弁(D)	B21-F001D	17363	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																																																		
				駆動部	13M	分解点検																																																																																																																																																		
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																																																																																		
				電磁弁	39M	取替																																																																																																																																																		
主蒸気逃がし安全弁(E) ADS	B21-F001E	17346	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																																																		
				駆動部	13M	分解点検																																																																																																																																																		
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																																																																																		
				電磁弁	39M	取替																																																																																																																																																		
機器名称	機器番号	機能喪失高さ(T.P.)	C/V内環境条件の適合性	保全状況			備考																																																																																																																																																	
				点検部位	周期	保全内容																																																																																																																																																		
格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁	3V-DP-001A,B	36.1m	○	本体	78M	分解点検																																																																																																																																																		
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																		
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																		
格納容器空気サンプル取出し格納容器内側隔離弁	3V-RM-001	36.8m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																		
				本体	78M	分解点検																																																																																																																																																		
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																		
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																		
制御用空気原子炉格納容器内供給弁	3V-1A-514A,B	18.3m	○	本体	13M	外観点検																																																																																																																																																		
				本体	130M	分解点検																																																																																																																																																		
				駆動部	39M	動作試験																																																																																																																																																		
				駆動部	156M	分解点検																																																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
	<p>表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(5/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ(O.P.)</th> <th rowspan="2">PCV内環境条件の適合性</th> <th colspan="3">保全状況</th> </tr> <tr> <th>点検部位</th> <th>周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主蒸気速がし安全弁(F)</td> <td rowspan="4">B21-F001F</td> <td rowspan="4">17346</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気速がし安全弁(G)</td> <td rowspan="4">B21-F001G</td> <td rowspan="4">17346</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気速がし安全弁(H) ADS</td> <td rowspan="4">B21-F001H</td> <td rowspan="4">17346</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気速がし安全弁(J) ADS</td> <td rowspan="4">B21-F001J</td> <td rowspan="4">17363</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気速がし安全弁(K)</td> <td rowspan="4">B21-F001K</td> <td rowspan="4">17363</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	機器番号	機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況			点検部位	周期	保全内容	主蒸気速がし安全弁(F)	B21-F001F	17346	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気速がし安全弁(G)	B21-F001G	17346	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気速がし安全弁(H) ADS	B21-F001H	17346	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気速がし安全弁(J) ADS	B21-F001J	17363	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替	主蒸気速がし安全弁(K)	B21-F001K	17363	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替		
機器名称	機器番号					機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況																																																																																					
		点検部位	周期	保全内容																																																																																									
主蒸気速がし安全弁(F)	B21-F001F	17346	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																							
				駆動部	13M	分解点検																																																																																							
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																							
				電磁弁	39M	取替																																																																																							
主蒸気速がし安全弁(G)	B21-F001G	17346	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																							
				駆動部	13M	分解点検																																																																																							
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																							
				電磁弁	39M	取替																																																																																							
主蒸気速がし安全弁(H) ADS	B21-F001H	17346	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																							
				駆動部	13M	分解点検																																																																																							
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																							
				電磁弁	39M	取替																																																																																							
主蒸気速がし安全弁(J) ADS	B21-F001J	17363	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																							
				駆動部	13M	分解点検																																																																																							
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																							
				電磁弁	39M	取替																																																																																							
主蒸気速がし安全弁(K)	B21-F001K	17363	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																							
				駆動部	13M	分解点検																																																																																							
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																							
				電磁弁	39M	取替																																																																																							



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																			
	<p>表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(6/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ(O.P.)</th> <th rowspan="2">PCV内環境条件の適合性</th> <th colspan="3">保全状況</th> </tr> <tr> <th>点検部位</th> <th>周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主蒸気逃がし安全弁(L) ADS</td> <td rowspan="4">E21-F001L</td> <td rowspan="4">17363</td> <td rowspan="4">○</td> <td>本体</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験</td> </tr> <tr> <td>駆動部</td> <td>13M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>リミットスイッチ</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>電磁弁</td> <td>39M</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>C UW入ロライン第一隔離弁</td> <td>G31-F002</td> <td>3350</td> <td>○</td> <td>駆動部</td> <td>60M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> <td rowspan="2">E11-F015A</td> <td rowspan="2">3350</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">駆動部</td> <td>60M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>1C</td> <td>絶縁抵抗測定</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">RHR B系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> <td rowspan="2">E11-F015B</td> <td rowspan="2">3350</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">駆動部</td> <td>60M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>1C</td> <td>絶縁抵抗測定</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">RCICタービン入口蒸気ライン第一隔離弁</td> <td rowspan="2">E51-F007</td> <td rowspan="2">16322</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">駆動部</td> <td>60M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>1C</td> <td>絶縁抵抗測定</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">RCW戻り側第一隔離弁(A)</td> <td rowspan="2">P42-F115A</td> <td rowspan="2">1650</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">駆動部</td> <td>60M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>1C</td> <td>絶縁抵抗測定</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">RCW戻り側第一隔離弁(B)</td> <td rowspan="2">P42-F115B</td> <td rowspan="2">1650</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">駆動部</td> <td>60M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>1C</td> <td>絶縁抵抗測定</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">BNCW 戻りライン第一隔離弁</td> <td rowspan="2">P24-F107</td> <td rowspan="2">11290</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">駆動部</td> <td>60M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>1C</td> <td>絶縁抵抗測定</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D/W LCW サンプ第一隔離弁</td> <td rowspan="2">K11-F003</td> <td rowspan="2">1650</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">駆動部</td> <td>60M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>1C</td> <td>絶縁抵抗測定</td> </tr> </tbody> </table> <p>表1 原子炉格納容器内防護対象設備リスト(7/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">機器番号</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ(O.P.)</th> <th rowspan="2">PCV内環境条件の適合性</th> <th colspan="3">保全状況</th> </tr> <tr> <th>点検部位</th> <th>周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">D/W BFW サンプ第一隔離弁</td> <td rowspan="2">K11-F103</td> <td rowspan="2">1650</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">駆動部</td> <td>60M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>1C</td> <td>絶縁抵抗測定</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	機器番号	機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況			点検部位	周期	保全内容	主蒸気逃がし安全弁(L) ADS	E21-F001L	17363	○	本体	1C	機能・性能試験	駆動部	13M	分解点検	リミットスイッチ	39M	取替	電磁弁	39M	取替	C UW入ロライン第一隔離弁	G31-F002	3350	○	駆動部	60M	分解点検	RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁	E11-F015A	3350	○	駆動部	60M	分解点検	1C	絶縁抵抗測定	RHR B系停止時冷却吸込第一隔離弁	E11-F015B	3350	○	駆動部	60M	分解点検	1C	絶縁抵抗測定	RCICタービン入口蒸気ライン第一隔離弁	E51-F007	16322	○	駆動部	60M	分解点検	1C	絶縁抵抗測定	RCW戻り側第一隔離弁(A)	P42-F115A	1650	○	駆動部	60M	分解点検	1C	絶縁抵抗測定	RCW戻り側第一隔離弁(B)	P42-F115B	1650	○	駆動部	60M	分解点検	1C	絶縁抵抗測定	BNCW 戻りライン第一隔離弁	P24-F107	11290	○	駆動部	60M	分解点検	1C	絶縁抵抗測定	D/W LCW サンプ第一隔離弁	K11-F003	1650	○	駆動部	60M	分解点検	1C	絶縁抵抗測定	機器名称	機器番号	機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況			点検部位	周期	保全内容	D/W BFW サンプ第一隔離弁	K11-F103	1650	○	駆動部	60M	分解点検	1C	絶縁抵抗測定		
機器名称	機器番号					機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況																																																																																																														
		点検部位	周期	保全内容																																																																																																																		
主蒸気逃がし安全弁(L) ADS	E21-F001L	17363	○	本体	1C	機能・性能試験																																																																																																																
				駆動部	13M	分解点検																																																																																																																
				リミットスイッチ	39M	取替																																																																																																																
				電磁弁	39M	取替																																																																																																																
C UW入ロライン第一隔離弁	G31-F002	3350	○	駆動部	60M	分解点検																																																																																																																
RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁	E11-F015A	3350	○	駆動部	60M	分解点検																																																																																																																
					1C	絶縁抵抗測定																																																																																																																
RHR B系停止時冷却吸込第一隔離弁	E11-F015B	3350	○	駆動部	60M	分解点検																																																																																																																
					1C	絶縁抵抗測定																																																																																																																
RCICタービン入口蒸気ライン第一隔離弁	E51-F007	16322	○	駆動部	60M	分解点検																																																																																																																
					1C	絶縁抵抗測定																																																																																																																
RCW戻り側第一隔離弁(A)	P42-F115A	1650	○	駆動部	60M	分解点検																																																																																																																
					1C	絶縁抵抗測定																																																																																																																
RCW戻り側第一隔離弁(B)	P42-F115B	1650	○	駆動部	60M	分解点検																																																																																																																
					1C	絶縁抵抗測定																																																																																																																
BNCW 戻りライン第一隔離弁	P24-F107	11290	○	駆動部	60M	分解点検																																																																																																																
					1C	絶縁抵抗測定																																																																																																																
D/W LCW サンプ第一隔離弁	K11-F003	1650	○	駆動部	60M	分解点検																																																																																																																
					1C	絶縁抵抗測定																																																																																																																
機器名称	機器番号	機能喪失高さ(O.P.)	PCV内環境条件の適合性	保全状況																																																																																																																		
				点検部位	周期	保全内容																																																																																																																
D/W BFW サンプ第一隔離弁	K11-F103	1650	○	駆動部	60M	分解点検																																																																																																																
					1C	絶縁抵抗測定																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1-1 防護対象設備の選定について より抜粋</p> <p>(3) 使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能に必要な計装設備</p> <p>水温、水位の変化は急激なものではないと考えられることから運転員による計測に期待するものとし既存の設備には期待しないものとする。</p>	<p>3. 「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」についての補足</p> <p>3.1 状態監視のみの現場指示計</p> <p>使用済燃料プールの冷却・給水機能を適切に維持するために必要な設備を防護対象設備とし抽出しており、これらの防護対象設備の機能が維持されていれば、保安規定等で要求される使用済燃料プールの水位及び水温についても満足できる。なお、使用済燃料プールの水位及び水温を監視する設備については、状態監視のみの計器であることから溢水影響評価から除外している。これらの考え方を下記に示す。</p> <p>(1) 使用済燃料プール水温</p> <p>燃料プール冷却浄化系は、プール水がプールからスキマ堰を通り、スキマサージタンクを経て燃料プール冷却浄化系ポンプによって加圧され、熱交換器を通して冷却されてプールに戻る系統構成となっている。また当該系統の設計仕様について、ポンプ定格流量が確保されれば、熱交換器によりプール水温を通常52℃以下、動的機器の単一故障時においても保安規定で定める65℃以下に維持できる設計としている。したがって、当該ポンプの機能維持（ポンプ出口流量が定格流量であること）を確認することで、間接的にプール水温が適切に維持されていることを確認できる。なお当該ポンプ出口流量計は防護対象設備として抽出している。</p> <p>(2) 使用済燃料プール水位</p> <p>地震後の使用済燃料プール水位は一時的にオーバーフロー水位を下回るが、プール水位が低下した際には、スキマサージタンク水位計によって検知できる（スキマサージタンク水位計は防護対象設備として抽出している）。なお、使用済燃料プールへの水の補給については、残留熱除去系による補給が可能である。</p>	<p>3. 「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」についての補足</p> <p>3.1 状態監視のみの現場指示計</p> <p>使用済燃料ピットの冷却・給水機能を適切に維持するために必要な設備を防護対象設備とし抽出しており、これらの防護対象設備の機能が維持されていれば、保安規定等で要求される使用済燃料ピットの水位及び水温についても満足できる。なお、使用済燃料ピットの水位及び水温を監視する設備については、状態監視のみの計器であることから溢水影響評価から除外している。</p> <p>また、水温、水位の変化は急激なものではないと考えられることから運転員による計測に期待するものとし既存の設備には期待しないものとする。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>女川は使用済燃料プールのスロッシング後に、プールの冷却・給水手順を定めているが、泊では、スロッシングにより使用済燃料ピットの冷却に必要な水位を下回らないことを確認することとしている。よって、使用済燃料ピットの状態監視計器については、運転員による計測に期待することのみを記載している。（大阪と同じ）</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料3）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																													
	<p>3.2 フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備                      フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備について、表2に示す。</p> <p>表2 フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備(1/3)</p> <table border="1" data-bbox="698 558 1272 1316"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>AC</td><td>T48-F001</td><td>バージ用空気供給側隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F002</td><td>D/W バージ用入口隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F003</td><td>S/C バージ用入口隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F005A</td><td>格納容器外真空逃がし隔離弁(A)</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F005B</td><td>格納容器外真空逃がし隔離弁(B)</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F010</td><td>補給用窒素ガス供給側第二隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F011</td><td>D/W 補給用窒素ガス供給用第一隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F012</td><td>S/C 補給用窒素ガス供給用第一隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F016</td><td>バージ用窒素ガス供給側第二隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F019</td><td>D/W ベント用出口隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F020</td><td>ベント用 S/GTS 側隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F021</td><td>ベント用 HVAC 側隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F022</td><td>S/C ベント用出口隔離弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F023</td><td>D/W ベント用出口隔離弁バイパス弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-F024</td><td>S/C ベント用出口隔離弁バイパス弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042A</td><td>真空破壊弁(A)計装用空気配管隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042B</td><td>真空破壊弁(B)計装用空気配管隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042C</td><td>真空破壊弁(C)計装用空気配管隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042D</td><td>真空破壊弁(D)計装用空気配管隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042E</td><td>真空破壊弁(E)計装用空気配管隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F042F</td><td>真空破壊弁(F)計装用空気配管隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F710</td><td>LS015 D/W 冠水水位計装配管(L)側隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F721</td><td>露点サンプリング入口第一隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F722</td><td>露点サンプリング入口第二隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F723</td><td>露点サンプリング戻り第二隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F724</td><td>露点サンプリング戻り第一隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F727</td><td>漏えい検出系放射線モニタ入口第一隔離弁</td><td>SO</td></tr> </tbody> </table>	系統	機器番号	設備	分類	AC	T48-F001	バージ用空気供給側隔離弁	AO	AC	T48-F002	D/W バージ用入口隔離弁	AO	AC	T48-F003	S/C バージ用入口隔離弁	AO	AC	T48-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁(A)	AO	AC	T48-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁(B)	AO	AC	T48-F010	補給用窒素ガス供給側第二隔離弁	AO	AC	T48-F011	D/W 補給用窒素ガス供給用第一隔離弁	AO	AC	T48-F012	S/C 補給用窒素ガス供給用第一隔離弁	AO	AC	T48-F016	バージ用窒素ガス供給側第二隔離弁	AO	AC	T48-F019	D/W ベント用出口隔離弁	AO	AC	T48-F020	ベント用 S/GTS 側隔離弁	AO	AC	T48-F021	ベント用 HVAC 側隔離弁	AO	AC	T48-F022	S/C ベント用出口隔離弁	AO	AC	T48-F023	D/W ベント用出口隔離弁バイパス弁	AO	AC	T48-F024	S/C ベント用出口隔離弁バイパス弁	AO	AC	T48-S0-F042A	真空破壊弁(A)計装用空気配管隔離弁	SO	AC	T48-S0-F042B	真空破壊弁(B)計装用空気配管隔離弁	SO	AC	T48-S0-F042C	真空破壊弁(C)計装用空気配管隔離弁	SO	AC	T48-S0-F042D	真空破壊弁(D)計装用空気配管隔離弁	SO	AC	T48-S0-F042E	真空破壊弁(E)計装用空気配管隔離弁	SO	AC	T48-S0-F042F	真空破壊弁(F)計装用空気配管隔離弁	SO	AC	T48-S0-F710	LS015 D/W 冠水水位計装配管(L)側隔離弁	SO	AC	T48-S0-F721	露点サンプリング入口第一隔離弁	SO	AC	T48-S0-F722	露点サンプリング入口第二隔離弁	SO	AC	T48-S0-F723	露点サンプリング戻り第二隔離弁	SO	AC	T48-S0-F724	露点サンプリング戻り第一隔離弁	SO	AC	T48-S0-F727	漏えい検出系放射線モニタ入口第一隔離弁	SO	<p>3.2 フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備                      フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備について、表2に示す。</p> <p>表2 フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備(1/4)</p> <table border="1" data-bbox="1281 550 1863 1284"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-054A, B</td><td>A-加圧器逃がし弁元弁</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3LCV-451, 452</td><td>抽出ライン第1(2)止め弁</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-077</td><td>加圧器逃がしタンク自動ガス分析ライン C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-078</td><td>加圧器逃がしタンク自動ガス分析ライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-084</td><td>加圧器逃がしタンク窒素供給ライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>1次冷却系統</td><td>3V-RC-093</td><td>加圧器逃がしタンク補給水ライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3FCV-138</td><td>充てん流量制御弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-167</td><td>充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-191</td><td>充てんライン止め弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-186</td><td>加圧器補助スプレイ弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-455A, B</td><td>ほう酸タンク出口弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-466A, B</td><td>ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-473A, B</td><td>ほう酸ポンプ出口循環ライン切替弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-474A, B</td><td>ほう酸フィルタ出口 A (B) ほう酸タンク戻り弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-499A, B</td><td>ほう酸ポンプ入口切替弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-004A, B, C</td><td>抽出オリフィス出口 C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-006</td><td>抽出ライン格納容器外側隔離弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-224A, B, C</td><td>1次冷却材ポンプ封水注入ライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>化学体積制御系統</td><td>3V-CS-242A, B, C</td><td>1次冷却材ポンプ封水戻りオリフィスバイパス弁</td></tr> <tr><td>安全注入系統</td><td>3V-SI-141</td><td>ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁</td></tr> <tr><td>安全注入系統</td><td>3V-SI-145, 146</td><td>ほう酸注入タンク循環ライン出口第1(2)止め弁</td></tr> <tr><td>安全注入系統</td><td>3V-SI-132A, B, C</td><td>蓄圧タンク出口弁</td></tr> <tr><td>安全注入系統</td><td>3V-SI-123A, B, C</td><td>蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>安全注入系統</td><td>3V-SI-124</td><td>蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>安全注入系統</td><td>3V-SI-164</td><td>蓄圧タンク窒素供給ライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>安全注入系統</td><td>3V-SI-184</td><td>安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>安全注入系統</td><td>3V-SI-185</td><td>蓄圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>安全注入系統</td><td>3V-SI-186</td><td>安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>余熱除去系統</td><td>3HCY-603, 613</td><td>余熱除去冷却器出口流量調節弁</td></tr> <tr><td>余熱除去系統</td><td>3FCV-604, 614</td><td>余熱除去 A (B) ライン流量制御弁</td></tr> </tbody> </table>	系統	機器番号	設備	1次冷却系統	3V-RC-054A, B	A-加圧器逃がし弁元弁	1次冷却系統	3LCV-451, 452	抽出ライン第1(2)止め弁	1次冷却系統	3V-RC-077	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ライン C/V 内側隔離弁	1次冷却系統	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ライン C/V 外側隔離弁	1次冷却系統	3V-RC-084	加圧器逃がしタンク窒素供給ライン C/V 外側隔離弁	1次冷却系統	3V-RC-093	加圧器逃がしタンク補給水ライン C/V 外側隔離弁	化学体積制御系統	3FCV-138	充てん流量制御弁	化学体積制御系統	3V-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁	化学体積制御系統	3V-CS-191	充てんライン止め弁	化学体積制御系統	3V-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	化学体積制御系統	3V-CS-455A, B	ほう酸タンク出口弁	化学体積制御系統	3V-CS-466A, B	ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁	化学体積制御系統	3V-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口循環ライン切替弁	化学体積制御系統	3V-CS-474A, B	ほう酸フィルタ出口 A (B) ほう酸タンク戻り弁	化学体積制御系統	3V-CS-499A, B	ほう酸ポンプ入口切替弁	化学体積制御系統	3V-CS-004A, B, C	抽出オリフィス出口 C/V 内側隔離弁	化学体積制御系統	3V-CS-006	抽出ライン格納容器外側隔離弁	化学体積制御系統	3V-CS-224A, B, C	1次冷却材ポンプ封水注入ライン C/V 外側隔離弁	化学体積制御系統	3V-CS-242A, B, C	1次冷却材ポンプ封水戻りオリフィスバイパス弁	安全注入系統	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	安全注入系統	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1(2)止め弁	安全注入系統	3V-SI-132A, B, C	蓄圧タンク出口弁	安全注入系統	3V-SI-123A, B, C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	安全注入系統	3V-SI-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁	安全注入系統	3V-SI-164	蓄圧タンク窒素供給ライン C/V 外側隔離弁	安全注入系統	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁	安全注入系統	3V-SI-185	蓄圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁	安全注入系統	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁	余熱除去系統	3HCY-603, 613	余熱除去冷却器出口流量調節弁	余熱除去系統	3FCV-604, 614	余熱除去 A (B) ライン流量制御弁	
系統	機器番号	設備	分類																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F001	バージ用空気供給側隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F002	D/W バージ用入口隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F003	S/C バージ用入口隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁(A)	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁(B)	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F010	補給用窒素ガス供給側第二隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F011	D/W 補給用窒素ガス供給用第一隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F012	S/C 補給用窒素ガス供給用第一隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F016	バージ用窒素ガス供給側第二隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F019	D/W ベント用出口隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F020	ベント用 S/GTS 側隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F021	ベント用 HVAC 側隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F022	S/C ベント用出口隔離弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F023	D/W ベント用出口隔離弁バイパス弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-F024	S/C ベント用出口隔離弁バイパス弁	AO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F042A	真空破壊弁(A)計装用空気配管隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F042B	真空破壊弁(B)計装用空気配管隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F042C	真空破壊弁(C)計装用空気配管隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F042D	真空破壊弁(D)計装用空気配管隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F042E	真空破壊弁(E)計装用空気配管隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F042F	真空破壊弁(F)計装用空気配管隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F710	LS015 D/W 冠水水位計装配管(L)側隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F721	露点サンプリング入口第一隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F722	露点サンプリング入口第二隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F723	露点サンプリング戻り第二隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F724	露点サンプリング戻り第一隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
AC	T48-S0-F727	漏えい検出系放射線モニタ入口第一隔離弁	SO																																																																																																																																																																																																													
系統	機器番号	設備																																																																																																																																																																																																														
1次冷却系統	3V-RC-054A, B	A-加圧器逃がし弁元弁																																																																																																																																																																																																														
1次冷却系統	3LCV-451, 452	抽出ライン第1(2)止め弁																																																																																																																																																																																																														
1次冷却系統	3V-RC-077	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ライン C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
1次冷却系統	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
1次冷却系統	3V-RC-084	加圧器逃がしタンク窒素供給ライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
1次冷却系統	3V-RC-093	加圧器逃がしタンク補給水ライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3FCV-138	充てん流量制御弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-191	充てんライン止め弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-186	加圧器補助スプレイ弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-455A, B	ほう酸タンク出口弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-466A, B	ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口循環ライン切替弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-474A, B	ほう酸フィルタ出口 A (B) ほう酸タンク戻り弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-499A, B	ほう酸ポンプ入口切替弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-004A, B, C	抽出オリフィス出口 C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-006	抽出ライン格納容器外側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-224A, B, C	1次冷却材ポンプ封水注入ライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
化学体積制御系統	3V-CS-242A, B, C	1次冷却材ポンプ封水戻りオリフィスバイパス弁																																																																																																																																																																																																														
安全注入系統	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁																																																																																																																																																																																																														
安全注入系統	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1(2)止め弁																																																																																																																																																																																																														
安全注入系統	3V-SI-132A, B, C	蓄圧タンク出口弁																																																																																																																																																																																																														
安全注入系統	3V-SI-123A, B, C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
安全注入系統	3V-SI-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
安全注入系統	3V-SI-164	蓄圧タンク窒素供給ライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
安全注入系統	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
安全注入系統	3V-SI-185	蓄圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
安全注入系統	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																																														
余熱除去系統	3HCY-603, 613	余熱除去冷却器出口流量調節弁																																																																																																																																																																																																														
余熱除去系統	3FCV-604, 614	余熱除去 A (B) ライン流量制御弁																																																																																																																																																																																																														



泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料3）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																														
	<p>表2 フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F728</td><td>漏えい検出系放射線モニタ入口第二隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F729</td><td>漏えい検出系放射線モニタ戻り第二隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F730</td><td>漏えい検出系放射線モニタ戻り第一隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F772</td><td>T48-LS025 D/W 水位計装配管(L)側隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>AC</td><td>T48-S0-F774</td><td>T48-LS025 D/W 水位計装配管(H)側隔離弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>C12-D001-126</td><td>スクラム入口弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>CRD</td><td>C12-D001-139</td><td>スクラムパイロット弁</td><td>SO</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>B21-F052A</td><td>FDW 第二隔離弁(A)</td><td>AO</td></tr> <tr><td>FDW</td><td>B21-F052B</td><td>FDW 第二隔離弁(B)</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HECW</td><td>P25-F007A</td><td>中央制御室給気冷却コイル(A)温度調節弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HECW</td><td>P25-F007B</td><td>中央制御室給気冷却コイル(B)温度調節弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HECW</td><td>P25-F018A</td><td>計測制御電源(A)室給気冷却コイル温度調節弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HECW</td><td>P25-F018B</td><td>計測制御電源(B)室給気冷却コイル温度調節弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HECW</td><td>P25-F024A</td><td>原子炉補機(A)室給気冷却コイル温度調節弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HECW</td><td>P25-F024B</td><td>原子炉補機(B)室給気冷却コイル温度調節弁</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-D201A</td><td>CAMS(A)室非常用給気隔離ダンパ</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-D201B</td><td>CAMS(B)室非常用給気隔離ダンパ</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-D202A</td><td>CAMS(A)室非常用排気隔離ダンパ</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-D202B</td><td>CAMS(B)室非常用排気隔離ダンパ</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-D203</td><td>DC-MCC 2A 室非常用給気隔離ダンパ</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-D204</td><td>DC-MCC 2A 室非常用排気隔離ダンパ</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-F001A</td><td>原子炉棟給気隔離弁(A)</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-F001B</td><td>原子炉棟給気隔離弁(B)</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-F002A</td><td>原子炉棟排気隔離弁(A)</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-F002B</td><td>原子炉棟排気隔離弁(B)</td><td>AO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-F522A</td><td>原子炉棟給気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)</td><td>SO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-F522B</td><td>原子炉棟給気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)</td><td>SO</td></tr> <tr><td>HVAC</td><td>V10-F530A</td><td>原子炉棟排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)</td><td>SO</td></tr> </tbody> </table>	系統	機器番号	設備	分類	AC	T48-S0-F728	漏えい検出系放射線モニタ入口第二隔離弁	SO	AC	T48-S0-F729	漏えい検出系放射線モニタ戻り第二隔離弁	SO	AC	T48-S0-F730	漏えい検出系放射線モニタ戻り第一隔離弁	SO	AC	T48-S0-F772	T48-LS025 D/W 水位計装配管(L)側隔離弁	SO	AC	T48-S0-F774	T48-LS025 D/W 水位計装配管(H)側隔離弁	SO	CRD	C12-D001-126	スクラム入口弁	AO	CRD	C12-D001-139	スクラムパイロット弁	SO	FDW	B21-F052A	FDW 第二隔離弁(A)	AO	FDW	B21-F052B	FDW 第二隔離弁(B)	AO	HECW	P25-F007A	中央制御室給気冷却コイル(A)温度調節弁	AO	HECW	P25-F007B	中央制御室給気冷却コイル(B)温度調節弁	AO	HECW	P25-F018A	計測制御電源(A)室給気冷却コイル温度調節弁	AO	HECW	P25-F018B	計測制御電源(B)室給気冷却コイル温度調節弁	AO	HECW	P25-F024A	原子炉補機(A)室給気冷却コイル温度調節弁	AO	HECW	P25-F024B	原子炉補機(B)室給気冷却コイル温度調節弁	AO	HVAC	V10-D201A	CAMS(A)室非常用給気隔離ダンパ	AO	HVAC	V10-D201B	CAMS(B)室非常用給気隔離ダンパ	AO	HVAC	V10-D202A	CAMS(A)室非常用排気隔離ダンパ	AO	HVAC	V10-D202B	CAMS(B)室非常用排気隔離ダンパ	AO	HVAC	V10-D203	DC-MCC 2A 室非常用給気隔離ダンパ	AO	HVAC	V10-D204	DC-MCC 2A 室非常用排気隔離ダンパ	AO	HVAC	V10-F001A	原子炉棟給気隔離弁(A)	AO	HVAC	V10-F001B	原子炉棟給気隔離弁(B)	AO	HVAC	V10-F002A	原子炉棟排気隔離弁(A)	AO	HVAC	V10-F002B	原子炉棟排気隔離弁(B)	AO	HVAC	V10-F522A	原子炉棟給気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	SO	HVAC	V10-F522B	原子炉棟給気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	SO	HVAC	V10-F530A	原子炉棟排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	SO	<p>表2 フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備(2/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>余熱除去系統</td><td>3V-RH-029A, B</td><td>余熱除去 A (B) ライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td rowspan="2">主蒸気系統</td><td>3HCV-3616, 3626, 3636</td><td>主蒸気バイパス隔離弁</td></tr> <tr><td>3V-MS-575A, B</td><td>タービン動機補助水ポンプ駆動蒸気 B (C) 主蒸気ライン元弁</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>3V-MS-518A, B, C</td><td>主蒸気速がし弁元弁</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>3V-MS-581</td><td>非常用タービングラウンド蒸気元弁</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>3V-MS-601A, B, C</td><td>主蒸気隔離弁上流ドレンライン隔離弁</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器スプレシステム</td><td>3V-CP-056A, B</td><td>よう素除去薬品タンク注入 A (B) ライン止め弁後弁</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水系統</td><td>3V-CC-054A, B, C, D</td><td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口弁</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系統</td><td>3V-WL-005</td><td>CVDT 自動ガス分析ライン C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系統</td><td>3V-WL-006</td><td>CVDT 自動ガス分析ライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系統</td><td>3V-WL-010</td><td>格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系統</td><td>3V-WL-011</td><td>格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系統</td><td>3V-WL-017</td><td>格納容器冷却材ドレンタンク室素供給 C/V 隔離弁</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系統</td><td>3V-WL-031</td><td>格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系統</td><td>3V-WL-032</td><td>格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系統</td><td>3V-WL-113</td><td>格納容器サンブポンプ出口 C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系統</td><td>3V-WL-114</td><td>格納容器サンブポンプ出口 C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>試料採取系統</td><td>3V-SS-504</td><td>加圧器気相部サンプリングライン C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>試料採取系統</td><td>3V-SS-509</td><td>加圧器液相部サンプリングライン C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>試料採取系統</td><td>3V-SS-521A</td><td>B ループ高温側、加圧器サンプリングライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>試料採取系統</td><td>3V-SS-521B</td><td>C ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁</td></tr> <tr><td>試料採取系統</td><td>3V-SS-718</td><td>PASS1 次冷却材サンプル戻りライン C/V 外側隔離弁</td></tr> <tr><td>格納容器減圧設備および格納容器水素制御設備</td><td>3V-DP-002A, B</td><td>格納容器減圧ライン格納容器外側隔離弁</td></tr> <tr><td>格納容器減圧設備および格納容器水素制御設備</td><td>3V-HC-304A, B</td><td>格納容器水素バージ給気ライン格納容器外側隔離弁</td></tr> </tbody> </table>	系統	機器番号	設備	余熱除去系統	3V-RH-029A, B	余熱除去 A (B) ライン C/V 外側隔離弁	主蒸気系統	3HCV-3616, 3626, 3636	主蒸気バイパス隔離弁	3V-MS-575A, B	タービン動機補助水ポンプ駆動蒸気 B (C) 主蒸気ライン元弁	主蒸気系統	3V-MS-518A, B, C	主蒸気速がし弁元弁	主蒸気系統	3V-MS-581	非常用タービングラウンド蒸気元弁	主蒸気系統	3V-MS-601A, B, C	主蒸気隔離弁上流ドレンライン隔離弁	原子炉格納容器スプレシステム	3V-CP-056A, B	よう素除去薬品タンク注入 A (B) ライン止め弁後弁	原子炉補機冷却水系統	3V-CC-054A, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口弁	液体廃棄物処理系統	3V-WL-005	CVDT 自動ガス分析ライン C/V 内側隔離弁	液体廃棄物処理系統	3V-WL-006	CVDT 自動ガス分析ライン C/V 外側隔離弁	液体廃棄物処理系統	3V-WL-010	格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V 内側隔離弁	液体廃棄物処理系統	3V-WL-011	格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V 外側隔離弁	液体廃棄物処理系統	3V-WL-017	格納容器冷却材ドレンタンク室素供給 C/V 隔離弁	液体廃棄物処理系統	3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V 内側隔離弁	液体廃棄物処理系統	3V-WL-032	格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V 外側隔離弁	液体廃棄物処理系統	3V-WL-113	格納容器サンブポンプ出口 C/V 内側隔離弁	液体廃棄物処理系統	3V-WL-114	格納容器サンブポンプ出口 C/V 外側隔離弁	試料採取系統	3V-SS-504	加圧器気相部サンプリングライン C/V 内側隔離弁	試料採取系統	3V-SS-509	加圧器液相部サンプリングライン C/V 内側隔離弁	試料採取系統	3V-SS-521A	B ループ高温側、加圧器サンプリングライン C/V 外側隔離弁	試料採取系統	3V-SS-521B	C ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁	試料採取系統	3V-SS-718	PASS1 次冷却材サンプル戻りライン C/V 外側隔離弁	格納容器減圧設備および格納容器水素制御設備	3V-DP-002A, B	格納容器減圧ライン格納容器外側隔離弁	格納容器減圧設備および格納容器水素制御設備	3V-HC-304A, B	格納容器水素バージ給気ライン格納容器外側隔離弁	
系統	機器番号	設備	分類																																																																																																																																																																																														
AC	T48-S0-F728	漏えい検出系放射線モニタ入口第二隔離弁	SO																																																																																																																																																																																														
AC	T48-S0-F729	漏えい検出系放射線モニタ戻り第二隔離弁	SO																																																																																																																																																																																														
AC	T48-S0-F730	漏えい検出系放射線モニタ戻り第一隔離弁	SO																																																																																																																																																																																														
AC	T48-S0-F772	T48-LS025 D/W 水位計装配管(L)側隔離弁	SO																																																																																																																																																																																														
AC	T48-S0-F774	T48-LS025 D/W 水位計装配管(H)側隔離弁	SO																																																																																																																																																																																														
CRD	C12-D001-126	スクラム入口弁	AO																																																																																																																																																																																														
CRD	C12-D001-139	スクラムパイロット弁	SO																																																																																																																																																																																														
FDW	B21-F052A	FDW 第二隔離弁(A)	AO																																																																																																																																																																																														
FDW	B21-F052B	FDW 第二隔離弁(B)	AO																																																																																																																																																																																														
HECW	P25-F007A	中央制御室給気冷却コイル(A)温度調節弁	AO																																																																																																																																																																																														
HECW	P25-F007B	中央制御室給気冷却コイル(B)温度調節弁	AO																																																																																																																																																																																														
HECW	P25-F018A	計測制御電源(A)室給気冷却コイル温度調節弁	AO																																																																																																																																																																																														
HECW	P25-F018B	計測制御電源(B)室給気冷却コイル温度調節弁	AO																																																																																																																																																																																														
HECW	P25-F024A	原子炉補機(A)室給気冷却コイル温度調節弁	AO																																																																																																																																																																																														
HECW	P25-F024B	原子炉補機(B)室給気冷却コイル温度調節弁	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-D201A	CAMS(A)室非常用給気隔離ダンパ	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-D201B	CAMS(B)室非常用給気隔離ダンパ	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-D202A	CAMS(A)室非常用排気隔離ダンパ	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-D202B	CAMS(B)室非常用排気隔離ダンパ	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-D203	DC-MCC 2A 室非常用給気隔離ダンパ	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-D204	DC-MCC 2A 室非常用排気隔離ダンパ	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-F001A	原子炉棟給気隔離弁(A)	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-F001B	原子炉棟給気隔離弁(B)	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-F002A	原子炉棟排気隔離弁(A)	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-F002B	原子炉棟排気隔離弁(B)	AO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-F522A	原子炉棟給気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	SO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-F522B	原子炉棟給気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	SO																																																																																																																																																																																														
HVAC	V10-F530A	原子炉棟排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	SO																																																																																																																																																																																														
系統	機器番号	設備																																																																																																																																																																																															
余熱除去系統	3V-RH-029A, B	余熱除去 A (B) ライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																															
主蒸気系統	3HCV-3616, 3626, 3636	主蒸気バイパス隔離弁																																																																																																																																																																																															
	3V-MS-575A, B	タービン動機補助水ポンプ駆動蒸気 B (C) 主蒸気ライン元弁																																																																																																																																																																																															
主蒸気系統	3V-MS-518A, B, C	主蒸気速がし弁元弁																																																																																																																																																																																															
主蒸気系統	3V-MS-581	非常用タービングラウンド蒸気元弁																																																																																																																																																																																															
主蒸気系統	3V-MS-601A, B, C	主蒸気隔離弁上流ドレンライン隔離弁																																																																																																																																																																																															
原子炉格納容器スプレシステム	3V-CP-056A, B	よう素除去薬品タンク注入 A (B) ライン止め弁後弁																																																																																																																																																																																															
原子炉補機冷却水系統	3V-CC-054A, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口弁																																																																																																																																																																																															
液体廃棄物処理系統	3V-WL-005	CVDT 自動ガス分析ライン C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																															
液体廃棄物処理系統	3V-WL-006	CVDT 自動ガス分析ライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																															
液体廃棄物処理系統	3V-WL-010	格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																															
液体廃棄物処理系統	3V-WL-011	格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																															
液体廃棄物処理系統	3V-WL-017	格納容器冷却材ドレンタンク室素供給 C/V 隔離弁																																																																																																																																																																																															
液体廃棄物処理系統	3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																															
液体廃棄物処理系統	3V-WL-032	格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																															
液体廃棄物処理系統	3V-WL-113	格納容器サンブポンプ出口 C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																															
液体廃棄物処理系統	3V-WL-114	格納容器サンブポンプ出口 C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																															
試料採取系統	3V-SS-504	加圧器気相部サンプリングライン C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																															
試料採取系統	3V-SS-509	加圧器液相部サンプリングライン C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																															
試料採取系統	3V-SS-521A	B ループ高温側、加圧器サンプリングライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																															
試料採取系統	3V-SS-521B	C ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁																																																																																																																																																																																															
試料採取系統	3V-SS-718	PASS1 次冷却材サンプル戻りライン C/V 外側隔離弁																																																																																																																																																																																															
格納容器減圧設備および格納容器水素制御設備	3V-DP-002A, B	格納容器減圧ライン格納容器外側隔離弁																																																																																																																																																																																															
格納容器減圧設備および格納容器水素制御設備	3V-HC-304A, B	格納容器水素バージ給気ライン格納容器外側隔離弁																																																																																																																																																																																															

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料3）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																							
	<p>表2 フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備(3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HVAC</td> <td>V10-F530B</td> <td>原子炉棟排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)</td> <td>SO</td> </tr> <tr> <td>MS</td> <td>B21-F003A</td> <td>主蒸気第二隔離弁(A)</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>MS</td> <td>B21-F003B</td> <td>主蒸気第二隔離弁(B)</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>MS</td> <td>B21-F003C</td> <td>主蒸気第二隔離弁(C)</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>MS</td> <td>B21-F003D</td> <td>主蒸気第二隔離弁(D)</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>PLR</td> <td>B32-F014</td> <td>PLR サンプルライン第二隔離弁</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>RCW</td> <td>F42-F006A</td> <td>RCW 冷却水供給温度熱交換器(A)側調節弁</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>RCW</td> <td>F42-F006B</td> <td>RCW 冷却水供給温度熱交換器(B)側調節弁</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>RCW</td> <td>F42-F010A</td> <td>RCW 冷却水供給温度ポンプ(A)側調節弁</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>RCW</td> <td>F42-F010B</td> <td>RCW 冷却水供給温度ポンプ(B)側調節弁</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>RCW</td> <td>F42-F089A</td> <td>RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(A)</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>RCW</td> <td>F42-F089B</td> <td>RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(B)</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>RCW</td> <td>F42-F089C</td> <td>RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(C)</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>RCW</td> <td>F42-F089D</td> <td>RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(D)</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>SGTS</td> <td>T46-F001A</td> <td>非常用ガス処理系入口弁(A)</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>SGTS</td> <td>T46-F001B</td> <td>非常用ガス処理系入口弁(B)</td> <td>AO</td> </tr> <tr> <td>TIP</td> <td>C51-F083</td> <td>TIP バージ隔離弁</td> <td>SO</td> </tr> </tbody> </table>	系統	機器番号	設備	分類	HVAC	V10-F530B	原子炉棟排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	SO	MS	B21-F003A	主蒸気第二隔離弁(A)	AO	MS	B21-F003B	主蒸気第二隔離弁(B)	AO	MS	B21-F003C	主蒸気第二隔離弁(C)	AO	MS	B21-F003D	主蒸気第二隔離弁(D)	AO	PLR	B32-F014	PLR サンプルライン第二隔離弁	AO	RCW	F42-F006A	RCW 冷却水供給温度熱交換器(A)側調節弁	AO	RCW	F42-F006B	RCW 冷却水供給温度熱交換器(B)側調節弁	AO	RCW	F42-F010A	RCW 冷却水供給温度ポンプ(A)側調節弁	AO	RCW	F42-F010B	RCW 冷却水供給温度ポンプ(B)側調節弁	AO	RCW	F42-F089A	RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(A)	AO	RCW	F42-F089B	RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(B)	AO	RCW	F42-F089C	RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(C)	AO	RCW	F42-F089D	RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(D)	AO	SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁(A)	AO	SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁(B)	AO	TIP	C51-F083	TIP バージ隔離弁	SO	<p>表2 フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備(3/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線監視設備空気サンプルリング系統</td> <td>3V-RM-002</td> <td>格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備空気サンプルリング系統</td> <td>3V-RM-015</td> <td>格納容器空気サンプル戻り格納容器外側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン系統</td> <td>3V-BD-028A, B, C</td> <td>ブローダウン止め弁</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン系統</td> <td>3V-BD-008A, B, C</td> <td>蒸気発生器サンプルラインC/V外側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン系統</td> <td>3V-BD-026A, B, C</td> <td>ブローダウンC/V外側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-291A, B</td> <td>燃料取扱棟事故時排気ライン隔離ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3V-VS-055</td> <td>格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3V-VS-056</td> <td>格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3V-VS-061</td> <td>格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3V-VS-062</td> <td>格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-301A, B</td> <td>安全補機室給気第1隔離ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-302A, B</td> <td>安全補機室給気第2隔離ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-303A, B</td> <td>安全補機室排気第1隔離ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-304A, B</td> <td>安全補機室排気第2隔離ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-402A, B, C, D</td> <td>ディーゼル発電機室排気ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-601A, B</td> <td>中央制御室外気取入ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-611, 612</td> <td>中央制御室排気第1(2)隔離ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3HCD-2838, 2839</td> <td>中央制御室排気風量調節ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-053</td> <td>格納容器給気気密ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-064</td> <td>格納容器排気気密ダンパ</td> </tr> </tbody> </table>	系統	機器番号	設備	放射線監視設備空気サンプルリング系統	3V-RM-002	格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁	放射線監視設備空気サンプルリング系統	3V-RM-015	格納容器空気サンプル戻り格納容器外側隔離弁	蒸気発生器ブローダウン系統	3V-BD-028A, B, C	ブローダウン止め弁	蒸気発生器ブローダウン系統	3V-BD-008A, B, C	蒸気発生器サンプルラインC/V外側隔離弁	蒸気発生器ブローダウン系統	3V-BD-026A, B, C	ブローダウンC/V外側隔離弁	換気空調設備系統	3D-VS-291A, B	燃料取扱棟事故時排気ライン隔離ダンパ	換気空調設備系統	3V-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁	換気空調設備系統	3V-VS-056	格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁	換気空調設備系統	3V-VS-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	換気空調設備系統	3V-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	換気空調設備系統	3D-VS-301A, B	安全補機室給気第1隔離ダンパ	換気空調設備系統	3D-VS-302A, B	安全補機室給気第2隔離ダンパ	換気空調設備系統	3D-VS-303A, B	安全補機室排気第1隔離ダンパ	換気空調設備系統	3D-VS-304A, B	安全補機室排気第2隔離ダンパ	換気空調設備系統	3D-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	換気空調設備系統	3D-VS-601A, B	中央制御室外気取入ダンパ	換気空調設備系統	3D-VS-611, 612	中央制御室排気第1(2)隔離ダンパ	換気空調設備系統	3HCD-2838, 2839	中央制御室排気風量調節ダンパ	換気空調設備系統	3D-VS-053	格納容器給気気密ダンパ	換気空調設備系統	3D-VS-064	格納容器排気気密ダンパ	
系統	機器番号	設備	分類																																																																																																																																							
HVAC	V10-F530B	原子炉棟排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	SO																																																																																																																																							
MS	B21-F003A	主蒸気第二隔離弁(A)	AO																																																																																																																																							
MS	B21-F003B	主蒸気第二隔離弁(B)	AO																																																																																																																																							
MS	B21-F003C	主蒸気第二隔離弁(C)	AO																																																																																																																																							
MS	B21-F003D	主蒸気第二隔離弁(D)	AO																																																																																																																																							
PLR	B32-F014	PLR サンプルライン第二隔離弁	AO																																																																																																																																							
RCW	F42-F006A	RCW 冷却水供給温度熱交換器(A)側調節弁	AO																																																																																																																																							
RCW	F42-F006B	RCW 冷却水供給温度熱交換器(B)側調節弁	AO																																																																																																																																							
RCW	F42-F010A	RCW 冷却水供給温度ポンプ(A)側調節弁	AO																																																																																																																																							
RCW	F42-F010B	RCW 冷却水供給温度ポンプ(B)側調節弁	AO																																																																																																																																							
RCW	F42-F089A	RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(A)	AO																																																																																																																																							
RCW	F42-F089B	RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(B)	AO																																																																																																																																							
RCW	F42-F089C	RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(C)	AO																																																																																																																																							
RCW	F42-F089D	RCW 常用冷却水緊急しゃ断弁(D)	AO																																																																																																																																							
SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁(A)	AO																																																																																																																																							
SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁(B)	AO																																																																																																																																							
TIP	C51-F083	TIP バージ隔離弁	SO																																																																																																																																							
系統	機器番号	設備																																																																																																																																								
放射線監視設備空気サンプルリング系統	3V-RM-002	格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁																																																																																																																																								
放射線監視設備空気サンプルリング系統	3V-RM-015	格納容器空気サンプル戻り格納容器外側隔離弁																																																																																																																																								
蒸気発生器ブローダウン系統	3V-BD-028A, B, C	ブローダウン止め弁																																																																																																																																								
蒸気発生器ブローダウン系統	3V-BD-008A, B, C	蒸気発生器サンプルラインC/V外側隔離弁																																																																																																																																								
蒸気発生器ブローダウン系統	3V-BD-026A, B, C	ブローダウンC/V外側隔離弁																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3D-VS-291A, B	燃料取扱棟事故時排気ライン隔離ダンパ																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3V-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3V-VS-056	格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3V-VS-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3V-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3D-VS-301A, B	安全補機室給気第1隔離ダンパ																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3D-VS-302A, B	安全補機室給気第2隔離ダンパ																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3D-VS-303A, B	安全補機室排気第1隔離ダンパ																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3D-VS-304A, B	安全補機室排気第2隔離ダンパ																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3D-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3D-VS-601A, B	中央制御室外気取入ダンパ																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3D-VS-611, 612	中央制御室排気第1(2)隔離ダンパ																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3HCD-2838, 2839	中央制御室排気風量調節ダンパ																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3D-VS-053	格納容器給気気密ダンパ																																																																																																																																								
換気空調設備系統	3D-VS-064	格納容器排気気密ダンパ																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1補足説明資料3）

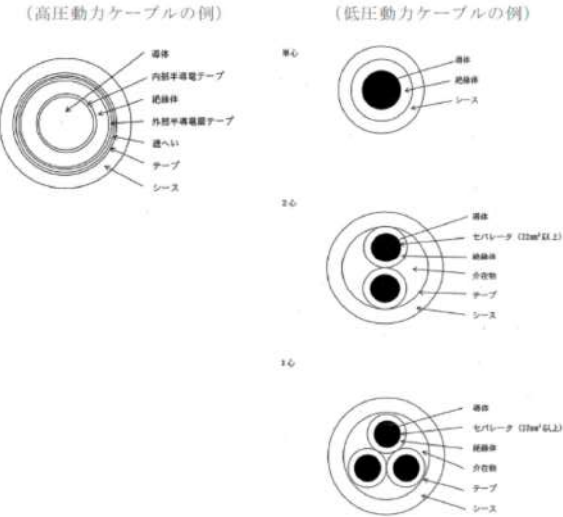
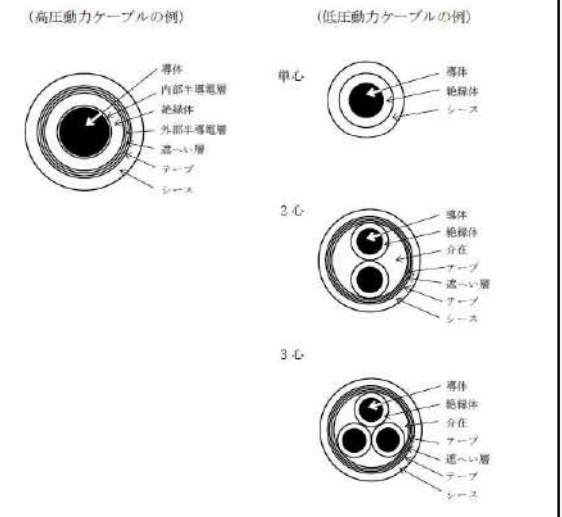
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
		<p>表2 フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした設備(4/4)</p> <table border="1" data-bbox="1290 245 1854 539"> <thead> <tr> <th>系 統</th> <th>機器番号</th> <th>設 備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-065A,B</td> <td>格納容器排気ファン出口ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3D-VS-232</td> <td>補助建屋排気隔離ダンパ</td> </tr> <tr> <td>換気空調設備系統</td> <td>3FCD-2526</td> <td>補助建屋排気風量制御ダンパ</td> </tr> <tr> <td>1次系建屋水消火系統</td> <td>3V-FS-504</td> <td>消火水C/V外側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>炉内核計装装置ガスバージ設備系統</td> <td>3V-IG-008</td> <td>炉内核計装装置二酸化炭素バージラインC/V外側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>炉内核計装装置ガスバージ設備系統</td> <td>3V-IG-009</td> <td>炉内核計装装置二酸化炭素バージラインC/V内側隔離弁</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器真空逃がし装置系統</td> <td>3V-YR-001A,B</td> <td>真空逃がし装置C/V外側隔離弁</td> </tr> </tbody> </table>	系 統	機器番号	設 備	換気空調設備系統	3D-VS-065A,B	格納容器排気ファン出口ダンパ	換気空調設備系統	3D-VS-232	補助建屋排気隔離ダンパ	換気空調設備系統	3FCD-2526	補助建屋排気風量制御ダンパ	1次系建屋水消火系統	3V-FS-504	消火水C/V外側隔離弁	炉内核計装装置ガスバージ設備系統	3V-IG-008	炉内核計装装置二酸化炭素バージラインC/V外側隔離弁	炉内核計装装置ガスバージ設備系統	3V-IG-009	炉内核計装装置二酸化炭素バージラインC/V内側隔離弁	原子炉格納容器真空逃がし装置系統	3V-YR-001A,B	真空逃がし装置C/V外側隔離弁	
系 統	機器番号	設 備																									
換気空調設備系統	3D-VS-065A,B	格納容器排気ファン出口ダンパ																									
換気空調設備系統	3D-VS-232	補助建屋排気隔離ダンパ																									
換気空調設備系統	3FCD-2526	補助建屋排気風量制御ダンパ																									
1次系建屋水消火系統	3V-FS-504	消火水C/V外側隔離弁																									
炉内核計装装置ガスバージ設備系統	3V-IG-008	炉内核計装装置二酸化炭素バージラインC/V外側隔離弁																									
炉内核計装装置ガスバージ設備系統	3V-IG-009	炉内核計装装置二酸化炭素バージラインC/V内側隔離弁																									
原子炉格納容器真空逃がし装置系統	3V-YR-001A,B	真空逃がし装置C/V外側隔離弁																									



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
	<p>4. 「他の設備で代替できる」についての補足</p> <p>他の設備により機能が代替できる防護対象設備について、対象設備、要求事項、代替設備及びその設備の保全状況について表3に示す。</p>		<p>設計方針の相違</p> <p>添付資料6に記載した通り、泊では本スクリーニング基準により溢水評価対象外とした設備は無いことから、当該項目について記載していない。</p>																																																				
	<p>表3 他の設備により機能を代替する防護対象設備</p> <table border="1" data-bbox="698 730 1272 1420"> <thead> <tr> <th rowspan="2">溢水影響評価対象外とした設備</th> <th rowspan="2">要求機能</th> <th rowspan="2">代替する設備</th> <th colspan="2">代替する設備の保全状況</th> </tr> <tr> <th>周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FPC ろ過脱塩装置 出口弁 (G41-F013)</td> <td>使用済燃料プールの冷却機能</td> <td>FPC ろ過脱塩装置 出口逆止弁 (G41-F012)</td> <td>39M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>HNCW 供給ライン第二隔離弁 (P24-F102)</td> <td>放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）</td> <td>HNCW 供給ライン第一隔離弁 (P24-F103)</td> <td>65M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>IA 第二隔離弁 (P52-F111)</td> <td>放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）</td> <td>IA 第一隔離弁 (P52-F112)</td> <td>65M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>HPIN 常用第二隔離弁 (P54-F015)</td> <td>放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）</td> <td>HPIN 常用第一隔離弁 (P54-F020)</td> <td>39M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>HPIN 非常用第二隔離弁 (A) (P54-F068A)</td> <td>放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）</td> <td>HPIN 非常用第一隔離弁 (A) (P54-F070A)</td> <td>39M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>HPIN 非常用第二隔離弁 (B) (P54-F068B)</td> <td>放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）</td> <td>HPIN 非常用第一隔離弁 (B) (P54-F070B)</td> <td>39M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>主蒸気第二隔離弁 リークオフライン 隔離弁 (B21-F045)</td> <td>放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）</td> <td>主蒸気第二隔離弁 リークオフライン 逆止弁 (B21-F044)</td> <td>65M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>RCW 供給側第二隔離弁 (A) (P42-F112A)</td> <td>放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）</td> <td>RCW 供給側第一隔離弁 逆止弁 (A) (P42-F113A)</td> <td>39M</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>RCW 供給側第二隔離弁 (B) (P42-F112B)</td> <td>放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）</td> <td>RCW 供給側第一隔離弁 逆止弁 (B) (P42-F113B)</td> <td>39M</td> <td>分解点検</td> </tr> </tbody> </table>	溢水影響評価対象外とした設備	要求機能	代替する設備	代替する設備の保全状況		周期	保全内容	FPC ろ過脱塩装置 出口弁 (G41-F013)	使用済燃料プールの冷却機能	FPC ろ過脱塩装置 出口逆止弁 (G41-F012)	39M	分解点検	HNCW 供給ライン第二隔離弁 (P24-F102)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	HNCW 供給ライン第一隔離弁 (P24-F103)	65M	分解点検	IA 第二隔離弁 (P52-F111)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	IA 第一隔離弁 (P52-F112)	65M	分解点検	HPIN 常用第二隔離弁 (P54-F015)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	HPIN 常用第一隔離弁 (P54-F020)	39M	分解点検	HPIN 非常用第二隔離弁 (A) (P54-F068A)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	HPIN 非常用第一隔離弁 (A) (P54-F070A)	39M	分解点検	HPIN 非常用第二隔離弁 (B) (P54-F068B)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	HPIN 非常用第一隔離弁 (B) (P54-F070B)	39M	分解点検	主蒸気第二隔離弁 リークオフライン 隔離弁 (B21-F045)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	主蒸気第二隔離弁 リークオフライン 逆止弁 (B21-F044)	65M	分解点検	RCW 供給側第二隔離弁 (A) (P42-F112A)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	RCW 供給側第一隔離弁 逆止弁 (A) (P42-F113A)	39M	分解点検	RCW 供給側第二隔離弁 (B) (P42-F112B)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	RCW 供給側第一隔離弁 逆止弁 (B) (P42-F113B)	39M	分解点検		
溢水影響評価対象外とした設備	要求機能				代替する設備	代替する設備の保全状況																																																	
		周期	保全内容																																																				
FPC ろ過脱塩装置 出口弁 (G41-F013)	使用済燃料プールの冷却機能	FPC ろ過脱塩装置 出口逆止弁 (G41-F012)	39M	分解点検																																																			
HNCW 供給ライン第二隔離弁 (P24-F102)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	HNCW 供給ライン第一隔離弁 (P24-F103)	65M	分解点検																																																			
IA 第二隔離弁 (P52-F111)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	IA 第一隔離弁 (P52-F112)	65M	分解点検																																																			
HPIN 常用第二隔離弁 (P54-F015)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	HPIN 常用第一隔離弁 (P54-F020)	39M	分解点検																																																			
HPIN 非常用第二隔離弁 (A) (P54-F068A)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	HPIN 非常用第一隔離弁 (A) (P54-F070A)	39M	分解点検																																																			
HPIN 非常用第二隔離弁 (B) (P54-F068B)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	HPIN 非常用第一隔離弁 (B) (P54-F070B)	39M	分解点検																																																			
主蒸気第二隔離弁 リークオフライン 隔離弁 (B21-F045)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	主蒸気第二隔離弁 リークオフライン 逆止弁 (B21-F044)	65M	分解点検																																																			
RCW 供給側第二隔離弁 (A) (P42-F112A)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	RCW 供給側第一隔離弁 逆止弁 (A) (P42-F113A)	39M	分解点検																																																			
RCW 供給側第二隔離弁 (B) (P42-F112B)	放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁）	RCW 供給側第一隔離弁 逆止弁 (B) (P42-F113B)	39M	分解点検																																																			

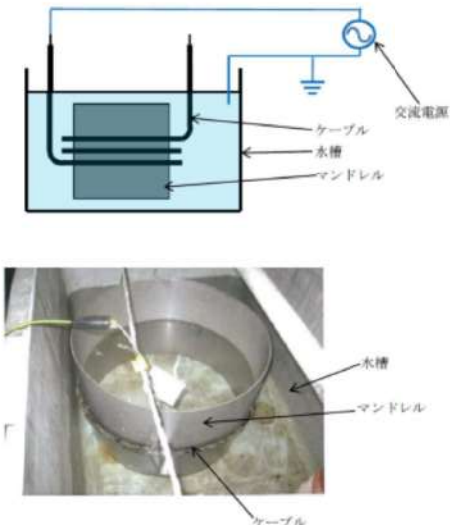
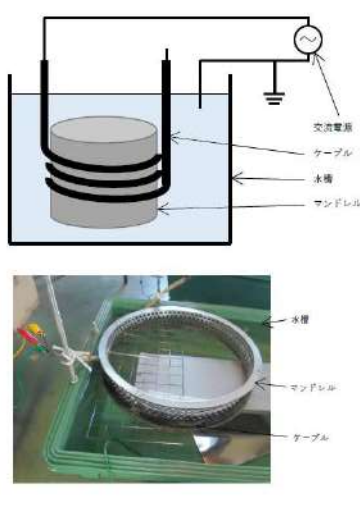
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">別紙</p> <p>ケーブルの被水影響について</p> <p>1. はじめに</p> <p>図1にケーブルの断面図を示す。ケーブルは充電部となる導体の周りが絶縁体で覆われ、さらに外皮が耐水性・絶縁性の高いシースで覆われていることから、被水による機能影響は受けない。ここで、ケーブルが被水により機能影響を受けるケースとしては、絶縁体の割れ等によりケーブルの絶縁性能が低下している状態で被水する場合が考えられる。以下に、ケーブルの形式試験からその被水影響について評価した結果を示す。</p> <div style="text-align: center;">  <p>図1 ケーブル断面図</p> </div> <p>2. 建設時の試験（原子炉格納容器内ケーブル）</p> <p>(1) 劣化模擬試験</p> <p>運転期間（40年）相当の劣化及び原子炉冷却材喪失事故時の劣化を模擬する。詳細条件を図2に示す。</p> <p>試験条件：熱老化（121℃、7日）                  放射線照射（<math>7.6 \times 10^5 \text{Gy}</math>）                  原子炉冷却材喪失事故模擬（171℃、427kPa、9時間）</p>	<p style="text-align: right;">別紙</p> <p>ケーブルの被水影響について</p> <p>1. はじめに</p> <p>図1にケーブルの断面図を示す。ケーブルは充電部となる導体の周りが絶縁体で覆われ、さらに外皮が耐水性・絶縁性の高いシースで覆われていることから、被水による機能影響は受けない。ここで、ケーブルが被水により機能影響を受けるケースとしては、絶縁体の割れ等によりケーブルの絶縁性能が低下している状態で被水する場合が考えられる。以下に、ケーブルの型式試験からその被水影響について評価した結果を示す。</p> <div style="text-align: center;">  <p>図1 ケーブル断面図</p> </div> <p>2. 建設時の試験（原子炉格納容器内ケーブル）</p> <p>(1) 劣化模擬試験</p> <p>運転期間（40年）相当の劣化及び原子炉冷却材喪失事故時の劣化を模擬する。</p> <p>試験条件：熱老化 [redacted]                  放射線照射 [redacted]                  原子炉冷却材喪失事故模擬（図2のとおり）</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時の環境条件が異なるため、試験条件が異なる。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="698 204 1258 847" style="border: 2px solid black; height: 400px; width: 100%;"></div> <p data-bbox="763 858 1205 884">図2 原子炉格納容器内原子炉冷却材喪失事故条件</p> <div data-bbox="698 903 1258 943" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="763 911 1189 933">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div> <p data-bbox="698 1031 1001 1054">(2) 40倍マンドレル耐電圧試験</p> <p data-bbox="698 1064 1258 1121">原子炉冷却材喪失事故模擬試験を実施したケーブルに対して、下記の条件で試験を実施する。</p> <p data-bbox="698 1131 1258 1259">試験条件：試験後の試料を、ケーブル外径の40倍の内径で金属製マンドレルに巻きつけ、室温の水に浸漬させた状態で電圧（例として高圧動力ケーブルの場合 AC 12.6kV/mm）を5分間印加。試験装置の例は図3を参照。</p> <p data-bbox="698 1268 1023 1292">判定基準：絶縁破壊を生じないこと。</p>	<div data-bbox="1281 220 1850 612" style="border: 2px solid black; height: 246px; width: 100%;"></div> <p data-bbox="1339 858 1798 884">図2 原子炉格納容器内原子炉冷却材喪失事故条件</p> <p data-bbox="1281 1031 1579 1054">(2) 40倍マンドレル耐電圧試験</p> <p data-bbox="1281 1064 1843 1121">原子炉冷却材喪失事故模擬試験を実施したケーブルに対して、下記の条件で試験を実施する。</p> <p data-bbox="1281 1131 1863 1259">試験条件：試験後の試料を、ケーブル外径の40倍の内径で金属製マンドレルに巻きつけ、室温の水に浸漬させた状態で電圧（例として低圧（制御）ケーブルの場合 AC3.2kV/mm）を5分間印加。試験装置の例は図3を参照。</p> <p data-bbox="1281 1268 1610 1292">判定条件：絶縁破壊を生じないこと。</p>	<p data-bbox="1863 1168 2134 1259">記載方針の相違                  女川と泊で例として示しているケーブルが異なる。</p>



大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図3 マンドレル耐電圧試験装置例</p> <p>3. ケーブル導入後の定期点検について                      前述のとおり、ケーブルはプラント内で想定される経年劣化により、被水による機能影響を受けるような絶縁性能の低下が起らないことを導入時に確認しているが、導入後も定期点検により異常が生じていないことを確認している。                      具体的に、電力用ケーブルは定期的な絶縁抵抗測定により、絶縁抵抗に有意な変動が無いことを確認している。                      また、制御・計装用ケーブルについては、定期検査時の点検・検査、運転中の定例試験時等において、系統機器の動作又は計器の指示値等を確認することで、ケーブルの異常が無いことを確認している。</p> <p>4. まとめ                      以上から、運転期間相当（40年）を模擬した劣化に加え、原子炉冷却材喪失事故時を模擬した劣化を与えたケーブルに対しマンドレル耐電圧試験を実施し、浸水時における機械的・電氣的の余裕を確認していること、及び導入後においても定期点検により有意な劣化が無いことを確認していることから、ケーブルの被水影響はないと評価する。</p>	 <p>図3 マンドレル耐電圧試験装置例</p> <p>3. ケーブル導入後の定期点検について                      前述のとおり、ケーブルはプラント内で想定される経年劣化により、被水による機能影響を受けるような絶縁性能の低下が起らないことを導入時に確認しているが、導入後も定期点検により異常が生じていないことを確認している。                      具体的に、動力用ケーブルは定期的な絶縁抵抗測定により、絶縁抵抗に有意な変動がないことを確認している。                      また、制御・計装用ケーブルについては、定期検査時の点検・検査、運転中の定例試験時等において、系統機器の動作又は計器の指示値等を確認することで、ケーブルの異常が無いことを確認している。</p> <p>4. まとめ                      以上から、運転期間相当（40年）を模擬した劣化に加え、原子炉冷却材喪失事故時を模擬した劣化を与えたケーブルに対しマンドレル耐電圧試験を実施し、浸水時における機械的・電氣的の余裕を確認していること、及び導入後においても定期点検により有意な劣化がないことを確認していることから、ケーブルの被水影響はないと評価する。</p>	

【凡例】 ○：方針の変更  
 △：記載の適正化  
 ×：変更なし

第9条 溢水による損傷の防止

プラント		女川のまとめ資料と差異が生じている理由	旧資料から新資料への変更有無	方針変更の具体的内容（左記で○の場合）
女川	今般提出 泊（記載見直し版）			
本文	✓ 本文	本文		
別添資料1 女川原子力発電所2号炉 内部溢水の影響評価について	✓ 別添資料1 泊発電所3号炉 内部溢水の影響評価について	(別添資料1) 内部溢水の影響評価について		
補足資料	補足資料			
添付資料1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源	添付資料1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源	・添付資料5 想定破損における溢水量算出の考え方と算出結果について ・添付資料8 地震時における溢水量算出の考え方について ・添付資料15 被水影響評価について ・添付資料16 高エネルギー配管等の溢水に伴う蒸気影響評価について	△	
添付資料2 溢水源となりうる機器のリスト	添付資料2 溢水源となりうる機器のリスト	・添付資料2 溢水源となり得る機器について 「表1 地震破損等により溢水源となり得る機器のリスト」 ・添付資料8 地震時における溢水量算出の考え方について 「表1 溢水源となり得る耐震B,Cクラス機器」	△	
添付資料3 想定する溢水量一覧	添付資料3 想定する溢水量一覧	・添付資料5 想定破損における溢水量算出の考え方と算出結果について ・添付資料8 地震時における溢水量算出の考え方について ・添付資料15 被水影響評価について ・添付資料16 高エネルギー配管等の溢水に伴う蒸気影響評価について	△	
添付資料4 防護対象設備一覧	✓ 添付資料4 防護対象設備一覧	・添付資料1 防護対象設備の選定及び溢水防護区画の設定について 「表2 安全機能を達成するために必要な設備」	△	
添付資料5 機能喪失高さの考え方	添付資料5 機能喪失高さの考え方	・添付資料11 防護対象設備の機能喪失高さ及び没水評価において確保すべき相度の考え方について	△	
添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について	✓ 添付資料6 溢水影響評価の対象外とした設備について	・添付資料1 防護対象設備の選定及び溢水防護区画の設定について 「別紙2 溢水影響評価の対象外とした設備について」	△	
添付資料7 溢水防護区画図	添付資料7 溢水防護区画図	・添付資料1 防護対象設備の選定及び溢水防護区画の設定について 「別紙3-図1 溢水防護区画」	×	
添付資料8 滞留面積の算出について	添付資料8 滞留面積の算出について	・添付資料12 地震時における溢水による没水影響評価について 「別紙1 床面積欠損の現場測定について」	△	
添付資料9 溢水影響評価において止水を期待できる設備	添付資料9 溢水影響評価において止水を期待できる設備	・添付資料10 溢水経路の設定において止水に期待する設備について 「表1 水密扉一覧表」 「表2 貫通部シール施工箇所一覧」 「表3 ドレンラインへの逆止弁設置一覧」 ・添付資料12 地震時における溢水による没水影響評価について 「別紙2 水密コンパートメントの漏えい拡大防止機能について」 ・添付資料21 管理区域から非管理区域への溢水伝搬防護について 「別紙1-表1 評価対象となる漏えい防止堰（16箇所）の一覧表」	△	
添付資料10 溢水伝播経路図（平面図）	添付資料10 溢水伝播経路図（平面図）	・添付資料12 地震時における溢水による没水影響評価について 「参考資料-図1 地震に起因する溢水経路及び溢水防護区画」 ・添付資料13 消火水の放水による溢水影響評価について 「参考資料-図1 消火栓からの放水による溢水経路及び溢水防護区画」 ・添付資料14 高エネルギー配管からの溢水に伴う没水影響評価について 「参考資料-図1 想定破損による溢水経路及び溢水防護区画」	△	
添付資料11 溢水伝播フロー図	-	-		女川は伝播フロー図で溢水の発生、伝播、止水に期待する設備の有無等を示しているのに対し、泊（PWR）は伝播経路図及び影響評価結果の整理表にてこれらの情報を示していることから、本資料は作成しない。
添付資料12 開口部等からの流出流量の評価	添付資料11 開口部等からの流出流量の評価	・添付資料14 高エネルギー配管からの溢水に伴う没水影響評価について 「添付2 補助給水隔離弁の没水影響評価結果について」	△	
添付資料13 溢水源となる対象系統について	添付資料12 溢水源となる対象系統について	・添付資料3 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類について ・添付資料14 高エネルギー配管からの溢水に伴う没水影響評価について 「表1 高エネルギー配管を有する系統リスト」 ・添付資料5 想定破損における溢水量算出の考え方と算出結果について 「表2 想定破損の対象となる低エネルギー配管を有する系統」	△	
添付資料14 高エネルギー配管の想定破損除外について	添付資料13 高エネルギー配管の想定破損除外について	・添付資料4 想定破損における配管の強度評価について 「2. 高エネルギー配管の応力評価について」	△	
添付資料15 低エネルギー配管の想定破損除外について	添付資料14 低エネルギー配管の想定破損除外について	・添付資料4 想定破損における配管の強度評価について 「3. 低エネルギー配管の応力評価について」	△	
添付資料16 減肉等による破損評価について	添付資料15 減肉等による破損評価について	・添付資料4 想定破損における配管の強度評価について 「4. 配管減肉状況を考慮した想定破損評価について」	△	
添付資料17 系統別溢水量算出結果	添付資料16 系統別溢水量算出結果	・添付資料5 想定破損における溢水量算出の考え方と算出結果について 「3. 高エネルギー配管（没水影響評価）の対象系統および溢水量の算出について」 「4. 低エネルギー配管（没水影響評価）の対象系統および溢水量の算出について」 ・添付資料14 高エネルギー配管からの溢水に伴う没水影響評価について 「表2 各系統からの溢水量（高エネルギー配管）」 ・添付資料12 地震時における溢水による没水影響評価について 「参考資料1-表1 溢水源となる可能性のある耐震B,Cクラス機器及び溢水量」	△	

【凡例】 ○：方針の変更  
 △：記載の適正化  
 ×：変更なし

第9条 溢水による損傷の防止

プラント		旧 泊 (2022年8月提出版)	女川のまとめ資料と差異が生じている理由	旧資料から新資料への変更有無	方針変更の具体的内容 (左記で○の場合)
女川	今回提出 泊 (記載見直し版)				
添付資料18 想定破損による浸水影響評価結果	添付資料17 想定破損による浸水影響評価結果	・添付資料 1 4 高エネルギー配管からの溢水に伴う浸水影響評価について 「参考資料1-表2 高エネルギー配管からの溢水に伴う浸水影響評価結果」		△	方針変更は無いが、最新の評価結果を反映する。
添付資料19 想定破損による浸水影響評価結果から必要となる設備対策について	添付資料18 想定破損による浸水影響評価結果から必要となる設備対策について	・添付資料 1 4 高エネルギー配管からの溢水に伴う浸水影響評価について 「添付1 充てんポンプの浸水評価結果について」 「添付2 補助給水隔離弁の浸水影響評価結果について」		△	
添付資料20 想定破損による被水影響評価結果	添付資料19 想定破損による被水影響評価結果	・添付資料 1 5 被水影響評価について 「別紙4-表1 被水影響評価結果一覧表」		△	
添付資料21 想定破損による被水影響評価結果から必要となる設備対策について	添付資料20 想定破損による被水影響評価結果から必要となる設備対策について	・添付資料 1 5 被水影響評価について 「別紙4-表1 被水影響評価結果一覧表」		△	
添付資料22 想定破損による蒸気影響評価結果	添付資料21 想定破損による蒸気影響評価結果	・添付資料 1 6 高エネルギー配管等の溢水に伴う蒸気影響評価について 「別紙4 環境影響解析による蒸気影響評価結果」		△	
添付資料23 想定破損による蒸気影響評価結果から必要となる設備対策について	添付資料22 想定破損による蒸気影響評価結果から必要となる設備対策について	・添付資料 1 6 高エネルギー配管等の溢水に伴う蒸気影響評価について 「別紙2 蒸気漏えいの自動検知および隔離について」 「別紙3 防護対象設備の耐蒸気性能について」		△	
添付資料24 消火水の放水による溢水影響評価対象区画	添付資料23 消火水の放水による溢水影響評価対象区画	・添付資料 1 3 消火水の放水による溢水影響評価について 「参考資料1-図1 消火栓からの放水による溢水経路及び溢水防護区画」 「参考資料1-図2 消火栓からの放水による時間設定エリア」		△	
添付資料25 消火水の放水における放水量について	添付資料24 消火水の放水における放水量について	・添付資料 1 3 消火水の放水による溢水影響評価について 「別紙1 消火活動における放水時間、放水量の考え方について」		○	保守的な評価条件とするため、消火水放水量の算出は、消防法施行令により要求される放水量（屋内消火栓：130ℓ/分以上、屋外消火栓：350ℓ/分以上）に保守性を考慮した値を用いて算定する方針とする。 具体的には、以下の通り設定する。 屋内消火栓：150ℓ/分×2箇所×3時間=54m3 屋外消火栓：390ℓ/分×2箇所×3時間=141m3
添付資料26 消火水の放水による溢水影響評価結果	添付資料25 消火水の放水による溢水影響評価結果	・添付資料 1 3 消火水の放水による溢水影響評価について 「参考資料1-表1 消火時の放水による浸水評価結果」		○	上記の消火水放水量の算出方針を踏まえた最新の評価結果を反映する。
添付資料27 地震に起因する溢水源リスト	添付資料26 地震に起因する溢水源リスト	・添付資料 8 地震時における溢水量算出の考え方について 「表1 溢水源となり得る耐震B,Cクラス機器」 ・添付資料 1 2 地震時における溢水による浸水影響評価について 「参考資料1-図1 地震に起因する溢水経路及び溢水防護区画」		△	
添付資料28 地震起因による浸水影響評価結果	添付資料27 地震起因による浸水影響評価結果	・添付資料 1 2 地震時における溢水による浸水影響評価について 「参考資料1-表3 地震時の浸水評価結果」		△	
添付資料29 耐震B、Cクラス機器の耐震評価	添付資料28 耐震B、Cクラス機器の耐震評価	・添付資料 6 耐震B、Cクラス機器の耐震評価について		△	
添付資料30 タービン建屋における溢水経路図	添付資料29 タービン建屋における溢水経路図	・添付資料 1 9 出入管理建屋、電気建屋、タービン建屋からの溢水影響について 「2. タービン建屋の溢水影響評価」		△	
添付資料31 原子炉建屋付廊棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路図	添付資料30 電気建屋における溢水経路図	・添付資料 1 9 出入管理建屋、電気建屋、タービン建屋からの溢水影響について 「4. 電気建屋の溢水影響評価」		△	
添付資料32 補助ボイラー建屋における溢水経路図	添付資料31 出入管理建屋における溢水経路図	・添付資料 1 9 出入管理建屋、電気建屋、タービン建屋からの溢水影響について 「3. 出入管理建屋の溢水影響評価」		△	
添付資料33 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備の設置場所	添付資料32 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備の設置場所	・添付資料 2 1 管理区域から非管理区域への溢水伝播防護について 「参考資料1添付6 溢水伝搬図」 「参考資料1添付9 溢水伝搬防護対策」		△	
添付資料34 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への適合状況	添付資料33 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への適合状況	・添付資料 2 3 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への適合状況		△	
補足説明資料 1 防護区画内の溢水源となりうる系統	補足説明資料 1 防護区画内の溢水源となりうる系統			△	
補足説明資料 2 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について	補足説明資料 2 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について	・添付資料 1 防護対象設備の選定及び溢水防護区画の設定について 「別紙3-図1 溢水防護区画」		×	
補足説明資料 3 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足	補足説明資料 3 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足	・添付資料 1 防護対象設備の選定及び溢水防護区画の設定について 「別紙2 溢水影響評価の対象外とした設備について」		△	
補足説明資料 4 原子炉建屋原子炉棟（二次格納施設）内防護対象設備の蒸気影響について	補足説明資料 4 原子炉建屋原子炉棟（二次格納施設）内防護対象設備の蒸気影響について	・添付資料 1 6 高エネルギー配管等の溢水に伴う蒸気影響評価について		△	
補足説明資料 5 耐蒸気仕様の確認について	補足説明資料 5 耐蒸気仕様の確認について	・添付資料 1 6 高エネルギー配管等の溢水に伴う蒸気影響評価について 「別紙3 防護対象設備の耐蒸気性能について」		△	
補足説明資料 6 防滴仕様の被水評価における妥当性について	補足説明資料 6 防滴仕様の被水評価における妥当性について	・添付資料 1 5 被水影響評価について 「添付2 被水対策における防滴仕様の確認について」		△	
補足説明資料 7 保有水量・系統別溢水量算出要領	補足説明資料 7 保有水量・系統別溢水量算出要領	・添付資料 5 想定破損における溢水量算出の考え方と算出結果について		△	
補足説明資料 8 想定破損評価における隔離時間の妥当性について	補足説明資料 8 想定破損評価における隔離時間の妥当性について	・添付資料 5 想定破損における溢水量算出の考え方と算出結果について		△	
補足説明資料 9 運転員のアクセシビリティ	補足説明資料 9 運転員のアクセシビリティ	・添付資料 8 地震時における溢水量算出の考え方について 「別紙1 地震時における自動または手動による漏洩停止時間の内訳について」		△	
補足説明資料10 スロッシング後の使用済燃料プール冷却機能維持のための現場操作	-	-	泊は使用済燃料ピットのスロッシング後のピット冷却・給水手順は定めていないことから、本資料は作成しない。 (女川2号炉まとめ資料との比較結果 No.11)	-	



【凡例】 ○：方針の変更  
 △：記載の適正化  
 ×：変更なし

第9条 漏水による損傷の防止

プラント		旧 泊 (2022年8月提出版)	女川のまとめ資料と差異が生じている理由	旧資料から新資料への変更有無	方針変更の具体的内容 (左記で○の場合)
女川	今回提出 泊 (記載見直し版)				
補足説明資料11 タービン建屋からの漏水影響評価に用いる漏水量について	補足説明資料10 タービン建屋からの漏水影響評価に用いる漏水量について	・添付資料 1 9 出入管理建屋、電気建屋、タービン建屋からの漏水影響について 「2. タービン建屋の漏水影響評価」		△	
補足説明資料12 循環水系及びタービン補機冷却海水系におけるインターロックの追加について	補足説明資料11 循環水系及びタービン補機冷却海水系におけるインターロックの追加について	・添付資料 8 地震時における漏水量算出の考え方について 「別紙2 循環水ポンプの自動停止インターロックについて」		△	
補足説明資料13 漏水伝播フロー図について	-	-	女川は伝播フロー図で漏水の発生、伝播、止水に期待する設備の有無等を示しているのに対し、泊 (PWR) は伝播経路図及び影響評価結果の整理表にてこれらの情報を示していることから、本資料は作成しない。	-	
補足説明資料14 内部漏水影響評価における判定表	-	-	女川と泊では評価判定に係る考え方が異なるため、泊は本資料を作成しない。 (女川2号炉まとめ資料との比較結果 No.12及びNo.13)	-	
補足説明資料15 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価	補足説明資料12 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価	・添付資料 1 1 防護対象設備の機能喪失高さ及び没水評価において確保すべき裕度の考え方について 「4. 漏水水位に対する機能喪失高さが確保すべき裕度の考え方」		○	これまでは漏水水位が20cm以下である場合は漏水評価で考慮する裕度を5cmとしていたが、漏水水位に係らず、裕度は一律10cmを考慮する方針とする。
補足説明資料16 止水を期待する設備の止水性能等について	補足説明資料13 止水を期待する設備の止水性能等について	・添付資料 1 0 漏水経路の設定において止水に期待する設備について		△	
補足説明資料17 漏水防護対策の主要な施工対象範囲	補足説明資料14 漏水防護対策の主要な施工対象範囲	・添付資料 1 0 漏水経路の設定において止水に期待する設備について 「別紙1-図1 水密扉および貫通部シール施工の対象壁の配置図」		△	
補足説明資料18 配管の耐震評価の考え方	補足説明資料15 配管の耐震評価の考え方	・添付資料 6 耐震B、C クラス機器の耐震評価について		△	
補足説明資料19 定ピッチスパン法に基づく配管の耐震評価	補足説明資料16 定ピッチスパン法に基づく配管の耐震評価	・添付資料 6 耐震B、C クラス機器の耐震評価について 「別紙2 定ピッチスパン法における標準支持間隔の算出について」		△	
補足説明資料20 耐震B、C クラス機器の補強工事の実施内容について	補足説明資料17 耐震B、C クラス機器の補強工事の実施内容について	・添付資料 6 耐震B、C クラス機器の耐震評価について 「参考資料 添付2 耐震B、C クラス機器耐震補強工事について」 ※参考資料は前回提出時に削除してしまったので復活させる		△	
補足説明資料21 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要	補足説明資料18 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要	・添付資料 7 使用済燃料ピットのスロッシングによる漏水量評価 「別紙1 解析コードの妥当性検証」		△	
補足説明資料22 漏水影響評価における耐震B、C クラス機器の抽出方法について	補足説明資料19 漏水影響評価における耐震B、C クラス機器の抽出方法について	・添付資料 6 耐震B、C クラス機器の耐震評価について		△	
補足説明資料23 使用済燃料プール等のスロッシング評価における保守性について	補足説明資料20 使用済燃料プール等のスロッシング評価における保守性について	・添付資料 7 使用済燃料ピットのスロッシングによる漏水量評価		○	スロッシング評価において、応答スペクトルに基づく地震動を用いて三次元解析を行う場合は、水平2方向及び鉛直方向の地震力の組合せを考慮し、スロッシングによる漏水量が最大となるよう評価を実施する。
補足説明資料24 内部漏水評価における耐震壁等の確認について	補足説明資料21 内部漏水評価における耐震壁等の確認について	・添付資料 1 2 地震時における漏水による没水影響評価について 「参考資料2 内部漏水影響評価における耐震壁等の地震時健全性について」		△	
補足説明資料25 内部漏水により想定される事象の確認及び解析確認結果	-	-	女川と泊では評価判定に係る考え方が異なるため、泊は本資料を作成しない。 (女川2号炉まとめ資料との比較結果 No.12及びNo.13)	-	
補足説明資料26 内部漏水影響評価における確認内容について	補足説明資料22 内部漏水影響評価における確認内容について	・別添資料 3 内部漏水影響評価における確認プロセスについて ・添付資料 1 1 防護対象設備の機能喪失高さ及び没水評価において確保すべき裕度の考え方について 「別紙1 機能喪失高さの現場確認の様子」 ・添付資料 1 2 地震時における漏水による没水影響評価について 「添付1 没水評価における詳細評価について」 (床勾配の説明)		△	
補足説明資料27 内部漏水影響評価における評価の保守性について	補足説明資料23 内部漏水影響評価における評価の保守性について	・添付資料24 内部漏水影響評価における評価の保守性について		△	
補足説明資料28 別のハザードからの漏水影響について	補足説明資料24 別のハザードからの漏水影響について	・別添資料 1 1.1 漏水防護に関する基本方針 ○自然事象による漏水影響の考慮 (別添1-2)		△	
補足説明資料29 過去の不具合事例への対応について	補足説明資料25 過去の不具合事例への対応について	・添付資料 2 2 過去の不具合事例への対応について		△	
補足説明資料30 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について	補足説明資料26 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について	・添付資料 8 地震時における漏水量算出の考え方について 「別紙1 4. (2) 薬品タンク類の漏えいによる影響」 ・添付資料 1 2 地震時における漏水による没水影響評価について 「別紙3 ほう酸水に対するケーブルの耐性について」		△	
補足説明資料31 屋外タンクからの漏水影響評価について	補足説明資料27 屋外タンクからの漏水影響評価について	・添付資料 2 0 屋外タンクからの漏水影響評価について 別紙1 屋外タンク漏水伝播挙動評価に用いた解析コードの妥当性検証		△	
補足説明資料32 ハッチ開放時における漏水影響について	-	-	泊は漏水影響評価でハッチの止水には期待していないことから、本資料を作成しない。 (女川2号炉まとめ資料との比較結果 No.7)	-	
補足説明資料33 その他の漏えい事象に対する確認について	補足説明資料28 その他の漏えい事象に対する確認について	・添付資料 2 漏水源となり得る機器について 別紙2 その他の漏えい事象に対する確認について		△	
補足説明資料34 貫通クラック等微小漏えい時の影響について	補足説明資料29 貫通クラック等微小漏えい時の影響について	・添付資料 5 想定破損における漏水量算出の考え方と算出結果について 別紙1 貫通クラック等微小漏えい時の影響について		△	
補足説明資料35 漏水発生後の復旧について	補足説明資料30 漏水発生後の復旧について	新規作成		△	
補足説明資料36 漏えい検知性について	補足説明資料31 漏えい検知性について	・添付資料 5 想定破損における漏水量算出の考え方と算出結果について 別紙2 その他の漏えい事象に対する確認について		△	
補足説明資料37 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタの内部漏水に対する防護について	-	-	泊には該当する設備が無いことから、本資料を作成しない。	-	

【凡例】 ○：方針の変更  
 △：記載の適正化  
 ×：変更なし

第9条 溢水による損傷の防止

		プラント		女川のまとめ資料と差異が生じている理由	旧資料から新資料への変更有無	方針変更の具体的内容（左記で○の場合）
女川	今回提出	旧 泊（記載見直し版）	旧 泊（2022年8月提出版）			
補足説明資料38 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について		補足説明資料32 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について	-		-	
別添資料2 女川原子力発電所2号炉 運用、手順説明資料 溢水による損傷の防止等		別添資料2 泊発電所3号炉 運用、手順説明資料 溢水による損傷の防止等	(別添資料2) 溢水による損傷の防止等			
別添資料3 女川原子力発電所2号炉 内部溢水影響評価における確認プロセスについて		別添資料3 泊発電所3号炉 内部溢水影響評価における確認プロセスについて	(別添資料3) 内部溢水影響評価における確認プロセスについて			